横浜市立 朝比奈小学校　　令和　4　－　6　年度版　　中期学校経営方針

学校教育目標	あいがいっぱい朝比奈小　　～　ふれあい　学びあい　助けあい　～ ○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) ○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。(体) ○友だちや地域の人と力を合わせ、朝比奈を大切にする子を育てます。(公) ○コミュニケーションや情報処理の力を高め、課題解決ができる子を育てます。(開)

学校概要	創立　47　周年	学校長　神田敏之	副校長　長谷川亜紀子	2　学期制	一般学級：10　　個別支援学級：2
	児童生徒数：　227　人	主な関係校：　大道中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
＜主体的に課題に向き合い解決する力＞ ＜より豊かな表現力＞ ＜自他を認める力＞

大道中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
大道中学校 朝比奈小学校 大道小学校 六浦南小学校	自他の関係づくりを大切にする子ども ・「自他の関係づくり」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等においてテーマを意識した授業を公開する。公開した授業をもとに協議会を行い、小中間で、育成する子ども像に向け意見交流を深める。 ・児童生徒交流日には、普段の学習や部活動の様子を6年生が見学することにより、中学校生活に対するイメージをもてるようにする。

中期取組目標	○リーダー・イン・ミーの考え方を中心に置き、教職員が同じ方向を向いて教育活動を進め、生き生きとした学校文化を築きます。 ・子どもたちが自分の行動に責任をもち、役割を果たすことにより自己肯定感を高められるようにします。 ・自ら立てた目標を振り返ることにより、自分の成長を確かめたり次への目標を立てたりする振り返りの機会を確保します。 ・自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにします。 ・学校をよくするために自分ができることを探し、リーダーシップを発揮するリーダーシップ・スキルを高めます。 ・教職員自らが「7つの習慣」に基づいた考え方をすることにより、生き生きとした活気のある安心できる学校環境をつくります。

重点取組分野		具体的取組
知	個に応じた指導	①特別支援教室を個の習熟度に合わせた学習支援だけでなく、ソーシャルスキルトレーニング、児童理解と児童支援、通級教室や特総センターなど、他機関との連携するためのスタートの場として全職員で運営していく。②ICT機器を活用し学習の見える化を図る。③家庭学習（自主学習）を個で決定し主体的に取り組む。
担当	学力向上部会	
徳	人権教育	①「あおぞら活動」（たてわり活動）等異学年交流を通して、児童が互いの個性を認め、思いやる心や自他との関わり方について学ぶ。②リーダー・イン・ミーや道徳の授業、人権週間の取組等を通して、児童の人権意識を高める。また、人権教育授業参観などを利用して保護者との連携を図る。
担当	豊かな心部会	
体	健康教育	①健康会議や保健委員会の活動を通して、正しい手洗い、うがいの周知と実践の習慣化を目指す。 ②縄跳び週間や長縄集会などを通して、身体を動かすことの習慣化を図る。
担当	健やかな体部会	
公開	自分づくり教育（キャリア教育）	①リーダー・イン・ミーの考え方を生かして、自分の行動を自分で決め、責任を果たしていく中で、めあてや目的に沿ってふりかえりをする機会を確保し、自分の成長を見つめられるようにする。 ②自分ができることを探し、周りの人と協力して問題解決する豊かな体験活動を地域や社会との関わりを大切にしながら行う。
担当	学力向上部会	
いじめへの対応		①児童アンケートを毎月実施し、いじめの早期発見、早期対応等を心がけ、いじめ防止に努める。②「学校いじめ防止対策委員会」を毎月開催し、情報共有し、支援のスキルを高める。また、いじめの疑いがある段階で、直ちに「学校いじめ防止対策委員会」を開催し、情報収集と指導を行う。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①主幹教諭を中心に経験のある教員の指導・助言のもと、実技研修・授業検討等実践的なメンター研修を進め、経験の浅い教職員の資質向上に努める。②教員の授業力向上を目指し、キャリアステージに応じた研修会・研究会への積極的参加をすすめる。③会議・行事の見直しをすすめ、週1日の定時退勤日を確立する。
担当	教務部	
特別支援教育		①TTや取り出しで児童の指導をする中で、児童理解を深め、全職員で共有し指導にあたる。 ②特別支援教室を設置し、安心して過ごせる場所として子どもの悩みや願いを児童支援専任を中心に聞くようにする。
担当	健やかな体部会	
地域学校協働活動		①教育ボランティアの協力を得ながら、朝読書、読み聞かせ、お話会や学級文庫の宅配などを通して、読書活動を一層推進し、児童の豊かな感性を育む。②地域コーディネーターを中心とし学習支援の場を設定したり、校内の環境整備を行ったりして、地域とともに子どもたちの育成を図っていく。
担当	教務部	
a14		a24
担当		
a15		a25
担当		

横浜市立 朝比奈小学校　　令和　4　－　6　年度版　中期学校経営方針　（　令和　5　年度修正　）

学校教育目標	あいがいっぱい朝比奈小　　～　ふれあい　学びあい　助けあい　～ ○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。（知） ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。（徳） ○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。（体） ○友だちや地域の人と力を合わせ、朝比奈を大切にする子を育てます。（公） ○コミュニケーションや情報処理の力を高め、課題解決ができる子を育てます。（開）

学校概要	創立　48　周年	学校長　神田敏之	副校長　長谷川亜紀子	2　学期制	一般学級：10　　個別支援学級：2
	児童生徒数：　227　人	主な関係校：　大道中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
＜主体的に課題に向き合い解決する力＞ ＜より豊かな表現力＞ ＜自他を認める力＞

○○中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
大道中学校 朝比奈小学校 大道小学校 六浦南小学校	自他の関係づくりを大切にする子ども ・「自他の関係づくり」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等においてテーマを意識した授業を公開する。公開した授業をもとに協議会を行い、小中間で、育成する子ども像に向け意見交流を深める。 ・児童生徒交流日には、普段の学習や部活動の様子を6年生が見学することにより、中学校生活に対するイメージをもてるようにする。

中期取組目標	○リーダー・イン・ミーの考え方を中心に置き、教職員が同じ方向を向いて教育活動を進め、生き生きとした学校文化を築きます。 ・子どもたちが自分の行動に責任をもち、役割を果たすことにより自己肯定感を高められるようにします。 ・自ら立てた目標を振り返ることにより、自分の成長を確かめたり次への目標を立てたりする振り返りの機会を確保します。 ・自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにします。 ・学校をよくするために自分ができることを探し、リーダーシップを発揮するリーダーシップ・スキルを高めます。 ・教職員自らが「7つの習慣」に基づいた考え方をすることにより、生き生きとした活気のある安心できる学校環境をつくります。

重点取組分野		具体的取組
知	個に応じた指導	b1
担当	学力向上部会	
徳	人権教育	b2
担当	豊かな心部会	
体	健康教育	b3
担当	健やかな体部会	
公開	自分づくり教育（キャリア教育）	b4
担当	学力向上部会	
いじめへの対応		b5
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		b6
担当	教務部	
特別支援教育		b7
担当	健やかな体部会	
地域学校協働活動		b8
担当	教務部	
a14		b9
担当		
a15		b10
担当		

横浜市立 朝比奈小学校　　令和　4　－　6　年度版　中期学校経営方針　（　令和　6　年度修正　）

学校教育目標	あいがいっぱい朝比奈小　　～　ふれあい　学びあい　助けあい　～ ○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) ○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。(体) ○友だちや地域の人と力を合わせ、朝比奈を大切にする子を育てます。(公) ○コミュニケーションや情報処理の力を高め、課題解決ができる子を育てます。(開)

学校概要					
創立　49　周年	学校長　神田敏之	副校長　長谷川亜紀子	2　学期制	一般学級：10	個別支援学級：2
児童生徒数：　227　人	主な関係校：　大道中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
＜主体的に課題に向き合い解決する力＞ ＜より豊かな表現力＞ ＜自他を認める力＞

○○中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
大道中学校 朝比奈小学校 大道小学校 六浦南小学校	自他の関係づくりを大切にする子ども ・「自他の関係づくり」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科等においてテーマを意識した授業を公開する。公開した授業をもとに協議会を行い、小中間で、育成する子ども像に向け意見交流を深める。 ・児童生徒交流日には、普段の学習や部活動の様子を6年生が見学することにより、中学校生活に対するイメージをもてるようにする。

中期取組目標
○リーダー・イン・ミーの考え方を中心に置き、教職員が同じ方向を向いて教育活動を進め、生き生きとした学校文化を築きます。 ・子どもたちが自分の行動に責任をもち、役割を果たすことにより自己肯定感を高められるようにします。 ・自ら立てた目標を振り返ることにより、自分の成長を確かめたり次への目標を立てたりする振り返りの機会を確保します。 ・自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにします。 ・学校をよくするために自分ができることを探し、リーダーシップを発揮するリーダーシップ・スキルを高めます。 ・教職員自らが「7つの習慣」に基づいた考え方をすることにより、生き生きとした活気のある安心できる学校環境をつくります。

重点取組分野		具体的取組
知	個に応じた指導	c1
担当	学力向上部会	
徳	人権教育	c2
担当	豊かな心部会	
体	健康教育	c3
担当	健やかな体部会	
公開	自分づくり教育（キャリア教育）	c4
担当	学力向上部会	
いじめへの対応		c5
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		c6
担当	教務部	
特別支援教育		c7
担当	健やかな体部会	
地域学校協働活動		c8
担当	教務部	
a14		c9
担当		
a15		c10
担当		

横浜市立 朝比奈小学校　　令和4年度

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

あいがいっぱい朝比奈小　　～　ふれあい　学びあい　助けあい　～
○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。（知）
○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。（徳）
○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。（体）
○友だちや地域の人と力を合わせ、朝比奈を大切にする子を育てます。（公）
○コミュニケーションや情報処理の力を高め、課題解決ができる子を育てます。（開）

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	具体化した資質・能力
＜主体的に課題に向き合い解決する力＞ ＜より豊かな表現力＞ ＜自他を認める力＞	好奇心　　解決策を実行する力 感じたことを言葉にする力　　伝え合うことで自分の考えを深化させる力 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢　　思いや考えを伝え合う力

中期取組目標

○リーダー・イン・ミーの考え方を中心に置き、教職員が同じ方向を向いて教育活動を進め、生き生きとした学校文化を築きます。
・子どもたちが自分の行動に責任をもち、役割を果たすことにより自己肯定感を高められるようにします。
・自ら立てた目標を振り返ることにより、自分の成長を確かめたり次への目標を立てたりする振り返りの機会を確保します。
・自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにします。
・学校をよくするために自分ができることを探し、リーダーシップを発揮するリーダーシップ・スキルを高めます。
・教職員自らが「7つの習慣」に基づいた考え方をすることにより、生き生きとした活気のある安心できる学校環境をつくります。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
個に応じた指導	①特別支援教室を個の習熟度に合わせた学習支援だけでなく、ソーシャルスキルトレーニング、児童理解と児童支援、通級教室や特総センターなど、他機関との連携するためのスタートの場として全職員で運営していく。②ICT機器を活用し学習の見える化を図る。③家庭学習（自主学習）を個で決定し主体的に取り組む。
担当：学力向上部会	

学力向上に関わる本校の状況

・本校の児童は、楽しんで授業に取り組む児童が多く、評価が芳しくない児童でもやる気は失わないのが特徴である。
・昨年度から取り組んでいる家庭学習（自主学習）は、学年により成果はまちまちである。高学年は課題を自分で選択できることが功を奏し、家庭での学習意欲が上がったとの報告がある。しかし、低学年中学年では、児童保護者共に自主学習の方法に困惑している様子もある。その原因として、課題解決の手段を考える習慣が身に付いていないことが考えられる。

今年度の目標

自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにする。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
・全職員での特別支援教室の運営やT2での学習指導を行う。
・育てたい力や自主学習について保護者との共通理解と連携に努める。
・座席やグループは配慮の観点から教師が定める。
・ICT機器の活用により個の学びを保障する。
・リーディングトラッカー等の活用により本に親しむ環境整備を図る。
・全校児童が家庭で自主学習に取り組む活動の推進。
・期日や期限を定めたうえで、解決手段を児童に考えさせる学習活動の推進。
・振り返り活動の充実。
・話し合いを通して問題解決をする授業を積み重ねる。
・自分の興味のあることを見つけて発信をしたり友達の話を聞いたりする機会をもつ。

下半期
・全職員での特別支援教室の運営やT2での学習指導を行う。
・育てたい力や自主学習について保護者との共通理解と連携に努める。
・ICT機器の活用により個の学びを保障する。
・リーディングトラッカー等の活用により本に親しむ環境整備を図る。
・自主学習がうまくいかない子どもと具体的な方法を一緒に考える。
・期日や期限を定めたうえで、解決手段を児童に考えさせる学習活動の推進。
・振り返り活動の充実。
・話し合いを通して問題解決をする授業を積み重ねる。
・自分の興味のあることを見つけて発信をしたり友達の話を聞いたりする機会をもつ。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	①「あおぞら活動」（たてわり活動）等異学年交流を通して、児童が互いの個性を認め、思いやる心や自他との関わり方について学ぶ。②リーダー・イン・ミーや道徳の授業、人権週間の取組等を通して、児童の人権意識を高める。また、人権教育授業参観などを利用して保護者との連携を図る。
担当：豊かな心部会	

豊かな心に関わる本校の状況

・自然が豊かで地域とのつながりも深いため、学習環境に恵まれている。子どもたちは、一生懸命に物事に取り組む。お礼や挨拶も進んでできる子どもも多い。
・人とのかかわり方に課題がある。自分の想いのままの言動が多い、相手の立場になって物事を考えることが苦手な子どもが多い。自分自身を客観視しできず、正しく自己評価できていない子どももいる。

今年度の目標

リーダー・イン・ミーを生かした教科指導を通して、自己肯定感を高めたり、相手の立場になって物事を考える子どもの育成を目指す

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
・運動会、あおぞら活動（たてわり活動）、クラブ活動などの異学年交流を通して、相手の立場になって物事を考える場を設定する。
・活動を通して振り返りをし、自分の成長を客観的に見つめられるようにする。また振り返りを共有することにより、自分の見方を広げたり深めたりする機会とする。振り返りをもとに次の自分のめあてを決められるようにする。
・子ども同士で互いの良いところを伝えあう活動を通して、相手の新たな一面を認識したり自分のよさを認識したりできるようにする。
・うまくいかないこと、できないことも含めて個性ととらえ、同じ学校の仲間というとらえをして認められるようにする意識をもたせる。

下半期
・遠足、宿泊体験学習、音楽会では、異学年合同での活動とし、それぞれのよさや個性に気付いたり、リーダー性を育んだりできる場とする。
・活動を通して振り返りをし、自分の成長を客観的に見つめられるようにする。また振り返りを共有することにより、自分の見方を広げたり深めたりする機会とする。
・子ども同士で互いの良いところを伝えあう活動を通して、相手の新たな一面を認識したり自分のよさを認識したりできるようにする。
・12月には、人権週間を設定し、いじめ防止教室や人権標語づくりなどを通して、相手の立場になって考える場を設定する。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①健康会議や保健委員会の活動を通して、正しい手洗い、うがいの周知と実践の習慣化を目指す。 ②縄跳び週間や長縄集会などを通して、身体を動かすことの習慣化を図る。
担当：健やかな体部会	

健やかな体に関わる本校の状況

・家庭の協力もあり、基本的な生活習慣はできている児童が多い。
・ハンカチ、ティッシュの携帯や手洗い、うがいの習慣化など、衛生管理の意識をさらに高めていく必要があると感じる。
・運動面では、外遊びや体育の学習など、体を動かすことの好きな児童は多いように感じる。
・学校の児童全体としては、運動の習慣化が十分でない面もある。

今年度の目標

健康会議を通しての取り組みや体力アップ計画を通した、衛生意識の向上や運動習慣の定着。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
・子ども自らが考え行動するという主体性が発揮できるような方法を考える。
・健康会議の実施。定期的な手洗い調査や、ハンカチ、テュッシュの確認など、子どもたちの衛生管理意識の高まる活動に取り組む。
・子どもたちの手洗いの習慣化が促されるような工夫を考え、継続的に指導をしていく。
・指導者が意識して、衛生や運動、食に関する指導を日常的にしていく。手紙や授業参観、懇談会の機会を通して保護者への啓発も図る。
・休み時間に外遊びを促したり、係活動などを活用してみんなで外遊びをする機会をもつ。
・担任などの教職員との個人面談を通して、子どもの心の状態を把握し、ケアをする。

下半期
・子ども自らが考え行動するという主体性が発揮できるような方法を考える。
・運動委員会の活動を中心に、ラジオ体操週間、縄跳び週間や長縄週間など、子どもたちが自主的に体を動かす時間や友達と体を動かす楽しさを感じる機会をつくる。
・指導者が意識して、衛生や運動、食に関する指導を日常的にしていく。手紙や授業参観、懇談会の機会を通して保護者への啓発も図る。
・休み時間に外遊びを促したり、係活動などを活用してみんなで外遊びをする機会をもつ。
・担任などの教職員との個人面談を通して、子どもの心の状態を把握し、ケアをする。
・冬場は、水が冷たく手洗いがいい加減になる傾向があるので、指導者が意識して促す。

横浜市立 朝比奈小学校　　令和5年度

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

あいがいっぱい朝比奈小　　～　ふれあい　学びあい　助けあい　～
○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知)
○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳)
○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。(体)
○友だちや地域の人と力を合わせ、朝比奈を大切にする子を育てます。(公)
○コミュニケーションや情報処理の力を高め、課題解決ができる子を育てます。(開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	具体化した資質・能力
＜主体的に課題に向き合い解決する力＞ ＜より豊かな表現力＞ ＜自他を認める力＞	

中期取組目標

○リーダー・イン・ミーの考え方を中心に置き、教職員が同じ方向を向いて教育活動を進め、生き生きとした学校文化を築きます。
・子どもたちが自分の行動に責任をもち、役割を果たすことにより自己肯定感を高められるようにします。
・自ら立てた目標を振り返ることにより、自分の成長を確かめたり次への目標を立てたりする振り返りの機会を確保します。
・自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにします。
・学校をよくするために自分ができることを探し、リーダーシップを発揮するリーダーシップ・スキルを高めます。
・教職員自らが「7つの習慣」に基づいた考え方をすることにより、生き生きとした活気のある安心できる学校環境をつくります。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	b2
担当　豊かな心部会	

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	
下半期	

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
個に応じた指導	b1
担当　学力向上部会	

学力向上に関わる本校の状況	今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	
下半期	

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	b3
担当　健やかな体部会	

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	
下半期	

横浜市立 朝比奈小学校　　令和6年度

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

あいがいっぱい朝比奈小　　～　ふれあい　学びあい　助けあい　～
○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知)
○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳)
○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。(体)
○友だちや地域の人と力を合わせ、朝比奈を大切にする子を育てます。(公)
○コミュニケーションや情報処理の力を高め、課題解決ができる子を育てます。(開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	具体化した資質・能力
＜主体的に課題に向き合い解決する力＞ ＜より豊かな表現力＞ ＜自他を認める力＞	

中期取組目標

○リーダー・イン・ミーの考え方を中心に置き、教職員が同じ方向を向いて教育活動を進め、生き生きとした学校文化を築きます。
・子どもたちが自分の行動に責任をもち、役割を果たすことにより自己肯定感を高められるようにします。
・自ら立てた目標を振り返ることにより、自分の成長を確かめたり次への目標を立てたりする振り返りの機会を確保します。
・自ら課題を見出したり解決しようとしたりし、学習に主体的に取り組めるようにします。
・学校をよくするために自分ができることを探し、リーダーシップを発揮するリーダーシップ・スキルを高めます。
・教職員自らが「7つの習慣」に基づいた考え方をすることにより、生き生きとした活気のある安心できる学校環境をつくります。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	c2
担当　豊かな心部会	

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	
下半期	

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
個に応じた指導	c1
担当　学力向上部会	

学力向上に関わる本校の状況	今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	
下半期	

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	c3
担当　健やかな体部会	

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	
下半期	

横浜市立 朝比奈小学校　　学校評価報告書　　（ 令和 4 ～ 6 年度 ）

重点取組分野	令和 4 年度 具体的取組	自己評価結果	総括
個に応じた指導	①特別支援教室を個の習熟度に合わせた学習支援だけでなく、ソーシャルスキルトレーニング、児童理解と児童支援、通級教室や特総センターなど、他機関との連携するためのスタートの場として全職員で運営していく。②ICT機器を活用し学習の見える化を図る。③家庭学習（自主学習）を個で決定し主体的に取り組む。		
人権教育	①「あおぞら活動」（たてわり活動）等異学年交流を通して、児童が互いの個性を認め、思いやる心や自他との関わり方について学ぶ。②リーダー・イン・ミーや道徳の授業、人権週間の取組等を通して、児童の人権意識を高める。また、人権教育授業参観などを利用して保護者との連携を図る。		
健康教育	①健康会議や保健委員会の活動を通して、正しい手洗い、うがいの周知と実践の習慣化を目指す。 ②縄跳び週間や長縄集会などを通して、身体を動かすことの習慣化を図る。		
自分づくり教育（キャリア教育）	①リーダー・イン・ミーの考え方を生かして、自分の行動を自分で決め、責任を果たしていく中で、めあてや目的に沿ってふりかえりをする機会を確保し、自分の成長を見つめられるようにする。 ②自分ができることを探し、周りの人と協力して問題解決する豊かな体験活動を地域や社会との関わりを大切にしながら行う。		
いじめへの対応	①児童アンケートを毎月実施し、いじめの早期発見、早期対応等を心がけ、いじめ防止に努める。②「学校いじめ防止対策委員会」を毎月開催し、情報共有し、支援のスキルを高める。また、いじめの疑いがある段階で、直ちに「学校いじめ防止対策委員会」を開催し、情報収集と指導を行う。		
人材育成・組織運営(働き方)	①主幹教諭を中心に経験のある教員の指導・助言のもと、実技研修・授業検討等実践的なメンター研修を進め、経験の浅い教職員の資質向上に努める。②教員の授業力向上を目指し、キャリアステージに応じた研修会・研究会への積極的参加をすすめる。③会議・行事の見直しをすすめ、週1日の定時退勤日を確立する。		
特別支援教育	①TTや取り出しで児童の指導をする中で、児童理解を深め、全職員で共有し指導にあたる。 ②特別支援教室を設置し、安心して過ごせる場所として子どもの悩みや願いを児童支援専任を中心に聞くようにする。		
地域学校協働活動	①教育ボランティアの協力を得ながら、朝読書、読み聞かせ、お話会や学級文庫の宅配などを通して、読書活動を一層推進し、児童の豊かな感性を育む。②地域コーディネーターを中心とし学習支援の場を設定したり、校内の環境整備を行ったりして、地域とともに子どもたちの育成を図っていく。		
a14	a24		
a15	a25		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

重点取組分野	令和 5 年度 具体的取組	自己評価結果	総括
個に応じた指導	b1		
人権教育	b2		
健康教育	b3		
自分づくり教育（キャリア教育）	b4		
いじめへの対応	b5		
人材育成・組織運営(働き方)	b6		
特別支援教育	b7		
地域学校協働活動	b8		
a14	b9		
a15	b10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

重点取組分野	令和 6 年度 具体的取組	自己評価結果	総括
個に応じた指導	c1		
人権教育	c2		
健康教育	c3		
自分づくり教育（キャリア教育）	c4		
いじめへの対応	c5		
人材育成・組織運営(働き方)	c6		
特別支援教育	c7		
地域学校協働活動	c8		
a14	c9		
a15	c10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

横浜市立 〇〇小学校　　令和　4　－　6　年度版　中期学校経営方針　（　令和　〇　年度修正）

学校教育目標	「豊かな関わりの中で、共に高め合う〇〇っ子」 〇進んで学習に取り組み、自分の考えを深め、豊かに表現できる力を育てます。（知） 〇感謝の気持ちや思いやりの心をもって、自他を大切にする態度を育てます。（徳） 〇規則正しい生活を心がけ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。（体） 〇まちとの関わりを大切にし、地域や社会のために自ら実践する力を育てます。（公） 〇人とのコミュニケーションを通して、広い視野で共に生きていく力を育てます。（開）

学校概要					
創立　118　周年	学校長　□□　□□	副校長　△△　△△	2　学期制	一般学級：18	個別支援学級：3
児童生徒数：　600　人	主な関係校：　〇〇中学校・□□中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
＜言語能力＞ ＜自分づくりに関する力＞

〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〇〇中学校 〇〇小学校 △△小学校	自分の思いをもち、豊かに表現し、他者と学び合う子ども ・「言語活動の充実」をブロック授業研究会のテーマとして設定し、各教科等においてテーマを意識した授業を展開する。 ・交流日には、自分の役割を意識して活動したり、交流後に振り返ったりすることで自分の成長を感じられるようにする。

中期取組目標
〇子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、対話的な学びを充実させます。 ・1年目は特に学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・2年目は子どもの表現を大切にしながら伝え合う力を育てます。 ・3年目は伝え合うことで自分の考えを深めることができるようにします。 〇まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、子どもが主体的に学習を進められるようにする。②重点研究テーマを「自分の思いをもち、関わり合う子どもの育成」とし、生活科、総合的な学習の時間を中心に、相手や目的を意識して言葉を選択しながら人と豊かに関わる力を育成する。
担当	学習指導部	
徳	道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。②道徳科年間指導計画に沿った、全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施する。③自分の思いを書いたり、話したりする活動の中で自分自身を見つめたり、なりたい自分をイメージしたりすることができるようにする。
担当	道徳部	
体	健康教育	①家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食育や歯科保健教育を実施する。②定期的に「なわとび集会」を行うなど、楽しく体を動かす機会を設定する。
担当	体育健康部	
公開	自分づくり教育（キャリア教育）	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	学習指導部	
いじめへの対応		①日常に潜むいじめについて積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②月1回以上定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。③年3回のいじめ防止研修を実施して、全職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年3回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。②週に1回、教務会及び学年主任会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
担当	教務部・メンターチーム	
地域学校協働活動		①地域の方々による下校時の見守り活動について、学校運営協議会で協議をして、安全対策の充実を図る。②〇〇川クリーンアップ作戦、地域防災づくり等に対して地域学校協働本部が協力できることを考え、児童と職員が積極的に参加できるようにする。
担当	教育課題部	
特別支援教育		①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、合同打合せを積極的に行い、学年通信と個別支援学級通信の連動を図る。②個別支援学級の環境整備を全職員で行い、ユニバーサルデザインについて理解する。③障害を理由に、授業に参加できない状況にないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく、授業に参加できるように取り組む。
担当	特別支援委員会	
児童生徒指導		①「学校のきまり」が、現在の社会情勢に沿うものであるか検討し、「学習スタンダード」と「生活スタンダード」に分け、分かりやすい表現に直すとともに、子どもたちの考えたスタンダードを取り入れる。②職員会議内に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。③「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。④不登校児童、家庭へのこまめな連絡をし、学習の支援の在り方を探り、学びが継続できるようにする。
担当	児童指導部	
多文化共生		①外国の言語や習慣、食べ物等を紹介することで、全校児童の多文化共生の取組を推進する。②外国につながる児童の支援のため、国際交流ラウンジやボランティア団体などの関係機関との連携を図る。③外国につながる児童一人ひとりの状況を的確に見取り、「特別の教育課程」を編成し、実施・評価・改善をしながら、様々な角度から日本語能力の向上を支援する。
担当	国際教室担当	

横浜市立 ○○小学校　　令和4年度

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「豊かな関わりの中で、共に高め合う○○っ子」
○進んで学習に取り組み、自分の考えを深め、豊かに表現できる力を育てます。(知)
○感謝の気持ちや思いやりの心をもって、自他を大切にする態度を育てます。(徳)
○規則正しい生活を心がけ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体)
○まちとの関わりを大切にし、地域や社会のために自ら実践する力を育てます。(公)
○人とのコミュニケーションを通して、広い視野で共に生きていく力を育てます。(開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	具体化した資質・能力
＜言語能力＞ ＜自分づくりに関する力＞	感じたことを言葉にする力　伝える内容を明確にする力 主体性・積極性　社会生活の中での協調性

中期取組目標

○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、対話的な学びを充実させます。
・1年目は特に学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。
・2年目は子どもの表現を大切にしながら伝え合う力を育てます。
・3年目は伝え合うことで自分の考えを深めることができるようにします。
○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。
・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。

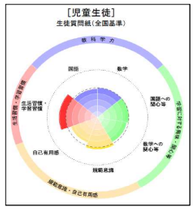
学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、子どもが主体的に学習を進められるようにする。②重点研究テーマを「自分の思いをもち、関わり合う子どもの育成」とし、生活科、総合的な学習の時間を中心に、相手や目的を意識して言葉を選択しながら人と豊かに関わる力を育成する。
担当：学習指導部	

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童生徒の実態
※横浜市学力・学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果に基づく、児童生徒の学力の状況
※日々の学習評価に基づく、児童生徒の学力の状況
※実態把握に関わる客観的なデータを可能な限り貼付する

(横浜市学力・学習状況調査　生活・学習意識調査
全国学力・学習状況調査　児童生徒質問紙
学校独自のアンケート等)



(2)これまでの学校の取組状況
※学力向上に関わる学校の取組の状況　など

今年度の目標

※今年度の学力向上に関わる重点目標
※具体化した資質・能力との関連からの目標　など

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	※育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て ※学年や教科等ごとの具体的な手立て ※上半期の具体的な手立て　など
下半期	※育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て ※学年や教科等ごとの具体的な手立て ※下半期の具体的な手立て　など

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。②道徳科年間指導計画に沿った、全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施する。③自分の思いを書いたり、話したりする活動の中で自分自身を見つめたり、なりたい自分をイメージしたりすることができるようにする。
担当：道徳部	

豊かな心に関わる本校の状況

(1)豊かな心に関わる児童生徒の実態
※横浜市学力・学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果に基づく、児童生徒の状況
※日々の学習評価に基づく、児童生徒の状況
※実態把握に関わる客観的なデータを可能な限り貼付する
(横浜市学力・学習状況調査　生活・学習意識調査
全国学力・学習状況調査　児童生徒質問紙
Y-Pアセスメント
学校独自のアンケート等)

(2)これまでの学校の取組状況
※豊かな心の育成に関わる学校の取組の状況　など

今年度の目標

※今年度の豊かな心に関わる重点目標
※具体化した資質・能力との関連からの目標　など

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	※道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育に関する具体的な手立て(必須) ※育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て ※学年や教科等ごとの具体的な手立て ※上半期の具体的な手立て　など
下半期	※道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育に関する具体的な手立て(必須) ※育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て ※学年や教科等ごとの具体的な手立て ※下半期の具体的な手立て　など

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食育や歯科保健教育を実施する。②定期的に「なわとび集会」を行うなど、楽しく体を動かす機会を設定する。
担当：体育健康部	

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる児童生徒の実態
※体力・運動能力調査や横浜市学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の結果に基づく、児童生徒の状況
※日々の学習評価に基づく、児童生徒の状況
※実態把握に関わる客観的なデータを可能な限り貼付する
(横浜市学力・学習状況調査　生活・学習意識調査
横浜市体力・運動能力調査
全国学力・学習状況調査　児童生徒質問紙
Y-Pアセスメント
学校独自のアンケート等)

(2)これまでの学校の取組状況
※健やかな体に関わる学校の取組の状況　など

今年度の目標

※今年度の健やかな体に関わる重点目標
※具体化した資質・能力との関連からの目標　など

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	※育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て ※学年や教科等ごとの具体的な手立て ※上半期の具体的な手立て　など
下半期	※育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て ※学年や教科等ごとの具体的な手立て ※下半期の具体的な手立て　など

横浜市立 ○○小学校　学校評価報告書　（ 令和 4 ～ 6 年度 ）

重点取組分野	令和 4 年度 具体的取組	自己評価結果	総括
授業改善	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確した授業づくりをする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、子どもが主体的に学習を進められるようにする。②重点研究テーマを「自分の思いをもち、関わり合う子どもの育成」とし、生活科、総合的な学習の時間を中心に、相手や目的を意識して言葉を選択しながら人と豊かに関わる力を育成する。	①T.Tに関してはまだ5年生のみの実施のため、4.5.6年生に拡大したい。②生活科、総合的な学習の時間において、全学年で問題を発見し課題を解決する学習を展開することができた。	B
道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。②道徳科年間指導計画に沿った、全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施する。③自分の思いを書いたり、話したりする活動の中で自分自身を見つめたり、なりたい自分をイメージしたりすることができるようにする。	①5月に道徳研修会、11月に道徳科授業研究会を実施し、教育活動全体に係る道徳教育の視点を共有した。②授業参観、土曜参観で各学級年一回以上の道徳科の授業公開を行った。。	A
健康教育	①家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食育や歯科保健教育を実施する。②定期的に「なわとび集会」を行うなど、楽しく体を動かす機会を設定する。	①「生活振り返りカード」の活動を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が「よくできた・ほぼできた」と回答した児童が9割を超えた。②食育全体計画に基づいた指導を栄養教諭と連携しながら行うことができた。むし歯予防はPTAと連携した活動が検討されている。	B
自分づくり教育（キャリア教育）	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。	①第3学年では、地域の商店街等の協力による体験的な活動を行い、ほとんどの児童が「認められる喜びを感じた」と振り返りに書いていた。②「自分づくりパスポート」に子ども自身の振り返りを蓄積し、年度末に見直して自己の成長を自覚できるようにした。	B
いじめへの対応	①日常に潜むいじめについて積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②月1回以上定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。③年3回のいじめ防止研修を実施して、全職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年3回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。	①②いじめ防止対策委員会の定例会で、各学年から進捗状況報告を行い、認知した案件は全て3か月以内に解消した。③夏休み中の研修に指導主事を招きブロック研修を行った。各学年の具体事例を基にしたケーススタディを一つずつすることで、学校全体の対応バリエーションが増えた。	A
人材育成・組織運営(働き方)	①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。②週に1回、教務会及び学年主任会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。	①校内のミドルリーダーが講師を務めるメンター研を毎月1回開催した。毎回5名以上が参加できた。②教務会と学年主任会を週1回の定例会とした。そこで共有した情報を各チーム内に伝達する仕組みが整った。③ICT活用研修会を行い、操作方法、効果的な活用事例の共有化を図った。	A
地域学校協働活動	①地域の方々による下校時の見守り活動について、学校運営協議会で協議をして、安全対策の充実を図る。②○○川クリーンアップ作戦について、児童と協力しながら広報活動を行うことで昨年度よりも参加した児童が20%増えた。	①学校運営協議会で、下校時の見守り活動地点の見直しをした。②○○川クリーンアップ作戦について、児童と協力しながら広報活動を行うことで昨年度よりも参加した児童が20%増えた。	A
特別支援教育	①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、合同打合せを積極的に行い、学年通信と個別支援学級通信の連動を図る。②個別支援学級の環境整備を全職員で行い、ユニバーサルデザインについて理解する。③障害を理由に、授業に参加できない状況にないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく、授業に参加できるように取り組む。	①各学年の打ち合わせに、週替わりで個別支援学級担任が参加し、情報共有が密になった。②夏季休業中に個別支援学級の環境整備を職員作業で行い、環境整備を行う日を半日設け、ユニバーサルデザイン教育に配慮した環境整備ついて学び各教室に反映させることができた。	B
児童生徒指導	①「学校のきまり」が、現在の社会情勢に沿うものであるか検討し、「学習スタンダード」と「生活スタンダード」に分け、分かりやすい表現に直すとともに、子どもたちの考えたスタンダードを取り入れる。②職員会議内に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。③「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。④不登校児童、家庭へのこまめな連絡をし、学習の支援の在り方を探り、学びが継続できるようにする。	①「学校のきまり」を全職員で見直した。児童代表委員会が中心となり、児童自らが学校生活上の課題を考え、スタンダードの見直しに取り組んだ。②職員会議内の児童理解の内容は定例化した。児童の状況は全職員で共通理解し、指導に当たった。	B
多文化共生	①外国の言語や習慣、食べ物等を紹介することで、全校児童の多文化共生の取組を推進する。②外国につながる児童の支援のため、国際交流ラウンジやボランティア団体などの関係機関との連携を図る。③外国につながる児童一人ひとりの状況を的確に見取り、「特別の教育課程」を編成し、実施・評価・改善をしながら、様々な角度から日本語能力の向上を支援する。	①外国の文化を紹介する集会を年2回開き、多文化に対する理解を深めた。②国際交流ラウンジと連携を取りながら、外国につながる児童の支援を充実させた。③「日本語指導カリキュラム」を作成し、日本語指導を充実させた。	B
ブロック内評価後の気付き	「子ども像」を共有したことにより、子どもの成長を同じ視点から捉えることができた。授業研では「言語活動の充実」というテーマを設定したことで、視点を絞った意見交換を行うことができた。教務主任会では、各行事の確認の他に各校のスタンダードがそろっていないことが話題となった。来年度に向けて検討していくことが確認された。会議会場をもちまわりにすることで、各学校の状況を把握することができ、相互評価への視点をもつこともできた。合唱コンクールへの6年生の参加が実現できたことがよかった。今後も継続していきたい。		
学校関係者評価	地域行事への児童の参加が増えたことは大変よかった。学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。防災訓練を学校の避難訓練と一緒に行ったこともよかった。防災意識の向上は学校と家庭、地域の協力が不可欠である。今後も充実させていきたい。栄養教諭が全学年で行った食育の授業はよかった。この内容は家庭に伝えていくことが必要ではないだろうか。PTAとして協力できることはしていきたいと考える。学校が行っているよい取組を、もっと発信していく必要があるのではないだろうか。		
中期取組目標振り返り	「まちとともに歩む学校づくり」をテーマに掲げながら、日々の授業、学校行事、地域行事が連携して進み始めることができた。創立120周年に向けて着実に実績を積み上げていきたい。基礎・基本の定着については今後も課題であり、引き続き取り組んでいきたい。問題解決学習の充実については、重点研との連動を図り、まちの「人」と一体となった単元を立ち上げていきたい。		

重点取組分野	令和 5 年度 具体的取組
授業改善	①教育課程全体で育成を目指す資質・能力のつながりを意識した授業づくりをする。そのために各学年の年間計画表などを使って親和性の高い単元とそのつながりを明確にする。②重点研究テーマを「自分の思いをもち、関わり合う子どもの育成」とし、国語科を中心に相手や目的を意識して言葉を選択・吟味しながら人と豊かに関わる力を育成する。
道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。②道徳科県間指導計画に沿った、全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施する。③自分の思いを書いたり、話したりする活動の中で自分自身を見つめたり、なりたい自分をイメージしたりすることができるようにする。
健康教育	①家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食育や歯科保健教育を実施する。②定期的に「なわとび集会」を行うなど、楽しく体を動かす機会を設定する。
自分づくり教育（キャリア教育）	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
いじめへの対応	①日常に潜むいじめについて積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。②月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。③年3回のいじめ防止研修を実施して、全職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年3回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
人材育成・組織運営(働き方)	①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。②週に1回、教務会及び学年主任会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
地域学校協働活動	①地域の方々による下校時の見守り活動について、学校運営協議会で協議をして、安全対策の充実を図る。②○○川クリーンアップ作戦、地域防災づくり等に対して地域学校協働本部が協力できることを考え、児童と職員が積極的に参加できるようにする。
特別支援教育	①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、合同打合せを積極的に行い、学年通信と個別支援学級通信の連動を図る。②個別支援学級の環境整備を全職員で行い、ユニバーサルデザインについて理解する。③障害を理由に、授業に参加できない状況にないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく、授業に参加できるように取り組む。
児童生徒指導	①「学校のきまり」が、現在の社会情勢に沿うものであるか検討し、「学習スタンダード」と「生活スタンダード」に分け、分かりやすい表現に直すとともに、子どもたちの考えたスタンダードを取り入れる。②職員会議内に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。③「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。④不登校児童、家庭へのこまめな連絡をし、学習の支援の在り方を探り、学びが継続できるようにする。
多文化共生	①外国の言語や習慣、食べ物等を紹介することで、全校児童の多文化共生の取組を推進する。②外国につながる児童の支援のため、国際交流ラウンジやボランティア団体などの関係機関との連携を図る。③外国につながる児童一人ひとりの状況を的確に見取り、「特別の教育課程」を編成し、実施・評価・改善をしながら、様々な角度から日本語能力の向上を支援する。
ブロック内評価後の気付き	
学校関係者評価	
中期取組目標振り返り	

年間指導計画

令和4年度　　第１学年　　学年暦

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	時間数
行事	入学式 避難訓練　交通安全教室 発育測定　視力　聴力 地域訪問　個人面談 懇談会	運動会　避難訓練 心電図検診 耳鼻科 PTA総会　授業参観	児童引き取り下校訓練 内科　歯科　眼科 オープンスクール ホタルを見る夕べ 開港記念日	不審者対応訓練 懇談会　　夏休み (7.21～8.26)	除草活動 大掃除 夏休み ラジオ体操	防災総合訓練 発育測定 視力 個人面談 夏休み作品展 創立記念日	前期終業式 遠足 個人面談	後期始業式 土曜参観 群読発表会 土曜授業参観 読書週間	避難訓練 人権週間 人権授業参観・懇談会 冬休み (12.26～1.6)	大掃除 発育測定 避難訓練 長縄集会 オープンスクール 書写展	地域の方に感謝する週間 授業参観・懇談会 横浜市学力学習状況調査 学校プラン報告会	修了式 大掃除 個人面談 地区班編制 春休み(3.26～)	39.7
児童会活動	1年生を迎える会 あおぞらタイム	 あおぞらタイム	あおぞら交流→ あおぞらタイム	 	 	 あおぞらタイム	 	あおぞらタイム　あおぞらタイム	あおぞらタイム	あおぞらタイム	朝比奈小感謝会 あおぞらタイム	卒業生を送る会 あおぞらタイム・交歓給食	12.3
生活	あたらしい　いちねんせい① なかよし　いっぱい　だいさくせん⑰→ さかせたいな　わたしのはな⑮→ なつだ　とびだそう⑨→ いきものと　なかよし⑨→						あきと　いっしょに⑯→	みんなの　にこにこ　大さくせん⑩ ふゆと　ともだち⑩			もうすぐ　みんな　2年生⑭→		102
国語	いいてんき② おはなしたのしいな② あつまってはなそう① えんぴつとなかよし① どうぞよろしく③ なんていおうかな② こんなものみつけたよ② うたにあわせてあいうえお②	こえにだしてよもう① ききたいな、ともだちのはなし② たのしいな、ことばあそび② はなのみち⑥ としょかんへいこう② かきとかぎ② ぶんをつくろう④ ねことねっこ②	わけをはなそう② おばさんとおばあさん② くちばし⑧ おもちやとおもちゃ② あいうえおであそぼう③ おおきくなった④	おおきなかぶ⑥ はをへをつかおう③ すきなものなあに⑦ おむすびころりん⑤ としょかんとなかよし② こんなことがあったよ⑥		こえにだしてよもう② ききたいな、ともだちのはなし② たのしいな、ことばあそび② やくそく⑧ かたかなをみつけよう② うみのかくれんぼ⑧ かずとかんじ④	くじらぐも⑧ しらせたいな、見せたいな⑩ まちがいをなおそう② ことばをたのしもう② かん字のはなし⑥	じどう車くらべ⑦ じどう車ずかんをつくろう⑤ かたかなをかこう② ともだちのこと、しらせよう⑥ むかしばなしをよもう⑧	おかゆのおなべ ものの名まえ わらしべちょうじゃ① 日づけとよう日③ てがみでしらせよう⑥	こえに出してよもう② ききたいな、ともだちのはなし② たのしいな、ことばあそび② たぬきの糸車⑧ かたかなのかたち③ ことばを見つけよう⑥	どうぶつの赤ちゃん⑩ これは、なんでしょう④ ずうっとずっと、大すきだよ⑧	にているかん字③ いいこといっぱい、一年生⑩	136
算数	くらべたことがあるかな おおいのはどちらかな① なかまづくりとかず⑭	なんばんめ② どのようにかわるかな① しあげよう① かずをさがそう	あわせていくつ　ふえるといくつ⑧ のこりはいくつ　ちがいはいくつ⑨	どちらがながい⑤		わかりやすくせいりしよう② 10よりおおきいかず⑨ なんじなんじはん① 3つのかずのけいさん③	どちらがおおい④ たしざん⑭	ひきざん⑩ かたちあそび④	どんなけいさんになるのかな② けいさんびらみっど②	おおきいかず⑭	どちらがひろい① なんじなんぷん② ビルをつくろう① たしざんとひきざん⑤	かたちづくり⑤ 1ねんのふくしゅう④	136
音楽	**導入⑦** 「ちょうちょう」 「ゴーアンドストップ」 「かもつれっしゃ」 「サンダーバード」ほか	「ひらいたひらいた」 「わらべうた」 「かたつむり」	**リズムとなかよし⑥** 「ぶんぶんぶん」 「しろくまのジェンカ」 「たんとうんでリズムをつくろう」 「わくわくキッチン」	**おとのスケッチ②** 「ことばのリズムであそぼう」 「わくわくキッチン」 **にっぽんのうた** **みんなのうた②** 「うみ」「たなばたさま」		**どれみとなかよし④** 「どれみのうた」 「どれみのキャンディー」	**こんにちは** **けんばんハーモニカ②** 「ためしてみよう」ほか 「どこどこ」 「まほうのど」 「あのね」 「どんぐり　ぐりぐり」	**もりあがりをかんじて②** 「ひのまる」 **いいおとみつけて** 「いろいろなおとをみつけよう」 「おとをききあって」 「こうしんきょく」	**おとのスケッチ③** 「ねこのなきごえであそぼう」 「2ひきのねこのゆかいなうた」 **にっぽんのうたみんなのうた** 「たきび」	**きょくのながれ③** 「おどるこねこ」 **めざせがっきめいじん** 「すずめがちゅん」 **っぽんのうた　みんなのうた** 「おしょうがつ」	**うたであねっこ④** 「もりのくまさん」 「フルーツケーキ」 **みんなであわせて③** 「おもちゃのチャチャチャ」 「おもちゃのへいたい」	**おとのスケッチ④** 「ほしのおんがくをつくろう」 「きらきらぼし」 **校歌・きみがよ②** **にっぽんのうた　みんなのうた** 「うれしいひなまつり」	68
図工	「すきな　かたちや いろ　なあに」② 「かきたい　もの　なあに」②	「ちょきちょき かざり」④ 「すなや　つちと　なかよし」②	「ひもひも　ねんど」② 「みて　みて　あのね」④	「おって　たてたら」④ 「ぺったん　コロコロ」②		「ごちそう　パーティー はじめよう！」② 「ひらひら　ゆれて」④	「いろいろな　かたちの かみから」②	「カラフル　いろみず」② 「おはなしから　うまれたよ」④ 「かざって　なに　いれよう」④	「でこぼこ　はっけん！」④ 「はこで　つくったよ」②	「のって　みたいな いきたいな」④ 「ならべて　ならべて」②	「かみざら　コロコロ」④ 「すきまちゃんの すきな　すきま」② 「いっしょに　おさんぽ」②	「にょきにょき　とびだせ」④ 「うつした　かたちから」④	68
体育	体つくり　体ほぐしの運動遊び①　多様な動きを作る運動遊び⑩ 器械　固定遊具②　鉄棒運動⑤　マット運動⑥　とび箱運動⑥　短なわ⑤　長なわ⑤ 陸上　かけっこ・リレーあそび⑤　かけっこ・リレーあそび⑥　とびっこあそび⑥ 水泳　水あそび⑩ ボール　ボールゲーム(足)⑧　ボールゲーム(手)⑧　鬼遊び⑦ 表現　表現遊び⑥　リズム遊び⑥												102
特別の教科道徳	〔楽しい学校〕（C　よりよい学校生活）1 ようこそいらっしゃいせい 〔時間のきまり〕（A　節度、節制） 2　じゅぎょうが　はじまりますよ	〔いつも明るく〕（B　礼儀） 3　あいさつ 〔お世話になっている人たち〕（B　感謝） 4　がっこうにはね 〔自立した生活〕（A　節度、節制） 5　きを　つけて	〔親切な心で〕（B　親切、思いやり） 6　はしの　うえの　おおかみ 〔命の温かさ〕（D　生命の尊さ） 7　ハムスターの　あかちゃん 〔みんなに同じように〕（C　公正，公平，社会正義）8　みんな　いっしょ 〔頑張る心〕（A　希望と勇気，努力と強い意志）9　うかんだ　うかんだ	〔植物を育てる〕（D　自然愛護） 10 ぼくの　あさがお 〔すがすがしい心〕（D　感動，畏敬の念） 11 にじが　でた		〔感謝の気持ちを伝える〕（B　感謝） 12 みんな　だれかに 〔自分の仕事〕（C　勤労，公共の精神） 13 ぼくの　しごと 〔生きていることのすばらしさ〕（D　生命の尊さ）14 どきどき　どっきんぐ 〔ほかの国の友達〕（C　国際理解，国際親善）15 ぼくと　シャオミン	〔勇気を出して〕（A　善悪の判断，自律，自由と責任）16 ダメ 〔友達っていいな〕（B　友情，信頼）17 ころはっぱ 〔わがままな行い〕（A　節度，節制）18 かぼちゃの　つる 〔最後まで粘り強く〕（A　希望と勇気，努力と強い意志）19 こぐまの　らっぱ	〔決まりの大切さ〕（C　規則の尊重）20 よりみち 〔家族の人の願い〕（C　家族愛，家庭生活の充実）21 かやねずみの　おかあさん 〔いつも正直に〕（A　正直，誠実）22 どんぐり 〔私たちの国や町〕（C　伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度）23 みつけて　みよう	〔優しい気持ち〕（B　親切，思いやり）24 はなばあちゃんが　わらった 〔挨拶の心〕（B　礼儀）25 おうだんほどうで 〔うそやごまかしをしないで〕（A　正直，誠実）情報モラル　いたずらがき	〔決まりを守って使う〕（C　規則の尊重） 26 みんなの　ボール 〔自分のよさ〕（A　個性の伸長） 27 ええところ 〔よいこと，悪いことを区別して〕（A　善悪の判断，自律，自由と責任）28 それって，おかしいよ	〔友達を思う心〕（B　友情，信頼） 29 二わの　ことり 〔思いやりの心〕（B　親切，思いやり）30 ぼくの　はな　さいたけど 〔たった一つの命〕（D　生命の尊さ）31 いのちが　あって　よかった 〔正直で素直な心〕（A　正直，誠実）32 あのね	〔生き物に優しい気持ちで〕（D　自然愛護）33 ぼくの　しろくま 〔楽しい学級〕（C　よりよい学校生活，集団生活の充実） 34 もう　すぐ　こねんせい	34
学級活動	みんなよろしく じこしょうかいのかいを開こう 学校の行き帰り たのしいがっこう たのしいがくしゅう	がっきゅうもくひょうを決めよう② 運動会を楽しもう たのしいきゅうしょく	かかりをきめよう② じぶんのもちものをたいせつに おそうじがんばろう	クラス集会をひらこう② はみがきじょうずにできるかな はじめてのなつやすみ		かかりのふりかえりをしよう たのしくあそぼう 花だんをきれいにしよう	こうきのかかりを決めよう 2年生となかよくなろう こんなことができるようになったよ もっとできるようになりたいな	6年生となかよし集会をひらこう みんななかよし 本をたくさんよもう	クラス集会をひらこう② なんでも食べようげんきな体	ようちえんじいらっしゃいの会を ひらこう② しょっきをきれいにかたづけよう ようちえんじを楽しませよう	6年生にかんしゃのきもちをつたえよう せいけつなからだ	クラス集会を開こう あたらしいい1年生をむかえよう②	34
外国語活動	はじめてであったひとにあいさつをしよう！Greetings③		これなあに？Animals　What's this?③		みじかなものをえいごでいってみよう　Parts of the body③		わたしのすきなものWhat do you like? Animals/food/fruit/etc.③		じぶんのすきなものをつたえてみよう　Story/I like～③		いくつかな？　Numbers②		20

第２学年　年間活動計画　　　　　　　　　　　　　　令和4年度　横浜市立朝比奈小学校

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総時数
行事	始業式着任式0.7 入学式0.7 避難訓練0.3 歯科巡回指導0．7 計測 視力 1.0	運動会6 運動会6 眼科1 内科0.3 尿検査	引き取り下校訓練1 眼科歯科1 避難訓練0．3	大掃除1	除草作業1	防災総合訓練1 遠足	前期終業式 0.7 後期始業式 0.7 計測視力1．3	地域清掃2 群読発表会２	避難訓練0．3 大掃除1	避難訓練0．3 計測0．7		地区班編制1 修了式0．7 大掃除1 離任式1	34.7
	地域訪問 授業参観・学年学級懇談会	プラン説明会	開港記念日 ホタルを見る夕べ 土曜参観	夏休み水泳教室		個人面談 創立記念日	学校をひらく週間			書写展	授業参観・懇談会 長縄大会 感謝の会	個人面談	
児童会	あおぞらタイム 1年生を迎える会		あおぞら交流→				あおぞらタイム・交歓給食				あおぞらタイム	あおぞらタイム・交歓給食 卒業生を送る会	14.3
生活	さあ、きょうから2年生 （1時間）→ まちを たんけん 大はっけん⑬→ ぐんぐんそだておいしいやさい⑯→	春のホタル池	やさいをそだてよう(32時間)(キャリア教育) ぐんぐんそだて わたしのやさい⑮→ 小さな 友だち⑫(キャリア教育)→ ヤゴとなかよし	夏のまちにとびだそう	虫となかよし	秋のまちにとびだそう あそんで ためして くふうして⑰→ 秋のホタル池②	冬やさいのそだち方をしらべよう	やきいもパーティーをしよう	冬のまちにとびだそう		広がれ わたし⑳→ （キャリア教育） 生まれてから今までのことをしらべよう		105
国語	じゅんばんに ならぼう① つづけてみよう ふきのとう⑨ 図書館たんけん① 春がいっぱい② きょうの できごと④ ともだちを さがそう④	いなばの白うさぎ② たんぽぽのちえ⑩ かんさつ名人になろう⑩ 同じぶぶんをもつかん	うれしいことば② かん字のひろば② スイミー⑨ かたかなのひろば② メモをとるとき③ かたかのひろば②	こんなもの見つけたよ⑩ あったらいいなこんなもの⑧ 夏がいっぱい② お気に入りの本をしょうかいしよう⑥ ミリーのすてきなぼうし		雨のうた② ことばでみちあんない③ かん字のひろば② ② どうぶつ園のじゅうい⑫ （キャリア教育） ことばあそびをしよう② なかまのことばとかん字②	かん字のひろば③ ② お手紙⑫ 主語と述語に気をつけよう② かん字の読み方(秋がいっぱい ②	そうだんにのってください⑧ おもちゃの作り方をせつめいしよう⑭ かたかなで書くことば② せかい一の話① かん字の広場④ ②	わたしはおねえさん⑩ （キャリア教育） お話しのさくしゃになろう⑩ 冬がいっぱい②	ねこのこ/おとのはなびら/はんたいことば② にたいみのことば、はんたいのいみ かん字の広場⑤ ② おにごっこ⑫ 本でのしらべ方 ようすをあらわすことば④	見たこと、かんじたこと⑥ たのしかったよ、二年生⑧ カンジーはかせの大はつめい ことばを楽しもう①	スーホの白い馬⑭ すてきなところをつたえよう⑫	246
書写	しせいともちかた②	画ののおわりととちゅうのかきかた② 文字の形②	にている文字② かたかなのひょう②	書きじゅん② 画の方こう②		画の長さ、画と画の間② 画のつき方・交わり方②	文字の中心②	文字の形② 原こう用紙の使い方②	年がじょうと書きぞめ②	書きぞめ② にている文字②	学しゅうしたことを生かして書こう② よこに書くとき②	学年のまとめ②	
算数	学びの とびら① わかりやすく あらわそう③ たし算のしかたを考えよう	ひき算のしかたを考えよう どんな計算になるのかな② おぼえているかな？ 長さをはかってあらわそう⑨	100より大きい数をしらべよう⑫	水のかさをはかってあらわそう おぼえているかな？ 時計を生活に生かそう② おぼえているかな？		計算のしかたをくふうしよう⑤ ひっ算のしかたをくふうしよう⑩ さんかくやしかくの形をしらべよう⑩	新しい計算を考えよう⑦ 九九ビンゴ①	九九を つくろう⑰→	おぼえているかな①	1000より大きい数をしらべよう⑪ 長い長さをはかってあらわそう⑥	図を使って考えよう⑤ 分けた大きさのあらわし方をしらべよう⑤ おぼえているかな？ はこの形をしらべよう⑤	計算ピラミッド② 2年のふくしゅう④ 新しい算数プラス	156
音楽	歌に 合わせて リズムで あそぼう 「朝のリズム」 ☆「手びょうしリレーで あそぼう」 校歌・きみがよ②	強さやはやさをかんじて⑥ 「天国と地ごく」 「小さなはたけ」 「やまびこごっこ」 ◆「かくれんぼ」 リズムやドレミとなかよし⑧ ◎「どうぶつの歌」「こいぬのビンゴ」 ☆「どうぶつラップで あそぼう」	「ぴょんぴょこロックンロール」 ☆「ことばの リズムで あそぼう」	「かえるのがっしょう」 音の スケッチ③ ☆「音の かさなりや リズムをえらんで合わせよう」		めざせ 楽き名人 「かっこう」「ドレミのトンネル」 きょくに 合った 歌い方④ 「ジェットコースター」 ◆「虫のこえ」 ◎ながうた「むしの声」	音の スケッチ② ☆どんな 音が きこえるかな いい 音 見つけて④ ◎「ゆかいな 時計」「森の たんけんたい」	にっぽんのうた みんなのうた② ◆「夕やけこやけ」 めざせ楽き名人 「こぎつね」	おまつりの音楽③ 「村まつり」 ◎「日本のたいこ」 音の スケッチ③ ☆「おまつりの音楽をつくろう」 クリスマス ソングを 歌おう② 「ジングルベル」 ◎「クリスマスソングメドレー」	きょくの ながれ ② ◎「そりすべり」	くりかえしとかさなり③ 「汽車は走る」 ◎「しゅっぽつ」 みんなで合わせて④ 「ウンパッパ」 ◎「ティニックリング」 「チャチャマンボ」 ◎「マンボナンバーファイブ」	にっぽんのうた みんなのうた① ◆「春が きた」 音の スケッチ④ ☆「みんなの音楽時計をつくろう」 ◎「ウィーンの 音楽時計」 「おしゃべり音楽時計」	70
図工	たのしいかたちやいろのせかい② おはなみスケッチ②	ひかりのプレゼント② にぎにぎねん土②	わっから へんしん④ ふしぎな たまご④	しんぶんしと なかよし②		まどから こんにちは⑥	たのしかったよ ドキドキしたよ⑥ いろの 見えかた むげん大②	音づくり フレンズ④ つないで つるして② はさみの あーと② おもいでを かたちに②	ことばの かたち④ わくわく おはなしゲーム⑥	だんボールに 入ってみると！② パタパタ ストロー⑥	ともだち ハウス④ たのしく うつして④	ともだち 見つけた！②	70
体育 体つくり	体ほぐしの運動遊び①	多様な動きを作る運動遊び⑩							短なわ⑤		長なわ⑤		105時間
体育 器械			固定遊具②	鉄棒運動⑤		マット運動⑥		とび箱運動⑥					
体育 陸上		かけっこ・リレーあそび⑤				かけっこ・リレーあそび⑥	とびっこあそび⑥						
体育 水泳				水あそび⑩									
体育 ボール								マリノスサッカーキャラバン①	ボールゲーム(足)⑧	ボールゲーム(手)⑨	鬼遊び⑧		
体育 表現		表現遊び⑥	リズム遊び⑥										
特別の教科 道徳	〔自分できちんと〕（A 節度，節制） 1 じぶんで オッケー 〔温かい優しさ〕（B 親切，思いやり） 2 くまくんの たからもの 〔学校の自慢したいところ〕（C よりよい学校生活，集団生活の充実） 3 ひかり小学校の じまんはね	〔公平な態度で〕（C 公正，公平，社会正義） 4 大すきな フルーツポンチ 〔自分も周りも明るく〕（B 礼儀） 5 いそいで いても 〔みんなのよいところ〕（A 個性の伸長） 6 ありがとう，りょうたさん	〔正しい行い〕（A 善悪の判断，自律，自由と責任） 7 わすれられない えがお 〔優しい心を持って育てる〕（D 自然愛護） 8 げんきに そだて，ミニトマト 〔家族の一員として〕（C 家族愛，家庭生活の充実） 9 だって おにいちゃんだもん 〔友達のために〕（B 友情，信頼） 10 ともだちやもんな，ぼくら	〔かけがえのない命〕（D 生命の尊さ） 11 たんじょう日 〔やりぬく心〕（A 希望と勇気，努力と強い意志） 12 さかあがり できたよ		〔自然や生き物を愛する心〕（D 自然愛護） 13 まいごに なった 赤ちゃんくじら 〔健康を守る〕（A 節度，節制） 14「かむかむメニュー」 〔世界のいろいろな国の人たちと〕（C 国際理解，国際親善） 15 ひろい せかいの たくさんの 人たちと 〔助け合う友達〕（B 友情，信頼） 16 森の ともだち	〔みんなのものを大切に〕（C 規則の尊重） 17 きいろい ベンチ 〔勇気を持って〕（A 善悪の判断，自律，自由と責任） 18 おれた ものさし 〔人に親切にする〕（B 親切，思いやり） 19 かっぱ わくわく 〔気持ちのよい挨拶〕（B 礼儀） 20「あいさつ」って いいな	〔私たちの町，私たちの国〕（C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度） 21 ながい ながい つうがくろ 〔生きる喜び〕（D 生命の尊さ） 22 ぼく 〔うそと正直〕（A 正直，誠実） 23 さるへいと 立てふだ 〔「ありがとう」の気持ち〕（B 感謝） 24 じぶんが しんごうきに	〔清らかな心〕（D 感動，畏敬の念） 25 七つの ほし 〔クラスの仕事〕（C よりよい学校生活，集団生活の充実） 26「三くみ 大すき」	〔生きることのすばらしさ〕（D 生命の尊さ 27 ゆきひょうの ライナ 〔友達への親切〕（B 親切，思いやり） 28 学きゅうえんの さつまいも 〔粘り強く頑張る〕（A 希望と勇気，努力と強い意志） 29 ぼくは 「のび太」でした～藤子・F・不二雄	〔正直な行い〕（A 正直，誠実） 30 金の おの 〔役に立てる喜び〕（C 勤労，公共の精神） 31 いま，ぼくに できる こと 〔決まりを守る〕（C 規則の尊重） 32 かくした ボール 〔美しさに感動する心〕（D 感動，畏敬の念） 33 ガラスの 中の お月さま	〔自分のわがままを見直す〕（A 節度，節制） 34 わがままな 大男 〔温かい家族〕（C 家族愛，家庭生活の充実） 35 まる子の かぞくへの しつもん	35
特別活動	こんな2年生になりたいな	学校の約束（キャリア教育） 残さず食べよう	雨の日のすごしかた	歯みがきの大切さ 楽しい夏休み		すすんであいさつ 遠足を楽しく	なかのよい友 よい姿勢	友達となかよく 本をたくさんよもう	体によいことをつづけよう	わたしのめあて 日直や当番の仕事	時間をまもろう	じょうずなおそうじの仕方 もうすぐ3年生	35
外国語活動	きもちよくあいさつしようGreetings		いくつあるかな Counting		うごきをしじしたり、ほうこうをしめしたりしよう！Directions			あいてがほしいものをわたしたり、うけとったりしようGiving and receiving			国際理解教室4時間 かいものをたのしもう！ Shopping for food		20

令和４年度　　３年　　年間活動計画　　学年テーマ

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	時間数
行事	始業式 授業参観・懇談会 保健行事 家庭訪問	開港記念式 運動会	**児童引き取り訓練** ホタルを見るタベ **開港記念日** 体力テスト 土曜参観	 個人面談 避難訓練 8月　除草活動	防災総合訓練、保健行事　前期終業式 授業参観・懇談会 遠足 創立記念日 熊野神社大祭	後期始業式 歯科巡回指導 学校を開く週間 群読発表会	人権週間 人権授業参観 地域清掃 金沢区音楽会	避難訓練	どんど焼き 校内書写展 区巡回図工展 授業参観懇談会 発育測定	市学力・学習状況調査 地域の方に感謝する週間	大掃除 地区班編制 **離任式** 修了式	37.3
児童会	あおぞらタイム・あおぞら交流 →										交歓給食	
	1年生を迎える会	運動会（大玉送り）	健康会議						長縄集会・健康会議		卒業生を送る会	14.3
横浜の時間	「あさひなのまちをたんけんしよう」		まちの公園をきれいにしよう⑤ →		花の種まきを教わろう① → 福本さんのユーカリを調べよう③	あさひなたんけんたいパート2(27)	まちの公園をきれいにしよう① → 金沢動物園でユーカリのエサやりを見学しよう③		23		横浜の時間（113時間） 総合（70）＋社会（23）＋理科（15）＋道徳（3）	総合　70 教科　43 計　113
国語	よく聞いてじこしょうかい① 「どきん」①・つづけてみよう① 「きつつきの商売」⑧ 図書館たんていだん① 漢字辞典を使おう② 漢字の広場1② 春のくらし② あさひなパワーアップ（年間） 書写学習の進め方 書くしせいと用具のあつかい方	漢字の音と訓② もっと知りたい、友だちのこと【コラム】きちんとつたえるために⑥ 漢字の広場2② 「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」【じょうほう】全体と中心⑧ いろいろな線① ほ先の向き①　筆圧①	気持ちをこめて「来てください」(漢字の広場3② 「まいごのかぎ」⑥ 俳句を楽しもう① こそあど言葉を使いこなそう② 【じょうほう】引用するときは(漢字の筆使い① 「一ニ」②「川」②　「日」②　「人」②	「仕事のくふう、見つけたよ」⑫ 【コラム】符号など 夏のくらし② はじめて知ったことを知らせよう 鳥になったきょうりゅうの話⑤	「わたしと小鳥とすずと」「夕日がせなかをおしてくる」② 「山小屋で三日間すごすなら」③ ポスターを読もう② へんとつくり② ローマ字④ 字形の整え方 筆順①　組み立て方②	「ちいちゃんのかげおくり」⑩ 修飾語を使って書こう(秋のくらし② はんで意見をまとめよう⑧ 漢字の広場4② 漢字の筆使い2 「小」②「ビル」②「式」②	「すがたをかえる豆」「食べ物のひみつを教えます」⑮ ことわざ・故事成語④ 漢字の意味② 短歌を楽しもう① 文字の中心①	漢字の広場5② 「三年とうげ」⑥ 「たから島のぼうけん」⑩ 冬のくらし② 書初め 「正月」「生きる力」	詩のくふうを楽しもう④ カンジーはかせの音訓かるた② 漢字の広場6② 「ありの行列」⑦ 文字の大きさと行の中心② 横書きのかき方①	伝わる言葉で表そう⑤ これがわたしのお気に入り⑫ コンピュータのローマ字入力② わたしの学校じまん⑧ 様子をくわしく表そう①　三年生のまとめ ひらがな「つり」②　「水玉」②	「モチモチの木」⑫	245
社会	わたしたちのまちと市17 オリエンテーション① まちの様子⑥	市の様子⑩	はたらく人とわたしたちのくらし⑳ オリエンテーション① 店ではたらく人と仕事⑪		工場ではたらく人と仕事⑧	地いきの安全を守る⑰ オリエンテーション① 火事からまちを守る⑨	事故や事件からまちを守る⑦		わたしたちの市の歩み⑯ オリエンテーション① かわる道具とくらし⑥	市のうつりかわり⑨		70
算数	●学びのとびら① 1　九九を見直そう⑨ 2　時刻と時間のもとめ方を考えよう④ あさひなパワーアップ（年間）	3　同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう⑨ 4　大きい数の筆算を考えよう⑧	●考える力をのばそう① 5　長さをはかって表そう⑦ 6　数をよく見て暗算で計算しよう⑦	7　わり算を考えよう⑦	8　10000より大きい数を調べよう⑩ 9　大きい数のかけ算の仕方を考えよう⑪	10　わり算の分数を考えよう④ ●どんな計算になるかな① 11　まるい形を調べよう⑧	12　数の表し方やしくみを調べよう⑫ 13　重さをはかって表そう⑨	14　分数を使った大きさの表し方を考えよう⑩	15　□を使って場面を式に表そう④ 16　かけ算の筆算を考えよう⑩ ●倍の計算③ 17　三角形を調べよう⑧	18　分かりやすく整理して表そう⑩ ●そろばん② ●考える力をのばそう① ●3年のふくしゅう③		175
理科	**しぜんを見つめる①** **たねをまこう④** 生き物をさがそう④	チョウを育てよう⑧ 植物の育ちとつくり③	風とゴムの力とはたらき⑧ 花のかんさつ① 8月自由研究	昆虫のかんさつ④ 植物の一生③	かげと太陽⑧	光のせいしつ⑦	電気で明かりをつけよう⑥	じしゃくのふしぎ⑦	これまでの学習をつなげよう① **音のせいしつ⑤** ものと重さ⑥	おもちゃランド②		90
音楽	**世界の友だちと歌でなかよくなろう** 「小さな世界」　**（毎時）** 「ア　ラムサムサム」 「リズムなかま」で楽しもう **にっぽんのうた②** 「春の小川」	**楽ふとドレミ④** 「キラキラおひさま」 「ドレミの歌」 **にっぽんのうた②** 「茶つみ」	**こんにちはリコーダー②** 「リコーダーは歌う」 「シの音をふいてみよう」 「シシシでお話シ 「にじ色の風船」 「ゆかいなまきば」	**歌声ひびかせて②** 「この山光る」 「ホルディリディア」 **音のスケッチ③** 「いろいろな声で表現して遊ぼう」「ユモレスク」「白鳥」	**にっぽんのうたみんなのうた①** 「うさぎ」 **めざせ　楽き名人（毎時）** 「かえりみち」「レッツゴーソーレー」 **せんりつの流れとへんか③**	**遊び歌めぐり④** 「十五夜さんのもちつき」「日本や世界の子どもの歌」 **はくの流れにのって歌や遊びを楽しもう** 「陽気なかじや」	**にっぽんのうたみんなのうた②** 「ふじ山」 **曲にあった歌い方④** 「森の子もり歌」「雪のおどり」	**音のスケッチ③** 「まほうのチャチャチャ」 「リズムなかまで楽しもう」	**アンサンブルの楽しさ③** 「せいじゃの行進」 **めざせ　楽き名人（毎時）** 「あくびのうた」 「冬さん、さようなら」	**ききどころを見つけて③** 組曲「アルルの女」から **みんなで合わせて③** 「パフ」	**音のスケッチ②** 「音のひびきや組み合わせ楽しもう」 **物語の音楽を楽しもう②** 「ピーターとおおかみ」 **校歌・君が代②**	60
図工	しぜんの色① 絵の具＋水＋ふで＝いい！ 友だちといっしょに⑥	くるくるランド④	切ってかき出しくっつけて② ふき上がる風にのせて② わたしの6月の絵④		み近なしぜんの形・色③ ペタパタひろくと②	小さな自分のお気に入り④ くぎうちトントン②	クミクミックス② ことばから形・色④ 空きようきのへんしん⑥	ゴムゴムパワー⑥　土でかく② ねん土マイタウン②	マグネットマジック⑥	ひもひもワールド②	いろいろうつして④	60
体育	体ほぐしの運動① 短距離走・リレー⑤	多様な動きを作る運動⑥ 表現④　リズムダンス④	鉄棒運動⑥	水泳⑩	小型ハードル⑥ マット運動⑥ 【保健】けんこうな生活③	タグラグビー⑥ 幅跳び⑤	とび箱運動⑥ 高跳び⑤	短なわ⑤ サッカー⑤	タワーボール⑤　プレルボール⑥	長縄⑤ 【保健】けんこうな生活②	ティーベース⑤	105
特別の教科 道徳	やさしい人大さくせん あいさつをすると ヌチヌグスージ （いのちのまつり）	ツバメの赤ちゃん ゆうすけの朝 しょうたの手紙	いいち、にいっ、いいち、にいっ きまりじゃないか みさきさんのえがお 二つの声	ごみステーション 一本のアイス	三つの国 一さつのおくりもの ホタルの引っこし ぬれた本～リンカーン～	なかよしだから こうすけならだいじょうぶ 耳の聞こえないお母さんへ 一りん車にのれた	いただいたいのち 教えて！なんでもそうだん室 SL公園で ぼくのおべんとう	黄色いかさ **百羽のツル**	六べえじいとちよ じゃがいもの歌 ぼくのおばあちゃん	たまちゃん、大すき しあわせの王子 おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね ふるさといいとこさがし	「あんぱんの日」 ～木村安兵衛・英三郎～ 大通りのサクラなみ木	35
特別活動	**自分をしょうかいしよう** **当番や日直の仕事・係を決め** **朝の会や帰りの会のメニューを考えよう** **わたしのめあて**	**学級目ひょうを決めよう** **楽しく学ぼう・学校の約束** 運動会を楽しもう	**学級のマスコットキャラクターを考えよう** 雨の日の登下校 クラス集会を開こう② よい姿勢ですごそう	楽しい夏休み	安全な歩き方・時間を守ろう 地域行事に参加しよう 係の振り返りをしよう	学級目標をふりかえろう 後期の係を決めよう 後期にめざす自分	学級のよさを伝えよう 友達のよいところ **図書館の利用の仕方** 読書週間の取り組みを決めよう	クラス集会を開こう② 係活動での自分の役割	**係活動をパワーアップしよう** **クラブ見学** 上手な気持ちの伝え方 **楽しい雰囲気で食事をしよう**	**リズムのある生活を** **お世話になっている人に感謝の気持ちを伝え**	できるようになったね集会を開こう② 学校をきれいに 学級目標をふりかえろう	35
外国語活動	じこしょうかいを通して、出会いをつくろう③ 国際理解の先生を迎える会	国際理解教室④	色と形で絵をつくろう！③	アルファベットの大文字②	できるかな、やってみよう②	今何時？時刻をたずねよう、教えよう！② 絵本の世界を楽しもう③	天気と遊び③	道案内をしよう③	お店を開こう③	日課・まとまりのある話を聞いて分かる③		外国語26 国際理解

令和４年度　　第４学年　　年間活動計画

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
行事	始業式 保健行事 個人面談 クラブ活動開始	交通安全教室 運動会	ホタルを見るタベ	水泳学習	水泳学習 防災総合訓練 除草活動 個人面談	前期終業式	後期始業式 地域清掃 土曜参観/群読発表会		書写展		卒業式 地区班編制 修了式	
児童会	1年生を迎える会　あおぞらタイム①	あおぞらタイム② 運動会（大玉送り）					あおぞらタイム③交歓給食			長縄集会 あおぞらタイム④	あおぞらタイム⑤交歓給食 卒業生を送る会	
横浜の時間	**クロスハート交流大作戦** 総合（35）＋教科等（7）					**リアル朝比奈** 総合（24）+教科等（6） クロスハート施設長さんの話 施設の役割(キャリア)	**10歳を祝う会** 総合（10） 朝比奈小感謝会を成功させよう					108 総合70 ＋ 教科等38
国語	こんなところが同じだね 春のうた①　**春の楽しみ** 白いぼうし⑧　聞き取りメモのくふう 図書館の達人になろう 漢字の組み立て② 漢字辞典の使い方②	漢字の広場① **思いやりのデザイン** アップとルーズで伝える 大きな力を出す⑧ カンジーはかせの都道府県の旅1 お礼の気持ちを伝えよう	漢字の広場② 一つの花⑧ つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう(一)① 要約するとき 新聞を作ろう⑮	カンジーはかせの都道府県の旅2 夏の楽しみ 事実にもとづいて書かれた本を読もう ランドセルは海をこえて	忘れもの　ごんぎつね ぼくは川② あなたなら、どう言う パンフレットを読もう いろいろな意味をもつ言葉 漢字の広場③	秋の楽しみ クラスみんなで決めるには 漢字の広場④ 世界にほこる和紙 百科事典での調べ方 伝統工芸のよさを伝えよう	慣用句② 短歌・俳句に親しもう(二) 漢字の広場⑤	プラタナスの木 感動を言葉に 冬の楽しみ	自分だけの詩集を作ろう 熟語の意味 漢字の広場⑥ ウナギのなぞを追って⑧	つながりに気をつけよう もしものときにそなえよう 調べて話そう、生活調査隊	まちがえやすい漢字 初雪のふる日	198
社会	安全なくらしとまちづくり 事故・事件のないまちを目ざして 災害からまちを守るために	健康なくらしとまちづくり	ごみはどこへ 水はどこから		入り海を新田にした永島家 まちを開く「泥亀新田」⑩		私たちの県のまちづくり	横浜市、神奈川県の位置 47都道府県の位置、名称	神奈川県全体の地形など 箱根寄木細工	鎌倉のまちづくり 横浜市の姉妹都市など		90
算数	学びのとびら① 1億より大きい数を調べよう⑦	グラフや表を使って調べよう⑨ わり算のしかたを考えよう⑪	角の大きさの表し方を調べよう⑨ 小数のしくみを調べよう⑬　そろばん②	考える力をのばそう① わり算の筆算を考えよう⑭	倍の見方④	およその数の使い方や表し方を調べよう⑧ 算数で読みとこう① 計算のやくそくを調べよう⑧	四角形の特ちょうを調べよう⑬	分数をくわしく調べよう⑨ どのように変わるか調べよう④	広さの表し方を考えよう⑪	小数のかけ算とわり算を考えよう⑮ どんな計算になるのかな①	箱の形の特ちょうを調べよう⑨ 考える力をのばそう①　算数で読みとこう① 4年のふくしゅう③	155
理科	自然にせまる① 季節と生き物（1）⑧	天気と1日の気温⑤ 自然の中の水のゆくえ（1）⑤	電気のはたらき⑦	季節と生き物（2）④ 空を見上げると（1）②	空を見上げると（2）⑥ とじこめた空気や水⑥	ヒトの体のつくりと運動⑥	季節と生き物（3）④ みんなで使う理科室② 温度とものの変化（1）⑧		空を見上げると（3）② 季節と生き物（4）③ 温度とものの変化（2）⑦	温度とものの変化（3）⑦	自然の中の水のゆくえ（2）⑤ これまでの学習をつなげよう① 季節と生き物（5）②	105
音楽	にっぽんのうた みんなのうた「さくら さくら」② きき合いながら楽しく歌おう「プパポ」 いろいろな歌の表げんを楽しもう ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」から④ 拍の流れや旋律の感じを生かして演奏しよう「エーデルワイス」 2拍子を感じて指揮をしてみよう「トルコ行進曲」「メリーさんの羊」 拍子のちがいを感じ取り、拍の流れに乗って歌おう「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」⑥			音の動き方を生かして旋律を作ろう にっぽんのうた みんなのうた「まきばの朝」② サミングに挑戦しよう「ハローサミング」「もののけ姫」から **響きを大切にして歌い方を工夫しよう「ゆかいに歩けば」** **旋律の特徴を生かして歌おう「とんび」④**	かけ合いや重なりの面白さを味わおう「水上の音楽」からアラ ホーンパイプ③	にっぽんのうた みんなのうた「もみじ」② 伝えられてきた歌を楽しもう「ソーラン節」 おはやしのリズムを楽しもう「おはやしづくりにチャレンジ」 **世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しもう「サムルノリ」「サンバの音楽」「朝の歌」** **サンバの演奏を楽しもう「おどれサンバ」⑥** 音階をもとにして音楽をつくろう	パートの役割を生かして生き生きと演奏しよう「ラ クンパルシータ」③	曲の流れを感じ取り、全体を味わって聴こう「ノルウェー舞曲 第2番」③ 気持ちを合わせて美しい響きで演奏しよう「こきょうの春」「グッデー グッバイ」④ 役割をもとに音楽をつくろう③ いろいろな歌声を楽しもう 歌劇「魔笛」から②	60
図工	絵の具で遊んで自分色紙 木をじっと見つめて ギコギコ、コロコロ、たのしいなかま		トントンつないで	カードで味わう、形、色 友だち、たくさん集まって	バックパク 読書感想画をかこう		ハッピーカード ほろと出てくる不思議な花		願いの種から	ゆめいろランプ		60
体育	体ほぐしの運動① 短距離走・リレー⑤ 表現④　リズムダンス④	多様な動きを作る運動⑥	鉄棒運動⑥	水泳⑩	小型ハードル走⑥ マット運動⑥ 体の発育と健康③	タグラグビー⑥　幅跳び⑤	とび箱運動⑥　高跳び⑤	短なわ⑤　サッカー⑤	タワーボール⑤	長なわ⑤　プレルボール⑥ティーベース⑤ 体の発育と健康①		105
特別の教科 道徳	・みんなのきまり ・自分のことは自分で ・かけがえのない命	・思いやる心を伝えよう ・目標に向かって ・友達の気持ち	・愛校心 ・すがすがしい心 ・すばらしい日本の文化 ・自然を守ろう	・正直に生きる ・受けつぐ日本の文化	・働くことの大切さ ・生きつづける心 ・気持ちのよいあいさつ	・個性をのばそう ・感謝の気持ち ・家族の一員ならば ・過ちは改めて	・思いやりの心 ・自然を守ろう ・すすんで人のために ・ルールを守る	・真心をもって ・あきらめない心 ・よく考えて行動する	・郷土の伝統 ・みんなでいっしょに ・自分のよいところ	・みんなのために尽くす人々 ・勇気をもって ・尊い命	・学校を大切に ・家族の温かさ ・本当の勇気	35
特別活動	自分のよさを生かして 学習ノートの使い方	夏休みの学習計画を立てよう 友だちのよさを見つけよう	雨の日も楽しく過ごせるルールを決めよう		災害時の行動を考えよう 後期にめざす自分	学級目標をふりかえろう	上郷に行こう 励ます言葉・傷つける言葉	目にやさしい生活をしよう 冬休みのすごし方	他学年との交流を深めよう バランスよく食べよう 道案内をしよう③	お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えよう	できるようになったね集会 こんな自分になったよ	35
外国語活動	自己紹介を通して、相手をもっとりかいしよう。③	アルファベットの小字文字の読み方に慣れ親しむ②	できるかな？相手にたずねてみよう②	好きな季節や生まれた月をたずねよう、伝えよう！③　一日の生活③ どんな学校生活？AETにたずねてみよう！②		時刻をたずねよう！教えよう！③	いつ？約束をしよう！③	持っていますか？お願いしよう、応じよう！③		スペシャルランチをつくろう！③		30

令和４年度　　第５学年　年間活動計画　　学年テーマ「高学年らしい考え方や行動のできる五年生」

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総時数
行事	始業式0．7 個人面談 委員会開始 保健行事4．3 クラブ開始	運動会⑥	水泳学習 ホタルを見るタベ 健康会議 オープンスクール	水泳学習	水泳学習 防災総合訓練① 個人面談 除草活動	前期終業式	後期始業式　地域清掃① ふれあいコンサート(仮) 群読発表会 上郷体験学習⑭	人権週間 いじめ防止教室 人権授業参観	図工展 書写展　区球技大会 長縄大会 オープンスクール	地域の方に感謝する週間 授業参観	卒業式② 地区班編制① 修了式 離任式 個人面談	49
児童会	1年生を迎える会　あおぞらタイム・交歓給食① クラブ活動　委員会活動(キャリア)　運動会					フィールドワーク	あおぞらタイム②交歓給食			あおぞらタイム③交歓給食 朝比奈小感謝会	あおぞらタイム④交歓給食 卒業生を送る会	12.3
横浜の時間	育てよう朝比奈米(総59・国2・社5・家2) 米博士になろう 米作りの名人に学ぼう	田植え →	水の管理 →	ネットはり →	かりとり・もみすり・精米 →	GO!GO!!上郷(総10)	わらやぬかの活用	おにぎりパーティをしよう	「キャリア教育」六浦南保育園園長さんの話①			総合70 教科等9 計79
国語	教えてあなたのこと① 考えるのっておもしろい① なまえつけてよ　④ 図書館をつかいこなそう① 漢字の成り立ち② 春の空② 書写30 あさひなパワーアップ⑥	きいてきいてきいてみよう⑥ 漢字の広場① 見立てる⑦ 和語・漢語・外来語②	日常を十七音で③ 古典の世界② みんなが過ごしやすい街へ⑫	同じ読み方の漢字② 夏の夜② カレーライス⑤5	からたちの花① どちらを選びますか② 新聞を読もう③ 敬語② たずねびと⑥ 漢字の広場①		漢字の読み方と使い方② 秋の夕暮れ② よりよい学校生活のために⑥ 漢字の広場① 固有種が伝えてくれること⑤ グラフや表を用いて書こう⑥ 古典の世界②	カンジー博士の暗号解読② アンパンマンの勇気⑤ あなたはどう考える⑥ 冬の朝②	生活の中で詩を楽しもう② 方言と共通語② 漢字の広場① 想像力のスイッチを入れよう⑥ 複合語②	伝わる表現を選ぼう③ この本おすすめします⑦ 提案しよう、言葉とわたしたち⑥	日本語の表記① 漢字の広場① 大造じいさんとガン⑥	175
社会	日本の国土とわたしたちのくらし⑳ ・日本の国土と世界の国々 ・国土の気候と地形の特色 ・自然条件と人々のくらし		未来を支える食料生産㉕ ・米作りのさかんな地域 ・水産業のさかんな地域		・これからの食料生産 未来をつくり出す工業生産㉔ ・自動車の生産にはげむ人々 ・日本の工業生産と貿易・運輸		未来をつくり出す工業生産㉔ ・自動車の生産にはげむ人々 ・日本の工業生産と貿易・運輸	未来とつながる情報⑬ ・情報を伝える人々とわたしたち ・くらしと産業を変える情報通信技術	国土の自然とともに生きる⑱ ・自然災害とともに生きる	・森林とともに生きる	環境をともに守る	100
算数	整数と小数のしくみを調べよう⑤ 変わり方を調べよう④ 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう⑧		かけ算の世界を広げよう⑨ わり算の世界を広げよう⑨ 小数の倍⑤	どんな計算になるのかな② 形も大きさも同じ図形を調べよう⑧	図形の性質を調べよう⑥ 整数の性質を調べよう⑩	分数と小数、整数の関係を調べよう⑥	分数のたし算、ひき算を広げよう⑩	ならした大きさを考えよう⑤ 比べ方を考えよう⑩ 面積の求め方を考えよう⑪ 速さ	比べ方を考えよう⑨ 割合をグラフに表して調べよう⑧ 変わり方を調べよう①	多角形と円をくわしく調べよう⑨	立方体をくわしく調べよう⑦ 考える力をのばそう② 算数で読みとこう② 5年生のふくしゅう⑤	175
理科	花のつくり② 植物の発芽と成長⑭	メダカのたんじょう⑦	台風と気象情報④ ヒトのたんじょう⑦	自由研究②	花から実へ⑨	雲と天気の変化⑧	流れる水のはたらき⑫	ふりこのきまり⑦ みんなで使う理科室①	ものの とけ方⑯	電流と電磁石⑬		105
音楽	○曲想を生かした表現を工夫して歌おう「こいのぼり」② ○低音のはたらきを感じ取って演奏しよう「茶色のこびん」②	○和音のはたらきを感じ取ろう「和音のひびきに合わせてポーズをしよう」① ○和音や低音のはたらきを感じ取って演奏しよう「こきょうの人々」②	○合唱のひびきをきき比べよう「いろいろな合唱」「花」 ○表現をくふうしてきき合いながら歌い合わせよう「ハロー・シャイニングブルー」⑥	○かけ合いや重なりを生かして演奏しよう「星笛」 ○和音に合わせて旋律をつくろう「和音に合わせて旋律をつくろう」②	○オーケストラのひびきを楽しもう 組曲「カレリア」から「行進曲風に」 ○にっぽんのうた　みんなのうた 「赤とんぼ」④	○わたしたちの国に伝わる歌や声の表現を楽しもう 「子守り歌」 ○旋律の感じを生かして民話を歌おう「こきりこ節」③	○旋律の感じを生かして民話を歌おう「谷茶前」 ○世界のいろいろな声の表現や楽器のひびきを楽しもう「世界の声の音楽／世界の楽器のひびき」③	○拍の流れにのって歌うようにえんそうしよう「風とケーナのロマンス」 ○拍の流れにのって表情豊かに歌おう「冬げしき」 ○いろいろな声で音楽をつくろう「いろいろな声で音楽をつくろう」⑥	○にっぽんのうた　みんなのうた「スキーの歌」 ○曲のおもしろいところを見つけてきこう「つるぎのまい」⑤	○気持ちを合わせて、きき合いながら演奏しよう「ルパン三世のテーマ」 ○言葉を大切にしながら心をこめて歌おう「君をのせて」③	○ずれの音楽を楽しもう「クラッピング　ミュージック」 ○変奏曲を楽しもう ピアノ五重奏「ます」第4楽章 「校歌」「君が代」⑦	50
図工	えのぐスケッチ② あんなところがこんなところに見えてきた②	心のもよう②	形が動く　絵が動く⑥ カードを使って②	糸のこスイスイ④	立ち上がれワイヤーアート② 読書感想画を描こう④	光と場所のハーモニー②	心に残った、あの時、あの場所④	ミラクル！ミラーステージ④	ほり進めて刷り重ねて④ わたしのいい形②	伝え合いたい思い⑥	作品集作り② 作品集作り②	50
家庭科	家庭科をはじめよう② わくわくドキドキクッキング⑧	すっきり快適	整理・整とん大作戦⑤	生活時間を見つめて　チャレンジ家庭の仕事④	ミシンを使って上手に縫おう⑨		育てたお米とみそ汁をおいしく食べよう⑪	すっきり快適　クリーン大作戦⑤	ぽかぽかふれあいタイムを計画しよう④	あったか快適　季節の変化に合わせた着方・住まい方⑤	1年間を振り返ろう①	60
体育	体ほぐしの運動① 表現④ 鉄棒運動⑤	体の動きを高める運動⑥ フォークダンス④	短距離走・リレー④	水泳⑩	マット運動⑦ ハードル走⑥ 心の健康③		球技大会⑥ 幅跳び⑧	サッカー⑦	バスケ⑦ とび箱運動⑦ けがの防止⑤			90
特別の教科道徳	多くの人の支えに対して 夢を実現するために 自分に誠実に	自律的な行動 公共の場を大切に 生命を救う仕事	美しい真心の尊さ 公平な心 誰に対しても思いやりの心を 自然を愛護する	亡くなった人が残したもの 役割を果たす	探求する心 権利と義務について考える 生きる喜び 家族の幸せのために	世界の人々のために 挨拶の大切さ 広い心で 希望を持って	社会への奉仕 ものを大切にする心 理解し合う心 かけがえのない命	日本を愛する心 困った人の身になって	自分のよさを伸ばす 郷土を愛する心 危険から身を守る	生きているからこそ 同じ地球に生きている 友達のために 大自然の中の奇跡	生き物を大切に 私の学校	35
特別活動	係を決めよう② 委員会や実行委員を決めよう②	学級の目標を決めよう② 運動会を盛り上げよう②	愛川体験学習を盛り上げよう⑤ 高学年になって③	公共の場でのマナー① クラス集会を開こう②	前期のふり返り①	学級目標をふり返ろう① 係を決めよう①	後期の目標を考えよう①	人権週間の取り組み①	球技大会を盛り上げよう②	クラス集会を開こう③	もうすぐ最高学年① 6年生からバトンを受け継ごう③	35
外国語活動	「Hello friennds」⑦ 国際理解教室④	「When is your birthday」⑦ →	「What do you want to study]⑦	外国の人に自己紹介しよう②	「He can bake bread well」⑦	「Where is the post office?」⑦	「What would you like?」⑧	地域のおすすめを紹介しよう②	「Welcaome to japan」⑧	「Who is your hiro?」⑧ 地域のおすすめを紹介しよう② →		70

令和４年度　　第６学年　年間活動計画　学年テーマ「個性を認め、互いに高め合おうとする６年」

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	時間数
行事	前期始業式 1年生を迎える会 懇談会 保健行事 個人面談 委員会開始	PTA総会 運動会 授業参観 全国学力・学習状況調査 クラブ活動開始	児童引き取り下校訓練 開港記念集会 体力テスト 地区懇談会 ホタルを見るタベ オープンスクール① 除草活動　スピーチコンテスト	授業参観・懇談会 不審者対応訓練 区水泳大会（夏休み）	防災総合訓練 あさひなフェスティバル 創立記念集会 大掃除（8月） 除草活動（8月） 保健行事 個人面談　あおぞらタイム	前期終業式	後期始業式 児童生徒交流日 修学旅行 オープンスクール② （土曜授業参観）	小中交流会 人権授業参観・懇談会 音楽朝会発表	大掃除 発育測定 書写展 長縄集会 授業参観・懇談会	長縄集会 地域の方に感謝する週間 オープンスクール③ 東京見学	個人面談 卒業生を送る会 大掃除 卒業証書授与式	38時間
児童会	一年生を迎える会 議題説明会・代表委員会(年間を通して)	運動会	あおぞらタイム	児童朝会 あおぞら交流（年間を通して）			あおぞら交流 あおぞらタイム	あおぞら交流	あおぞら交流	あおぞらタイム	卒業生を送る会 あおぞらタイム交流・タイム	14．3時間
横浜の時間	考えよう、未来のぼく、わたし →			命の授業 →	チャレンジ「鎌倉・江の島修学旅行」 →		→	卒業文集を書こう →	→			総合　70 教科等38 計　108
国語	つないでつないで一つのお話 春の河 帰り道 地域の施設を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき	聞いて、考えを深めよう 笑うから楽しい 話し言葉と書き言葉	たのしみは 文の組み立て 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき わたしたちにできること	夏のさかり 私と本 森へ	せんねんまんねん いちばん大事なものは 利用案内を読もう 熟語の成り立ち やまなし	言葉の文化 秋探し みんなで楽しく過ごすために	鳥獣戯画を読む 日本文化を発信しよう 古典芸能の世界	狂言「柿山伏」 大切にしたい言葉 冬のおとずれ	詩を朗読して紹介しよう 仮名の由来 メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために 漢字を正しく使えるように 人を引き付ける表現	思い出を言葉に 今、私は、ぼくは	海の命 中学校へつなげよう 生きる 今、あなたに考えてほしいこと	175時間
社会	オリエンテーション 憲法とわたしたちの暮らし わたしたちの暮らしを支える政治		オリエンテーション 国づくりへの歩み 大陸に学んだ国づくり	武士の政治が始まる 室町文化と力をつける人々	全国統一への動き 幕府の政治と人々の暮らし 新しい暮らしと学問	明治の新しい国づくり 近代国家を目ざして	戦争と人々の暮らし	平和で豊かな暮らしを目ざして	オリエンテーション 日本とつながりの深い国々	世界の人々とともに生きる		105時間
算数	学びのとびら　数量やその関係を式に表そう　分数のかけ算を考えよう つり合いのとれた図形を調べよう		分数のわり算を考えよう 分数の倍　どんな計算になるのかな？	割合の表し方を調べよう 算数で読みとこう 考える力をのばそう	形が同じで形がちがう図形を調べよう 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう 縁の面積の求め方を考えよう	おとその面積と体積を求めよう 比例の関係をくわしく調べよう	順序よく整理して調べよう 考える力をのばそう	データの特ちょうを調べて判断しよう 算数の学習のしあげ 算数で読みとこう	算数卒業旅行			１７５時間
理科	自然と共に生きる　私たちの地球と環境　ヒトや動物の体 ものが燃えるしくみ		植物のつくりとはたらき	生物どうしのつながり　自由研究 これまでの学習をつなげよう	みんなで使う理科室 水よう液の性質		月と太陽 大地のつくりと変化		てこのはたらき	発電と電気の利用	自然とともに生きる	105時間
音楽	・歌声とリズムのトレーニング「バハナ」「言葉ともとにリズムで遊ぼう！」毎時 ・にっぽんのうた　みんなのうた「おぼろ月夜」 ・「校歌」「君が代」 ・巻頭教材「つばさをください」随時	・旋律や響きの変化をとらえて演奏しよう「マルセリーノの歌」 ・曲の特徴を感じ取って聴こう「ハンガリー舞曲　第5番」	・思いや意図を大切にしながら、みんなで表現を工夫しよう「ぼくらの日々」 ・思いを生かした表現の魅力を感じ取ろう「交響曲第5番「運命」第1楽章から」	・互いのパートを聴き合って演奏しよう「The Sounndo of Music」毎時 ・にっぽんのうた　みんなのうた「われは海の子」 ・動機をもとに音楽をつくろう	・旋律を組み合わせて声の響き合いを楽しもう「ロックマイソウル」 ・旋律の動きや重なりを聴き合って演奏しよう「カノン」	・二つの楽器のかかわりや響き合いを楽しもう「バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章」	・旋律の動きや強弱を生かしながら表情豊かに歌い合わせよう「明日を信じて」 ・楽器を選んでアンサンブルを楽しもう「L-O-V-E」 ・じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう	・雅楽の旋律を味わって歌おう「越天楽今様」 ・日本の楽器の音色を味わって聴こう「春の海」	・卒業式の歌 ・曲に込められた思いを感じ取り、みんなの歌声で表そう「ふるさと」 ・盛り上がらいを生かし心を込めて演奏しようAB選択 A「Take　me home」 B「さよなら」	・役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう ・鑑賞「帆」	50時間
図工	想像する力	墨と水から広がる世界	ここから見ると	わたしの大切な風景 光の形	くるくるクランク この筆あとどんな空	言葉から想像を広げて	自然を感じるすてきな場所で　1枚の板から		私の感じる和	固まった形から	版で広がるわたしの思い	50時間
家庭科	6年生の学習を始めよう	生活時間をマネジメント	知ろう探ろうわたしたちの消費生活 衣服お手入れプロジェクト	涼しく快適　季節の変化に合わせた着方と住まい方	我が家の「健康・快適生活」応援プロジェクト	上手に使って日光へGO	感謝の気持ちを伝えよう　卒業プロジェクト ○心を込めて作ろう　家族といただく1食分の食事　その1		○心を込めて作ろう　家族といただく1食分の食事　その2	2年間を振り返り、中学へつなげよう		55時間
体育	体ほぐしの運動 短距離走・リレー	体の動きを高める運動		水泳	マット運動 ハードル走 病気の予防			とび箱運動 幅跳び	高跳び ソフトバレー	ティーベース 病気の予防		90時間
特別の教科道徳	〔礼儀は心のあらわれ〕（B　礼儀） 1　心を形に 〔自分らしさを伸ばす〕（A　個性の伸長） 2　あこがれのパティシエ　～好きな道を歩む 〔奉仕する心〕（C　勤労，公共の精神） 3　うちら「ネコの手」ボランティア	〔家族の一員として〕（C　家族愛，家庭生活の充実） 4　おばあちゃんのさがしもの 〔郷土を愛する〕（C　伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度） 5　白神山地 〔地球を救う〕（D　自然愛護） 6　愛華さんからのメッセージ	〔相手の立場に立って〕（B　親切，思いやり） 7　みんないっしょだよ～黒柳徹子 〔平和と国際親善のために〕（C　国際理解，国際親善） 8　白旗の少女 〔感謝の心を持つ〕（B　感謝） 9　土石流の中で救われた命 〔友達と理解し合う〕（B　友情，信頼） 10　ばかじゃん！	〔権利と義務〕（C　規則の尊重） 11　ピアノの音が…… 〔生命の尊重〕（D　生命の尊さ） 12　命の重さはみな同じ	〔世界の人々のために〕（C　国際理解，国際親善） 13　エンザロ村のかまど 〔自由と責任について考える〕（A　善悪の判断，自律，自由と責任） 14　修学旅行の夜 〔法やきまり，権利と義務〕（C　規則の尊重） 15　星野君の二ろい打 〔自分が目指すところまで〕（A　希望と勇気，努力と強い意志） 16　心をつなぐ音色　～ピアニスト　辻井伸行	〔自分の生活を見直して〕（A　節度，節制） 17　お母さん，お願いね 〔異性の理解と協力〕（B　友情，信頼） 18　言葉のおくりもの 〔命の大切さ〕（D　生命の尊さ） 19　お母さんへの手紙 〔明るく生きる〕（A　正直，誠実） 20　手品師	〔社会正義の心〕（C　公正，公平，社会正義） 21　田中正造 〔よりよい校風〕（C　よりよい学校生活，集団生活の充実） 22　せんばいの心を受けついで 〔困難を乗り越える人間の強さや気高さ〕（D　よりよく生きる喜び） 23　義足の聖火ランナー～クリス・ムーン 〔日本人として〕C　伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度） 24　新しい日本に～龍馬の心	〔私たちを包み込む大いなるもの〕（D　感動，畏敬の念） 25　夜空～光の旅 〔過ちを許す〕（B　相互理解，寛容） 26　銀のしょく台	〔自然への関心〕（D　自然愛護） 27　タマゾン川 〔親切の大切さ〕（B　親切，思いやり） 28　心に通じた「どうぞ」のひとこと 〔率直な反省〕（A　節度，節制） 29　「すんまへん」でいい	〔人命を守るために〕（D　生命の尊さ） 30　東京大空襲の中で 〔努力の尊さ〕（A　希望と勇気，努力と強い意志） 31　夢 〔崇高なものへの感動〕（D　感動，畏敬の念） 32　青の洞門 〔人々のために尽くす〕（C　よりよい学校生活，集団生活の充実） 33　小さな連絡船「ひまわり」	〔世のためになる仕事〕（C　勤労，公共の精神） 34　桜守の話 〔新しいものを生み出す〕（A　真理の探究） 35　まんがに命を～手塚治虫　日本のテレビアニメの生みの親	35時間
特別活動	当番や日直のやり方を考えよう 委員会や運動会実行委員の所属を決めよう 朝比奈小の約束 最高学年として	学級目標を決めよう 運動会を盛り上げよう 敬語の使い方 運動会に向けた自分の役割	学級目標に向けての集会をひらこう② 正しい情報を使おう	雨の日の遊びを工夫しよう 社会のルール 自分の学び方を見つめてみよう	修学旅行のめあてや約束 修学旅行の係決め 修学旅行での自分の仕事	前期のふりかえりをしよう 後期の係を決めよう 修学旅行の振り返り 後期にめざす自分	卒業文集の内容を決めよう 1年生との交流を深めよう 100日プロジェクトの準備をしよう 友達のよさを大切にしよう	人権週間のクラスの取り組みを決めよう	長縄大会の学級の取り組み 健康によい食習慣を身に付けよう	卒業に向けての計画を立てよう これまでお世話になった人へ感謝の気持ちを伝えよう お別れ給食に向けて 5年生へ引き継ごう	思い出広げよう集会を開こう 学級目標をふりかえろう 大掃除で学校をきれいに もうすぐ中学生	35時間
外国語活動	This is me! 国際理解教室 →	How is your　school life?	Let`s go to Italy.	外国の人にメッセージを伝えよう	Sumer Vacations in the World. We all live on the Earth.	Let`s think about our food.	世界と自分のつながりを紹介しよう →	My　best　memory.	My Futer, My Dream.	寄せ書きのメッセージを伝えよう		70時間

１９　年間評価計画

Ｉ「あゆみ」について

＜評価について＞

１　ねらい

① 児童の学校での生活の様子や学習の様子などについて、その進歩の状況や特徴などを学期ごとにまとめ、保護者に連絡し、共通理解を図りながら協力して児童の生活や学習の充実をめざす。
② 保護者が児童の学校での生活の様子や学習の様子を把握し、今後の生活や学習について、自信をもたせたり、意欲づけを行ったり、勇気づけたりするための資料とする。
③ 児童が自分の努力の様子をふり返り、自信をもって今後の生活や学習を意欲的に改善し可能性を伸ばしていこうとするてががりとする。

２　記入にあたって

① 児童のよさを積極的にとらえ、子どもを励ます評価を基本とする。
② 結果だけでなく、過程や進歩の状況を伝える。
③ 数値化されたものだけでなく、文章記述による評価を大切にする。
④ 指導と評価の一体化を図る。
⑤ 目標に準拠した評価（絶対評価）で評価する。

３　記入の仕方

各教科の学習のようす（横浜市児童生徒指導要録記入の手引き参照）

① 学習状況は観点項目ごとに次のように記入する。

目標に対して十分満足できると判断されるもの……Ａ
目標に対しておおむね満足できると判断されるもの……Ｂ
目標に対して努力を要すると判断されるもの……Ｃ

② 単元別の評価規準項目に沿って評価する。
③ 学年内で到達度規準の共通理解を図る。
④ 単元評価表を作り、観点ごとに総合した評価ができるようにする。
⑤ 学習しない学期は斜線を引く。
⑥ ３年生以上は、観点別学習状況の評価を総括して、次のように評定する。

目標に対して十分満足できると判断されるもの……３
目標に対しておおむね満足できると判断されるもの……２
目標に対して努力を要すると判断されるもの……１

⑦「所見」欄は、個人内評価を大切にしながら、学習活動全体を通して顕著だった努力や進歩の様子、優れた点、学習に対する意欲や態度などを教科ごとや教科の枠をこえて学期ごとに記入する。

ＹＩＣＡ・外国語科（横浜市児童生徒指導要録記入の手引き参照）

①YICA 及び国際理解教室での活動の様子で評価する。

総合的な学習の時間のようす

（横浜市児童生徒指導要録記入の手引き参照）

① 総合的な学習の時間の単元を通しての学習状況や身についた力などを文章記述する。

総合的な学習の時間の４観点

主体的なかかわり・・・・・・・・　進んで課題やもの、人にかかわる。
課題解決の見通し・・・・・・・・見つけた課題を解決するために必要な情報を収集し適切な手段・内容を選択することができる。
技能・表現の活用・・・・・・・・教科で身につけた力を学びに生かし、また総合で培った力を教科領域に生かすことができる。
他者や社会との学び合い・・自分と仲間、自分と地域のつながりを大切にして、思いを伝えながら様々な人と交流することができる。

特別活動のようす

（横浜市児童生徒指導要録記入の手引き参照）

十分満足できる状況にあると判断されるもの……○

①「事実及び所見」欄…係名や役割分担だけでなく、活躍の様子や進歩の状況など今後の活動に役立つ事項について記述する。
②クラブ活動・委員会活動については、所属名と役職名（部長・委員長・副部長・副委員長）のみを記載し、「○」が付いた児童については、コメントを記入する。
③学校行事・児童会活動についても、担当者が活動ごとに児童の様子を評価し担任に伝える。そのために、特活部が評価カードを用意する。（運動会　他）

特別の教科　道徳

① 特別の教科道徳の評価は、年間を通して児童一人一人が成長したことや考え方などの変容等を、ワークシートや発言、生活の様子などを相対的に評価し、「特別の教科　道徳」欄に文章表記する。
② 学年内で、教材の価値やねらい、その教材で身に付けさせたい力等について共通理解を図り、評価の視点を明らかにする。

出欠席のようす

（横浜市児童生徒指導要録記入の手引き参照）

① 出席の様子は別紙で知らせる。
② 出席や欠席の無い場合は0と記入し、空欄としない。
③ 転入児童は、転入前月まで「0」を、転入学月から日数を記入する。

Ⅱ 「指導要録」について

横浜市児童生徒指導要録記入の手引きに基づいて記入する。

＜評定について＞

１、単元における観点ごとの評価の総括

評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	総括	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	総括	○ ○ ○ ○	総括
児童　１	a	a	a	A	a	b	b	B	a	A
児童　２	b	a	b	B	b	c	c	C	c	C

＜例＞

児童１　　ａｂｂ　　半数以上がｂなので、総括は「B」

児童２　　ｂｃｃ　　半数以上がｃなので、総括は「C」

※単元の特質などから、特定の観点の特定の評価規準について重点をかけて指導したり、指導時数を多くとったりした場合の評価。

＜例＞

児童１　　ａａｂｂ　となり、半数以上がａなので、総括は「A」

児童２　　ｂｂｃｃ　となり、半数以上がｂなので、総括は「B」

＊重点をかける場合としては、他にも学校目標や児童の実態等から重点化して指導した場合などが考えられる。

２、学期末における観点ごとの評価の総括

○各評価規準の評価結果から行う場合

評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	総括	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	総括	○ ○ ○ ○	総括
単元　１	a	b	a		a	b	b		a	
単元　２	b	a	b		b	c	c		c	
単元　３	b	b	b		b	b	c		b	
総括	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B

○単元ごとに総括した評価結果から行う場合

評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	総括	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	総括	○ ○ ○ ○	総括
単元　1	a	b	a	A	a	b	b	B	a	A
単元　2	b	a	b	B	b	c	c	C	c	C
単元　3	b	b	b	B	b	b	c	B	b	B
総括				B				B		B

３、評定の出し方

○　A・B・C の数をもとに評定する。

	AAA AAB	AAC ABB ABC ACC BBB BBC	CCC BCC

○Ａが２つ以上で３

○Ｃがつけば３にはならない

○Ａが３つ以上で３

○Ｃが３つ以上で１

４、学年末における観点ごとの評価の総括と教科の評定

＜観点ごとの総括＞

①　観点ごとに評価の総括をする。

＜教科の評定＞

①前期・後期の評定をもとに学年末の評定をする。

②各学期の観点別学習状況の評価の総括から評定する。

③各評価規準の結果から直接行う。

＜特別活動の記録及び行動の記録の評定＞

前期	後期	学年末
○	○	○
○	（空欄）	○か（空欄）
（空欄）	○	○か（空欄）

５、評価規準のとらえの共通理解

評価計画表をもとに、単元ごとのA・B・Cの規準をより具体的にし、学年内で共通理解しておく。

特に、A「十分満足できると判断されるもの」の状況を明確にしておく。

※「十分満足できると判断されるもの」の状況とは、『B「おおむね満足できると判断されるもの」より、さらに質的な高まりや深まり、量的な広がりなどが認められた状況』である。

01 国語科

【目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）日常生活に必要な国語について、しの特質を理解し適切に使うことができるようにする。
（2）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
（3）言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

国語科 小学校 第1学年及び第2学年

A 「話すこと・聞くこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「紹介する活動」を通した指導		
紹介する事物の特徴を表す語句を増し、話の中で使いながら、語彙を豊かにしている。⑴オ 相手に内容を正確に伝えるために、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。⑴イ	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから紹介したいことを選んでいる。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、聞き手を意識し、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す際の時間的な順序や事柄の順序を考えている。（イ） 「話すこと・聞くこと」において、自分が話す内容を確かめ、伝えたいことを意識し、声の大きさや速さを工夫している。（ウ）	身近な出来事や事物を紹介する活動を通して、よりよく表現しようと、試行錯誤しながら事物の特徴を表す語句の使い方や話す順序を考えたり、声の大きさを工夫したりしようとしている。
「事物の説明をする活動」を通した指導		
言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。⑴オ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話している。⑴キ	「話すこと・聞くこと」において、説明したいことが相手に伝わるようにするにはどのような順序で話せばよいのかを考えている。（イ） 「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたい話の内容と、自分が聞きたい話の内容の大事なことを落とさないように集中して聞き、自分の経験と結び付けながら感想を述べている。（エ）	進んで、語彙を豊かにし、説明したいことが相手に伝わるように話す順序を考え、学習課題に沿って事物の説明をしようとしている。
「経験を報告する活動」を通した指導		

丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話している。⑴キ 文の中における主語と述語との関係に気付いている。⑴カ	「話すこと・聞くこと」において、見たことや聞いたこと等から話題を決め、報告するのに必要な事柄を選んでいる。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、事実や出来事が伝わるよう、行動や経験等の時間的な順序を考えている。（イ） 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたい事柄の大事なことを落とさないようにして聞き、話の内容に対して自分の経験と結び付けて感想を述べている。（エ）	今までの学習を生かして、主語と述語の関係に気付いたり、自分が聞きたい事柄の大事なことを落とさないようにして聞いたりし、積極的に自分の経験と結び付けて感想を述べようとしている。

「対話をする活動」を通した指導		
文の中における主語と述語との関係に気付いて話したり聞いたりしている。⑴カ 事柄同士の中から同じ点や違う点を見いだしたり、時間、作業手順などの事柄の順序などを捉えたりして、情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「話すこと・聞くこと」において、学校や家庭、地域における身近なことや経験したことなどから、話し合う必要のある話題を決めている。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもって聞き、話の内容を理解した上で、話題に沿って質問する、復唱して確かめる、共感を示す、感想を言うなどしている。（オ）	対話をする活動を通して、話し合うことの楽しさを感じながら、積極的に、同じ点や違う点を見いだして質問や感想を言おうとしている。
「話し合う活動」を通した指導		
文の中における主語と述語との関係に気付いている。⑴カ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどの中から話題にしたいことを選んでいる。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもって聞き、話の内容を理解した上で質問したり、復唱したり、共感を示したりするなど、話題に沿って話をつないでいる。（オ）	進んで、共通、相違、事柄の順序など情報と情報の関係を理解したり、互いの話に関心をもって聞いたりして、話題に沿って話合いを進めようとしている。

B 「書くこと」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
「経験したことを報告する文章を書く活動」を通した指導		
言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いて文章を書いている。⑴ア 時間、作業手順、重要度、優先度などの事柄の順序を捉え、情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「書くこと」において、学級や学校、家庭や地域などで経験したことの中から報告したい事柄を選んだり、報告する相手を決めたりするなど、伝えたいことや相手を明確にしている。（ア） 「書くこと」において、経験したことが伝わるように、順序を表す言葉や、集めた材料と材料とをつなぐ言葉や文を用いて書いている。（ウ） 「書くこと」において、順序の分かりやすさや、語と語や文と文との続き方を視点にしたり、書き手が報告したいことがよく伝わっている文を見付けたりして感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（オ）	経験したことを報告する文章を書くために、学習の見通しをもち、経験したことが伝わるように進んで書き表し方を工夫しようとしている。 経験したことを報告する文章を書く活動を通して、書いた文章を積極的に人に読んでもらうことで書くことのよさを実感し、よりよく書こうとしている。
「観察したことを記録する文章を書く活動」を通した指導		

平仮名及び片仮名を書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。⑴ウ 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「書くこと」において、飼育・栽培している動植物を「観察の視点」に沿って観察し、必要な事柄を集めたり確かめたりして、書きたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、観察対象、観察内容の記録、観察して感じたことなど、記録文の構成を考えている。（イ） 「書くこと」において、時間や事柄の順序を表す語を適切に用いたり、内容のまとまりが明確になっているかを確かめたりしている。（エ）	観察したことを記録する文章を書くために、得た情報を関係付け、観察の視点に沿って積極的に必要な情報を集めて文章を構成し、言葉や内容のまとまりを確かめながら平仮名や片仮名を正しく使って書こうとしている。
「日記を書く活動」を通した指導		
長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「　」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。⑴ウ	「書くこと」において、身近な生活の中で自分が行ったことや見聞きした身の回りの出来事から、日記に書きたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序や時間の順序に沿って、簡単な構成を考えている。（イ）	日記を書くために、継続的に、日々の出来事や感想を書く楽しさを感じながら、簡単な構成を考えようとしている。

「手紙を書く活動」を通した指導

文の中における主語と述語との関係に気付いている。⑴カ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。⑴キ	「書くこと」において、身近な生活の中で自分が行ったことなどから、手紙で伝えたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、自分の思いや考えが手紙を送る相手に明確になるよう、簡単な構成を考えている。（イ） 「書くこと」において、手紙を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。（エ）	学習課題に沿って、相手に伝えたいことを明確にし、進んで、主語と述語との関係や敬体の使い方に気を付けて手紙を書くとともに、書いた手紙を読み返して語や文の続き方を確かめようとしている。

「簡単な物語を書く活動」を通した指導

言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにして文章を書いている。⑴オ 読書の楽しさや面白さを感じ、物語、昔話、絵本などいろいろな本があることを理解している。⑶エ	「書くこと」において、想像したことから、登場人物やその行動などの大体を決め、書きたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、伝えたいことを相手に分かってもらうために、事柄の順序に沿って話の筋を考えている。（イ） 「書くこと」において、絵や写真から場面や登場人物の会話、行動を想像して、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書いている。（ウ） 「書くこと」において、書いた物語を読み合い、感想を伝え合うとともに、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。（オ）	簡単な物語を書くために、これまでに読んだ物語の人物設定や話の展開を参考にしたり、登場人物の会話や行動を具体的に想像したりしながら、動きを表す語彙を工夫して、出来事の順序や内容のまとまりを意識して話の筋を考えようとしている。

C 「読むこと」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
「分かったことや考えたことを述べる活動」を通した指導		
事物を表す言葉を話や文章の中で使っている。⑴オ 主語と述語の適切な係り受けを意識しながら文章を読んでいる。⑴カ 事柄の順序を考えることが内容を理解したり表現したりするために大切であることを理解している。⑵ア	「読むこと」において、文章の冒頭部分から何を説明しているのかを把握し、題名や写真、時間や事柄の順序を表す言葉などを手掛かりにしながらどのような時間の経過や手順で説明しているのかを捉えている。（ア） 「読むこと」において、「問い」と「答え」となる部分など、文章の中の重要な語や文を見付けている。（ウ）	知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組み等について説明した文章を読む活動を通して、積極的に書かれている事柄の順序を見付けながら読もうとしている。

「感想を書く活動」を通した指導

事物を表したり経験したことを伝えたりする言葉の働きに気付いている。⑴ア 主語と述語の適切な係り受けを意識している。⑴カ 知りたいことから本を選び、新しい知識を獲得し読書の楽しさや面白さを感じている。⑶エ	「読むこと」において、題名や見出し、写真、挿絵などを手掛かりにしながら、文章に取り上げられている話題や文章表現上の順序を捉えている。（ア） 「読むこと」において、文章の中から、自分が知りたいことや興味をもったことにつながったり、考えや思いを書くために必要となったりする言葉や文を見付けている。（ウ） 「読むこと」において、文章の内容と自分の知識や実際の経験、問題意識を結び付けて理解し、感想をもっている。（オ）	強く興味をもったことや疑問に思ったこと、もっと知りたいことなどについて知識を得るために、本を繰り返し読みながら、新しい知識を獲得することの楽しさに気付いたり、興味をもった理由や自分の感想を伝えたりしようとしている。
「本の紹介をする活動」を通した指導		
言葉には、出来事や事物の内容や、感想を伝える働きがあることに気付いている。⑴ア 事物や体験したことを表す言葉を理解し話や文章の中で使っている。⑴オ 文末の表現に注意し、敬体で書かれた文章に読み慣れている。⑴キ 読書に親しみ、物語、昔話、絵本、科学的な読み物、図鑑などいろいろな本があることを理解している。⑶エ	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動などを基に、誰が、どうして、どうなったかを把握し、物語の内容の大体を捉えている。（イ） 「読むこと」において、場面の様子に着目し、登場人物の行動や会話を物語の展開と結び付けて想像している。（エ） 「読むこと」において、文章の内容と自分の知識や実際の経験、読書体験と結び付けながら想像を広げたり理解を深めたりし、自分の好きなところをまとめている。（オ）	本の紹介をするために、どのようにすれば選んだ本に対する思いや本の楽しさを伝えることができるか考えながら、自らいろいろなジャンルの本を選んで読んだり、繰り返し文章を読んで登場人物の行動を想像したりして、自分の好きなところをまとめようとしている。

「役割音読をする活動」を通した指導		
主語と述語との関係に気付き、主語と述語を適切に対応させて使っている。⑴カ 語のまとまりや言葉の響きやリズムなどに注意して音読している。⑴ク 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、話の面白さや語り口、言い回しに気付き親しんでいる。⑶ア	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動、会話、挿絵などから、物語の内容の大体を捉えている。（イ） 「読むこと」において、場面の様子の叙述を基に、登場人物の行動や表情・口調・様子などをイメージしたり行動の理由を想像したりしている。（エ） 「読むこと」において、話の面白さや場面の様子について分かったことを音読で発表し合い、互いの考えを認め合っている。（カ）	進んで、想像を広げて動作化したり登場人物の会話を付け足したりして、物語の楽しさが伝わるように友達と見合いながら、音読しようとしている。 物語の内容の大体を捉え、言葉の響きやリズムなどに注意して、繰り返し音読したり、場面の様子について分かったことを音読で発表したりしながら、互いの考えのよさを見付けようとしている。
「図鑑を読む活動」を通した指導		
いろいろな本があることを知り、読む目的に合わせて、表紙や題名、目次、図や写真などに着目して選んでいる。⑶エ 事柄の順序の関係を理解し、相手の考えを理解したり自分の考えを伝えたりしている。⑵ア	「読むこと」において、自分が知りたいことや、図や絵、写真から読んで興味をもったことを基に、必要な情報を見付けている。（ウ） 「読むこと」において、文章を読んで理解した内容と自分が既にもっている知識や経験、読書体験などとを結び付けながら、感想をもっている。（オ） 「読むこと」において、文章を読んで「面白いな」と感じたことや「なるほど」と気付いたことを分かち合っている。（カ）	知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組み等について説明した文章から、必要な情報を見付けたり分からないこと等をさらに調べたりしながら粘り強く読もうとしている。

「書写」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
「ポスターを書く活動」を通した指導		
硬筆で書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくして、丁寧に書いている。（ｱ） 読みにくい形にならないように文字のおおよその形を把握して書いている。（ｲ） 基準となる字形を意識して、二つの点画がどの位置で接したり交わったりすべきか点画相互の関係性を理解して書いている。（ｳ）	相手や目的に応じて文字の大きさについて見直したり、グループなどでよりよい表現について話し合ったりしながら書いている。	伝えたいことをよりよく表現するために、文字のおおよその形に気を付けて、文字を正しく書こうとしている。
「相手に伝えるために伝達メモをとる活動」を通した指導		

硬筆で書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくして、滑らかに書いている。（ｱ） 読みにくい形にならないように文字のおおよその形を把握して書いている。（ｲ） 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、平仮名、片仮名、漢字を正しく書いている。（ｳ）	文字の大きさなどを考え、相手が読みやすいように書いている。	目的に応じた速さで効果的に書くために、硬筆で書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめながら、相手が読みやすいように進んでメモを取ろうとしている。

「自分のために聞き取りメモをとる活動」を通した指導

文字を効率よく書くために、親指を握りこまないように鉛筆を持ち、なめらかに運筆している。（ｱ）	文字の大きさなどを考え、相手が読みやすいように書いている。	目的に応じた速さで効果的に書くために、硬筆で書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめながら、進んでメモを取ろうとしている。

「手紙を書く活動」を通した指導

硬筆で書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくして、丁寧に書いている。（ｱ） 相手を意識して始筆と終筆（とめ・はね・はらい）までの点画の書き方に注意して丁寧に書いている。（ｲ） 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を正しく書いている。（ｳ）	相手に思いが伝わるように文字の大きさを工夫しているかなどを考えて書いている。	相手に思いが伝わるように、始筆と終筆（とめ・はね・はらい）までの点画の書き方を確かめながら、進んで手紙を書こうとしている。

「書初めを書く活動」を通した指導

背筋を伸ばした状態で体を安定させ、書く位置と目の距離を適度にとるといった硬筆の姿勢や持ち方を理解して正しく書いている。（ｱ） 点画の始筆から終筆までの筆記具の運び方や文字の形を形成していく過程を意識して、筆順に従って丁寧に書いている。（ｲ） 正しく整った文字を実現するために、基準となる字形を見て点画相互の関係性を捉えながら書いている。（ｳ）	これまで受け継がれてきた我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を書き表すことの意味を考えて書初めを書いている。	我が国の豊かな文字文化を理解し、今までの学習を生かして進んで書初めを書こうとしている。

国語科 小学校 第3学年及び第4学年

A 「話すこと・聞くこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「調べたことを話したり聞いたりする活動」を通した指導		
相手を見て話したり聞いたりすることにより、聞き手の反応を見ながら話したり、同感や共感、疑問など、話に対する反応を示したりしている。⑴イ 相手や目的に応じて、丁寧な言葉を使うなど、敬体と常体との違いに注意して話している。⑴キ 説明をする中心と、その事柄に興味をもった理由や事例など、情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「話すこと・聞くこと」において、日常生活の中で興味や関心をもっていることや、本や文章を読んだり人に聞いたりしながら調べたことから、説明や報告をする必要のある事柄を選んでいる。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、分かりやすい理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。（イ） 「話すこと・聞くこと」において、話の中心を明確に捉えて話すとともに、目的や場の状況などを意識し、抑揚や間の取り方などを工夫している。（ウ） 「話すこと・聞くこと」において、事柄の順序など話の組み立てを意識しながら話の要点を捉えたり、自分が聞きたいことは何かを確かめたりしながら聞いている。（エ）	興味をもっていることや調べたことを相手に分かりやすく伝えるために、学習の見通しをもって、伝える必要のある事柄を選び、進んで話の構成を考えて話し方を工夫したり、聞き手の反応を見ながら話したりしようとしている。
「情報を集めたり発表したりする活動」を通した指導		
相手を見て話したり聞いたりするとともに、聞き手の反応を見ながら話したり、同感や共感、疑問など、話に対する反応を示したりしている。⑴イ 相手や目的に応じて、丁寧な言葉を使うなど敬体と常体との違いに注意して話している。⑴キ 話の中心と、それを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して集めた材料を共通点や相違点に着目しながら比べたり分類したりしている。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの中心を捉えるとともに、自分が聞きたいことの中心を明確にして聞き、必要な内容を記録したり、分からない点や確かめたい点を質問したりしている。（エ）	学習課題に沿って、情報を集めたり発表したりする活動を通して、話の中心とそれを支える理由や事例を理解し、集めた材料を進んで共通点や相違点に着目しながら比べたり分類したりしようとしている。
「グループで話し合う活動」を通した指導		
言葉には、自分の思考や感情を表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。⑴ア 相手を見て話したり聞いたりすることで、聞き手の反応を見ながら話したり、同感や共感、疑問など、話に対する反応を示したりしている。⑴イ	「話すこと・聞くこと」において、日常生活の中で興味や関心をもっていることから話し合うために必要な事柄を提案し、話し合いたいことを決めている。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、互いの意見の共通点や相違点に着目し、互いの意見を比較したり、それぞれの考えの根拠などに目を向けたりしながら考えをまとめている。（オ）	グループで話し合う活動を通して、積極的に話に対する反応を示し、互いの意見を比較したり、考えの根拠に目を向けたりしながら考えようとしている。

「学級全体で話し合う活動」を通した指導

言葉には、自分の思考や感情を表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。⑴ア 相手を見て話したり聞いたりするとともに、聞き手の反応を見ながら話したり、同感や共感、疑問など、話に対する反応を示したりしている。⑴イ 話の中心と、それを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「話すこと・聞くこと」において、興味や関心をもっていることから話し合うために必要な事柄を、結論を一つにまとめるということを意識して提案し、話し合いたいことを決めている。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、話し合う目的や必要性を意識して話合いを進めるために、司会者、提案者、参加者それぞれの役割を理解し、話題に沿って話合いを進めている。（オ）	今までの学習を生かして学級全体で話し合う活動を通して、聞き手の反応を見ながら話したり、自分の役割を意識したりしながら、積極的に話題に沿って話合いを進めようとしている。

B 「書くこと」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
「調査報告文を書く活動」を通した指導		
主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。⑴カ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。⑵ア 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。⑵イ 読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。⑶オ	「書くこと」において、身の回りの事柄や学習したことなどについて、不思議に思ったり疑問に思ったりしたことから調査したい題材を決め、相手や目的を意識して、集めた材料を比較・分類して、伝えたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、書く目的や必要に応じて理由や事例を挙げていることが読み手にも伝わるように表現を工夫している。（ウ） 「書くこと」において、事実をもとに、情報の収集や題材の設定が明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（オ）	身の回りの事柄や学習したことなどを報告する活動を通して、学習の見通しをもち、相手や目的を意識して取材をしたり、集めた情報の関係性を考えたりしながら、進んで報告文を書こうとしている。
「行事の案内文を書く活動」を通した指導		
漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。⑴ウ	「書くこと」において、行事の案内を伝える相手や目的に応じて、伝える事柄を決めている。（ア） 「書くこと」において、書いた案内文を読み返し、必要な情報が漏れなく書かれているか、相手や目的にあった文末表現になっているかなどを確かめている。（エ）	学習の見通しをもち、読み手を意識しながら情報の過不足を考えたり、読み手にとって読みやすい書きぶりになっているかを考えたりしながら、進んで書こうとしている。
「お礼の手紙を書く活動」を通した指導		

漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。⑴ウ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。⑴キ	「書くこと」において、読み手に伝えたい思いや考えが明確になるように、事例や理由を明らかにして文章を書いている。（ウ） 「書くこと」において、手紙を読み返して、送り仮名、句読点、敬体と常体の使い分け等の間違いを正したり、相手やお礼をする目的を意識した表現になっているかを確かめたりして文章を整えている。（エ）	お礼の手紙を書く活動を通して、読み手にお礼の気持ちを伝えたいという意識をもち、表記の仕方や言葉遣いに対して注意しながら、感謝の気持ちを込めてお礼の手紙を書こうとしている。

「詩を書く活動」を通した指導

言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。⑴ア 様子や行動、気持ちや性格を表す語彙の量を増し、文章の中で使っている。⑴オ	「書くこと」において、身近なことの中から、自分の思いに合った情景や自分の心を動かした出来事を詩の題材として選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、詩の題材の中から自分の気持ちを表現するのにふさわしい場面や情景を選んで、詩の書き表し方を工夫している。（ウ） 「書くこと」において、詩を読み、心に残った表現や改行形式などの書き方の巧みさについて意見を述べ合い、自分の表現のよいところを見付けている。（オ）	身近なことの中から題材を選んで詩を書く活動を通して、自分の気持ちを表現する楽しさを感じながら、語彙の量を増やしたり書き表し方を工夫したりし、表現のよさを見つけ合いながら詩を書こうとしている。

「物語を書く活動」を通した指導

様子や行動、気持ちや性格を表す語彙の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。⑴オ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。⑴カ 読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。⑶オ	「書くこと」において、登場人物や場面設定、事件とその結末など、物語の基本的な構成や、話の筋を考えている。（イ） 「書くこと」において、主人公の性格を設定し、その性格を表す行動や会話を工夫して書いている。（ウ） 「書くこと」において、物語を読み合い、主人公の設定や、事件とその解決が繰り返される構成の書き方の巧みさなどについて感想を伝え合うとともに、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。（オ）	物語を書く活動を通して、学習課題に沿って物語の構成や登場人物の設定を考え、必要な語彙や書きぶりなど読み手を意識しながら工夫して書こうとしている。

C 「読むこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「説明・解説した文章を読み説明する活動」を通した指導		

主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、意味段落等を捉え、その役割を理解している。⑴カ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「読むこと」において、「始めー中ー終わり」などの段落のまとまりや、考えとその事例などの段落相互の関係を捉え、自分の説明の仕方の全体構成を考えている。（ア） 「読むこと」において、中心となる語や文を選んで、元の表現を生かしたり自分の言葉を用いたりして、分かったことが端的に説明できるよう分量を考えて要約している。（ウ） 「読むこと」において、文章を読んで興味をもったことや初めて知ったことなどについて、感想や自分の考えをまとめ、伝えている。（オ）	説明的な文章を読んで、理由や事例などの段落相互の関係に着目して構成を考えたり、本文を引用したりして積極的に自分が分かったことを説明しようとしている。
「記録や報告の文章を読み意見を述べる活動」を通した指導		
主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割等について理解している。⑴カ 比較や分類の仕方を理解し、情報を整理している。⑵イ	「読むこと」において、結論とその理由などの段落相互の関係に着目し、調査の道筋や考えの進め方を捉えている。（ア） 「読むこと」において、自分が興味をもったことが伝わるように、必要な情報を見付け、自分の言葉で言い換えるなどしながら要約している。（ウ） 「読むこと」において、文章を読んで理解したことについて、自分の体験や既知の内容と結び付けて自分の考えを形成している。（オ） 「読むこと」において、文章を読んで最も興味をもったことなど感じたことや考えたことを発表し合い、他者の感じ方のよさに気付いている。（カ）	説明的な文章を読んで考えをまとめるために、段落相互の関係に着目し、必要な情報を短くまとめたり、自分が分かったことや考えたことを本文を引用しながら意見を述べ合ったりして、積極的に互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。

「本の紹介をする活動」を通した指導

様子や行動、気持ちや性格を表す語句や、感想、紹介の語句の量を増している。⑴オ 紹介したい部分や場面の様子がよく分かるように音読している。⑴ク 新しい世界に触れて自分の興味が広がる楽しさを味わい、本の種類など読書の幅を広げている。⑶オ	「読むこと」において、登場人物の紹介をするため、行動や気持ちなどについて、境遇や行動の背景など複数の叙述を基に捉えている。（イ） 「読むこと」において、話の面白さを説明するため、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、複数の叙述を関連付け、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（エ） 「読むこと」において、自分が選んだ本について、自分が文章をどのように捉え、理解したのかを基に、選んだ理由を明らかにして紹介している。（オ）	紹介したい本について説明するために自らいろいろなジャンルの本を選んで繰り返し読み、登場人物の気持ちの変化や性格を複数の叙述を関連付けて具体的に想像したり、自分の考えにぴったり合う紹介の言葉を選んだりして、本を選んだ理由を明らかにしながら紹介しようとしている。

「読書会をする活動」を通した指導

様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、読書会の中で感想語彙を使っている。⑴オ 読書によって、新しい世界に触れて自分の興味が広がる楽しさを味わい、自分の読書の幅を広げている。⑶オ	「読むこと」において、複数の叙述を結び付け、気持ちの変化や変化のきっかけ、登場人物の性格を思い描いたり、場面の移り変わりとともに変化する登場人物の気持ちと併せて情景を想像したりしている。（エ） 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、文章のどこに着目しているか、どのような思考や感情、経験と結び付けて読んでいるかによって一人ひとり違いがあることに気付き、互いの考えを理解している。（カ）	読書会をするために、文章のどこに着目し、どのような思考や感情、経験と結び付けて読んだかを明らかにしながら、物語を繰り返し読み、自分の感想や考えを述べようとしている。

「詩を読む活動」を通した指導

事柄や人物などの様子や特徴を表す語句、人物などの行動や気持ちを表す語句の量を増している。⑴オ 詩の内容や情景を想像し、自分の思いと合わせながら音読している。⑴ク	「読むこと」において、詩が凝縮した表現であること、普通の文章とは違った改行形式や連による構成になっていることなど、詩の基本的な特徴を理解している。（イ） 「読むこと」において、詩を読んで印象的な表現を捉えたり、伝わってくる情景を想像したりしている。（エ） 「読むこと」において、詩集を読んで感じたことを発表し合い、一人ひとりに伝わってくる情景や印象について違いのあることに気付いている。（カ）	詩の特徴に気付き、印象的な表現を捉えたり情景を想像したりして読み味わい、一人ひとりの感じ方の違いに気付いたり、好きな詩を見付けたりしながら、楽しんで詩集を読もうとしている。

「課題について調べてまとめる活動」を通した指導		
比較や分類の仕方、必要な語句の書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。⑵イ 疑問に思っていることが解決するなど、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付き、必要な本の選び方を身に付けている。⑶オ	「読むこと」において、自分の課題について調べるために、事典や図鑑などから必要な情報を見付け、中心となる語や文を選び分量を考えて要約している。（ウ） 「読むこと」において、文章をどのように捉え、理解したのか、疑問点や更に知りたい点は何かなどを見いだして、感想や考えをもっている。（オ） 「読むこと」において、自分の課題を解決するために、読みたい内容と関連する他の本や文章を探して読み、考えたり理解したりしたことを共有して、他者の感じ方などのよさに気付いている。（カ）	自分の課題を解決するために、解説の手掛かりとなる本や文章を検索して見付けたり、さらに知りたいことを粘り強く調べたりして、文や文章の選び方や要約の仕方を工夫して、自分の考えをまとめようとしている。

「書写」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
「ポスターを書く活動」を通した指導		
部首と他の部分との組立て方（左右、上下、内外など）を意識して、誰もが読みやすいように形を整えて書いている。（ｱ） 行の中心や行間、字間がそろっているかなど、文字配列や複数の文字列に注意して書いている。（ｲ） 筆圧を変化させる左右払いやほぼ等しい筆圧で書く横画など、画の書き方と筆圧を関連付けて書いている。（ｳ）	相手や目的に応じて文字の大きさや配列について見直したり、グループなどでよりよい表現について話し合ったりしながら書いている。	伝えたいことをよりよく表現するために、行の中心や行間、字間がそろっているかなどを繰り返し考えたりしながら書こうとしている。
「相手に伝えるために伝達メモをとる活動」を通した指導		
部首と他の部分との組立て方（左右、上下、内外など）を意識して、メモを渡す相手が読みやすいように形を整えて書いている。（ｱ） メモを渡す相手が読みやすいように行の中心や行間、字間がそろっているかなど、文字配列や複数の文字列に注意して書いている。（ｲ） メモを渡す相手が読みやすいように筆圧を変化させる左右払いやほぼ等しい筆圧で書く横画など、画の書き方と筆圧を関連付けて書いている。（ｳ）	文字の大きさ、行間などを考え、相手が読みやすいように書いている。 書く場面の状況によって書く速さが決まってくることを理解して書いている。	目的に応じた速さで効果的に書くために、行の中心や行間、字間がそろっているかなどを考えながら、相手が読みやすいように積極的にメモを取ろうとしている。
「自分のために聞き取りメモをとる活動」を通した指導		

部首と他の部分との組立て方（左右、上下、内外など）を意識して、自分が読み返したときに読みやすいように形を整えて書いている。（ｱ）	文字の大きさ、行間などを考え、相手が読みやすいように書いている。 書く場面の状況によって書く速さが決まってくることを理解して書いている。	目的に応じた速さで効果的に書くために、行の中心や行間、字間がそろっているかなどを考えながら、積極的にメモを取ろうとしている。

「手紙を書く活動」を通した指導

部首と他の部分との組立て方（左右、上下、内外など）を意識して、手紙を送る相手が読みやすいように形を整えて書いている。（ｱ） 漢字や仮名の大きさ、配列、行の中心や行間、字間など、文字配列や複数の文字列に注意して書いている。（ｲ） 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。（ｳ）	相手に思いが伝わるように目的に合った適切な形式に沿って書いているか、文字の大きさを工夫しているかなどを考えて書いている。	相手に思いが伝わるように、相手や目的に応じて、漢字や仮名の大きさ、配列、行の中心や行間、字間などを考えながら、進んで手紙を書こうとしている。

「書初めを書く活動」を通した指導

毛筆の姿勢や筆の持ち方を理解して、形を整えて毛筆で書いている。（ｱ） 仮名は漢字よりも小さく書くといった文字の大きさ、配列などに注意して書いている。（ｲ） 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。（ｳ）	これまで受け継がれてきた我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を毛筆で表すことの意味を考えて書初めを書いている。	我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を毛筆で表すことの意味を考えながら、今までの学習を生かして進んで書初めを書こうとしている。

国語科 小学校 第5学年及び第6学年

A 「話すこと・聞くこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「伝えたいことを話したり聞いたりする活動」を通した指導		
思考に関わる語句を話の中で使っている。⑴オ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の特徴について理解している。⑴カ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。⑴キ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。⑵イ	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、聞き手の興味・関心や情報量などを踏まえて話す内容を検討・整理している。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするために、事実と感想、意見とを区別したり、詳しい説明を付け加えたりするなど、話の構成を考えている。（イ） 「話すこと・聞くこと」において、資料を用いる目的や意図、必要性等を明確にして、資料提示の仕方等を工夫している。（ウ） 「話すこと・聞くこと」において、話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめている。（エ）	今までの学習を生かして、情報と情報との関係を意識して説明の仕方や資料等の提示の仕方を考えたり、事例の取り上げ方を考えたりしながら、伝えたいことを話したり聞いたりしようとしている。
「情報を収集したり発信したりする活動」を通した指導		
思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにしている。⑴オ 情報と情報との関連付けの仕方を理解して使っている。⑵イ	「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を、インタビューをする目的や意図に応じてまとめたり、互いに結び付けたりしている。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして自分の考えをまとめている。（エ）	学習課題に沿って、話し手の考えと自分の考えとの共通点や相違点といった、情報と情報との関連を理解し、積極的に情報を収集したり、適切な語句を使って自分の考えを発信したりしようとしている。
「目的に応じて話し合う活動」を通した指導		
話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。⑴イ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。⑴オ	「話すこと・聞くこと」において、相手や目的に応じて、集めた材料を、話す目的や意図に応じてまとめたり、互いに結び付けたりして話している。（ア） 「話すこと・聞くこと」において、賛成又は反対などのそれぞれの立場を明らかにした上で考えを述べ合い、自分の考えを様々な視点から広げたり、互いの考えを比較したりしながら自分の考えをまとめている。（オ）	学習の見通しや話合いの目的を明確にし、互いの立場や考えを理解したうえで、適切な語句を使って考えを述べ合い、話し合おうとしている。

B 「書くこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「意見文を書く活動」を通した指導		
語や文章の構成や展開について理解している。⑴カ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。⑴オ 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「書くこと」において、題材に関する情報の中から、主張の理由、事例として適切なものを選んでいる。（ア） 「書くこと」において、「頭括型」「尾括型」「双括型」等文章全体の構成や展開を工夫している。（イ） 「書くこと」において、意見を明確に伝えるために、詳しく書いたり端的に書いたりする場合を判断しながら書き表し方を工夫している。（ウ）	意見を伝える文章を書くために、学習の見通しをもち、語感や言葉に対する理解を高めたり、積極的に情報を収集し、情報の関係を考えながら構成や展開を工夫したりするとともに、意見を明確に伝えるために、書き表し方を工夫しながら書こうとしている。
「説明文を書く活動」を通した指導		
言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。⑴ア 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。⑴ウ 説明に関わる語彙の量を増やし、文章の中で使っている。⑴オ	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（イ） 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想とを区別して書くなど、書き表し方を工夫している。（ウ） 「書くこと」において、説明するために引用したり、図表やグラフなどを用いたりしている。（エ）	説明する文章を書くために、説明するための語彙を増やして、事実と感想を区別し、進んで必要な図表などを用いたりしながら、相手に分かりやすく書こうとしている。
「活動の報告を書く活動」を通した指導		
原因と結果を表すための文の中での係り方や語順、文と文との接続の関係などについて理解している。⑴カ 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。⑵ア	「書くこと」において、事実と考えとを区別し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（ウ） 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、推敲の観点をもって学 習過程全体を振り返っている。（オ）	活動の報告を書くために、学習の見通しをもち、情報と情報を関係付け、事実と考えを区別して書いたり、構成や展開を推敲するという観点をもとに、学習過程全体を振り返ったりしようとしている。
「短歌・俳句をつくる活動」を通した指導		

文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係などについて理解している。⑴カ	「書くこと」において、七音五音を基調に全体の構成や展開が明確になるように語順などを整えている。（オ） 「書くこと」において、全体の構成や展開が明確になっているか感動が伝わる言葉であるかなど感想を伝え合っている。（カ）	短歌・俳句をつくる活動を通して、文の中の語句の係り方や語順を理解したり、構成や展開が明確になるように語順を整えて書いたりし、つくった短歌・俳句を友達と読み合い、積極的に感想を伝えようとしている。

「随筆を書く活動」を通した指導		
比喩や反復、倒置や体言止めなどの表現の工夫に気付いている。⑴ク	「書くこと」において、自分について集めた材料を分類したり関係付けたりして伝えたいことを明確にしている。（ア） 「書くこと」において、自分の文章のよいところを見付けている。（カ）	随筆を書く活動を通して、比喩や反復、倒置や体言止めなどの表現の工夫に気付いたり、進んで自分について集めた材料を分類・整理しながら書き、自分の文章を読み直してよいところを見付けようとしている。

C 「読むこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「分かったことや考えたことを話し合う活動」を通した指導		
情報と情報との関係や情報の位置付けを示唆する語句などを理解し、話の中で使っている。⑴オ 文と文との接続の関係、文章の構成や展開、説明や解説といった文章の種類や特徴について理解している。⑴カ	「読むこと」において、全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えている。（ア） 「読むこと」において、書き手が自分の考えを適切に伝えるための論の進め方、説得力を高めるための理由や事例の用い方などについて自分の考えをもっている。（ウ） 「読むこと」において、意見や感想を話し合うことを通して、互いの違いを明確にし、よさを認め合い、考えを広げている。（カ）	目的に応じて、読み方を考えたり、論の進め方や事例の用い方についての考えを積極的に話し合いながら互いの違いを明確にしようとしたりしている。
「分かったことや考えたことを文章にまとめる活動」を通した指導		
情報と情報との関係、比較・因果関係を表す語句など思考に関わる語句を使っている。⑴オ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解している。⑴カ	「読むこと」において、文章全体の構成を捉えて内容の中心や書き手の考えの中心となる要旨を把握している。（ア） 「読むこと」において、まとめる文章に応じ、必要な情報を取捨選択、整理、再構成している。（ウ） 「読むこと」において、複数の情報を比較、関係付けし、文章を読んで理解したことと既有の知識とを結び付け、自分の考えを文章にまとめている。（オ）	自分の課題を解決したいという願いをもち、その課題解決のために、複数の本や文章を比べて読み、情報を多面的に収集しようとしたり、複数の情報を比較、関係付け、整理したりしながら、自分の考えを根拠を明らかにして、分かりやすくまとめようとしている。
「伝記を読む活動」を通した指導		

思考に関わる語句を使っている。⑴オ 伝記の特徴を理解している。⑴カ 読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。⑶オ	「読むこと」において、文学的な描写か、事実の記述や説明の表現かを捉えている。（ア）（イ） 「読むこと」において、複数の叙述を関係付け、生き方や考え方など人物像を思い描いている。（エ） 「読むこと」において、人物の生き方などから、これからの自分のことについて考えたことを伝え合い、考えを広げている。（カ）	伝記を読んで捉えた事実に基づいて人物の生き方を考えたり、自分の生き方と比べたりする中で、身に付いた力を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。

「物語を読んで推薦したり読書会をしたりする活動」を通した指導		
語感や言葉の使い方に対する感覚を意識している。⑴オ 比喩・反復など表現の工夫に気付いている。⑴ク 文章を音読したり朗読したりしている。⑴ケ	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情を、行動や会話、情景などの描写を基に想像している。（イ） 「読むこと」において、複数の叙述を関係付け、人物像や物語の全体像を想像したり、様々な表現が読み手に与える効果を考えたりしたことを伝え合っている。（エ）	作品に対する疑問を解き明かしたり、課題を解決したりしようという意欲をもち、何度も本を読んで自分の考えをまとめたり、読書会で交流したりすることを通して自分の読みを広げようとしている。 物語を推薦するために、自分の課題に沿って、登場人物の相互関係や心情を、行動や会話などの描写に着目しながら繰り返し文章を読み、理由を明らかにして、考えたことを伝えようとしている。
「調べたことを報告する活動」を通した指導		
話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。⑴カ 分解・まとめ・類推・系統化など情報と情報との関係付けの仕方、図示による情報の整理の仕方を理解し使っている。⑵イ	「読むこと」において、調べたことを報告するために、複数の資料を活用し、文章と図表とを結び付けるなどして、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしている。（ウ） 「読むこと」において、情報の内容を精査・解釈しながら理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ、文章に書いたり、発表したりして報告している。（オ）	調べたことを報告するために、自分の課題に関係する本や文章を根気よく集めたり、複数冊読んだりしながら、自分にとって必要な情報を取捨選択し、それらを関係付けながら、自分の考えを構築しようとしている。
「新聞などを活用する活動」を通した指導		
原因と結果など情報と情報との関係について理解している。⑵ア 読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。⑶オ	「読むこと」において、同じテーマについて書かれた異なる新聞社の記事や雑誌、インターネットから得た情報を比較し、編集や論の進め方の違いを捉えている。（ウ） 「読むこと」において、書き手の意図を理解した上で、自分の考えを明確にしている。（オ）	同じテーマについて書かれた異なる新聞社の記事を比較し、書き手の意図によって編集や論の進め方が違うことを捉え、読み手に与える印象を考えながら、自分の考えを明確にしようとしている。

「書写」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「ポスターを書く活動」を通した指導		
見出しを目立たせるなど文字の大きさを決め、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えて書いている。（ア） 筆記具全体の形状、各部分の材質や形状、色などの特徴を生かし、目的に応じて筆記具を選んで書いている。（ウ）	相手や目的に応じて紙面全体に対する文字の大きさや配列について見直したり、グループなどでよりよい表現について話し合ったりしながら書いている。	伝えたいことをよりよく表現するために、効果的な筆記具を検討したり、文字の大きさや効果的な配列を繰り返し考えたりしながら書こうとしている。
「相手に伝えるために伝達メモをとる活動」を通した指導		

メモを渡す相手が読みやすいように見出しを目立たせるなど文字の大きさを決め、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えて書いている。（ｱ） メモを渡す相手が読みやすいように筆記具全体の形状、各部分の材質や形状、色などの特徴を生かし、目的に応じて筆記具を選んで書いている。（ｳ）	文字の大きさ、行間、行の中心などの調和を考え、相手が読みやすいように書いている。 書く場面の状況によって書く速さが決まってくることを理解して書いている。	目的に応じた速さで効果的に書くために、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えながら、相手が読みやすいように積極的にメモを取ろうとしている。
「自分のために聞き取りメモをとる活動」を通した指導		
聞き取ったことを、ある程度の速さを意識して書いている。（ｱ）	文字の大きさ、行間、行の中心などの調和を考え、相手が読みやすいように書いている。 書く場面の状況によって書く速さが決まってくることを理解して書いている。	目的に応じた速さで効果的に書くために、文字の位置、字間、行間などの効果的な配列を考えながら、積極的にメモを取ろうとしている。
「手紙を書く活動」を通した指導		
文字の位置、行間を考えるなど、文字の大きさや配列を考えて書いている。（ｱ） 毛筆などを使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。（ｲ） 相手や目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。（ｳ）	相手に思いが伝わるように目的に合った適切な形式に沿って書いているか、文字の大きさを工夫しているか、筆記用具を選んでいるかなどを考えて書いている。	相手に思いが伝わるように、相手や目的に応じて、文字の大きさや配列を考えたり、使用する筆記具の特徴を生かしたりして、進んで手紙を書こうとしている。

「書初めを書く活動」を通した指導		
用紙に合った文字の大きさを決め、文字の位置、字間などの効果的な配列を考えて毛筆で書いている。（ｱ） 毛筆の特徴を生かして、書き始めから書き終わりまでを効率よい書写のリズムで書いている。（ｲ） 毛筆の形状、各部分の材質や形状などの特徴を生かし、目的に応じて筆記具を選んで書いている。（ｳ）	これまで受け継がれてきた我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を毛筆で表すことの意味を考えて書初めを書いている。	我が国の豊かな文字文化を理解し、身近な文字を毛筆で表すことの意味を考えながら、今までの学習を生かして進んで書初めを書こうとしている。

02 社会科

【目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（１）地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して除法を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる問題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

（３）社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

社会科 小学校 第3学年

(1)「身近な地域や市区町村の様子」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・私たちの生活する身近な地域や自分たちの横浜市の様子を理解している。 ・観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。	・神奈川県内における横浜市の位置、横浜市の地形や土地利用、交通の広がり、横浜市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や横浜市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。	私たちの生活する身近な地域や自分たちの横浜市の様子について、主体的に問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(2)「地域に見られる生産や販売の仕事」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・生産の仕事は，地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 ・販売の仕事は，消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう，工夫して行われていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめている。	・仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現している。 ・消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどに着目して，販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え，それらの仕事に見られる工夫を考え，表現している。	・地域に見られる製造や販売の仕事について、主体的に問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(3)「地域の安全を守る働き」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・消防署や警察署などの関係機関は，地域の安全を守るために，相互に 連携して緊急時に対処する体制をとっていることや，関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，まとめている。	・施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，関係 機関や地域の人々の諸活動を捉え，相互の関連や従事する人々の働きを考え，表現している。	・地域の安全を守る働きについて、主体的に問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(4)「市の様子の移り変わり」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・横浜市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解している。 ・聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめている。	・交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違い に着目して，横浜市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現している。	・横浜市の様子や移り変わりについて、主体的に問題を解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

社会科 小学校 第4学年

(1)「都道府県の様子」における評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・神奈川県の地理的環境の概要を理解すること。また、47 都道府県の名称と位置を理解している。 ・地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。	・我が国における神奈川県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。	・神奈川県の様子について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」における評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・見学や聞き取りなどの調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。	・飲料水、電気、ガスを供給する仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 ・廃棄物処理の仕組みや資源の再利用、県内外の人々の協力などに着目し、廃棄物処理のための仕組みを捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。	・人々の健康や生活環境を支える事業について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(3)「自然災害から人々を守る活動」における評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・地域の関係諸機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 ・聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめている。	・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。	・自然災害から人々を守る活動について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(4)「県内の伝統や文化、先人の働き」における評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。 ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。	・歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現している。 ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。	・県内の伝統や文化について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。 ・地域の発展に尽くした先人の働きについて、主体的に問題解決したり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

(5)「県内の特色ある地域の様子」における評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。	・特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。	・県内の特色ある地域の様子について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

社会科 小学校 第5学年

第 5 学年(1)「我が国の国土の様子と国民生活」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。	世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島々からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現している。 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現している。	我が国の国土の様子と国民生活について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第 5 学年(2)「我が国の農業や水産業における食料生産」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。	生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。	我が国の農業や水産業における食料生産について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第５学年(3)「我が国の工業生産」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。	工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現している。	我が国の工業生産について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第５学年(4)「我が国の産業と情報」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。 聞き取り調査をしたり、映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめている。	情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。	我が国の産業と情報について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第５学年（５）「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
自然災害は国土の自然条件などの関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るため国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。 地図帳や各種の資料で調べ、まとめている。	災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現している。 森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現している。 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現している。	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

社会科 小学校 第6学年

第 6 学年(1)「我が国の政治の働き」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめている。	日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現している。 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現している。	我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第 6 学年(2)「我が国の歴史上の主な事象」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解している。 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめている。	世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。	我が国の歴史上の主な事象について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

第 6 学年(3)「グローバル化する世界と日本の役割」における「内容のまとまりごとの評価規準」

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。	外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現している。 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。	グローバル化する世界と日本の役割について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

03 算数科

【目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
（２）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
（３）数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

算数科 小学校 第1学年

■評価の観点とその趣旨

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を積み重ね、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 ・加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けている。	・ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、 身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。	・数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

算数科 小学校 第1学年

A 「数と計算」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「数の構成と表し方」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。 ･個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。 ･数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。 ･一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみることができる。 ･ 2位数の表し方について理解している。 ･ 簡単な場合について、3位数の表し方を知っている。 ･数を、十を単位としてみることができる。 ･具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表すことができる。	･数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。	･数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。 ・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。 ・数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。 ・一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみることができる。 ・２位数の表し方について理解している。 ・簡単な場合について、３位数の表し方を理解している。 ・数を、十を単位としてみることができる。 ・具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表すことができる。	・２ずつや５ずつ、10ずつなどの数のまとまりを用いて、数の数え方を考えている。 ・「10とあと幾つ」などの数の見方を用いて、数の比べ方を考えている。 ・数の大きさの比べ方や数え方を日常生活に生かす具体的な場面を見いだしている。	・身の回りにあるものの個数や順番に親しみ、大きさを比べたり数えたりしようとしている。 ・ものの個数や順番を数を用いて表すことで、日々の生活が効率的になったり豊かになったりするというよさに気付いている。

(2)「加法及び減法」

内容のまとまりごとの評価規準		
・加法及び減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知っている。 ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知つている。	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりしている。	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・加法及び減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知っている。 ・合併や増加、求残や求差など、加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・１位数と１位数との加法及びその逆の減法の計算が確実にできる。 ・「10が幾つ」や「10とあと幾つ」という数の見方などを用いると、簡単な場合について、２位数などの加法及び減法ができることを知っている。	・ある場面が加法及び減法が用いることができるかどうかを、数量の関係に着目して、具体物や図などを用いて考えている。 ・日常生活の問題を加法及び減法を活用して解決している。 ・和が10より大きい数になる加法及びその逆の減法について、「10とあと幾つ」という数の見方を用いて、計算の仕方を考えている。	・加法及び減法が用いられる場面の数量の関係を具体物や図などを用いて考えようとしている。 ・加法及び減法の場面を身の回りから見付け、加法及び減法を用いようとしている。 ・学習したことをもとに、和が10より大きい数になる加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。

算数科 小学校 第1学年
B「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「身の回りにあるものの形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・ものの形を認め、形の特徴を知っている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ・前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。	・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。	・身の回りにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・身の回りにあるものの形について、「さんかく」、「しかく」、「まる」などの形を見付けることができる。また、平ら、丸い、かどがあるなどの形の特徴やころがる、重ねられるなどの形の機能的な特徴を理解している。 ・積み木や、箱、色板などを用いて、身の回りにある具体物の形を作ったり、作った形から逆に具体物を想像したりすることができる。 ・身の回りにあるものの形について、観察したり、構成したり、分解したりする活動を通して図形についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。 ・前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。	・身の回りにある具体物の中から、色や大きさ、位置や材質などを捨象し、形を認め、形の特徴を捉えている。 ・ずらす、回す、裏返すなどの具体的な操作を通して、形のもつ性質や特徴を生かした形の構成について考えている。	・身の回りにあるものの形に親しみ、観察したり、構成したり、分解したりしようとしている。 ・箱の形や筒の形、ボールの形などを身の回りから見付けようとしている。 ・「さんかく」、「しかく」、「まる」などの形を身の回りから見付けようとしている。

算数科 小学校 第1学年
C 「測定」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「身の回りにあるものの大きさ」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べることができる。	・身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。	・身の回りにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・長さ、広さ、かさを、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べることができる。 ・身の回りにあるものの長さ、広さ、かさの大小をとらえるなど、量(長さ、広さ、かさ)の大きさについて感覚を豊かにしている。	・身の回りのものの特徴の中で、比べたい量に着目し、量の大きさの比べ方を考え、比べ方を見いだしている。	・身の回りにあるものの長さ、広さ、かさに親しみ、大きさを比較しようとしている。 ・媒介物を用いて大きさを比べることで、直接には比べられないものが比べられるようになるというよさに気付いている。 ・身の回りにあるものの大きさを単位としてその幾つ分かで数値化することで、大きさの違いを明確にすることができるよさに気付いている。
(2)「時刻」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・日常生活の中で時刻を読むことができる。	・時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けている。	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準(例)		
・時計の長針、短針を見て、時刻を読むことができる。	・時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けている。	・時刻を用いることで日常生活の行動に生かせるというよさに気付き、日常生活の中で時刻を用いようとしている。

算数科 小学校 第1学年
D 「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「数量の整理」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすることができる。	・データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉えている。	・数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすることができる。 ・対象を絵などに置き換える際には、それらの大きさをそろえることや、並べる際に均等に配置することが必要であることを理解している。	・身の回りの事象について、絵や図などを用いて整理して表すことで、どの項目のどのデータの個数がどの程度多いかという事象の特徴を捉えている。	・ものの個数を絵や図などに整理して表すことを楽しんで学んでいる。

算数科 小学校 第2学年

■評価の観点とその趣旨

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 ・加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。	・数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを身に付けている。	・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第2学年

A 「数と計算」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「数の構成と表し方」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、分類して数えたりすることができる。 ･4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解している。 ･数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解している。 ･一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみることができる。 ･簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。 ･1/2、1/3など簡単な分数について知っている。	･数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。	･数に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・ものの個数を、２ずつ、５ずつ、10ずつまとめて数えたり、分類して数えたりすることができる。 ・４位数までの数について、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解している。 ・４位数までの数について、書いたり読んだりすることができる。 ・二つの数の大小関係を「＞」、「＜」を用いて表すことができる。 ・４位数までの数について、数を十や百を単位として捉えることができる。 ・一つの数をほかの数の積と捉えることができる。 ・身の回りに、整数が分類整理に使われていることを理解している。 ・1/2、1/3など簡単な分数について知っている。	・ものの個数を実際に数え、図に表すなどして、十進位取り記数法の仕組みによる数の表し方を考えている。 ・４位数までの数について、数のまとまりに着目し、数の比べ方を考えている。 ・数の相対的な大きさを捉えたり、一つの数をほかの数の積としてみたりするなど、数を多面的に捉えている。 ・12個を３等分した場面などを「12個の1/3は４個」などと表現している。	・身の回りのものの個数を10や100のまとまりにして数えたり、数えたものを数字を使って書いたり読んだりしようとしている。 ・４位数までの数について、簡潔・明瞭・的確に数えようとしている。 ・身の回りから、整数が使われている場面を見付けようとしている。
(2)「加法及び減法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･2位数の加法及びその逆の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、それらの計算が確実にできる。また、それらの筆算の仕方を理解している。 ･簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知っている。 ･加法及び減法に関して成り立つ性質について理解している。 ･加法と減法との相互関係について理解している。	･数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	･加法及び減法に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。 ･2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。 ･2位数の加法及びその逆の減法の計算を生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・２位数の加法及びその逆の減法の計算が、１位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ・２位数の加法及びその逆の減法の計算の筆算の仕方について理解している。 ・２位数の加法及びその逆の減法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、３位数などの加法及び減法の計算の仕方を知っている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質について理解している。 ・加法と減法は互いに逆の関係になっているなど、加法と減法の相互関係について理解している。	・２位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えている。 ・２位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方と筆算の仕方を関連付けて考えている。 ・簡単な場合について、３位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを用いて、計算の仕方を考えたり、計算の確かめをしたりしている。 ・加法と減法の相互関係について、図を基に考え、式で表現している。	・２位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考えようとしている。 ・２位数の加法及びその逆の減法の計算を生活や学習に活用しようとしている。 ・簡単な場合について、３位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えようとしている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を用いて、計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることを通して、そのよさに気付いている。 ・加法と減法の相互関係を考察するに用いる図のよさに気付いている。
(3)「乗法」		
内容のまとまりごとの評価規準		

･乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ･乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ･乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。 ･乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。 ･簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知っている。	･数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ･数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。	･乗法に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・乗法は、一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に用いられるなど、乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ・乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。 ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・交換法則など乗法に関して成り立つ簡単な性質を図を用いて理解している。 ・乗法九九について知り、１位数と１位数との乗法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、２位数と１位数との乗法の計算の仕方を知っている。	・乗法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、式に表したり、乗法の式を、具体的な場面に結び付けて捉えたりしている。 ・計算の仕方を振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それを基に乗法を構成したりしている。 ・日常生活の問題や算数の問題、情報過多の問題、算数以外の教科等の問題などを、乗法を活用して解決している。 ・既習の乗法やその構成の方法を基に、簡単な場合について、２位数と１位数との乗法の計算の仕方を考えている。	・累加の簡潔な表現としての乗法のよさに気付き、ものの総数を乗法を用いて表そうとしている。 ・一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に、乗法を用いるとその総数を簡潔に求めることができるというよさに気付き、乗法の場面を身の回りから見付け、用いようとしている。 ・累加や乗法に関して成り立つ簡単な性質を用いるなどして、乗法九九を構成しようとしている。 ・簡単な場合について、２位数と１位数との乗法の計算の仕方を発展的に考えようとしている。

算数科 小学校 第2学年

B 「図形」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･三角形、四角形について知っている。 ･正方形、長方形、直角三角形について知っている。 ･正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。	･図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えているとともに、身の回りのものの形を図形として捉えている。	･図形に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・三角形が３本の直線で囲まれた図形であることなど三角形の意味について知っている。また、四角形について知っている。 ・直角や正方形、長方形、直角三角形について知っている。 ・紙を折って、直角や正方形、長方形や直角三角形を作ることができる。 ・格子状に並んだ点などを用いて、正方形、長方形、直角三角形を作図することができる。	・直線で囲まれた図形について、他の図形との比較によって分類し、三角形や四角形などの特徴を見いだしている。 ・四角形について、角や辺に着目し分類し、正方形や長方形などの特徴を見いだしている。	・身の回りの正方形、長方形、直角三角形が、日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。 ・正方形、長方形、直角三角形で平面を敷き詰める活動を楽しみ、できる模様の美しさや平面の広がりに気付いている。
・箱の形について、３種類の長方形が２組で構成されていることなどを理解している。 ・正方形や長方形を組み合わせたり、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。	・箱の形について、その違いに気付き分類し、分類した箱の形の特徴を見いだしている。	・身の回りの箱の形をしたものが、日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。 ・正方形や長方形を組み合わせるなどして、箱の形を構成しようとしている。

算数科 小学校 第2学年

C 「測定」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「量の単位と測定」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･長さの単位(ミリメートル(mm)、センチメートル(cm)、メートル(m)及びかさの単位(ミリリットル(mL)、デシリットル(dL)、リットル(L))について知り、測定の意味を理解している。 ･長さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を適切に選択して測定することができる。	･身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりしている。	･量を比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・長さの単位（ミリメートル（mm）、センチメートル(cm)、メートル（m））及びかさの単位（ミリリットル（mL）、デシリットル（dL）、リットル（L））と、量の大きさを単位を用いて数値化するという測定の意味について理解している。 ・測定するものに応じて、適切な長さやかさの単位を選び、身の回りの具体物の長さやかさを測定することができる。 ・１mがどれくらいの長さであるかや、１Lがどのくらいのかさであるかを、身の回りにあるものの大きさを基にして捉えるなど、長さやかさの大きさについて豊かな感覚をもっている。	・量の大きさを表現したり、比べたりする際、測定するものや目的に応じて、どの単位を用いることが適切か考えている。	・長さやかさを数値に表して比べたことを振り返り、普遍単位の必要性に気付いている。 ・身の回りのものの長さやかさを測定しようとしている。
(2)「時刻と時間」		
内容のまとまりごとの評価規準		

･日、時、分について知り、それらの関係を理解している。	･時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。	･時刻と時間を確認して、表したり求めたりすることに進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・時間の単位（日、時、分）について知り、時刻や時間を表すことができる。 ・時間の単位（日、時、分）の関係について理解している。	・日常生活における時刻や時間の求め方を考えている。	・日常生活の中で必要な時刻や時間を求めようとしている。

算数科 小学校 第2学年

D 「データの活用」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの活用」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。	･データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察している。	･データを整理することに進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表すことができる。 ・身の回りにある数量を分類整理して表した簡単な表やグラフを読むことができる。	・身の回りの事象について、簡単な表やグラフに表すことで、差の大小や全体の傾向について考えている。	・データの整理に進んで関わり、数量の大きさの違いを一目で捉えることができるなどの、グラフのよさに気付いている。

算数科 小学校 第3学年

■評価の観点とその趣旨

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 ・整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けいている。	・数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを身に付けている。	・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第3学年

A 「数と計算」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「整数の表し方」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･万の単位について知っている。 ･10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知っている。 ･数の相対的な大きさについての理解を深めている。	･数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。	･整数に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・万や億の単位について知っている。 ・10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知っている。 ・十、百、千、万を単位とする数の相対的な大きさの見方・考え方を用いて数を捉えることができる。	・数のまとまりに着目し、万を超える数の大きさの比べ方や表し方を、図や数直線を用いるなどして考えている。 ・数を比べる際には、十進位取り記数法をもとに大きい位から見れば大小を比べられることに気付いている。 ・十、百、千、万を単位とする数の相対的な大きさの見方を活用して、計算の仕方を考えている。	・万の単位の数が使われていることを身の回りから見付け、その大きさをつかんだり読んだりしようとしている。
(2)「加法及び減法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、それらの筆算の仕方について理解している。 ･加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。	･数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	･加法及び減法に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・３位数や４位数の加法及び減法の計算が２位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ・３位数や４位数の加法及び減法の筆算の仕方について理解している。 ・３位数や４位数の加法及び減法の計算が確実にできる。 ・２位数どうしの加法及びその逆の減法の答えを暗算で求めることができる。	・３位数や４位数の加法及び減法の計算の仕方について、十進位取り記数法による数の表し方や十を単位としてみる数の見方を基に考えている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を見いだしている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	・学習したととをもとに、３位数や４位数の加法及び減法の計算の仕方を考えようとしている。
(3)「乗法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ･乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ･乗法に関して成り立つ性質について理解している。	･数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	･乗法に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
･２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ･２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の筆算の仕方について理解している。 ･２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の筆算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質について理解している。	・被乗数を多面的に見たり、図と式を関連付けたりしながら、２位数や３位数に１位数や２位数をかける乗法の計算の仕方を考えている。 ・計算の仕方を振り返ったり、数量と図と関連付けたりしながら、乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、計算に関して成り立つ性質を見いだしている。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して計算を工夫している。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の確かめをしている。	・乗法の計算の仕方を振り返り、被乗数をどのようにみると既習の計算が使えるのかについて気付き、次の学習に活用しようとしている。 ・計算に関して成り立つ性質を使うと計算が工夫できるというよさに気付き、計算するときに活用しようとしている。 ・筆算をしたり見積りをしたりする際に、暗算が生かせるというよさに気付き、実際にしようとしている。
(4)「除法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。また、余りについて知っている。 ･除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ･除法と乗法や減法との関係について理解している。 ･除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできる。 ･簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知っている。	･数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ･数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。	･除法に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・包含除や等分除など、 除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ・除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・除法と乗法や減法との関係について理解している。 ・除数と商が共に１位数である除法の計算が確実にできる。 ・割り切れない場合に余りを出すことや、余りは除数より小さいことを知っている。 ・簡単な場合について、除数が１位数で商が２位数の除法の計算の仕方を知っている。	・除法が用いられる場面の数量の関係を考え、具体物や図などを用いて考えている。 ・除法は乗法の逆算と捉え、除法の計算の仕方を考えている。 ・余りのある除法の余りについて、日常生活の場面に応じて考えている。 ・日常生活の問題を除法を活用して解決している。 ・簡単な場合について、除数が１位数で商が２位数の除法の計算の仕方を考えている。	・除法が用いられ場面の数量の関係を、具体物や図などを用いて考えようとしている。 ・除法の場面を身の回りから見付け、除法を用いようとしている。 ・自分が考えた除法の計算の仕方について、具体物や図と式を関連付けて考えようとしている。

(5)「小数とその表し方」

内容のまとまりごとの評価規準		
･端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知っている。また、小数の表し方及び1/10の位について知っている。 ･1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。	･数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。	･小数に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知っている。 ・小数の表し方及び1/10の位について知っている。 ・量を測定する単位の構成が、十進構造になっていることについて理解している。 ・1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。	・小数の大きさについて、図や数直線を用いて表したり、0.1の幾つ分かを考えたりして、大きさを比べたり、小数の加法及び減法の計算の仕方を考えたりしている。 ・小数やその計算が日常生活にも使えることに気付いている。	・小数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうか考えたことを振り返り、0.1の幾つ分と見ることで整数と同じ見方ができることに気付き、次の学習に活用しようとしている。 ・端数部分の大きさを表すことができるというよさに気付き、身の回りから、小数が用いられる場面を見付けようとしている。

(6)「分数とその表し方」

内容のまとまりごとの評価規準		
･等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知っている。また、分数の表し方について知っている。 ･分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知っている。 ･簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。	･数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。	･分数に進んで関わり、数学的に表現･処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとまりごとの評価規準

・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知っている。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知っている。 ・数直線を用いて、0.1と1/10の大きさが等しいことを理解している。 ・同分母の分数の加法及び減法の意味について理解している。 ・真分数どうしの加法及び減法、和が1までの加法とその逆の減法の計算の仕方を知っている。	・同分母どうしの場合は、単位分数を基に、分子の大きさを比べることができることに気付き、分数の大きさを比べている。 ・単位分数の幾つ分と見ることで、整数と同じように処理できることに気付き、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方について、日常生活における場面を基に考えたり、図に表して考えたりしている。	・端数部分の大きさを分数を用いて表そうとしている。 ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えようとしている。 ・身の回りから、分数が用いられる場面を見付けようとしている。 ・単位として都合のよい大きさを選ぶことで、小数では表せない数も表すことができるよさに気付いている。
(7)「数量の関係を表す式」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・数量の関係を表す式について理解するとともに、数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすることができる。	・数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりしている。	・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・未知の数量を□などを用いて表すことにより、数量の関係を式で表せることを理解している。 ・未知の数量を□などを用いて表し、その関係を式に表すことができる。 ・未知の数量を□などを用いて表した式について、□に数を当てはめて調べることができる。	・数量の関係に着目し、数量の関係を図や、□などを用いた式に、簡潔に表している。 ・□などを用いて表した式そのものが、一つの数量を表していることに気付き、式と図を関連付けて、式が表している場面の意味を読み取っている。	・数量の関係を図に表したことを振り返り、□などを用いた式に表すよさに気付き、□などを用いた式を問題解決に生かそうとしている。
(8)「そろばん」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・そろばんによる数の表し方について知っている。 ・簡単な加法及び減法の計算の仕方について知り、計算している。	・そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えている。	・そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・そろばんによる数の表し方について知っている。 ・そろばんによる簡単な１位数や２位数の加法及び減法の計算の仕方について知り、計算している。	・そろばんによる大きな数や小数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。	・そろばんによる数の表し方を振り返り、十進位取り記数法の仕組みでそろばんが作られているよさに気付き、そろばんで整数や小数を表したり、計算したりしようとしている。

算数科 小学校 第3学年

B 「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		

·二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目している。 ·基本的な図形と関連して角について知っている。 ·円について、中心、半径、直径を知っている。また、円に関連して、球についても直径などを知っている。	·図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見いだし、身の回りのものの形を図形として捉えている。	·図形に進んで関わり、数学的に表現·処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・二等辺三角形、正三角形、直角に等辺三角形の意味や性質を理解している。 ・二等辺三角形や正三角形を、定規やコンパスを用いて作図することができる。 ・二等辺三角形を作図する中で、正三角形が作図できることに気付いている。 ・一つの頂点から出る２本の辺が作る形を角ということを知っている。	・二等辺三角形、正三角形などの三角形を観察し、違いに気付いて分類し、それらの特徴を見いだしている。 ・二等辺三角形や正三角形を紙で作ったり、作図したりすることを通して、二等辺三角形や正三角形の性質を見いだしている。	・二等辺三角形や正三角形の観察や構成を通して、それらの特徴や性質を見いだそうとしている。 ・二等辺三角形の作図の仕方を振り返り、正三角形の作図に活用しようとしている。 ・二等辺三角形や正三角形が敷き詰められることなど、二等辺三角形や正三角形のよさに気付き、身の回りの二等辺三角形や正三角形が日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。
・円や球について、中心、半径、直径の意味やそれぞれのもつ性質を知っている。 ・コンパスを用いて、円を作図することなどができる。	・円の半径や直径を観察したり、作図したりすることを通して、円の半径や直径は無数にあるなどの性質を見いだしている。 ・球の観察などを通して、球を平面で切ると切り口は円になり、球をちょうど半分に切った場合の切り口が最大になるなどの性質を見いだしている。	・円と球に関心をもち、特徴を調べようとしている。 ・身の回りの円や球が、日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。

算数科 小学校 第3学年

C 「測定」の評価規準

知識·技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「量の単位と測定」		
内容のまとまりごとの評価規準		
·長さの単位(キロメートル(km))及び重さの単位(グラム(g)、キログラム(kg))について知り、測定の意味を理解している。 ·長さや重さについて、適切な単位で表したり、およその見当を付け計器を適切に選んで測定したりしている。	·身の回りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。	·量を比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現·処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・長さの単位（km）及び重さの単位（ｇ、kg、ｔ）について知り、長さや重さも単位の幾つ分かで測定できることを理解している。 ・ものの長さや重さについて、適切な単位で表すことができる。 ・長さや重さについて、およその見当を付け、計器を適切に選んで測定することができる。 ・メートル法の単位の仕組について理解している。	・長さ、体積、重さについて、１kmは1000ｍ、１Ｌは1000mL、１kgは1000gなどの関係を基に、既習の単位を整理し、接頭語が表す倍の関係などに気付いている。 ・メートル法の単位の仕組みを活用し、新しい単位に出会ったときも類推して量の大きさを考えている。	・長さや重さについて、およその見当を付け、効率的に測定しようとしている。 ・長さや重さなどの単位を用いて表したことを振り返り、「m」「c」「k」などの接頭語が共通に用いられているというメートル法の単位の仕組のよさに気付き、身の回りで使われている新しい量の単位に出会ったときも類推してその単位の大きさや関係について考えようとしている。

(2)「時刻と時間」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・秒について知っている。 ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・秒について知っている。 ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。	・日常生活の場面について、時計の模型や数直線を用いて時刻や時間の求め方について考えている。	・1秒や10秒、60秒の感覚を手をたたくなどの体験を通して捉えようとしている。 ・必要になる時刻や時間を測定して表したり、必要な時刻や時間の求め方について考えたりしようとしている。 ・日常生活で時間の単位（秒）が用いられている場面を調べようとしている。

算数科 小学校 第3学年

D 「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの分析」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすることができる。 棒グラフの特徴やその用い方を理解している。	・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、簡単な二次元の表に表したり読んだりすることができる。 ・棒グラフで表すと、数量の大小や差などがとらえやすくなることなど、棒グラフの特徴やその用い方を理解している。	・データをどのように分類整理すればよいかについて、解決したい問題に応じて観点を定めている。 ・身の回りの事象について、表や棒グラフに表し、特徴や傾向を捉え考えたことを表現したり、複数のグラフを比較して相違点を考えたりしている。	・進んでデータを分類整理し、それを表や棒グラフに表して読み取るなどの統計的な問題解決のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第4学年

■評価の観点とその趣旨

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、 面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解している。 ・整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。	・数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを身に付けている。	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

算数科 小学校 第4学年

A 「数と計算」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「整数の表し方」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めている。	･数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。	･整数の表し方について、数学的に表現･処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・億や兆の単位について知るとともに、４桁ごとに新しい単位が用いられていることを理解している。 ・億や兆を用いる大きな数を、十進位取り記数法によって表すことができる。	・４桁で区切るなど単位のまとまりを考え、９桁を超えるような数を読んだり、数の大きさを比べたりしている。 ・これまでに学んだ一、十、百、千の繰り返しと統合的に捉え、さらに大きな数についても類推して考えている。	・十進位取り記数法によって、10個の数字でどのような大きな数でも表すことができるよさに気付き、生活や学習で見られる大きな数を進んで理解しようとする。
(2)「概数」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･概数が用いられる場合について知っている。 ･四捨五入について知っている。 ･目的に応じて四則計算の結果の見積りをすることができる。	･日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かしている。	･概数について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・概数が用いられる場合を知り、概数の必要性を理解している。 ・「以上」、「以下」、「未満」の用語とその意味について理解している。 ・四捨五入などについて知り、四捨五入などをして数を概数にすることができる。 ・目的に応じて、和、差、積、商を概数で見積もることができる。	・場面を捉えて判断し、目的に合った概数の処理の仕方を考えている。 ・日常生活で用いられている数が、概数で表された数かどうかを判断し、考察している。	・概数を用いると物事の判断や処理が容易になるなどのよさに気付き、目的に応じて自ら概数で事象を把握しようとしている。 ・生活や学習の場面で、目的に応じて計算の結果を見積もろうとしている。
(3)「整数の除法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ・除法について、次の関係を理解している。 (被除数)＝(除数)×(商)＋(余り) ・除法に関して成り立つ性質について理解している。	・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の除法の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ・除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の除法の筆算の仕方について理解している。 ・除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の除法の計算が確実にできる。 ・除法を用いる場合を知り、適切に用いることができる。 ・簡単な除法について、暗算で答えを求めることができる。 ・用語「商」を知るとともに、整数の除法において、被除数、除数、商及び余りの間の関係について理解している。 ・除法に関して成り立つ性質について理解している。	・除数が１位数や２位数で被除数が２位数や３位数の場合の除法の計算の仕方を考えている。 ・除法に関して成り立つ性質を見いだし、その性質を活用して計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりしている。	・(何十)÷(何十)の計算を十を単位として考えれば１位数の計算として求められるというよさに気付いている。 ・除法に関して成り立つ性質を活用して、工夫して計算しようとしている。 ・暗算を、筆算や見積もりに生かし、主体的に計算の仕方を考えようとしている。
(4)「小数とその計算」		
内容のまとまりごとの評価規準		

･ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。 ･小数が整数と同じ仕組みで表されてことを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。 ･小数の加法及び減法の計算ができる。 ･乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。	･数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かしている。	･小数とその計算について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることができることを知り、拡張した倍の意味を理解している。 ・1/10の位、1/100の位と範囲が拡張された小数を知り、小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知っている。 ・1.2を0.1が12個集まった数とみるなど、数の相対的な大きさから、小数を捉えることができる。 ・小数の加法及び減法についての理解を深めている。 ・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算ができる。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解している。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。 ・整数を整数で割って商が小数になる除法について、商の意味を理解している。	・端数部分の大きさを小数で表すとき、0.1の単位を作ったときの考えを基に、0.01の単位をつくることを考えている。 ・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を、整数の計算の仕方などと関連付けて考えている。 ・乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を、整数の計算の仕方と関連付けて考えている。 ・小数やその計算が日常生活にも使えることに気付いている。	・小数の桁の範囲が拡張されても同じ十進位取り記数法の仕組みで表されることを学んだことから、さらに小さい小数の位についても考えようとしている。 ・小数も、整数と同じように十進位取り記数法の仕組みで表されているから同じように計算できるというよさに気付き、小数の計算の仕方を考えようとしている。
(5)「分数とその加法及び減法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。 ･同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	･数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。	･分数とその加法及び減法について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・数直線に示された分数を観察し、表し方が違っても大きさの等しい分数があることに気付き、見つけることができる。 ・数直線や図を用いて、分数の大きさを表すことができる。 ・真分数、仮分数、帯分数の意味について理解している。 ・１より大きい分数を仮分数でも帯分数でも表すことができる。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	・分数の大きさを、数直線や図などで表したり、分数が表された数直線や図を読み取ったりして、分数の大きさについて判断したり表現したりしている。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、日常生活における場面や単位分数の個数に着目して考えている。	・１より小さい分数の意味をもとにして、１より大きい分数の意味や、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方について考えようとしている。
(6)「数量の関係を表す式」		
内容のまとまりごとの評価規準		

･四則の混合した式や( )を用いた式について理解し、正しく計算することができる。 ･公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。 ･数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。	･問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。	･数量の関係を表す式について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・一つの数量を表すのに（ ）を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表すことなどを理解している。 ・乗法、除法を加法、減法より先に計算することや（ ）の中を先に計算することなどのきまりがあることを理解している。 ・公式が一般的な数量の関係を表していることなど、公式についての考え方を理解している。 ・数量の関係を式で簡潔に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について正しく計算することができる。 ・公式を用いて数量の関係を表したり、公式の言葉で表されているものにいろいろな数を当てはめることができる。 ・数量を□、△などを用いて表し、その関係を式にしたり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。 ・□、△などを用いた式において、□、△などは変量を表すことを理解している。 ・□、△を用いた式では、□、△の一方の大きさが決まれば、それに伴って、他方の大きさが決まることを理解している。	・数量と数量の間の関係を考える際に、幾つもの数量の組を使って、共通するきまりや関係を考え、見いだしている。 ・式を読み、具体的な場面や思考の筋道を考えている。	・式や公式のよさに気付き、数量の関係を簡潔に表現したり、式の意味を読み取ろうとしたりしている。
(7)「計算に関して成り立つ性質」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･四則に関して成り立つ性質についての理解を深めている。	･数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えている。	･計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現･処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・□、△などの記号を用いて、交換法則、結合法則、分配法則を一般的な式に表すことができる。 ・計算の範囲を整数から小数に広げても、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解している。 ・□、△などを用いた式では、「同じ記号には同じ数が入る」ことを理解している。	・交換法則、結合法則、分配法則を用いて計算を簡単行うことを考えている。 ・交換法則、結合法則、分配法則が整数だけでなく小数について成り立つことを、図などを用いて考えている。	・整数や小数の計算に、計算に関して成り立つ性質を用いると計算を簡単にすることができる場合があることなど、計算に関して成り立つ性質のよさに気付き、工夫して計算しようとしている。

(8)「そろばんを用いた数の表し方と計算」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・加法及び減法の計算をしている。	・そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えている。	・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・そろばんを用いて、簡単な億や兆の単位までの整数や1/100の位までの小数の加法及び減法の計算をしている。	・そろばんを用いた大きな数や小数の計算の仕方を考えている。	・そろばんによる簡単な計算の仕方を振り返り、そろばんの仕組みのよさに気付き、大きな数や小数の計算の仕方を考えようとしている。

算数科 小学校 第4学年

B 「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「平面図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・直線の平行や垂直の関係について理解している。 ・平行四辺形、ひし形、台形について知っている。	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直している。	・平行四辺形、ひし形、台形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・直線の平行や垂直の関係について理解し、平行な二直線や垂直な二直線や垂直な二直線をかくことができる。 ・平行四辺形、ひし形、台形の意味や性質、対角線について知り、かくことができる。	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し、図形（平行四辺形、ひし形、台形）の性質を見いだしている。 ・四角形（平行四辺形、ひし形、台形）について、かき方を考えている。 ・見いだした図形の性質を基に、既習の図形（正方形、長方形）を捉え直している。	・身の回りから平行や垂直になっている二直線や平行四辺形、ひし形、台形を見付け、どのような性質を活用しているかを考え、そのよさに気付いている。 ・平行四辺形、ひし形、台形で平面を敷き詰める活動を通して、これらの図形が平面を敷き詰めることができるというよさやできた模様の美しさに気付いている。
(2)「立体図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・立方体、直方体について知っている。 ・直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。 ・見取図、展開図について知っている。	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。	・立方体、直方体について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・立方体や直方体について知り、立方体や直方体の構成要素や、それらの位置関係について理解している。 ・立方体や直方体の見取図をかいたり、それらの見取図を見て、構成要素の垂直や平行の関係を読み取ったりすることができる。 ・立方体や直方体の展開図をかき、構成することができる。	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して立体図形を仲間分けし、立方体や直方体の性質を考察している。 ・立方体や直方体を展開図として平面上に表現する仕方を考察し、見いだした立体図形の性質や構成要素の位置関係などを根拠にして、展開図のそれぞれの面の位置や大きさについて表現している。 ・日常の事象を図形の性質を用いて捉え直している。	・日常生活で見いだされる立方体や直方体がどのような性質を活用しているかを考え、そのよさに気付いている。
(3)「ものの位置」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・ものの位置の表し方について理解している。	・平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。	・ものの位置について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・平面の上や空間の中にあるものの位置を表す際、平面上では二つの要素が必要で、空間の中では三つの要素が必要であることを理解している。 ・平面の上でのものの位置を二つの要素で表したり、空間の中でのものの位置を三つの要素で表したりすることができる。	・平面の上や空間の中でのものの位置を表すには、基準を決めることや方向を表す言葉や記号が必要であることに気付いている。 ・直線や平面の上でのものの位置の表し方から類推して、空間の中でのものの位置の表し方を考えている。	・数を使うとものの位置が簡潔に表されるよさに気付き、ホールや乗り物の座席など生活で使われている場面を調べるなど、生活や学習に生かそうとしている。
(4)「平面図形の面積」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・面積の単位(平方センチメートル(c㎡)、平方メートル(㎡)、平方キロメートル(k㎡))について知っている。 ・正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解している。	・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。	・平面図形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・面積の単位（平方センチメートル(c㎡)、平方メートル(㎡)、平方キロメートル(k㎡)）について知り、測定の意味について理解している。 ・必要な部分の長さを用いることで、正方形や長方形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ・正方形や長方形の面積を公式を用いて求めることができる。	・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、正方形及び長方形の面積の計算による求め方を考えている。 ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、図形の構成の仕方に着目して考えている。 ・面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。	・面積の大きさを数値化して表すことのよさに気付き、面積を調べる際に活用しようとしている。 ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方について、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えている。
(5)「角の大きさ」		
内容のまとまりごとの評価規準		

・角の大きさを回転の大きさとして捉えることができる。 ・角の大きさの単位（度(°)）について知り、角の大きさを測定することができる。	・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。	・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・角の大きさを回転の大きさとして捉え、その単位（度(°)）と測定の意味について理解している。 ・角が90°より大きいか小さいかを判断するなどして、分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角を作ったりすることができる。	・角の大きさを加法的に見たり、乗法的に見たりするなど、柔軟に考えている。 ・角の大きさを根拠にして図形を判断したり、それを表現したりするなどして図形を考察している。	・角の大きさの学習を生かし、身の回りにある図形を角の大きさに着目して捉えようとしている。

算数科 小学校 第4学年

C 「変化と関係」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「伴って変わる二つの数量」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができる。	・伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。	・伴って変わる二つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・身の回りから伴って変わる二つの数量を見付け数量の関係の変化の特徴を見いだしている。 ・折れ線グラフに表された伴って変わる二つの数量の変化の特徴について読み取ることができる。 ・伴って変わる二つの数量の関係を明確にするために、資料を表に表したりグラフを用いて表したりすることができる。 ・折れ線グラフを用いると、伴って変わる二つの数量の変化の様子をわかりやすく表すことができることを理解している。	・身の回りの数量から、それに伴って変わると考えられる別の数量を見つけ、一方の数量を決めれば他の数量が決まるかどうか、あるいは一方の数量は他の数量の変化に伴って変化するか、というような関係について考えている。 ・伴って変わる二つの数量の関係を表に整理して、変化や対応の特徴を考察している。 ・対応の特徴を式に表して表現したり変化の様子を折れ線グラフに表して考察している。	・関数の考えや統計的な見方のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとしている。 ・表やグラフ、式に表された変化や対応の特徴を振り返り、それぞれの表し方のよさに気付き、さらに考察を進めようとしている。
(2)「二つの数量の関係」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察している。	・二つの数量の関係について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に、割合がいつでも変わらない場合は、割合を用いて比べることを知り、割合を用いて比べることができる。	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、場面にあった比べ方を判断している。	・簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を、場面に即して判断したり、生活や学習に活用したりしようとしている。

算数科 小学校 第4学年

D 「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの収集とその分析」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・データを二つの観点から分類整理する方法を知っている。 ・折れ線グラフの特徴とその用い方を理解している。	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。	・データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・資料を分析するとき、二つの観点から分類整理する方法を知っている。 ・資料を、二つの観点から落ちや重なりがないように分類整理して表に表すことができる。 ・時系列データについて折れ線グラフに表して時間的変化を読み取ることができる。 ・紙面の大きさや目的に応じて一目盛りの大きさをきめることができる。 ・複数系列のグラフや組み合わせたグラフの特徴を読み取ることができる。	・目的に応じて、観点を考えて必要なデータを集めている。 ・問題を解決するために適切な表やグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え問題に対する結論を考えている。	・データを収集したり分析したりした過程を振り返り、よりよい表現や結論の出し方を考えている。 ・統計的な問題解決のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第5学年

■評価の観点とその趣旨

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解している。 ・小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、 図形の面積や体積を求めたり、 表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。	・数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを身に付けている。	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

算数科 小学校 第5学年

A 「数と計算」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「整数の性質及び整数の構成」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されるととを知っている。 ･約数、倍数について知っている。	･乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。	･整数の性質や整数の構成を調べることについて、 数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
･偶数と奇数について知っている。 ･整数は、観点を決めると偶数、奇数に類別されることを知っている。 ･約数、公約数、最大公約数、倍数、公倍数、最小公倍数について知り、それらを求めることができる。	･乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えている。 ･乗法及び除法に着目し、倍数や約数などの求め方を考えている。 ･数の構成について、ある数の約数や倍数の全体をそれぞれ一つの集合として捉え、考察している。 ･偶数、奇数や倍数、約数などを、日常生活や算数の学習の問題解決に生かしている。	･偶数、奇数や倍数、約数などの求め方を考えたことを振り返り、それらのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
(2)「整数及び小数の表し方」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･ある数の10 倍、100 倍、1000 倍、1/10、1/100 などの大きさの数を、 小数点の位置を移してつくることができる。	･数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かしている。	･整数や小数について、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・整数や小数について、ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。	・整数や小数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、計算などに有効に生かしている。	・整数と小数が同じ十進位取り記数法で表されていることのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
(3)「小数の乗法及び除法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解している。 ・小数の乗法及び除法の計算ができる。また、余りの大きさについて理解している。 ・小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	・乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。	・小数の乗法及び除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したととを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について、乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、理解している。 ・1/100の位までの小数の乗法及び除法の計算ができる。 ・小数の除法の計算における余りの大きさについて理解している。 ・小数の乗法及び除法について、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	・乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて、小数を用いた倍の意味などをもとに、乗法及び除法の意味を捉え直している。 ・小数の乗法及び除法について、小数の意味や表現をもとにしたり、乗法及び除法に関して成り立つ性質を用いたりして、計算の仕方を多面的に考えている。 ・小数の乗法及び除法の計算を用いて、日常生活の問題を解決している。	・学習したととをもとに、小数の乗法及び除法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り多面的に検討したりしようとしている。 ・小数の乗法及び除法の計算の仕方を振り返り、筆算での処理に生かそうとしている。 ・小数の乗法及び除法の計算に、乗法及び除法に関して成り立つ性質などが有効に働いていることのよさに気付き、学習に活用しようとしている。
(4)「分数」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 ・整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解している。 ・一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解している。 ・分数の相等及び大小について知り、大小を比べることができる。	・数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。 ・分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめている。	・分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりできる。 ・整数の除法の結果を分数を用いて一つの数として表すことを理解している。 ・一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解している。 ・分数を約分することができる。 ・分数の相等及び大小について知り、通分することで、分数の大小を比べることができる。	・分数の性質に基づいて、数の相等及び大小関係について考察している。 ・整数の除法の結果を分数で表すことができるととを見いだし、分数の意味を拡張して考えている。	・整数の除法の結果を分数で表すことによって計算の結果をいつでも一つの数で表すことができるというよさに気付き、分数の相等について関心をもち、学習したことを、生活や学習に活用しようとしている。

(5)「分数の加法及び減法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	・分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えている。	・異分母の分数の加法及び減法について、 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、 学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	・異分母の分数の加法及び減法について、分数の意味や表現をもとにしたり、一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを用いたりして、計算の仕方を考えている。	・一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことなど、学習したことをもとに、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り多面的に検討したりしようとしている。
(6)「数量の関係を表す式」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・数量の関係を表す式についの理解を深めている。	・二つの数量の対応や変わりに着目し、簡単な式で表されている関係について考察している。	・数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・式の中にある二つの数量の対応や変化の特徴について、表を用いて調べたり、二つの数量の関係を言葉の式で表したりすることができる。 ・数量の関係や法則などを簡潔かつ一般的に表すという式の役割について理解している。	・簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応の関係を表にまとめ、伴って変わる二つの数量の変化の仕方について考察している。 ・表に示された二つの数量の変化の仕方を基に、対応の関係を見い出し、簡単な式に表現している。	・簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応の関係を表にまとめ、伴って変わる二つの数量の変化の仕方について、考察しようとしている。 ・表に示された二つの数量の変化の仕方を基に、対応の関係を見いだし、簡単な式に表現しようとしている。

算数科 小学校 第5学年

B 「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「平面図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・図形の形や大きさが決まる要素について理解しているとともに、図形の合同について理解している。 ・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 ・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知っている。 ・円周率の意味について理解し、それを用いることができる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、 構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。	・平面図形について、 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・図形の形や大きさが決まる要素について理解している。 ・図形の合同について理解している。 ・合同な図形では、対応する辺の長さ、対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを理解している。 ・二つの合同な図形について、ずらしたり、回したり、裏返したりして置かれた場合でも、その位置に関係なく、辺と辺、角と角の対応を付けることができる。 ・合同な三角形を、対応する辺の長さや角の大きさに着目し、作図することができる。	・図形が「決まる」という意味を理解し、合同な三角形について、能率的なかき方を考え、合同な三角形をかくために必要な構成要素を見いだしている。	・図形の形や大きさが決まる要素について考えたことを振り返り、それらのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
・三角形の三つの角の大きさ和が180° になることや、四角形の四つの角の大きさの和が360° になることを理解している。 ・四角形の四つの角の大きさの和は、三角形の三つの角の大きさの和を基にすれば求められることを理解している。	・三角形の三つの角の大きさの和が180° であることを帰納的に見いだしている。 ・四角形の四つの角の大きさの和が360° になることや五角形の五つの角の大きさ和が540° になることを、三角形の三つの角の大きさの和が180° であることを基に、演繹的に考えている。	・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質について考えたことを振り返り、それらのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
・多角形や正多角形について知り、平面図形についての理解を深めている。 ・円と組み合わせることで、正六角形などを作図することができる。 ・どの円についても（円周）÷（直径）の値が一定であることや、その値を円周率ということ、円周率は3.14を用いることなどを理解している。 ・円周率を用いて、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。	・円と組み合わせることで、正多角形を作図する方法を考えている。 ・円と組み合わせることで、正多角形の性質や特徴を見いだしている。 ・内接する正六角形と外接する正方形との関係を用いて、円周は直径の3倍より大きく4倍より小さいことを見いだしている。	・円周率 について考えたことを振り返り、そのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
(2)「立体図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・基本的な角柱や円柱について知っている。	・図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直している。	・角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・角柱や円柱について知り、角柱や円柱の構成要素や、辺や面の位置関係について理解している。 ・角柱や円柱の見取図や展開図をかくことができる。 ・角柱や円柱を展開図を基に構成することができる。	・立体図形 について、その違いに気付き角柱、円柱などに分類し、分類した立体図形の性質を見いだしている。 ・立方体や直方体を角柱として捉え直している。 ・辺や面のつながりや位置関係に着目して、角柱や円柱を構成したり、角柱や円柱の見取図や展開図をかいたりする方法を考えている。	・基本的な角柱や円柱を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだし、その性質を基に既習の図形を捉え直したことを振り返り、それらのよさに気付いている。 ・身の回りから、角柱や円柱を見付けようとしている。 ・角柱や円柱を構成したり、角柱や円柱の見取図や展開図をかいたりしようとしている。
(3)「平面図形の面積」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。	・図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、 公式として導いている。	・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、 台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ・見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	・求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気付き、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。 ・見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。
(4)「立体図形の体積」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・体積の単位(立方センチメートル(㎤)、立方メートル(㎥))について知っている。 ・立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解している。	・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。	・立方体や直方体の体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・立方体や直方体の体積を公式を用いて求めることができる。 ・体積の単位(㎤、 ㎥)について知り、測定の意味について理解している。 ・必要な部分の長さを用いることで、立方体や直方体の体積は計算によって求めることができることを理解している。	・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積の計算による求め方を考えている。 ・体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。	・立方体や直方体の体積についても、単位の大きさを決めると、その幾つ分として数値化できるというよさに気付き、学習したことを基に、立方体や直方体の体積の公式を導きだそうとしたり、生活や学習に活用しようとしたりしている。

算数科 小学校 第5学年

C 「変化と関係」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「伴って変わる二つの数量」		
内容のまとまりごとの評価規準		

・簡単な場合について、比例の関係があることを知っている。	・伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。	・伴って変わる二つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したととを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・簡単な場合について、「一方が2倍、3倍、4倍、…になれば、他方も2倍、3倍、4倍、…になる」という比例の関係があることを知っている。 ・乗法の場面について、「一方が2倍、3倍、4倍、… になれば、他方も2倍、3倍、4倍、…になる」などのように言葉を用いて表すことができる。	・求めたい数量に対して、一方の数量を決めれば他方の数量が決まるか、あるいは伴って一定のきまりで変化するかを観察することで、それと関係のある他の数量を見いだしている。 ・伴って変わる二つの数量の関係を表や式を用いて表し、数量の間の変化や対応の特徴を考察して規則性などを見いだしている。	・求めたい数量に対して、伴って変わる数量の変わり方に関心をもち、特徴を見いだすことのよさに気付き、学習したことを基に、生活や学習に活用しようとしている。
(2)「異種の二つの量の割合として捉えられる数量」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・異種の二つの量の割合として捉えらえられる数量について、その比べ方や表し方について理解している。 ・単位量当たりの大きさについて理解している。 ・異種の二つの量の割合で捉えられる速さや人口密度などを比べたり表したりすることができる。	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じた大きさの比べ方や表し方を考えている。 ・日常生活の問題を、単位量当たりの大きさを活用して解決している。	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、単位量当たりの大きさを用いて比べることのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 ・単位量当たりの大きさを活用できる場面を身の回りから見付けようとしている。
(3)「二つの数量の関係」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。 ・百分率を用いた表し方を理解し、 割合などを求めることができる。	・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。	・二つの数量の関係について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いて表すことができることを理解している。 ・百分率の意味について理解し、百分率を用いて表すことができる。 ・比較量と基準量から割合を求めたり、基準量と割合から比較量を求めたり、比較量と割合から基準量を求めたりすることができる。	・日常の事象において、比べる対象を明確にし、比べるために必要となる二つの数量の関係を、比例関係を前提に、割合でみてよいかを判断し、二つの数量の関係に着目し、問題の条件や割合の求め方を基に、基準量と、比較量を筋道立てて見いだしている。 ・日常生活の二つの数量の関係を考察する問題場面において、割合の大小から判断したり、割合を用いた計算結果によって問題を解決したりした後、考察によって得られた結果を日常の事象に戻してその意味を考え、必要に応じて考察の方法や表現方法を見直している。	・二つの数量の関係に着目し、割合を用いて比べることのよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第5学年

D 「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの収集と分析」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解している。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解している。 ・円グラフや帯グラフを用いて表したり、円グラフや帯グラフを読み取ったりすることができる。 ・「問題－計画－データ－分析－結論」といった統計的な問題解決の方法を知っている。	・身近な題材から解決すべき問題を設定し、計画を立て、先を見通して観点を考えて必要なデータを集めている。 ・問題を解決するために適切な表やグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え問題に対する結論を考えている。 ・結論や集めたデータなどに対し、別の観点から見直したり再整理したりしている。	・データを収集したり分析したりした過程を振り返り、よりよい表現や結論の出し方を考えている。 ・統計的な問題解決のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。
(2)「測定した結果を平均する方法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
・平均の意味について理解している。	・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。	・平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・平均は、幾つかの数量を同じ大きさの数量にならすことであることを理解している。 ・測定値を平均する方法を理解している。	・身の回りにある事柄について、より信頼できる値を求めるために、得られた測定値を平均する方法を考えている。 ・日常生活の問題を、測定値を平均する方法を用いて解決している。	・より信頼できる値を求めるために平均を用いるよさに気付き、測定値を平均する方法を用いることができる場面を身の回りから見付けようとしている。

算数科 小学校 第6学年

■評価の観点とその趣旨

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解している。 ・分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。	・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、 グラフを用いて考察する力、 身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、ータの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを身に付けている。	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

算数科 小学校 第6学年

A 「数と計算」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「分数の乗法及び除法」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･乗数や除数が整数や分数である場合も含めて、分数の乗法及び除法の意味について理解している。 ･分数の乗法及び除法の計算ができる。 ･分数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	･数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えている。	･分数の乗法及び除法について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・乗数や除数が整数や分数である分数の乗法及び除法の意味について、小数の乗法及び除法の計算の考え方を基にして理解している。 ・分数の乗法及び除法の計算ができる。 ・分数の乗法及び除法について、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	・分数の乗法及び除法について、分数の意味と表現をもとにしたり、乗法及び除法に関して成り立つ性質を用いたりして、計算の仕方を多面的に捉え考えている。 ・逆数を用いて除法を乗法としてみたり、整数や小数の乗法や除法を分数の場合の計算にまとめたりしている。	・学習したことをもとに、分数の乗法及び除法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り多面的に捉え検討したりしようとしている。 ・整数や小数の乗法や除法を分数の乗法の計算にまとめることができるよさに気付き、学習に活用しようとしている。
(2)「数量の関係を表す式」		
内容のまとまりごとの評価規準		

·数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすることができる。	·問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。	·数量の関係を表す式について、数学的に表現·処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表すことができる。 ・文字に数を当てはめて調べる活動などを通して、文字には、小数や分数も整数と同じように当てはめることができることを理解している。	・問題場面の数量の関係を、簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 ・文字には、整数だけではなく、小数や分数も当てはめることができることを用いて数の範囲を拡張して考えている。	・問題解決に文字を用いた式を活用することで、数量の関係や自分の思考過程を簡潔に表現できるよさに気付いている。 ・文字を用いた式を、進んで生活や学習に用いようとしている。

算数科 小学校 第6学年

B 「図形」の評価規準

知識·技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「平面図形」		
内容のまとまりごとの評価規準		
·縮図や拡大図について理解している。 ·対称な図形について理解している。	·図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。	·縮図や拡大図及び対称について、数学的に表現·処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・縮図や拡大図について、その意味や、対応する角の大きさは全て等しく、対応する辺の長さの比はどこも一定であるなどの性質を理解している。 ・方眼紙のます目を用いたり、対応する角の大きさは全て等しく、対応する辺の長さの比はどこも一定であることを用いて、縮図や拡大図をかくことができる。	・図形間の関係を考察し、縮図や拡大図の性質を見いだしている。 ・縮図や拡大図の性質をもとにして、縮図や拡大図のかき方を考えている。 ・縮図や拡大図を活用して、実際には測定しにくい長さの求め方を考えている。	・縮図や拡大図を簡潔・明瞭・的確に描こうとしたり、実際には測定しにくい長さの求め方を工夫して考えたりしている。 ・実際には測定しにくい長さを縮図や拡大図を用いると解決できるというよさに気付いている。 ・縮図や拡大図を、身の回りから見付けようとしている。
・線対称な図形について、１本の直線を折り目として折ったとき、ぴったり重なる図形であることや、対応する点を結ぶ線分は、対称の軸によって垂直に二等分されることなどを理解している。 ・点対称な図形について、対称の中心Ｏを中心にして180度回転したときに重なり合う図形であり、対応する点を結ぶ線分は全て、対称の中心を通り、その中心によって二等分されることなどを理解している。 ・線対称な図形や点対称な図形をかくことができる。	・対称という観点から既習の図形を捉え直し、図形を分類整理したり、分類した図形の特徴を見いだしたりしている。 ・図形を構成する要素の関係を考察し、線対称や点対称の図形の性質を見いだしている。 ・線対称や点対称の図形の性質をもとにして、線対称や点対称な図形のかき方を考えている。	・対称な図形を、簡潔・明瞭・的確に描こうとしている。 ・均整のとれた美しさ、安定性など対称な図形の美しさに気付いている。 ・対称な図形を、身の回りから見付けようとしている。
(2)「身の回りにある形の概形やおよその面積など」		

内容のまとまりごとの評価規準		
･身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。	･図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かしている。	･身の回りにある形の概形やおよその面積などについて、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・身の回りにある形について、これまでに求積してきた基本的な図形と捉えたり、それらの図形に分割した形として捉えたりすることで、およその面積や体積を求めることができることを理解している。 ・身の回りにある形について、その概形を捉え、目的に応じて、適切な桁数の計算をし、およその面積や体積を求めることができる。	・身の回りにある図形の面積や体積を測定する際に、これまでに学習してきた基本的な図形と対応させ、筋道を立てて考えている。	・身の回りにある形について、その概形をとらえて、およその面積を求めようとしている。

(3)「平面図形の面積」

内容のまとまりごとの評価規準		
･円の面積の計算による求め方について理解している。	･図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	･円の面積について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・円の面積は、（半径）×（半径）×（円周率）で求めることができることを理解し、円の面積を求めることができる。 ・公式が半径を一辺とする正方形の面積の3.14倍を意味していることを、図と関連付けて理解している。	・円の面積の求め方について、図形を構成する要素などに着目して、既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に考えたり、説明したりしている。 ・円の面積を求める式を読み、もとの円のどこの長さに着目すると面積を求めることができるのかを振り返って考え、簡潔かつ的確な表現に高めながら、公式を導いている。	・円の面積を求める公式をつくる際に、簡潔かつ的確な表現へと高めながら、公式を導こうとする。 ・半径の長さがわかれば、公式にあてはめることで円の面積を求めることができるというよさに気付いている。 ・円の面積の求め方を、進んで生活や学習に用いようとしている。

(4)「立体図形の体積」

内容のまとまりごとの評価規準		
･基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解している。	･図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	･立体図形の体積について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・角柱や円柱の体積について、立方体や直方体の場合の体積の求め方を基にして、計算によって求めることができることを理解している。 ・角柱や円柱の体積は、（底面積）×（高さ）で求めることができることを理解し、角柱や円柱の体積を求めることができる。	・角柱、円柱の体積の求め方について、図形を構成する要素などに着目して、既習の立方体、直方体の体積の求め方を基にしたり、図形の面積の学習と関連付けたりして考えている。 ・体積の求め方を振り返り、式から、どんな角柱も円柱も、（底面積）×（高さ）で求めることができることに気付き、公式として捉え直している。	・角柱、円柱の体積を求める公式をつくる際に、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。 ・底面積と高さがわかれば、公式に当てはめることで角柱や円柱の体積を求めることができるというよさに気付いている。 ・角柱、円柱の体積の求め方を、進んで生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第6学年

C 「変化と関係」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「伴って変わる二つの数量」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･比例の関係の意味や性質を理解している。 ･比例の関係を用いた問題解決の方法について知っている。 ･反比例の関係について知っている。	･伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだしているとともに、それらを日常生活に生かしている。	･伴って変わる二つの数量について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・比例の意味として、二つの数量Ａ、Ｂがあり、一方の数量が２倍、３倍、４倍、…と変化するのに伴って、他方の数量も２倍、３倍、４倍、…と変化し、一方が1/2、1/3、1/4、…と変化するのに伴って、他方も1/2、1/3、1/4、…と変化することを理解している。 ・二つの数量の対応している値の商に着目すると、それがどこも一定になっていることを理解している。 ・比例の関係を表す式が、ｙ＝（決まった数）×ｘという形で表されることや、グラフが原点を通る直線として表されることを理解している。 ・比例の関係を利用することで、 手際よく問題を解決できる場合があることや、 比例の関係を用いて問題を解決していく方法を知っている。 ・反比例の意味として、比例の場合に対応して、二つの数量Ａ、Ｂがあり、一方の数量が２倍、３倍、４倍、…と変化するのに伴って、他方の数量は1/2、1/3、1/4、…と変化し、一方が1/2、1/3、1/4、…と変化するのに伴って、他方は２倍、３倍、４倍、…と変化することを知っている。 ・二つの数量の対応している値の積に着目すると、それがどこも一定になっているということを知っている。 ・反比例の関係を表す式が、ｘ×ｙ＝aという形で表されることや、グラフについて、比例のグラフとの違いを知っている。	・伴って変わる二つの数量について、比例の関係にある数量を見いだしている。 ・比例の関係を用いて問題を解決する際に、目的に応じて、式、表、グラフなどの適切な表現を選択して、変化や対応の特徴を見いだしている。 ・日常生活や算数の学習などの比例が活用できる場面において、比例の関係を生かして問題を解決している。 ・比例を用いた問題解決の方法や結果を評価し、必要に応じて、目的により適したものに改善している。	・生活や学習に、比例が活用できる場面を見つけ、能率のよい処理の仕方を求め、積極的に比例の関係を生かしていこうとする。 ・目的に応じて適切な表現を用いるなど、式、表、グラフの表現の特徴やそのよさに気付いている。 ・問題解決の方法や結果を評価し、必要に応じて、目的により適したものに改善していこうとしている。
(2)「二つの数量の関係」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。	･日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。	･二つの数量の関係について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・二つの数量の大きさを比較しその割合を表す場合に、簡単な整数などの組を用いて表すことを理解している。 ・数量の関係を比で表すことができる。 ・比の値を用いて、等しい比かどうかを確かめられることを理解し、等しい比をつくることができる。	・二つの数量の関係を、比例の関係を前提に、割合でみてよいかを判断している。 ・二つの数量の関係について、大きさを比較し、その割合を簡単な整数の組として表している。 ・目的に応じて、図や式を関連付けたり用いたりしながら、数量の関係を考察し、結論を導いている。	・生活や学習に、比が活用できる場面を見付けたり、生かしたりしながら、比による数量の関係への着目の仕方に親しんでいる。 ・二つの数量の関係を捉える際に、整数の組で捉えた方が、数量の関係が見やすかったり、処理がしやすかったりする場合があるという比のよさに気付いている。

算数科 小学校 第6学年

D 「データの活用」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの収集と分析」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･代表値の意味や求め方を理解している。 ･度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。 ･目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。	･目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断しているとともに、その妥当性について批判的に考察している。	･データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		
・平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味や求め方を理解している。 ・度数分布を表す表やドットプロットや柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。 ・目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。	・身の回りにある不確定な事象から統計的に解決する問題として設定し、計画を立て、データの集め方や分析の仕方を見通して必要なデータを集めている。 ・データの種類や項目の数を考え、目的に応じて表やグラフに表し、代表値や全体の分布の様子から、問題に対する結論を判断している。 ・結論や問題解決の過程が妥当であるかどうかを、別の観点や立場から批判的に考察している。	・データを収集したり分析したりした過程を振り返り、よりよい表現や結論の出し方を考えている。 ・統計的な問題解決のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。
(2)「起こり得る場合」		
内容のまとまりごとの評価規準		
･起り得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知っている。	･事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。	･起こり得る場合について、数学的に表現･処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
具体的な内容のまとまりごとの評価規準		

・順序や組合せなどの事象について、落ちや重なりがないように、図や表などを用いて、規則に従って正しく並べたり、整理して見やすくしたりして、全ての場合を調べる方法を知り、調べることができる。	・落ちや重なりなく調べるために、観点を決め、順序よく整理して考えている。 ・図や表を適切に用いたり、名前を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道立てて考えている。	・図、表などを用いて表すなどの工夫をしながら、落ちや重なりがないように、順序よく調べていこうとしている。 ・順序や組合せの求め方を、進んで生活や学習に用いようとしている。

04 理科

【目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
（２）観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
（３）自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

理科 小学校 第3学年

A(1)「物と重さ」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 物の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	物の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 物の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	物の性質についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(2)「風とゴムの力の働き」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 ゴムの力は、物を動かすことができること。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 風とゴムの力の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	風とゴムの力の働きについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 風とゴムの力の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	風とゴムの力の働きについての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 風とゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(3)「光と音の性質」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度

日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること。また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。 光と音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	光と音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 光と音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	光と音の性質についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 光と音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第3学年

A(4)「磁石の性質」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、また、磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 磁石の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	磁石の性質についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(5)「電気の通り道」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 電気を通す物と通さない物があることを理解している。 電気の回路について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 電気の回路について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	電気の回路についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(1)「身の回りの生物」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度

生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること、また、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 身の回りの生物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	身の回りの生物について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 身の回りの生物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	身の回りの生物についての事物現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 身の回りの生物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第3学年

B(2)「太陽と地面の様子」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。 太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題を解決している。 太陽と地面の様子との関係について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	太陽と地面の様子との関係についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 太陽と地面の様子との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※内容の「A物質･エネルギー」の評価規準の設定例の指導に当たっては、3種類以上のものづくりを行うものとする。

理科 小学校 第4学年

A(1)「空気と水の性質」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、圧し返す力は大きくなることを理解している。 閉じ込めた空気は圧し縮められるが、水は圧し縮められないことを理解している。 空気と水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	空気と水の性質について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 空気と水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	空気と水の性質についての事物現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(2)「金属、水、空気と温度」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 水は、温度によって水蒸気や氷に変わること。また、水が氷になると体積が増えることを理解している。 金属、水及び空気の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	金属、水及び空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 金属、水及び空気の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	金属、水及び空気の性質についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 金属、水及び空気の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(3)「電流の働き」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	電流の働きについての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第4学年

B(1)「人の体のつくりと運動」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
人の体には骨と筋肉があることを理解している。 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 人や他の動物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	人や他の動物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 人や他の動物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	人や他の動物についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 人や他の動物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第4学年

B(2)「季節と生物」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	身近な動物や植物についての事物現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(3)「雨水の行方と地面の様子」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	雨水の行方と地面の様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	雨水の行方と地面の様子についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 雨水の行方と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(4)「天気の様子」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度

天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 天気や自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	天気や自然界の水の様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 天気や自然界の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	天気や自然界の水の様子についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 天気や自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第4学年

B(5)「月と星」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
月は日によって形が変わって見え、１日のうちでも時刻によって位置が変わること理解している。 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 星の集まりは、１日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	月や星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題を解決している。 月や星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	月や星の特徴についての事物　現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 月や星の特徴について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※内容の「A物質･エネルギー」の評価規準の設定例の指導に当たっては、2種類以上のものづくりを行うものとする。

理科 小学校 第5学年

A(1)「物の溶け方」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、 この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解している。 物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	物の溶け方についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(2)「振り子の運動」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
振り子が１往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	振り子の運動の規則性についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(3)「電流がつくる磁力」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。 電流がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	電流がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 電流がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	電流がつくる磁力についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 電流がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第5学年

B(1)「植物の発芽、成長、結実」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 植物の育ち方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	植物の育ち方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 植物の育ち方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	植物の育ち方についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 植物の育ち方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(2)「動物の誕生」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 動物の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	動物の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 動物の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	動物の発生や成長についての事物現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 動物の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(3)「流れる水の働きと土地の変化」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	流れる水の働きと土地の変化についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第5学年

B(4)「天気の変化」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	天気の変化の仕方についての事物現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※内容の「A物質・エネルギー」の評価規準の設定例の指導に当たっては、2種類以上のものづくりを行うものとする。

理科 小学校 第6学年

A(1)「燃焼の仕組み」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 燃焼の仕組みについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 燃焼の仕組みについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	燃焼の仕組みについての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(2)「水溶液の性質」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。 水溶液について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	水溶液について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 水溶液について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	水溶液についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 水溶液について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

A(3)「てこの規則性」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 てこの規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	てこの規則性について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 てこの規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	てこの規則性についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第6学年

A(4)「電気の利用」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解している。 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。 発電や蓄電、電気の変換について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	発電や蓄電、電気の変換について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 発電や蓄電、電気の変換について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	発電や蓄電、電気の変換についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 発電や蓄電、電気の変換について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(1)「人の体のつくりと働き」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解している。 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 人や他の動物について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	人や他の動物について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 人や他の動物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	人や他の動物についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 人や他の動物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(2)「植物の養分と水の通り道」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを理解している。 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。 植物について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	植物について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	植物についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

理科 小学校 第6学年

B(3)「生物と環境」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 生物と環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	生物と環境について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 生物と環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	生物と環境についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(4)「土地のつくりと変化」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
土地は、礫れき、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 土地のつくりと変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	土地のつくりと変化について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	土地のつくりと変化についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

B(5)「月と太陽」の評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
月の輝いている側に太陽があること。また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題を解決している。 月の形の見え方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	月の形の見え方についての事物　現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※内容の「A物質･エネルギー」の評価規準の設定例の指導に当たっては、2種類以上のものづくりを行うものとする。

05 生活科

【目標】

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
(2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
(3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付いているとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現している。	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活を豊かにしたりしようとしている。

06 YICA、外国語科

外国語活動（1～4年生）

【目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
(2)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
(3)外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めている。 ・日本語と外国語の音声の違い等に気付いている。 ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

外国語（5・6年生）

【目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 ・読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 ・外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 ・コミュニケーションを行う目的な場面、状況などに応じて、音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

07 音楽科

【目標）

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
(3) 音楽活動の楽しやさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

音楽科 小学校 第1学年及び第2学年

A表現(1)「歌唱」主題の評価規準

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「曲想を感じ取って歌おう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付きながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、思いをもって歌う。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けて歌っている。 ・思いに合った表現をするために必要な自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いに合った表現をするために必要な互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲想を感じ取って歌う学習活動に取り組もうとしている。

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「歌声に気を付けて歌おう」
	主題の目標	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付きながら、範唱を聴いて歌ったり、歌声及び発音に気を付けて歌ったりする。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けて歌っている。 ・思いに合った表現をするために必要な自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声及び発音に気を付けて表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、歌声に気を付けて歌う学習活動に取り組もうとしている。

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「声を合わせて歌おう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりについて気付きながら、歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けて歌っている。 ・思いに合った表現をするために必要な互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、互いの歌声や伴奏を聴いて表現を工夫し、どのように声を合わせて歌うかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、声を合わせて歌う学習活動に取り組もうとしている。

A表現(2)「器楽」 主題の評価規準

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｲ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「曲想を感じ取って演奏しよう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりについて気付きながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、思いをもって演奏する。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲想を感じ取って演奏する学習活動に取り組もうとしている。
・思いに合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いに合った表現をするために必要な音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いに合った表現をするために必要な互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。		

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｲ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「音色に気を付けて演奏しよう」
	主題の目標	楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付きながら、範奏を聴いて演奏したり、音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏したりする。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音色に気を付けて表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、音色に気を付けて演奏する学習活動に取り組もうとしている。
・思いに合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いに合った表現をするために必要な音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。		

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「音を合わせて演奏しよう」
	主題の目標	楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付きながら、楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、互いの楽器の音や伴奏を聴いて表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、音を合わせて演奏する学習活動に取り組もうとしている。
・思いに合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いに合った表現をするために必要な互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。		

A表現(3)「音楽づくり」 主題の評価規準

音楽づくり	学習指導要領との関連	音楽づくり　ア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「発想を生かして音遊びをしよう」
	主題の目標	声や身の回りの様々な音の特徴に気付きながら、即興的に音を選んだりつなげたりし、音楽づくりの発想を生かして音遊びをする。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・声や身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、発想を生かした音遊びをする学習活動に取り組もうとしている。

音楽づくり	学習指導要領との関連	音楽づくり　ア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「思いをもって簡単な音楽をつくろう」
	主題の目標	音やフレーズのつなげ方の特徴に気付きながら、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもち、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、思いをもって簡単な音楽をつくる学習活動に取り組もうとしている。

B「鑑賞」 主題の評価規準

鑑賞	学習指導要領との関連	鑑賞　ア、イ〔共通事項〕	
	「学習の主題」	「曲や演奏の楽しさに気付いて聴こう」	
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、曲や演奏の楽しさに気付きながら、曲全体を味わって聴く。	
知識		思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。		・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲や演奏の楽しさに気付いて聴く学習活動に取り組もうとしている。

「我が国や諸外国の音楽」 主題の評価規準

我が国や諸外国の音楽	学習指導要領との関連	表現、鑑賞〔共通事項〕	
	「学習の主題」	「わらべうたや遊びうたに親しもう」	
	主題の目標	わらべうたや遊びうたを聴いたり歌ったり遊んだりしながら、楽しさを感じ取り、うたに親しむ。	
知識･技能		思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・わらべうたや遊びうたの曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付いている。		音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにわらべうたや遊びうたを表すかについて思いをもったり、うたの楽しさを見いだし、味わって聴いたりしている。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に、わらべうたや遊びうたに親しむ学習活動に取り組もうとしている。
・わらべうたや遊びうたを楽しむために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。			

音楽科 小学校 第3学年及び第4学年

A表現(1)「歌唱」 主題の評価規準

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「曲の特徴をとらえた表現を工夫して歌おう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付きながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって歌う。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌う学習活動に取り組もうとしている。

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「自然で無理のない歌い方で歌おう」
	主題の目標	曲想と歌詞の内容との関わりについて気付きながら、範唱を聴いて歌ったり、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌ったりする。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、呼吸及び発音の仕方に気を付けて表現を工夫し、どのように自然で無理のない歌い方で歌うかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、自然で無理のない歌い方で歌う学習活動に取り組もうとしている。

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「互いの歌声を聴き、声を合わせて歌おう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりについて気付きながら、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて表現を工夫し、どのように声を合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、互いの歌声を聴き、声を合わせて歌う学習活動に取り組もうとしている。

A表現(2)「器楽」 主題の評価規準

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｲ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「曲の特徴を捉えた表現を工夫して演奏しよう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりについて気付きながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲の特徴を捉えた表現を工夫して演奏する学習活動に取り組もうとしている。

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｲ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「音色や響きに気を付けて演奏しよう」
	主題の目標	楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付きながら、範奏を聴いて演奏したり、音色や響きに気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏したりする。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音色や響きに気を付けて表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、音色や響きに気を付けて演奏する学習活動に取り組もうとしている。

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏しよう」
	主題の目標	楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付きながら、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する学習活動に取り組もうとしている。

A表現(3)「音楽づくり」 主題の評価規準

音楽づくり	学習指導要領との関連	音楽づくり　ア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「発想を生かして即興的に表現しよう」
	主題の目標	いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴に気付きながら、即興的に音を選択したり組み合わせたりし、音楽づくりの発想を生かして音楽をつくる。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、発想を生かして即興的に表現する学習活動に取り組もうとしている。

音楽づくり	学習指導要領との関連	音楽づくり　ア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくろう」
	主題の目標	音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴に気付きながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもち、音楽の仕組みを用いてまとまりを意識した音楽をつくる。

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、思いや意図をもってまとまりを意識した音楽をつくる学習活動に取り組もうとしている。

B「鑑賞」 主題の評価規準

鑑賞	学習指導要領との関連	鑑賞　ア、イ〔共通事項〕	
	「学習の主題」	「曲や演奏のよさに気付いて聴こう」	
	主題の目標	曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりに気付くとともに、曲や演奏のよさに気付きながら、曲全体を味わって聴く。	
知識		思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。		・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲や演奏のよさに気付いて聴く学習活動に取り組もうとしている。

「我が国や諸外国の音楽」 主題の評価規準

我が国や諸外国の音楽	学習指導要領との関連	表現、鑑賞〔共通事項〕	
	「学習の主題」	「郷土や諸外国の音楽の特徴を感じ取ろう」	
	主題の目標	郷土や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、歌ったり、和楽器を演奏したりしながら、そのよさや特徴を感じ取る。	
知識･技能		思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・郷土や諸外国の音楽の曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付いている。 ・郷土や諸外国の音楽を表現するために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。		音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように郷土や諸外国の音楽を表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に、郷土や諸外国の音楽の特徴を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。

音楽科 小学校 第5学年及び第6学年

A表現(1)「歌唱」 主題の評価規準

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｲ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、響きのある声で歌おう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、響きのある声で思いや意図をもって歌う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように響きのある歌い方で歌うかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、響きのある声で歌う学習活動に取り組もうとしている。

歌唱	学習指導要領との関連	歌唱　ア、イ、ウ(ｱ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「全体の響きを聴き、声を合わせて歌おう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりについて理解しながら、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて表現を工夫し、どのように声を合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、全体の響きを聴き、声を合わせて歌う学習活動に取り組もうとしている。

A表現(2)「器楽」 主題の評価規準

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｲ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、音色や響きに気を付けて演奏しよう」
	主題の目標	曲想と音楽の構造との関わりについて理解しながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、音色や響きに気を付けて、思いや意図をもって演奏する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な音色や響きに気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、音色や響きに気を付けて演奏する学習活動に取り組もうとしている。

器楽	学習指導要領との関連	器楽　ア、イ(ｱ)(ｲ)、ウ(ｱ)(ｳ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「全体の響きを聴き、音を合わせて演奏しよう」
	主題の目標	多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解しながら、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、全体の響きを聴き、音を合わせて演奏する学習活動に取り組もうとしている。

A表現(3)「音楽づくり」 主題の評価規準

音楽づくり	学習指導要領との関連	音楽づくり　ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)〔共通事項〕
	「学習の主題」	「様々な発想を生かし、思いや意図をもって全体のまとまりを意識した音楽をつくろう」
	主題の目標	いろいろな音の響きやそれらの組合せ及び音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解しながら、様々な発想を生かし、即興的に音楽をつくったり、思いや意図をもち、音楽の仕組みを用いて全体のまとまりを意識した音楽をつくったりする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。 ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、様々な発想を生かし、思いや意図をもって全体のまとまりを意識した音楽をつくる学習活動に取り組もうとしている。
・発想を生かした表現をするために必要な設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。		

B「鑑賞」　主題の評価規準

鑑賞	学習指導要領との関連	鑑賞　ア、イ〔共通事項〕	
	「学習の主題」	「曲や演奏のよさを理解して聴こう」	
	主題の目標	曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりを理解するとともに、曲や演奏のよさを理解しながら、曲全体を味わって聴く。	
知識		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解している。		・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲や演奏のよさを理解して聴く学習活動に取り組もうとしている。

「我が国や諸外国の音楽」 主題の評価規準

我が国や諸外国の音楽	学習指導要領との関連	表現、鑑賞〔共通事項〕	
	「学習の主題」	「我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取ろう」	
	主題の目標	我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、歌ったり、和楽器を演奏したりしながら、そのよさや特徴を感じ取る。	
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・我が国や諸外国の音楽の曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 ・我が国や諸外国の音楽を表現するために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。		・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように我が国や諸外国の音楽を表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に、我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。

〈造形遊びをする活動と、相互に関連する鑑賞の活動〉

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第1学年及び第2学年

○材料を基に造形的な活動を思い付き、思いのままにつくる。
○活動したことや表現したものの面白さや楽しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)ア(2)ア】【B鑑賞ア】〔共通事項〕

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>知識・技能</th><th>思考・判断・表現</th><th>主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第1学年及び第2学年</td><td>表現</td><td>・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。</td><td>・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。</td><td>・つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
<tr><td>鑑賞</td><td>・自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付いている。</td><td>・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な材料などの造形な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</td><td>・つくりだす喜びを味わい楽しく鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
</table>

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第3学年及び第4学年

○材料や場所などを基に造形的な活動を思い付き、工夫してつくる。
○活動したことや表現したもののよさや面白さなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)ア(2)ア】【B鑑賞ア】〔共通事項〕

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>知識・技能</th><th>思考・判断・表現</th><th>主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第3学年及び第4学年</td><td>表現</td><td>・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。</td><td>・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。</td><td>・つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
<tr><td>鑑賞</td><td>・自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。</td><td>・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</td><td>・つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
</table>

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第5学年及び第6学年

〇材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、効果的につくる。
〇活動したことや表現したもののよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

【A表現(1)ア(2)ア】【B鑑賞ア】〔共通事項〕

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>知識・技能</th><th>思考・判断・表現</th><th>主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td rowspan="3">第5学年及び第6学年</td><td>表現</td><td>・活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。</td><td rowspan="2">・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。</td><td>・つくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">鑑賞</td><td>・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。</td><td>・つくりだす喜びを味わい主体的に鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
<tr><td></td><td>・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。</td><td></td></tr>
</table>

題材目標及び評価規準を作成するに当たってのポイント

■「知識」について

すべての題材において、「自分の感覚や行為を通して」については、題材に即して具体的に示すことが考えられます。また、低学年の「形や色など」、中学年の「形や色などの感じ」、高学年の「形や色などの造形的な特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の 第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項 図画工作科〔共通事項〕アの指導を参照するなどして題材に即して具体的に示すことが考えられます。

〇カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編 第5章 指導計画の作成等に関する配慮事項より
図画工作科〔共通事項〕アの指導

・第１学年及び第２学年…いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。

・第３学年及び第４学年…形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。

・第５学年及び第６学年…動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

〇評価規準の作成例

・たくさんの色水をつくることを通して、いろいろな色の感じに気付いている。（低学年　造形遊び）

・友達の作品をみるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じが分かっている。（中学年　鑑賞）

・見たことから表したいことを見付けたり、表したいことに合わせて表し方を工夫して表したりするときの感覚や行為を通して、奥行きや動きを理解している。（高学年　絵や立体、工作）

■「技能」について

すべての題材において、全学年の「材料や用具」、中学年、高学年の「前学年までの材料や用具」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の 第５章の指導計画の作成等に関する配慮事項を参考にして、題材に即して具体的に示します。

○カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項参照
・第１学年及び第２学年…土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いること。
・第３学年及び第４学年…木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。
・第５学年及び第６学年…針金、のこぎりなどを用いること。

○評価規準の作成例
・土や砂に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。（低学年　造形遊び）
・水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨンについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。（中学年　絵や立体、工作）
・活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの板材についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。（高学年　造形遊び）

■「思考･判断･表現」（発想や構想）について

造形遊びをする活動における、低学年の「身近な自然物や人工の材料の形や色など」、中学年の「身近な材料や場所など」、高学年の「材料や場所、空間などの特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項を参考にするなどして、題材に即して具体的に示すことが考えられます。

○カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項参照
・第１学年及び第２学年…土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いること。
・第３学年及び第４学年…木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。
・第５学年及び第６学年…針金、のこぎりなどを用いること。

○評価規準の作成例
・紙の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。（低学年　造形遊び）
・木切れや図工室などの場所を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。（中学年　造形遊び）
・透明シートや校舎内の空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。（高学年　造形遊び）

絵や立体、工作に表す活動における、低学年の「感じたこと、想像したこと」、中学年の「感じたこと、想像したこと、見たこと」、高学年の「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいこと」については、題材に即して選択し、さらに具体的に示します。

○評価規準の作成例
・材料に触れながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。（低学年　絵や立体、工作）
・生き物を見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。（中学年　絵や立体、工作）
・学校を過ごしやすくするために伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。（高学年　絵や立体、工作）

■「思考･判断･表現」（鑑賞）について

鑑賞する活動における、低学年の「自分たちの作品や身近な材料など」、中学年の「自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など」、高学年の「自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など」は、題材に即して選択し、さらに具体的に示すことも考えられる。

○評価規準の作成例
・自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（低学年　鑑賞）
・身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（中学年　鑑賞）
・生活の中の造形の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。（高学年　鑑賞）

■「思考･判断･表現」(〔共通事項〕)について

すべての題材において、低学年の「形や色など」、中学年の「形や色などの感じ」、高学年の「形や色などの造形的な特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項 図画工作科〔共通事項〕アの指導を参照するなどして題材に即して具体的に示すことが考えられます。

○カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より 図画工作科〔共通事項〕アの指導
・第１学年及び第２学年…いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。
・第３学年及び第４学年…形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。
・第５学年及び第６学年…動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

○評価規準の作成例
・いろいろな形や色、触った感じを基に、自分のイメージをもっている。（低学年）
・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じを基に、自分のイメージをもっている（中学年）
・動きやバランスなどの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもっている。（高学年）

■「主体的に学習に取り組む態度」について

題材に即して「表現する活動」や「鑑賞する活動」を具体的に示します。

○評価規準の作成例
・つくりだす喜びを味わい楽しく新聞紙で造形遊びをする学習活動に取り組もうとしている。 （低学年　造形遊び）
・つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具で絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 （中学年　絵や立体、工作）
・つくりだす喜びを味わい主体的に我が国の親しみのある美術作品を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。（高学年　鑑賞）

※題材目標は、文末を「～するようにする」とします。また、「学びに向かう力、人間性等」における題材目標の作成に当たっては「学びに向かう力、人間性等」の学年の目標を参照し、題材に即して「表現する活動」や「鑑賞する活動」を具体的に示します。

○「学びに向かう力、人間性等」の目標を基にした題材目標の作成例
・楽しく新聞紙で造形遊びをする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養うようにする。（低学年　造形遊び）

・進んで水彩絵の具で絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（中学年　絵や立体、工作）
・主体的に我が国の親しみのある美術作品を鑑賞する活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（高学年　鑑賞）

小学校図画工作科の例

〈絵や立体に表す活動と、相互に関連する鑑賞の活動〉

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第1学年及び第2学年

〇感じたことや想像したことから表したいことを見付け、思いのままに表す。
〇活動したことや表現したものの面白さや楽しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>知識・技能</th><th>思考・判断・表現</th><th>主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td rowspan="3">第1学年及び第2学年</td><td rowspan="2">表現</td><td>・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。</td><td rowspan="2">・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</td><td rowspan="2">・つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">・自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付いている。</td></tr>
<tr><td>鑑賞</td><td>・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</td><td>・つくりだす喜びを味わい楽しく鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
</table>

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第3学年及び第4学年

〇感じたことや想像したことから表したいことを見付け、思いのままに表す。
〇活動したことや表現したものの面白さや楽しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>知識・技能</th><th>思考・判断・表現</th><th>主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td rowspan="3">第3学年及び第4</td><td rowspan="2">表現</td><td>・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</td><td rowspan="2">・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</td><td rowspan="2">・つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">・自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。</td></tr>
<tr><td></td><td>・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な美術作品、製作</td><td>・つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている</td></tr>
</table>

学年	鑑賞		の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第5学年及び第6学年

〇感じたことや想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから表したいことを見付け、主題を効果的に表す。
〇活動したことや表現したもののよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第5学年及び第6学年	表現	・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	・つくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。
		・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。		
	鑑賞		・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	・つくりだす喜びを味わい主体的に鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。

題材目標及び評価規準を作成するに当たってのポイント

■「知識」について

すべての題材において、「自分の感覚や行為を通して」については、題材に即して具体的に示すことが考えられます。また、低学年の「形や色など」、中学年の「形や色などの感じ」、高学年の「形や色などの造形的な特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の 第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項 図画工作科〔共通事項〕アの指導を参照するなどして題材に即して具体的に示すことが考えられます。

〇カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編 第5章 指導計画の作成等に関する配慮事項より
図画工作科〔共通事項〕アの指導

・第１学年及び第２学年…いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。

・第３学年及び第４学年…形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。

・第５学年及び第６学年…動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

〇評価規準の作成例

・たくさんの色水をつくることを通して、いろいろな色の感じに気付いている。（低学年　造形遊び）

・友達の作品をみるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じが分かっている。（中学年　鑑賞）

・見たことから表したいことを見付けたり、表したいことに合わせて表し方を工夫して表したりするときの感覚や行為を通して、奥行きや動きを理解している。（高学年　絵や立体、工作）

■「技能」について

すべての題材において、全学年の「材料や用具」、中学年、高学年の「前学年までの材料や用具」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の 第５章の指導計画の作成等に関する配慮事項を参考にして、題材に即して具体的に示します。

〇カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より

・第１学年及び第２学…土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いること。

・第３学年及び第４学年…木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。

・第５学年及び第６学年…針金、のこぎりなどを用いること。

〇評価規準の作成例

・土や砂に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。（低学年　造形遊び）

・水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨンについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。（中学年　絵や立体、工作）

・活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの板材についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。（高学年　造形遊び）

■「思考･判断･表現」（発想や構想）について

造形遊びをする活動における、低学年の「身近な自然物や人工の材料の形や色など」、中学年の「身近な材料や場所など」、高学年の「材料や場所、空間などの特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の　第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項などを参考にして、題材に即して具体的に示すことが考えられます。

〇カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より

・第１学年及び第２学…土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いること。

・第３学年及び第４学年…木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。

・第５学年及び第６学年…針金、のこぎりなどを用いること。

〇評価規準の作成例

・紙の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。（低学年　造形遊び）

・木切れや図工室などの場所を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。（中学年　造形遊び）

・透明シートや校舎内の空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。（高学年　造形遊び）

絵や立体、工作に表す活動における、低学年の「感じたこと、想像したこと」、中学年の「感じたこと、想像したこと、見たこと」、高学年の「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいこと」については、題材に即して選択し、さらに具体的に示します。

〇評価規準の作成例

・材料に触れながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。（低学年　絵や立体、工作）

・生き物を見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。（中学年　絵や立体、工作）

・学校を過ごしやすくするために伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。（高学年　絵や立体、工作）

■「思考・判断・表現」（鑑賞）について

鑑賞する活動における、低学年の「自分たちの作品や身近な材料など」、中学年の「自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など」、高学年の「自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など」は、題材に即して選択し、さらに具体的に示すことも考えられる。

〇評価規準の作成例

・自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（低学年　鑑賞）

・身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（中学年　鑑賞）

・生活の中の造形の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。（高学年　鑑賞）

■「思考・判断・表現」（〔共通事項〕）について

すべての題材において、低学年の「形や色など」、中学年の「形や色などの感じ」、高学年の「形や色などの造形的な特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項 図画工作科〔共通事項〕アの指導を参照するなどして題材に即して具体的に示すことが考えられます。

〇カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より
図画工作科〔共通事項〕アの指導

・第１学年及び第２学年…いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。

・第３学年及び第４学年…形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。

・第５学年及び第６学年…動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

〇評価規準の作成例

・いろいろな形や色、触った感じを基に、自分のイメージをもっている。（低学年）

・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じを基に、自分のイメージをもっている（中学年）

・動きやバランスなどの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもっている。（高学年）

■「主体的に学習に取り組む態度」について

題材に即して「表現する活動」や「鑑賞する活動」を具体的に示します。

〇評価規準の作成例

・つくりだす喜びを味わい楽しく新聞紙で造形遊びをする学習活動に取り組もうとしている。
（低学年　造形遊び）

・つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具で絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
（中学年　絵や立体、工作）

・つくりだす喜びを味わい主体的に我が国の親しみのある美術作品を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。（高学年　鑑賞）

※題材目標は、文末を「～するようにする」とします。また、「学びに向かう力、人間性等」における題材目標の作成に当たっては「学びに向かう力、人間性等」の学年の目標を参照し、題材に即して「表現する活動」や「鑑賞する活動」を具体的に示します。

〇「学びに向かう力、人間性等」の目標を基にした題材目標の作成例

・楽しく新聞紙で造形遊びをする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養うようにする。（低学年　造形遊び）

・進んで水彩絵の具で絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにすうｒ。（中学年　絵や立体、工作）

・主体的に我が国の親しみのある美術作品を鑑賞する活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（高学年　鑑賞）

小学校図画工作科の例
〈工作に表す活動と、相互に関連する鑑賞の活動〉

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第1学年及び第2学年

〇生活を楽しくしたり伝え合ったりするものの用途などを考えながら、思いのままに表す。
〇活動したことや表現したものの面白さや楽しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年及び第2学年	表現	・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。	・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。	・つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。
		・自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付いている。		
	鑑賞		・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	・つくりだす喜びを味わい楽しく鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第3学年及び第4学年

〇生活を楽しくしたり伝え合ったりするものの用途などを考えながら、工夫して表す。
〇活動したことや表現したもののよさや面白さなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3学年及び第4学年	表現	・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	・つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。
		・自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。		
	鑑賞		・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	・つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。

造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」 第5学年及び第6学年

〇生活を楽しくしたり伝え合ったりするものの美しさや用途などを考えながら、主題を効果的に表す。
〇活動したことや表現したもののよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。

【A表現(1)イ(2)イ】【B鑑賞(1)ア】〔共通事項〕

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第5学年及び第6学年	表現	・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	・つくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。
		・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。		
	鑑賞		・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	・つくりだす喜びを味わい主体的に鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。

題材目標及び評価規準を作成するに当たってのポイント

■「知識」について

すべての題材において、「自分の感覚や行為を通して」については、題材に即して具体的に示すことが考えられます。また、低学年の「形や色など」、中学年の「形や色などの感じ」、高学年の「形や色などの造形的な特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の 第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項 図画工作科〔共通事項〕アの指導を参照するなどして題材に即して具体的に示すことが考えられます。

○カリ・マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より
図画工作科〔共通事項〕アの指導

- 第１学年及び第２学年…いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。
- 第３学年及び第４学年…形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。
- 第５学年及び第６学年…動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

○評価規準の作成例

- たくさんの色水をつくることを通して、いろいろな色の感じに気付いている。（低学年　造形遊び）
- 友達の作品をみるときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じが分かっている。（中学年　鑑賞）
- 見たことから表したいことを見付けたり、表したいことに合わせて表し方を工夫して表したりするときの感覚や行為を通して、奥行きや動きを理解している。（高学年　絵や立体、工作）

■「技能」について

すべての題材において、全学年の「材料や用具」、中学年、高学年の「前学年までの材料や用具」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の 第５章の指導計画の作成等に関する配慮事項を参考にして、題材に即して具体的に示します。

○カリ・マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より

・第１学年及び第２学年…土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いること。

・第３学年及び第４学年…木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。

・第５学年及び第６学年…針金、のこぎりなどを用いること。

〇評価規準の作成例

・土や砂に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。（低学年　造形遊び）

・水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨンについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。（中学年　絵や立体、工作）

・活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの板材についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくっている。（高学年　造形遊び）

■「思考･判断･表現」（発想や構想）について

造形遊びをする活動における、低学年の「身近な自然物や人工の材料の形や色など」、中学年の「身近な材料や場所など」、高学年の「材料や場所、空間などの特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の　第５章 指導計画の作成等に関する配慮事項を参考にするなどして、題材に即して具体的に示すことが考えられます。

〇カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より

・第１学年及び第２学年…土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いること。

・第３学年及び第４学年…木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。

・第５学年及び第６学年…針金、のこぎりなどを用いること。

〇評価規準の作成例

・紙の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。（低学年　造形遊び）

・木切れや図工室などの場所を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。（中学年　造形遊び）

・透明シートや校舎内の空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。（高学年　造形遊び）

絵や立体、工作に表す活動における、低学年の「感じたこと、想像したこと」、中学年の「感じたこと、想像したこと、見たこと」、高学年の「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいこと」については、題材に即して選択し、さらに具体的に示します。

〇評価規準の作成例

・材料に触れながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。（低学年　絵や立体、工作）

・生き物を見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。（中学年　絵や立体、工作）

・学校を過ごしやすくするために伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。（高学年　絵や立体、工作）

■「思考･判断･表現」（鑑賞）について

鑑賞する活動における、低学年の「自分たちの作品や身近な材料など」、中学年の「自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など」、高学年の「自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など」は、題材に即して選択し、さらに具体的に示すことも考えられる。

〇評価規準の作成例

・自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（低学年　鑑賞）

・身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（中学年　鑑賞）

・生活の中の造形の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。（高学年　鑑賞）

■「思考･判断･表現」（〔共通事項〕）について

すべての題材において、低学年の「形や色など」、中学年の「形や色などの感じ」、高学年の「形や色などの造形的な特徴」については、「カリ・マネ要領 図画工作科、美術科編」の第５章　指導計画の作成等に関する配慮事項　図画工作科〔共通事項〕アの指導を参照するなどして題材に即して具体的に示すことが考えられます。

〇カリ･マネ要領　図画工作科、美術科編　第5章　指導計画の作成等に関する配慮事項より
図画工作科〔共通事項〕アの指導

・第１学年及び第２学年…いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。

・第３学年及び第４学年…形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。

・第５学年及び第６学年…動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

〇評価規準の作成例

・いろいろな形や色、触った感じを基に、自分のイメージをもっている。（低学年）

・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じを基に、自分のイメージをもっている（中学年）

・動きやバランスなどの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもっている。（高学年）

■「主体的に学習に取り組む態度」について

題材に即して「表現する活動」や「鑑賞する活動」を具体的に示します。

○評価規準の作成例
・つくりだす喜びを味わい楽しく新聞紙で造形遊びをする学習活動に取り組もうとしている。 （低学年　造形遊び）
・つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具で絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 （中学年　絵や立体、工作）
・つくりだす喜びを味わい主体的に我が国の親しみのある美術作品を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。（高学年　鑑賞）

※題材目標は、文末を「～するようにする」とします。また、「学びに向かう力、人間性等」における題材目標の作成に当たっては「学びに向かう力、人間性等」の学年の目標を参照し、題材に即して「表現する活動」や「鑑賞する活動」を具体的に示します。

○「学びに向かう力、人間性等」の目標を基にした題材目標の作成例
・楽しく新聞紙で造形遊びをする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養うようにする。（低学年　造形遊び）
・進んで水彩絵の具で絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（中学年　絵や立体、工作）
・主体的に我が国の親しみのある美術作品を鑑賞する活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（高学年　鑑賞）

09 家庭科

【目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
（２）日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
（３）家庭生活を大切にする心情を育み、家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

家庭科 小学校 第5学年及び第6年学年

A 家族･家庭生活評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)自分の成長と家族･家庭生活 ･自分の成長の自覚　･家庭生活と家族の大切さ　･家族との協力		
・自分の成長を自覚している。 ・家庭生活と家族の大切さに気づいている。 ・家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。		・自分の成長と家族・家庭生活について、２学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・自分の成長と家族・家庭生活について、２学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、自分の成長と家族・家庭生活について、２学年間の学習に見通しをもち工夫し、実践しようとしている。
(2)家庭生活と仕事 ･家庭の仕事と生活時間　･家庭の仕事の計画と工夫		
・家庭生活を支える仕事について理解している。 ・家族が互いに協力し分担する必要があることについて理解している。 ・生活時間の有効な使い方について理解している。	・家庭生活と仕事の計画について問題を見いだし課題を設定している。 ・家庭生活と仕事の計画について考え、工夫している。 ・家庭生活と仕事の計画について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・家庭生活と仕事の計画についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・家庭生活と仕事の計画について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭生活と仕事の計画について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事の計画について工夫し、実践しようとしている。
(3)家族や地域の人々との関わり ･家族の触れ合いや団らん　･地域の人々との関わり　･家族や地域の人々との関わりの工夫		

・家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。 ・家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることについて理解している。 ・地域の人々との協力が大切であることについて理解している。	・家庭や地域の人々との関わりについて問題を見いだし課題を設定している。 ・家庭や地域の人々との関わりについて考え、工夫している。 ・家庭や地域の人々との関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・家庭や地域の人々との関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・家庭や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、家庭や地域の人々との関わりについて工夫し、実践しようとしている。
(4)家族･家庭生活についての課題と実践 ･日常生活についての課題と計画、実践、評価		
・日常生活の中から問題を見出して課題を設定することが適切にできる。 ・よりよい生活を考え、計画を立てて実践できる。	・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて考え、工夫している。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、計画を立てて実践した結果を評価したり、改善したりしている。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

家庭科 小学校 第5学年及び第6学年

B 衣食住の生活評価規準

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)食事の役割 ･食事の役割と食事の大切さ ･日常の食事の仕方 ･楽しく食べるための食事の仕方の工夫		
・食事の役割について理解している。 ・日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。	・楽しく食べる日常の食事の仕方について問題を見いだし課題を設定している。 ・楽しく食べる日常の食事の仕方について考え、工夫している。 ・楽しく食べる日常の食事の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・楽しく食べる日常の食事の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・楽しく食べる日常の食事の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・楽しく食べる日常の食事の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、楽しく食べる日常の食事の仕方について工夫し、実践しようとしている。
★(2)調理の基礎 ･材料の分量や手順 ･調理計画 ･用具や食器の安全で衛生的な取扱い ･加熱用調理器具の安全な取扱い ･材料に応じた洗い方 ･調理に適した切り方 ･味の付け方 ･盛り付け ･配膳及び後片付け ･材料に適したゆで方、いため方 ･伝統的な日常食の米飯及びみそ汁の調理の仕方 ･おいしく食べるための調理計画及び調理の工夫		
・調理に必要な材料の分量や手順について理解している ・調理計画について理解している ・加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる ・材料に応じた洗い方について理解しているとともに、適切にできる ・味の付け方について理解しているとともに、適切にできる ・盛り付け方を理解しているとともに、適切にできる ・配膳について理解しているとともに、適切にできる ・後片付けについて理解しているとともに、適切にできる ・材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる ・材料に適したいため方について理解しているとともに、適切にできる ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁について理解している ・米飯の調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる ・みそ汁の調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる	・おいしく食べるための調理計画について問題を見いだし課題を設定している。 ・おいしく食べるための調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるための調理計画について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・おいしく食べるための調理計画についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・おいしく食べるための調理計画について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・おいしく食べるための調理計画について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、おいしく食べるための調理計画について工夫し、実践しようとしている。
★(3)栄養を考えた食事		

・体に必要な栄養素の種類と主な働き ・食品の栄養的な特徴と組み合わせ ・献立を構成する要素 ・献立作成の方法 ・1食分の献立の工夫

・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴について理解している。 ・料理や食品を組み合わせてとる必要があることを理解している。 ・献立を構成する要素について理解している。 ・１食分の献立作成の方法について理解している。	・1食分の献立の栄養のバランスについて問題を見いだし課題を設定している。 ・1食分の献立の栄養のバランスについて考え、工夫している。 ・1食分の献立の栄養のバランスについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・1食分の献立の栄養のバランスについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・1食分の献立の栄養のバランスについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・1食分の献立の栄養のバランスについて、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、1食分の献立の栄養のバランスについて工夫し、実践しようとしている。

(4)衣服の着用と手入れ

・衣服の主な働き ・日常着の快適な着方 ・日常着の手入れ ・ボタン付け及び洗濯の仕方 ・日常着の快適な着方や手入れの工夫

・衣服の主な働きについて理解している。 ・季節や状況に応じた日常着の快適な着方理解している。 ・日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・ボタンの付け方について理解しているとともに、適切にできる。 ・洗濯の仕方について、理解しているとともに、適切にできる。	・日常着の快適な着方や手入れの仕方について問題を見いだし課題を設定している。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方について考え、工夫している。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・日常着の快適な着方や手入れの仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、日常着の快適な着方や手入れの仕方について工夫し、実践しようとしている。

(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

・製作に必要な材料や手順 ・製作計画 ・手縫いやミシン縫いによる縫い方 ・用具の安全な取扱い ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫

・製作に必要な材料や手順を理解している。 ・製作計画について理解している。 ・季節に合わせた住まい方について理解している。 ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方について理解しているとともに、適切にできる。 ・用具の安全な取扱いについて、理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画について問題を見いだし課題を設定している。 ・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画について考え、工夫している。 ・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画について工夫し、実践しようとしている。

(6)快適な住まい方

節の変化に合わせた住まい方、整理･整頓や清掃の仕方の工夫

・住まいの主な働きを理解している。 ・季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。 ・季節に合わせた住まい方について理解している。 ・住まいの整理・整頓の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・住まいの清掃の仕方について、理解しているとともに、適切にできる。	・季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方について問題を見いだし課題を設定している。 ・季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方について考え、工夫している。 ・季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、季節の変化に合わせた住まい方、住まいの整理・整頓や清掃の仕方について工夫し、実践しようとしている。

家庭科 小学校 第5学年及び第6年学年

C 消費生活・環境の生活評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)物や金銭の使い方と買物 ・買物の仕組み　・消費者の役割　・物や金銭の大切さ　・計画的な使い方　・身近な物の選び方、買い方　・情報の収集・整理　・身近な物の選び方、買い方の工夫		
・買物の仕組みについて理解している。 ・消費者の役割について理解している。 ・物や金銭の大切さについて理解している。 ・物や金銭の計画的な使い方について理解している。 ・身近な物の選び方について理解している。 ・身近な物の買い方について理解している。 ・購入するために必要な情報の収集・整理について理解している。	・購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について問題を見いだし課題を設定している。 ・購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。 ・購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、購入に必要が情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について工夫し、実践しようとしている。
(2)環境に配慮した生活 ・身近な環境との関わり　・物の使い方　・環境に配慮した物の使い方の工夫		

・自分の生活と身近な環境とのかかわりについて理解している。 ・環境に配慮したものの使い方について理解している。	・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについて問題を見いだし課題を設定している。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについて考え、工夫している。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについて、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮したものの使い方などについて工夫し、実践しようとしている。

10 体育科

【目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

(2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

「体育科　体つくりの運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

体つくりの運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。

ア　体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。

イ　多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすること。

(2)　体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすること。

【体つくりの運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・体ほぐしの運動遊びでは、その行い方を知るとともに、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 ・多様な動きをつくる運動遊びでは、その行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができる。	・楽しくできる体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。	・体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・運動遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・運動遊びで使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科　体つくり運動（小学校第3学年及び第4学年）」

【学習指導要領の内容】

体つくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。

ア　体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。

イ　多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせること。

(2)　自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【体つくり運動（小学校第3学年及び第4学年）の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・体ほぐしの運動では、その行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 ・多様な動きをつくる運動では、その行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることができる。	・体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動について自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を工夫したり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・楽しく運動をしながら心と体の変化に気付いたことや、友達と関わり合ったり、多様な動きを身に付けたりするための運動の行い方について、考えたことや見付けたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ・運動を行う際にきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒に取り組もうとしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

「体育科　体つくり運動（小学校第5学年及び第6学年）」

【学習指導要領の内容】

体つくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすること。

ア　体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりすること。

イ　体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすること。

(2)　自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3)　運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

【体つくり運動（小学校第5学年及び第6学年）の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・体ほぐしの運動では、その行い方を理解するとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、仲間と関わり合ったりすることができる。 ・体の動きを高める運動では、その行い方を理解するとともに、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。	・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 ・体をほぐしたり、体の動きを高めたりするために自己やグループで考えた運動の行い方を仲間に伝えている。	・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めようとしている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

「体育科　器械・器具を使っての運動遊び（小学校第1学年及び第2学年）」

【学習指導要領の内容】

器械・器具を使っての運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア　固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをすること。

イ　マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。

ウ　鉄棒を使った運動遊びでは、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすること。

エ　跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすること。

(2)　器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

【器械・器具を使っての運動遊び（小学校第1学年及び第2学年）の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・固定施設を使った運動遊びでは、その行い方を知るとともに、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをすることができる。 ・マットを使った運動遊びでは、その行い方を知るとともに、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすることができる。 ・鉄棒を使った運動遊びでは、その行い方を知るとともに、支持しての揺れや上がり下りぶら下がりや易しい回転をすることができる。 ・跳び箱を使った運動遊びではその行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。	・固定施設を使った運動遊びやマットを使った運動遊び、鉄棒を使った運動遊び、跳び箱を使った運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・ぶら下がったり、逆さになったりするなどのいろいろな姿勢をして遊んだり、動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなど、器械・器具を使っての運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・器械・器具を使ったいろいろな運動遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・転がったり、跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科　器械運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その技を身に付けること。

ア　マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技をすること。

イ　鉄棒運動では、支持系の基本的な技をすること。

ウ　跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をすること。

(2)　自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

【器械運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・マット運動では、その行い方を知るとともに、回転系や巧技系の基本的な技をすることができる。 ・鉄棒運動では、その行い方を知るとともに、支持系の基本的な技をすることができる。 ・跳び箱運動では、その行い方を知るとともに、切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。	・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	・回転したり、支持したり、逆位になったりするなど、マット運動や鉄棒運動、跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ・マットや跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときのきまりなどを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・器械・器具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に友達の考えを認めようとしている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

「体育科　器械運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身に付けること。

ア　マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。

イ　鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。

ウ　跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。

(2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすること。

【器械運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・マット運動では、その行い方を理解するとともに、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりそれらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ・鉄棒運動では、その行い方を理解するとともに、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ・跳び箱運動では、その行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。	・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・膝を伸ばして回転したり、体を真っ直ぐ伸ばして逆さ姿勢になったり、それらの技を組み合わせたりするなど、マット運動、鉄棒運動及び跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り仲間と助け合おうとしている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

「体育科　走・跳の運動遊び（小学校第1学年及び第2学年）」

【学習指導要領の内容】

走・跳の運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。

イ 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。

(2)　走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。

【走・跳の運動遊び（小学校第1学年及び第2学年）の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・走の運動遊びでは、その行い方を知るとともに、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。 ・跳の運動遊びでは、その行い方を知るとともに、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができる。	・走の運動遊びや跳の運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・走の運動遊びや跳の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・かけっこやリレー遊びなどを行う際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・かけっこやリレー遊びなどの勝敗を受け入れようとしている。 ・運動遊びで使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・走る場所に危険物が無いか、跳ぶ運動遊びをするときに、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科　走・跳の運動（小学校第3学年及び第4学年）」

【学習指導要領の内容】

走・跳の運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア かけっこ・リレーでは、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすること。

イ 小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越えること。

ウ 幅跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと。

エ 高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと。

(2) 自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫する

とともに、考えたことを友達に伝えること。

(3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【走・跳の運動（小学校第3学年及び第4学年）の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・かけっこ・リレーでは、その行い方を知るとともに、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすることができる。 ・小型ハードル走では、その行い方を知るとともに、小型ハードルを調子よく走り越えることができる。 ・幅跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 ・高跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。	・自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・友達との競走（争）の仕方を考え、競走（争）の規則や記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・かけっこ・リレーや小型ハードル走、幅跳びや高跳びに進んで取り組もうとしている。 ・かけっこやリレーなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・走・跳の運動で使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ・かけっこやリレーなどの勝敗を受け入れようとしている。 ・小型ハードル走で互いの動きを見合ったり、高跳びで動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めようとしている。 ・小型ハードル走をする場所や幅跳びをする砂場などの危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

「体育科　陸上運動（小学校第5学年及び第6学年）」

【学習指導要領の内容】

陸上運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。

ア　短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。

イ　ハードル走では、ハードルをリズミカルに走り越えること。

ウ　走り幅跳びでは、リズミカルな助走から踏み切って跳ぶこと。

エ　走り高跳びでは、リズミカルな助走から踏み切って跳ぶこと。

(2)　自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3)　運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

【陸上運動（小学校第5学年及び第6学年）の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・短距離走・リレーでは、その行い方を理解するとともに、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 ・ハードル走では、その行い方を理解するとともに、ハードルをリズミカルに走り越えることができる。 ・走り幅跳びでは、その行い方を理解するとともに、リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、その行い方を理解するとともに、リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。	・自己やグループの能力に適した課題を見付け、課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。 ・自己の能力に適した競走（争）のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝えている。	・短距離走・リレーやハードル走、走り幅跳びや走り高跳びに積極的に取り組もうとしている。 ・短距離走やリレーなどの約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・陸上運動をするときに用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たそうとしている。 ・短距離やリレーなどの勝敗を受け入れようとしている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・短距離走の場の危険物を取り除いたり、走り高跳びの場を整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。

「体育科　水遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

水遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア　水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。

イ　もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。

(2)　水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。

【水遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・水の中を移動する運動遊びでは、その行い方を知るとともに、水につかって歩いたり走ったりすることができる。 ・もぐる・浮く運動遊びでは、その行い方を知るとともに、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすることができる。	・水の中を移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びの簡単な遊び方、場を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・水につかって動物の真似をしたり鬼遊びをしたり、いろいろな姿勢でもぐったり浮いたりするなど、水遊びに進んで取り組もうとしている。 ・水遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・水遊びで使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まないなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（爪、耳、鼻、頭髪等）を清潔にしている。

「体育科　水泳運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア　浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。

イ　もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすること。

(2)　自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすること。

【水泳運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・浮いて進む運動では、その行い方を知るとともに、プールの底や壁を蹴った勢いを利用して進むけ伸びをしたり、浮いて呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎをしたりすることができる。 ・もぐる・浮く運動では、その行い方を知るとともに、呼吸を調整しながら様々なもぐり方をしたり、背浮き姿勢で浮いたり、簡単な浮き沈みをしたりすることができる。	・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	・け伸びや初歩的な泳ぎをしたり、様々なもぐり方や浮き方をしたりするなど、水泳運動に進んで取り組もうとしている。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、水泳運動のきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・水泳運動の練習で使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒に行おうとしている。 ・互いの動きを見合ったり補助し合ったりするときに見付けた動きの良さや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めようとしている。 ・準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、体操、シャワー、水慣れ、入り方などの心得を守って活動している。

「体育科　水泳運動（小学校第5学年及び第6学年）」

【学習指導要領の内容】

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。

ア　クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。

イ　平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。

ウ　安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。

(2)　自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3)　運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。

【水泳運動（小学校第5学年及び第6学年）の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・クロールでは、その行い方を理解するとともに、左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、その行い方を理解するとともに、手の動きに合わせて呼吸し、キックの後には息を止めてしばらく伸びて、続けて長く泳ぐことができる。 ・安全確保につながる運動では、その行い方を理解するとともに、背浮きや浮き沈みをしながらタイミングよく呼吸をしたり手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。	・自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 ・自己の能力に適した記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組もうとしている。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

「体育科　ゲーム(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】
ゲームについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること。
　ア　ボールゲームでは、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすること。
　イ　鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをすること。
(2) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。
(3) 運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【ゲーム(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・ボールゲームでは、その行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。 ・鬼遊びでは、その行い方を知るとともに、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをすることができる。	・ボールゲームや鬼遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・ボールゲームや鬼遊びに進んで取り組もうとしている。 ・ボールゲームや鬼遊びをする際に、順番や規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・ボールゲームや鬼遊びの勝敗を受け入れようとしている。 ・ボールゲームや鬼遊びで使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ボールゲームや鬼遊びを行う際に、危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科　ゲーム（小学校第3学年及び第4学年）」

【学習指導要領の内容】
ゲームについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること。
ア　ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすること。
イ　ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすること。
ウ　ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすること。
(2) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。
(3) 運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【ゲーム（小学校第3学年及び第4学年）の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ゴール型ゲームでは、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。	・規則を工夫している。	・易しいゴール型ゲーム、ネット型ゲーム、ベースボール型ゲームに進んで取り組もうとしている。
	・ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。	・ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくゲームをしようとしている。
・ネット型ゲームでは、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすることができる。	・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	・ゲームで使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。
		・ゲームの勝敗を受け入れようとしている。
・ベースボール型ゲームでは、その行い方を知るとともに、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすることができる。		・ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めようとしている。
		・ゲームやそれらの練習の際に、使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

「体育科　ボール運動（小学校第5学年及び第6学年）」

【学習指導要領の内容】
ボール運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(1)　次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付け、簡易化されたゲームをすること。
ア　ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。
イ　ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすること。
ウ　ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすること。
(2)　ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
(3)　運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

【ボール運動（小学校第5学年及び第6学年）の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・ボール操作とボールを持たないときの動きを理解するとともに、簡易化されたゲームをすることができる。	・誰もが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。	・ゴール型、ネット型、ベースボール型の簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。
・個人やチームによる攻撃と守備を理解するとともに、簡易化されたゲームをすることができる。	・自己やチームの特徴を確認して作戦を選んでいる。	・ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。
・ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備を理解するとともに、簡易化されたゲームをすることができる。	・味方が受けやすいようにボールをつなぐことについて考えたことを他者に伝えている。	・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。
	・守備の隊形について工夫したことを他者に伝えている。	・ゲームの勝敗の結果を受け入れようとしている。
		・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。
		・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

「体育科　表現リズム遊び（小学校第1学年及び第2学年）」

【学習指導要領の内容】

表現リズム遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること。

ア　表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ること。

イ　リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。

(2)　身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすること。

【表現リズム遊び（小学校第1学年及び第2学年）の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・表現遊びでは、その行い方を知るとともに、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。 ・リズム遊びでは、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って踊ることができる。	・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 ・よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・表現遊びやリズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ・表現リズム遊びをする場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

「体育科　表現運動（小学校第3学年及び第4学年）」

【学習指導要領の内容】

表現運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ること。

ア　表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ること。

イ　リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。

(2)　自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3)　運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。

【表現運動（小学校第3学年及び第4学年）の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・表現では、その行い方を知るとともに、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 ・リズムダンスでは、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。	・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	・表したい感じをひと流れの動きで踊ったり、軽快なリズムに乗って全身で踊ったりする運動に進んで取り組もうとしている。 ・表現やリズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ・表現やリズムダンスを行う場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・表現やリズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めようとしている。 ・友達とぶつからないよう安全を確かめて踊っている。

「体育科　表現運動（小学校第5学年及び第6学年）」

【学習指導要領の内容】

表現運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1)　次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりすること。

ア　表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。

イ　フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。

(2)　自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

(3)　運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすること。

【表現運動（小学校第5学年及び第6学年）の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・表現では、その行い方を理解するとともに、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・フォークダンスでは、その行い方を理解するとともに、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。	・自己やグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりしている。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・表したい感じやイメージを表現したり、日本の民踊や外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組もうとしている。 ・表現やフォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ・表現やフォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合おうとしている。 ・表現やフォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

「体育科　保健領域(小学校第3学年)」

【学習指導要領の内容】

(1)　健康な生活について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　健康な生活について理解すること。

(ｱ) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。

(ｲ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。

(ｳ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。

イ　健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現すること。

【健康な生活(小学校第3学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・心や体の調子がよいなどの健康の状態は、１日の生活の仕方などの主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることが分かっている。 ・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることと、体の清潔を保つことなどが必要であることが分かっている。 ・毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることが分かっている。	・日常生活や、事例などを用いた話合いなどを通して、健康についての課題を見付け、健康な生活を目指す視点から、その解決の方法を考えている。 ・健康な生活を目指す視点から、課題を解決する方法を考えたことを表現している。	・健康の大切さに気付き、自分の健康に関心をもち、毎日の健康な生活のために進んで学習に取り組もうとしている。 ・毎日を健康に過ごすために、自分の生活を振り返り、学習したことを生活に生かそうとしている。

「体育科　保健領域(小学校第4学年)」

【学習指導要領の内容】

(2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　体の発育・発達について理解すること。

(ｱ) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。

(ｲ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。

(ｳ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。

イ　体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現すること。

【体の発育･発達(小学校第4学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・体は、年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には、個人差があることが分かっている。 ・体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきに男女の特徴が表れたり、初経、精通などが起こったりすること、また、異性への関心が芽生えることが分かっている。 ・体をよりよく発育・発達させるためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養及び睡眠が必要であることが分かっている。	・日常生活や、事例などを用いた話合いなどを通して、体の発育・発達についての課題を見付け、体をよりよく発育・発達させるための解決の方法を考えている。 ・体のよりよい発育・発達を目指す視点から考えたことを表現している。	・体の発育・発達に関心をもち、進んで学習に取り組んだり、課題解決のために協力したりしようとしている。 ・心身の発育・発達を肯定的に捉え、よりよい発育・発達のために必要なことを実践しようとしている。

「体育科　保健領域(小学校第5学年)」

【学習指導要領の内容】

(1) 心の健康について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。

(ｱ) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。

(ｲ) 心と体には、密接な関係があること。

(ｳ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。

イ　心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

【心の健康(小学校第5学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することが分かっている。 ・心と体には、密接な関係があることが分かっている。 ・不安や悩みなどへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることが分かり、自分に合った方法で対処をすることができる。	・日常生活や、事例などを用いた話合いを通して、心の健康について課題を見付け、心をよりよく発達させたり不安や悩みなどに対処したりする解決の方法について考えている。 ・心のよりよい発達や、不安や悩みなどへの対処について考えたり、適切な方法について選んだりしたことを表現している。	・心の健康の大切さに気付き、自己の心の健康の保持増進や回復に向け、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・自他の心の発達を肯定的に捉え、明るい生活を営もうとしている。 ・不安や悩みの対処について、学んだことを生かして、生活の中で適切な方法を実践しようとしている。

「体育科　保健領域(小学校第5学年)」

【学習指導要領の内容】

(2) けがの防止について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。

(ｱ) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。

(ｲ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。

イ　けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。

【けがの防止(小学校第5学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることが分かっている。 ・けがの簡単な手当は速やかに行う必要があることが分かっている。 ・傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの簡単な手当ができる。	・日常生活や事例などを用いた話合いを通して、けがの防止について身近な生活における課題を見付け、危険の予測や回避をしたり、けがを手当したりする方法を考えている。 ・けがの防止や手当の視点から、危険の予測や回避、けがの手当について考えたことを表現している。	・けがの防止の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に向け、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・日常生活でけがや事故にあわないために、安全な行動を心がけている。 ・けがをしたときに、自分でできる簡単な手当を実践しようとしている。

「体育科　保健領域(小学校第6学年)」

【学習指導要領の内容】

(3) 病気の予防について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　病気の予防について理解すること。

(ｱ) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。

(ｲ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。

(ｳ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。

(ｴ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

(ｵ) 地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。

イ　病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

【病気の予防(小学校第6学年)の評価規準】

知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
・病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こることが分かっている。 ・病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることが分かっている。 ・生活習慣病などの生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることが分かっている。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることが分かっている。 ・地域では、保健に関わる様々な活動が行われていることが分かっている。	・日常生活や、事例などを用いた話合いを通して、病気の予防について課題を見付け、病気の予防や回復のための適切な方法について考えている。 ・病気を予防する視点から解決の方法について考えたり、適切な方法について選んだりしたことを表現している。	・病気の予防の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に向け、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・自分の生活の課題に気付き、病気にかからないための生活を心がけている。

11 特別の教科道徳

【目標】

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

【道徳科の学習指導過程や指導方法に関する評価の観点】

ア　学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ、自己の（人間としての）生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。
イ　発問は、児童が（広い視野から）多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
ウ　児童の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
エ　自分自身との関わりで、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
オ　ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、児童の実態や、発達の段階にふさわしいものであったか。
カ　特に配慮を要する児童に適切に対応していたか。

【評価方法】

	評価方法	特色
日々の 学習評価	・道徳ノートやワークシートの活用 ・授業を通して児童が記述した感想や振り返り	「書く活動」を生かした評価
	・座席表を通しての学習状況の把握 ・授業の中で見せた表情や発言・態度等の観察	「話合い活動」を生かした評価
大きなくくり での評価	・「前・後期の道徳の学習の振り返り」の実施	児童が行った自己評価

12 特別活動

【目標】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
(3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己(人間として)の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

【評価規準】

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現(自己実現)に必要となることについて理解している。 よりよい生活を築く(構築する)ための話合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付け	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、(解決方法を話し合い、)合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	生活や社会、人間関係をよりよく築く(構築する)ために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に自己(人間として)の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。

13 総合的な学習の時間

【目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
(2)実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

２０　学校評価計画

（１）学校評価のねらい

１　全職員が、本年度の自己または校務分掌等における目標や「中期学校経営方針」の達成況や達成に向けた検証（自己評価アンケート）を行い、よりよい学校運営を目指す。（Ｐ→Ｄ→Ｃ→Ａ）

・学校現状と課題について把握する

・学校運営の改善につなげる

２　評価結果について学校運営協議会で評価（学校関係者評価）をしてもらい、学校運営に積極的・具体的に協力してもらえるようにする。

３　３月の「学校プラン報告会」で、評価結果を保護者・地域に報告し、次年度に向けて理解と協力を得る。

（２）学校評価の方法

１　「保護者アンケート」「児童アンケート」を実施する

２　１の評価を踏まえて、職員による「自己評価アンケート」を実施する

３　２を集約したものをもとに部会ごとに改善案を作り、全体会で検討し、次年度へ向けて改善案を作成する

４　３をさらに学校運営協議会で検討（学校関係者評価）したものが、学校評価となる

（３）学校評価の流れ

	主な行事	校長	教職員	児童	保護者	学校運営協議会 （学校関係者評価者）
４月		今年度の学校経営方針、取組目標の提示。（保護者）学校プラン説明会にて、今年度の中期目標の実現を目指す取組目標の説明。	今年度の学校経営方針、取組目標を受けて、学年目標・学級目標の設定。	めあての設定。		
５月		（学校関係者）学校運営協議会にて、今年度の学校経営方針、取組目標の説明。			学校プラン説明会にて、今年度の中期目標の実現を目指す取組目標の承認、共有。	学校運営協議会にて、今年度の学校経営方針、取組目標の承認、共有。
	運動会				アンケート	
６月			運動会についての自己評価と改善策の策定			
７月					アンケート	運動会についての自己評価や改善策の検討並びに修正
８月			前期の前半を終わっての取組目標に対しての振り返り			
９月			後期への改善策の検討と取組			
１０月					アンケート	
１１月			オープンスクール			オーオウンスクールについての自己評価や改善策の検討並びに修正
１２月			保護者・児童のアンケートを受けて、自己評価（個人、組織）	アンケート	アンケート	
１月		（学校関係者）学校運営協議会にて今年度の自己評価結果と改善策の提示	個人・組織の自己評価を受けて、学校としての自己評価と改善策の作成。			今年度の自己評価や改善策の検討並びに修正。
２月						
３月		（保護者）学校プラン報告会にて今年度の取組目標に対する評価と改善策を説明。			学校プラン報告会にて今年度の取組目標に対する評価と改善策を承認、共有。	

(1) 日課表

	曜日	月		火			水	木					金			短縮時程
	学年 クラブ 委員会	1・2年	3～6年	1年	2年 (前期)	2年(後) 3～6年	全学年 (代表委・あおぞら実)	1～3年	通常 4～6年	クラブ活動 4～6年	委員会活動 4年	委員会活動 5・6年	1年 (前期)	1年(後) 2・3年	4～6年	全学年
8:05	登校															
8:15	予鈴															
8:20	朝の会															
8:25	朝の時間 (15分))	読書タイム		朝会・児童朝会 音楽朝会・あおぞら交流			あさひなパワーアップ	読み聞かせ					あさひなパワーアップ			
8:40	**1校時** (45分)															
9:25	休憩															
9:30	**2校時** (45分)															
10:15	**中休み** (20分)															(10分)
10:35	予鈴															
10:40	**3校時** (45分)															3校時
11:25	休憩															
11:30	**4校時** (45分)															4校時
																帰りの会
12:15	**給食** (45分)															※四校時以降の予定がある時は、それに応じて時程を組む
13:00	**昼休み** (15分)						昼休み 10分									
13:15	予鈴						予鈴									
13:20	**清掃** (15分)															
13:35	予鈴															
13:40	**5校時** (45分)						14:10 下校						帰りの会			
14:10							帰りの会									
14:25	休憩															
14:30		帰りの会		帰りの会	帰りの会			帰りの会		帰りの会	帰りの会	帰りの会		帰りの会		
14:40	**6校時** (45分)									クラブ 活動 60分		委員会 活動 45分				
15:15			帰りの会			帰りの会			帰りの会						帰りの会	
15:25																
	学年	1・2年	3～6年	1年	2年 (前期)	2年(後) 3～6年	全学年	1～3年	4～6年	4～6年 ｸﾗﾌﾞあり	4年 委員会あり	5・6年 委員会あり	1年 (前期)	1年(後) 2・3年	4～6年	
	下校時刻	14:35	15:25	14:35	14:35	15:25	14:10	14:35	15:25	15:35	14:35	15:25	13:50	14:35	15:25	12:15

クラブ活動・委員会等の開始時刻は14:40で統一

＜1週間当たりの授業時間数＞

学年	月	火		水	木			金		週時数(通常)	
	通年	前期	後期	通年	通常	ｸﾗﾌﾞ活動	委員会活動	前期	後期	前期	後期
1年	5	5	5	5	5			4	5	24.0	25.0
2年	5	5	6	5	5			5		25.0	26.0
3年	6	6		5.3	5			5.3		27.6	
4年	6	6		5.3	6	6.3	5	6.3		29.6	
5年	6	6		5.3	6	6.3	6	6.3		29.6	
6年	6	6		5.3	6	6.3	6	6.3		29.6	

※ 1　時間‥45分
　 0.3時間‥15分

21　教育計画

（1）学年別授業時間

1 令和４年度　標準時数

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
国　語	306	315	245	245	175	175
社　会			70	90	100	105
算　数	136	175	175	175	175	175
理　科			90	105	105	105
生　活	102	105				
音　楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家　庭					60	55
体　育	102	105	105	105	90	90
道　徳	34	35	35	35	35	35
特別活動（学級活動）	34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間			70	70	70	70
外国語活動	20	20	35	35	70	70
合　計	870	930	980	1015	1015	1015
必要週コマ数 （合計時間/35週）	24.9	26.6	28	29	29	29

※（　）は、週平均コマ数

2　令和４年度　学校行事及び児童会活動時数（教科等以外の時数）

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
学校行事	30.0	28.0	28.0	36.0	37.0	34.0
クラブ活動			1.3	12.0	12.0	12.0
委員会活動					11.0	11.0
児童会活動	9.0	9.0	11.0	9.0	12.0	11.0
合　計	39.0	37.0	40.3	57.0	72.0	68.0

3　令和４年度　必要時数

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
教科・領域総時数	870	930	980	1015	1015	1015
教科等以外の総時数	37.0	33.0	35.3	54.7	68.7	62.7
総計	907.0	963.0	1015.3	1069.7	1083.7	1077.7

4　１週間当たりの授業時数

		１年	２年	３年	４年	５年	６年
月		5	5	6	6	6	6
火		5	5/6	6	6	6	6
水		5	5	5.3	5.3	5.3	5.3
木	通常	5	5	5	6	6	6
	クラブ活動				6.3	6.3	6.3
	委員会活動				5	6	6
金		4 / 5	5	5.3	6.3	6.3	6.3
週時数（通常）		24 / 25	25 / 26	27.6	29.6	29.6	29.6

※１　　時間…４５分
　０．３時間…１５分
　０．７時間…３０分

※ / は、「前期/後期」を表す。

5　学年別年間授業時数

月	１年	２年	３年	４年	５年	６年	授業日数	給食日数
４　月	64.0	68.0	69.0	70.3	72.3	72.3	16	12
５　月	91.0	94.0	102.0	106.3	110.3	110.3	19	19
６　月	101.0	105.0	115.0	121.3	122.3	122.3	21	21
７　月	62.0	65.0	71.7	73.7	74.7	74.7	13	13
８　月	12.0	12.0	12.3	12.3	12.3	12.3	3	0
９　月	92.0	95.0	100.3	103.7	104.7	104.7	20	20
１０月	24.0	25.0	26.3	27.3	28.3	28.3	5	5
前期　計	446.0	464.0	496.6	514.9	524.9	524.9	97	90
１０月	75.0	77.0	82.7	86.0	86.0	86.0	15	15
１１月	99.0	102.0	107.0	112.3	113.3	113.3	20	20
１２月	84.0	86.0	89.7	95.0	96.0	96.0	17	17
１　月	78.0	81.0	87.0	88.0	89.0	89.0	16	15
２　月	95.0	97.0	103.7	107.0	108.0	108.0	19	19
３　月	71.7	72.7	75.3	77.7	78.7	74.0	1～5年 17 6年 15	12
後期　計	502.7	515.7	545.4	566.0	571.0	566.3	1～5年 104 6年 102	98
年間授業時数 (ｱ)	948.7	979.7	1042.0	1080.9	1095.9	1091.2	1～5年 204 6年 202	188
横浜版授業時数 (ｲ)	870.0	930.0	980.0	1015.0	1015.0	1015.0		
学校行事	30.0	28.0	28.0	36.0	37.0	34.0		
クラブ活動			1.3	12.0	12.0	12.0		
委員会活動					11.0	11.0		
児童会活動	9.0	9.0	11.0	9.0	12.0	11.0		
教科等外時数 (ｳ)	39.0	37.0	40.3	57.0	72.0	68.0		
余剰時数 (ｱ)－(ｲ)－(ｳ)	39.7	12.7	21.7	8.9	8.9	8.2		
予想余剰時数	39.7	12.7	21.7	8.9	8.9	8.2		

年間予定授業時数

＜7月末予定＞　数字はコマ数（Ｉコマ45分）

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特活	総時数
第1学年	112		52		39	27	27		38	7	13		13	328
第2学年	114		65		40	27	27		38	7	13		13	344
第3学年	91	27	65	33		22	22		38	10	13	25	13	359
第4学年	91	32	65	39		22	22		38	10	13	25	13	370
第5学年	68	37	65	39		19	20	22	34	26	13	25	13	381
第6学年	67	39	65	39		19	20	20	34	26	13	25	13	380

＜12月末予定＞　数字はコマ数（Ｉコマ45分）

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特活	総時数
第1学年	192		109		83	56	56		78	15	26		26	641
第2学年	241		137		85	56	56		81	15	26		26	723
第3学年	192	56	137	70		46	36		81	24	26	53	26	747
第4学年	192	68	137	81		46	36		81	24	26	53	26	770
第5学年	144	78	137	81		40	40	48	71	55	26	53	26	799
第6学年	141	82	137	79		40	40	42	70	55	26	53	26	791

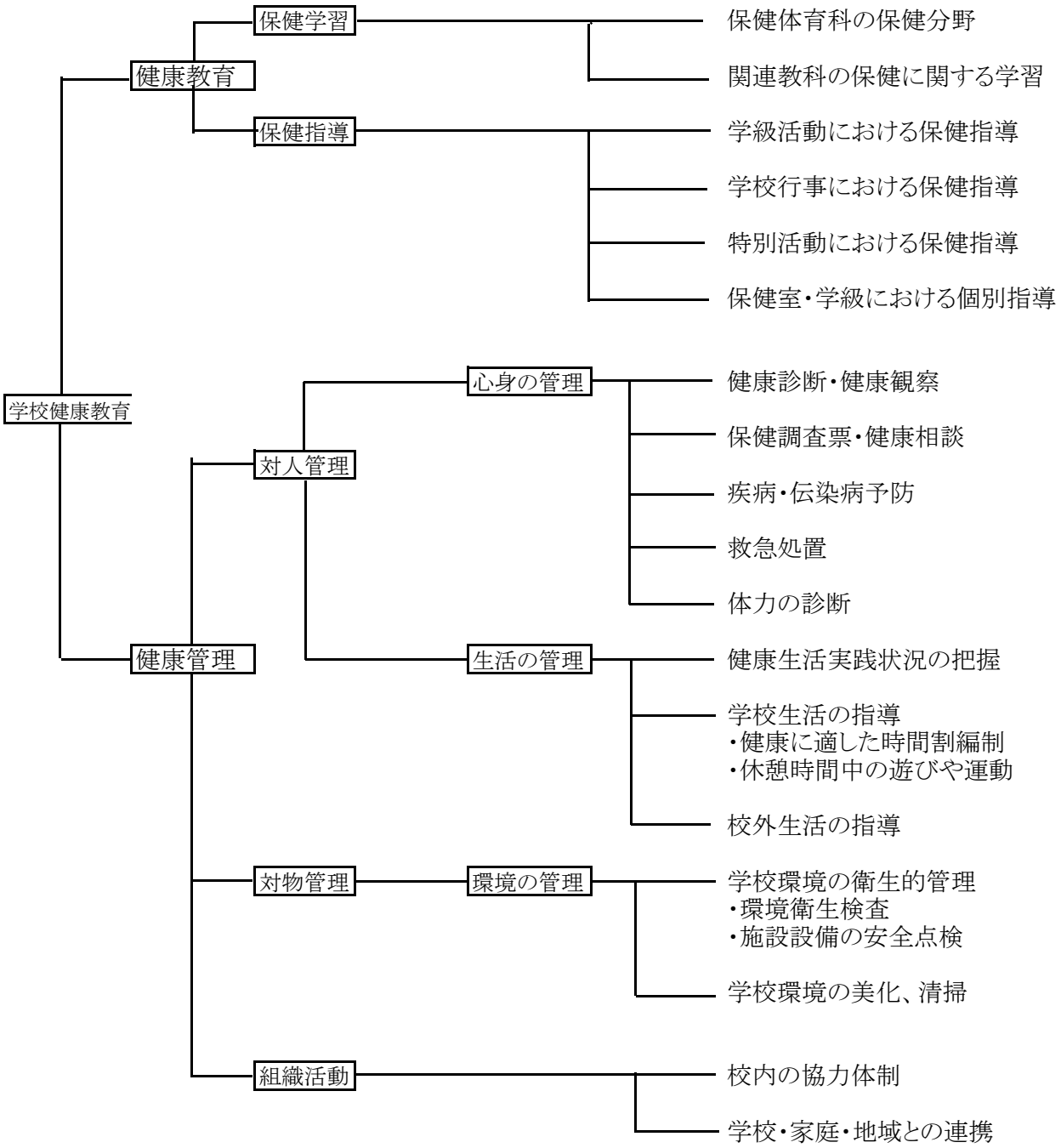
＜3月末予定＞　数字はコマ数（Ｉコマ45分）

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特活	総時数
第1学年	306		136		102	68	68		102	20	34		34	870
第2学年	315		175		105	70	70		105	20	35		35	930
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70	35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	70	35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	70	35	1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	70	35	1015

10　学校保健計画

（1）学校保健の意義と目的

学校保健とは、児童の健康を保持増進するための健康教育、健康管理、組織活動の全ての活動をいい、学校教育全体の円滑な実施と、その成果を確かなものにする基盤であるといえる。また、学校教育目標の重要な柱の一つであり、目標を具現化するために、全領域を通じて、適切に行わなければならない。



（2）学校保健計画

月	目標	行事	管理		教育		組織		
			心身	環境	指導	学習	児童	職員	ＰＴＡ
4月	自分のからだについて知ろう	定期健康診断 職員健診 (10月末まで)	健康観察・健康相談 健康観察(毎日) 保健調査 定期健康診断 身体計測 視力検査 聴力検査 尿検査 結核検診 心臓検診 内科検診 四肢の検査 眼科検診 耳鼻科検診 歯科検診 スポーツ振興センター加入	教室の整備 机・いすの調整 水質検査(毎日) 清掃区域分担 カーテン整備 安全点検 水質検査 給食室検査 **学校環境衛生検査**(月１回)	健康手帳の活用 健康診断の受け方		保健委員会 年間計画 活動内容の確認 常時活動	年間計画の立案 検討 健康診断実施 保健たより発行	
5月					手の洗い方 けがの予防 けがの手当		むし歯予防週間 活動立案 常時活動	健康診断事後措置計画 むし歯予防週間 活動内容計画 保健たより発行	
6月	歯を大切にしよう	プール開き 健康会議		雨天時の遊び 食中毒の予防 安全点検 水質検査 給食室検査	歯を大切に ・よくかんで ・みがき方 ・歯肉の病気の予防 食中毒の予防		むし歯予防週間 実施 健康会議参加 常時活動	むし歯予防週間 指導と資料提供 健康会議 運営提案 第一回健康会議 保健たより発行	健康会議参加
7月			定期健康診断のまとめ 健康観察・健康相談	プール水質検査 清掃用具点検 安全点検 水質検査 給食室検査	夏の病気やけがの予防 夏の健康生活		常時活動	夏休みの保健 安全対策 保健たより発行	カーテン洗濯
8,9月	規則正しい生活をしよう	大そうじ (ワックスがけ) 身体計測	健康観察・健康相談	安全点検 水質検査 給食室検査 医療品の補充と管理	規則正しい生活 ・早寝早起き ・食事 ・運動 ・清潔		目の愛護週間 活動立案 前期の反省 常時活動	保健たより発行	
10月	目を大切にしよう	視力検査	視力検査 健康観察・健康相談	教室内照度検査（年１回） 安全点検 水質検査 給食室検査	大切な目 ・本やテレビの見方 ・正しい姿勢 ・近視の予防 ・目のけがの予防や手当		目の愛護週間 の実施 常時活動	目の愛護週間 資料提供 保健たより発行	
11月		就学時健康診断	教室の換気 健康観察・健康相談	暖房設備整備 安全点検 水質検査 給食室検査	正しい姿勢 ・字を書くときの姿勢 ・姿勢をよくする体操 外遊び		常時活動	姿勢指導資料 提供 保健たより発行	
12月	病気の予防に努めよう		うがい・手洗いの励行 健康観察・健康相談	暖房設備整備 清掃用具点検 安全点検 水質検査 給食室検査	かぜ予防 ・うがい手洗い ・換気 ・衣服の調整 ・睡眠栄養 ・運動		常時活動	かぜとインフルエンザ 予防対策と指導 保健たより発行	カーテン洗濯
1月		大そうじ 身体計測	うがい・手洗いの励行 健康観察・健康相談	暖房設備整備 換気指導 安全点検 水質検査 給食室検査	かぜ予防 ・うがい手洗い ・換気 ・衣服の調整 ・睡眠栄養 ・運動		常時活動	かぜとインフルエンザ 予防対策と指導	
2月	一年間の健康について振り返ろう		うがい・手洗いの励行 健康観察・健康相談	換気指導 備品・薬品管理 安全点検 水質検査 給食室検査		３年 毎日の生活と健康 ４年 育ちゆく体と私	保健環境の整備 健康会議参加 常時活動	かぜとインフルエンザ 予防対策と指導 第二回健康会議 保健たより発行	健康会議参加
3月		大そうじ (ワックスがけ)	一年間のまとめ 健康観察・健康相談	清掃用具点検 安全点検 水質検査 給食室検査 ワックスがけ	健康生活の反省	５年 心の健康 ６年 病気の予防	１年間の反省 常時活動	１年間の反省 保健たより発行	カーテン洗濯

（３）健康教育主題一覧表

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
いのち 性 薬物	大切なからだ（特） 危険な誘い（特）	みんなだいじな子（特） おへその話（特）	いのちの不思議（特）	『育ちゆくからだと私』（保） 宿泊時の薬物の取り扱いについて	『心の健康』（保） 生命誕生（特） 薬物乱用防止教室	男女の協力（道徳） 薬物・喫煙・飲酒含（保）
生活習慣 病気の予防	清潔なからだ（特） ・手洗いうがい ・トイレの使い方	好き嫌いなくなんでも 食べよう（特）	『毎日の生活と健康』（保） 健康によい食事の取り方（特） 『健康と環境』（保）		目を大切にしよう（特） 姿勢を正しくしよう（特） 成長期の食事について考えよう	『病気の予防』 薬物・喫煙・飲酒含（保）
歯	歯科巡回指導（行） ていねいにみがこう 歯を大切に（特）	歯科巡回指導（行） 大人の歯を大切にしよう はみがき検査 正しいはみがきをしよう（特）	歯科巡回指導（行）	歯科巡回指導（行） みがき残しをなくそう はみがき検査 歯を大切にしよう（特）	歯科巡回指導（行） 歯肉の健康を保とう	歯科巡回指導（行） はみがき検査
安全	安全な登下校（特） 安全（道）			自転車の乗り方（道） 交通事故を防ぐ（社）	『けがの防止』（保）	『けがの防止（実技）』（保）
学年重点健康テーマ	うがい・手洗いチャンピオンをめざそう ＜清潔＞	はみがき名人をめざそう ＜歯の健康＞	なんでも食べてよくかんで ＜食生活＞	たくさん体を動かして遊ぼう ＜運動＞	伝えよう自分の想い受け止めよう相手の想い ＜コミュニケーション＞	心も体もベストコンディションだ！ ＜生活習慣・ストレス解消＞

（4）健康に関する学習計画

学校教育目標

あいがいっぱい朝比奈小　～ふれあい、学びあい、助けあい～

（知）　自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。
（徳）　自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。
（体）　心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。
（公）　朝比奈の人や自然とかかわり、お互いを大切にする子を育てます。
（開）　様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。

健康に関する学習のめあて

仲間と高め合いながら、進んで健康な心と体をつくり、
生命と環境を大切にしようとする児童の育成をめざして

からだ	いのち	生きる
自らの健康や体の発育、性について、科学的な認識を持ち健康生活実践を選べる子	命の尊さや、命の成り立ち、受け継がれていく様子を知り、自他の命を大切にできる子	自他の良さを知り、認めあう中で、心も体もたくましく生きる子

１年	自分自身のからだに関心を持ち、よい生活習慣を身につけようとする。	命の誕生に興味を持ち、命を大切にしようとする。	友達や身近な人、自然とのふれあいの中で、その良さを知ると共に、仲良く生活しようとする。
２年	自分の成長の様子に関心を持ち、基本的な生活習慣を身につけようとする。		
３年	健康の大切さを知り、健康によい生活の仕方を身につけようとする。	命の始まりや尊さを知り、自他の命を大切にしようとする。	周りの人の考えに耳を傾け、認め合い、助け合いながら協力して生活しようとする。
４年	からだの発育・発達について理解を深め、健康的に生活しようとする。		
５年	心とからだの発育、発達に関心を持つと共に、けがや事故を防止してより健康的に生活しようとする。	生命の誕生や受け継がれていく様子を理解し、自他のかけがえのない命を大切にしようとする。	様々な情報や、様々な人の考えに関心を持ち、自分の良さを見つけながら、よりよく生きようとする。
６年	自分自身の健康状態を把握し病気を予防しながら、より健康的な生活を実践しようとする。		

（５）学校保健組織活動

1 健康会議（学校保健委員会）

・目的 心身共に健康な児童の育成をめざし、学校保健についての諸問題を検討すると共にその実践を推進していくための研究、協議と連絡調整を行う。

・内容 学校保健活動の基本的問題や早急に解決しなければならない健康安全上の問題について協議しその推進の中心となる。
研究の討議や研究発表を行う。
学校保健関係者職員間の意見、情報交換をする。
学校保健に関する地域の機関や、組織などと密接な連携および相互の理解と協調を図る。

・構成 校長　教職員代表（各学年１名以上）保健安全部　学校医　学校薬剤師
児童代表（３年生４年生各クラス２名）・保健委員会児童・ＰＴＡ代表

・運営 原則として年２回開催する。
具体的計画および運営は保健安全関係職員で行う。

2 職員保健委員会

・目的 児童の健康の保持増進をめざして、学校保健に関する企画立案、連絡調整、資料の提供などを行い学校保健推進のためにその中心的役割を果たす。

・内容 学校保健に関する企画立案と運営
学校保健に関する問題事項の検討
保健重点目標、月別保健目標の日常実践化に向けての検討、資料の提供

3 児童保健委員会

・目的 児童の生活における健康安全の諸問題に着目し、保健活動を通して自主的・組織的に解決するために研究協議をし、実践活動のあり方を決定し、具体化をはかる。

・内容 健康の保持増進のための啓発運動（新聞・ポスター・集会）
環境整備に関する活動

4 学校衛生委員会

・目的 労働安全衛生法の趣旨に基づき、職員の衛生に関する重要事項について調査審議し、衛生管理の円滑な推進を図る。

・内容 職員の健康阻害を防止するための基本となるべき対策に関すること
職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
公務災害の原因および発生防止に関すること

・組織 校長　副校長　衛生管理者　教務主任　組合分会長

・会議 定例会は年２回

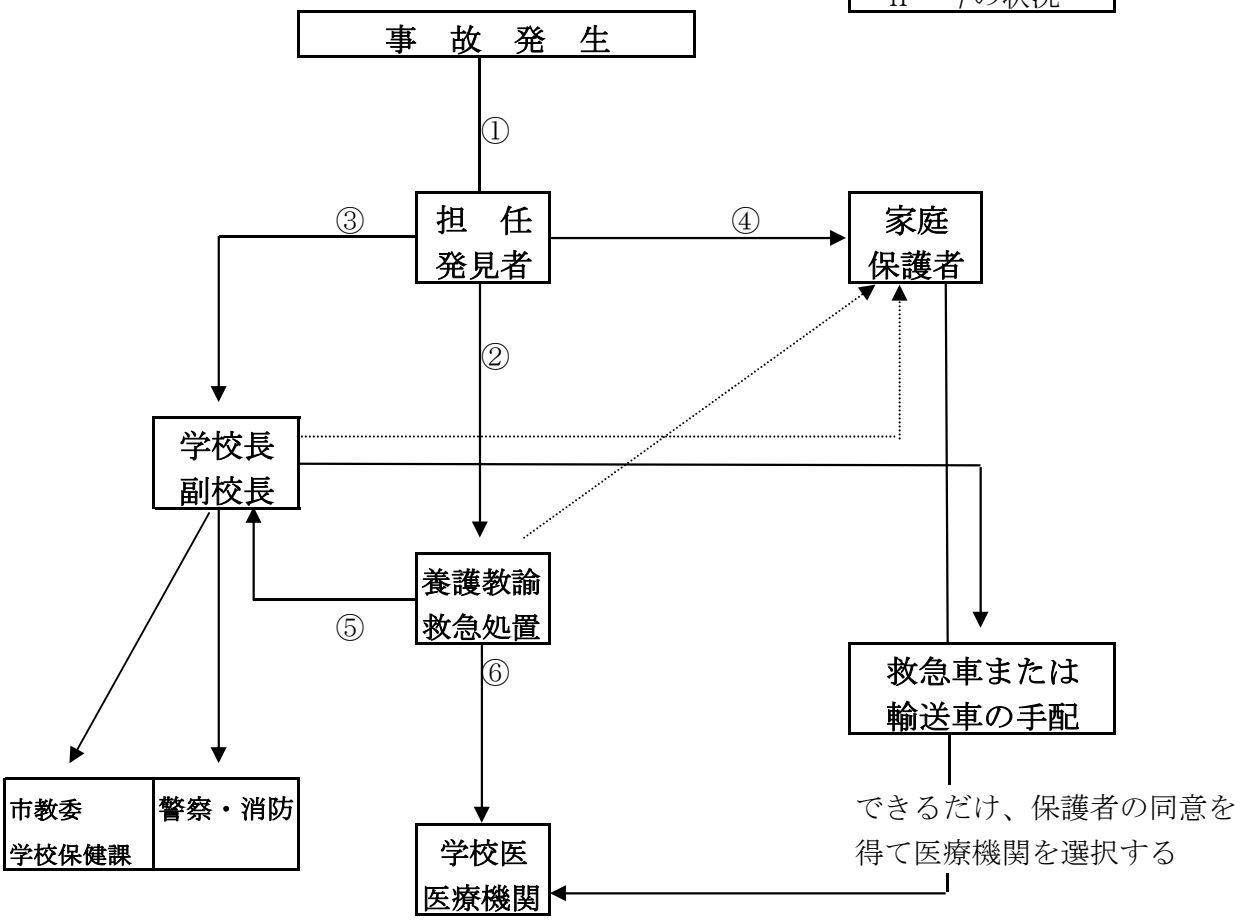
（6）非常事態発生時の連絡及び役割

１通報

横浜市教育委員会
南部学校教育事務所担当指導主事
（平日昼間）　843－6406
南部学校教育事務所担当指導主事室長
（土・日・祝日・夜間）　843－6399
健康教育課　671－3234、671－3687

状況報告
（５ｗ・１ｈ・１ｎ）
ｗ　誰
ｗ　何時
ｗ　どこで
ｗ　何を
ｗ　なぜ
ｈ　どのように
ｎ　今の状況

校内救急処置体制



＊養護教諭不在時は担任が校長、副校長の指示を受け対処する
＊ ┈┈┈┈┈┈▶ は実態に応じて連絡を入れる。

救急車				119
校医	内科	青木康之	（青木こどもクリニック）	788-8181
	眼科	及川哲平	（おいかわアイクリニック）	374-4774
	歯科	小岩謙誠	（さわやか歯科クリニック）	791-7571
	耳鼻科	所　芳男	（所耳鼻咽喉科）	788-3387
横浜南共済病院				782-2101
むつうら整形外科				792-3762

(7) 清掃指導計画

1 清掃指導のねらい

教室を中心とした校舎内外を整理整頓し、清潔な教育環境の中で学習することの意義と、清掃実践の過程で協力と責任の必要性を理解させ、さらに公共物を大切にする態度やよりよい生活環境を構成する生活態度を育成する。

2 目標と指導重点目標

清掃指導のねらいを具現化するために、目標と指導重点を次のようにする。

	目　標	指　導　重　点
春 （４・５月）	掃除の仕方や掃除用具の取り扱いをおぼえます	・雑巾の洗い方、絞り方、干し方 ・机の運び方　　・掃除用具の始末 ・バケツの使い方・水の捨て方 ・ゴミの分別
夏 （６～８月）	手洗い場をきれいにします（梅雨時の清潔）	・手洗い場の隅やタイルの目地など細かいところ ・かがみを磨く ・三角コーナーのゴミの始末
秋 （９～１１月）	明るく清潔な教室にします	・整理整頓の大切さ
冬 （１２～３月）	すみずみをきれいにします （１年間の整理）	・机、いすの足・隅々の拭き方 ・靴箱、さん、敷居等ふだん目の届きにくいところ

3 指導上の留意点

・清掃指導は全教員があたる

・年度始めに必ず各担当場所の掃除の仕方を指導する。

・各学年で担当箇所、配当人数、ローテンション、点検方法を相談しあう。
（清掃終了時の点検をしっかり行っていく）

・階段、流し、ホール、昇降口など全校で使用する場所は特に丁寧な清掃を心がける。

・給食運搬中、廊下・階段を汚したら直ちにふき取ることを徹底する。（ふき取り係をつけるとよい）

・普段の教室での授業はもとより、特別教室の使用した際の後かたづけ・整理整頓の態度を育てていく。

4 指導内容

・机　いす
　引きずらないで運ぶ。
　脚のそこの綿ゴミをふき取る

・ほうき
　ほうきの使い方（踏んだり、振り回したりしない）
　使用後ほうきの先のほこりをとる

・雑巾　バケツ
　雑巾はバケツにくんだ水できれいに洗い固く絞る。
　（流しではじかに洗わない）
　バケツの汚水は流しの三角コーナーに捨てる。
　バケツの周りに落ちた水はしっかりふきとる。
　流し場のゴミ箱は流し場掃除担当が週に１回捨てる。

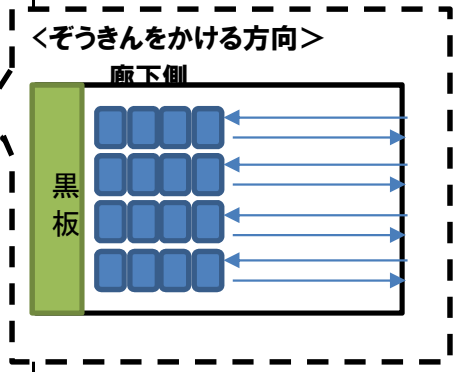
・掃除用具入れ
　ほうきをしまうときはフックにかけるか，はく部分を上に向けて置く。
　常に整理整頓を心がける。

5 手順（原則）

教室	図工室・理科室・図書室・家庭科室	音楽室
1．椅子を後ろに下げる 2．前をほうきではく 3．雑巾で拭く 4．机を運ぶ 5．後ろをほうきではく 6．雑巾で拭く 7．机を整える	1．椅子をあげる 2．床の清掃 3．椅子を下ろす 4．テーブルの上の清掃 5．流し・用具の後かたづけ	1．椅子の片付け 2．はく 3．拭く 4．楽器の埃を取る 5．雑巾を固く絞り机や台の上を拭く 6．椅子並べ
廊下・階段	**流し**	**昇降口**
1．ゴミを掃く 2．雑巾で拭く	1　磨く 2．ゴミを取る 3　雑巾で側面を拭く 4．床のタイルを雑巾で拭く	1．ゴミを掃く 2．汚れのひどいときは水をまきブラシでみがく 3．整理整頓

＊掃除をする前は、窓を開ける。
＊掃除が終わったら、うがい手洗いをする。

清　掃　の　や　り　方

	教室(児童会議室)	階段	流し場	昇降口
準備	○一人ひとりの分担を決める(ほうき、はたき、水くみ、雑巾がけ　など)			
実践	**①机・いすの移動** **②戸・窓を開ける** ・バケツに水をくむ **③ほこりをとる** ・ほうき:床(隅もよくはく) (廊下側から窓側にむかってはく) ※自在ぼうきを使うときは、毛先が広がらないように軽く引くようにしてはく。モップのように力強く押さない。 ・小ぼうき:さん、棚の上 **④雑巾でふく。** (ロッカー側から黒板側にむかってふく) ・床を水ぶきする。 ・さん、棚、戸、机の上も必要に応じて水ぶきする。 ・バケツを使って雑巾をあらう **⑤机・いすの整理** **⑥ごみをすてる**	**①ほこりをとる。** ・ほうき:階段(隅もよくはく) ・小ぼうき:さん **②雑巾でふく。** ・汚れているところは重点的にぞうきんをかける ・水ぶきした後にからぶきをする **③ごみをすてる。** <ぞうきんをかける方向>  	**①流しの中をスポンジでみがく** ※毎週金曜日は、保健室前の洗剤を使用する。 **②流れたごみを手で集めて三角コーナーに捨てる。** **③流しの横を雑巾でふく。** **④鏡は新聞紙でふきとる。** **④流しまわりにとんだ水を雑巾でふきとる。** ※毎週金曜日には、三角コーナーのあみを取りかえる。古いものは、袋に入れて教室のゴミ箱に捨てる	**①戸を開ける。** **②傘立てとマットを外に出す** **③砂・ほこりをはきだす。** ・ほうき:床、昇降口～昇降口前 ・小ぼうき:くつ箱の中・上 ※マットに付着したごみもとる。 **④雑巾で傘立てやくつばこをふく。** **⑤ごみをすてる。** ※砂はごみ箱ではなく、運動場へすてる。花だんの中へは入れない。
片づけ	○そうじ用具の片づけをする。 ・自在ぼうきは毛がきでごみをとってからしまう。 ・雑巾はよく洗い、いすの下にせんたくばさみではさんでかわかす。			
反省	①手や汚れたところを洗い、口をすすいで身なりを整える。 ②ふりかえりをする(分担などについて次の掃除に生かされるよう話し合う) ③戸締りをし、担当の先生に報告する。			

・ほうきなどは先がまがらないよう、さげてしまう。
※さげられないものは毛先を上にしてしまう。

6 清掃分担

学年	清　掃　区　域	
１の１	教室　廊下	１の１前流し、わくわくルーム
２の１	教室　廊下	体育館前流し、体育館への渡り廊下
２の２	教室　廊下	うきうきルーム、うきうきルーム前廊下
３の１	教室　廊下	３の１前流し、Ａ棟３～４階階段
３の２	教室　廊下	Ｃ棟３階(英語ルーム周辺)廊下
４の１	教室　廊下	音楽室、Ａ棟４階廊下、Ａ棟４階流し２カ所、Ａ棟１～２階階段
５の１	教室　廊下	Ｃ棟階段、Ｃ棟２階（視聴覚室周辺）廊下、５の１前流し
５の２	教室　廊下	Ｃ棟(１，４，５年)昇降口、Ｃ棟１階(昇降口周辺)廊下、Ｃ棟１階流し
６の１	教室　廊下	Ｄ棟の階段、Ｄ棟(２，３，６年)昇降口、６の１前流し、わくわくルーム
６の２	教室　廊下	図書室、個別級～図書室前廊下、個別級前流し
個別級	教室	

※パソコンルーム‥当日の使用クラスが、その都度整理・整頓をする

※清掃は、担任が学年で分担して指導する。

＊　流しの三角コーナーは担当クラスが管理する。

大掃除実施の重点

7　８月　長期休業後なので、隅々までかつ念入りな清掃をする。床をみがく。
　　７月中に私物を持ち帰らせ、整理整頓をする。
　１月　12月中に私物を持ち帰らせ、整理整頓をする。
　３月　年度末であり、１年間使用した教室の引き渡し等でもあるので、隅々まで美しく、
　　次の使用者が気持ちよく使用できるようにする。掲示物、戸棚、机の中、清掃用具
　　入れなどの整理を行う。床をみがく。ワックスがけを行う（業者のこともあり）。

その他

8 ・掃除用具は年度始めに、継続使用不能なものを廃棄し、新しいものを配当する。
・その他、破損があればその都度交換する。
・学期末はくつ箱、傘立ては空にし清掃しておく。ゴミも必ず捨てておく。

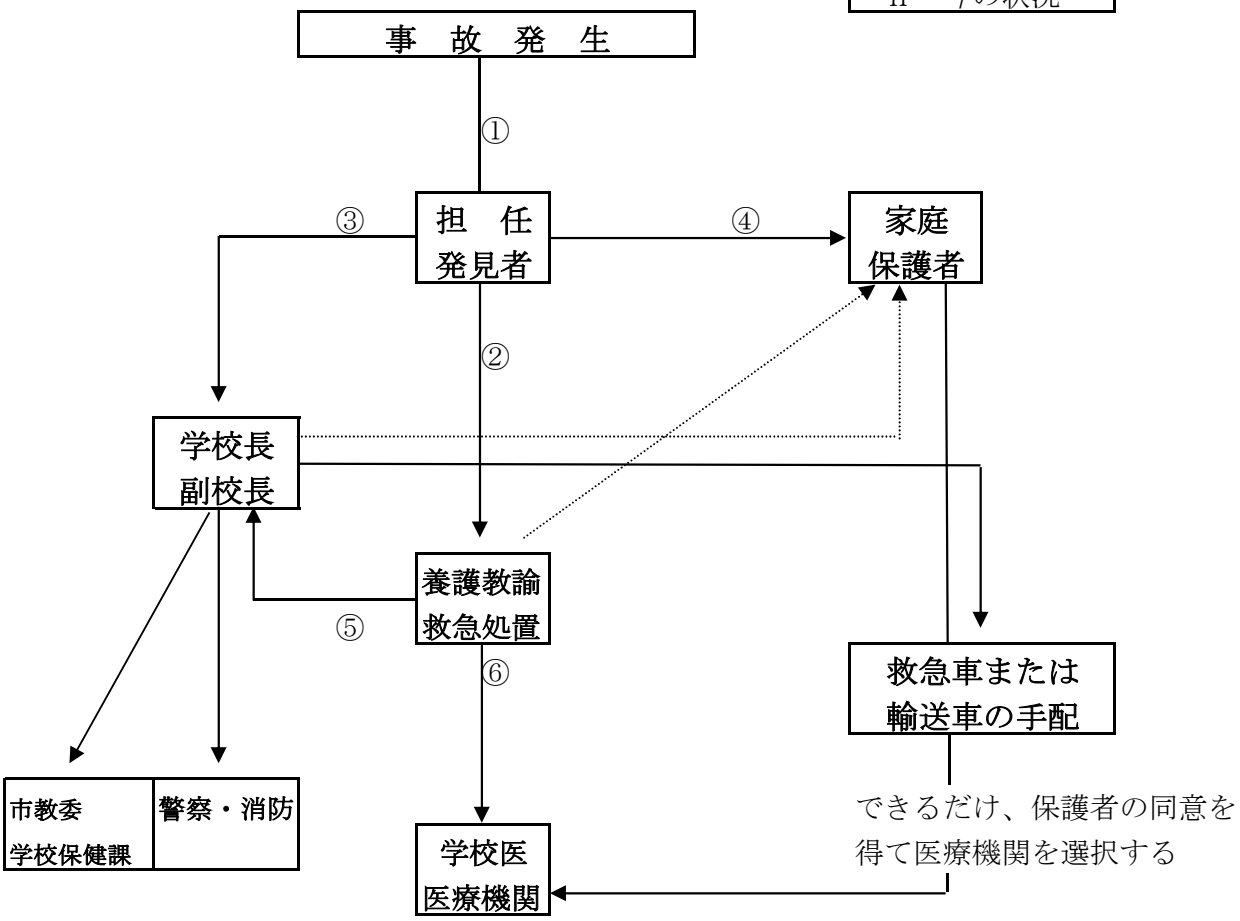
（6）非常事態発生時の連絡及び役割

１通報

横浜市教育委員会
南部学校教育事務所担当指導主事
（平日昼間）　843－6406
南部学校教育事務所担当指導主事室長
（土・日・祝日・夜間）　843－6399
健康教育課　671－3234、671－3687

状況報告
（５ｗ・１ｈ・１ｎ）
ｗ　誰
ｗ　何時
ｗ　どこで
ｗ　何を
ｗ　なぜ
ｈ　どのように
ｎ　今の状況

校内救急処置体制



＊養護教諭不在時は担任が校長、副校長の指示を受け対処する
＊ ┈┈┈┈┈┈▶ は実態に応じて連絡を入れる。

救急車				119
校医	内科	青木康之	（青木こどもｸﾘﾆｯｸ）	788－8181
	眼科	及川哲平	（おいかわアイクリニック）	374-4774
	歯科	小岩謙誠	（さわやか歯科クリニック）	791－7571
	耳鼻科	所　芳男	（所耳鼻咽喉科）	788－3387
横浜南共済病院				782-2101
むつうら整形外科				792-3762

11 学校安全計画

（1）目標

日常生活の中で危険を早期に発見し、その原因を察知し、安全に行動する習慣や態度をとるようにする。

（2）学校安全年間計画

月	目標	行事	管理		教育		組織		
			環境	生活	指導	学習	児童	職員	ＰＴＡ
4月	身の回りの環境を整えよう	避難訓練（火災） 交通安全教室	安全点検 机・椅子の調整	教室の整備 清掃区域分担 通学路の点検	登下校の安全 そうじ用具の取り扱い 昇降口の使い方 自転車を安全に		組織編制 年間計画	組織確認 年間計画確認 危険発生時対処要領確認 安全点検まとめ	組織編制 年間計画 ｷｯｽﾞﾊﾟﾄﾛｰﾙ定例会 （校外委員）との顔合わせ
5月	安全に避難する方法について知ろう	避難訓練（地震）	安全点検		廊下・階段の安全歩行 右側通行 曲がり角 校舎内の安全安全			安全点検まとめ	校外委員会
6月	室内での過ごし方を工夫しよう	子ども防犯指導 引き取り訓練	安全点検 プールの管理	雨天時の遊び 傘の安全使用	雨具の扱い方 校舎内での過ごし方	５年 けがの防止		安全点検まとめ AED救急法研修	校外委員会
７月	夏の事故を防止しよう	不審者対応訓練	安全点検 校舎内外の破損箇所点検	交通安全	プールでの安全な行動 自転車の安全な乗り方			夏の事故防止 安全点検まとめ	夏の事故防止 校外委員会
９月	大規模地震の時の避難のしかたを知ろう	総合防災訓練	安全点検	避難経路の確認 避難時の安全	運動と安全 防災指導			安全点検まとめ	ｷｯｽﾞﾊﾟﾄﾛｰﾙ定例会 校外委員会
１０月	交通安全のきまりを守ろう		安全点検		交通安全標識・表示に関心を持って			安全点検まとめ	校外委員会
１１月	安全な生活をしよう	起震車体験	安全点検		遊びと安全 遊具点検 後片付け			安全点検まとめ	校外委員会
１２月	冬の事故を防止をしよう	避難訓練（火災）	安全点検		ストーブ使用時の安全について			安全点検まとめ	校外委員会
１月	登下校時の安全に気をつけいよう	避難訓練（地震）	安全点検					年間反省及び次年度活動計画 安全点検まとめ	校外委員会
２月	教室の中を整理整頓しよう		安全点検					年間反省及び次年度活動計画 安全点検まとめ	ｷｯｽﾞﾊﾟﾄﾛｰﾙ定例会 校外委員会
３月	一年間の反省をしよう	地区班編制	安全点検		安全な生活 登下校 交通事故 遊びの約束		年間反省	年間反省及び次年度活動計画 安全点検まとめ	校外委員会

（3）学習時における安全指導

○理　　科　日常の授業の中で、施設・実験器具・薬品などの扱いになれるようにし、教師の指示が聞ける態度を育てる。

実験は立った姿勢でする。

○図画工作　カッター・小刀・彫刻刀・電動鋸などの扱い方、しまい方の指導をきちんとする。

○家　　庭　刃物類・ガスコンロ・電気アイロン・ミシンの扱い方、しまい方の指導をする。

○体　　育　教師の指示や運動のルールを守るようにする。
体操着のシャツは、ショートパンツの中に入れ、ひもや金具・チャック類の付いていないものを着用する。

水泳の安全指導は徹底する。

○特別活動　児童の自主性を尊重するあまり、児童だけの活動にならないように留意し指導する。

学校行事では、安全面に気をつけ、事前指導を徹底する。

（4）学習時以外における安全指導

○始 業 前　事故発生の多い時間帯なので、予想される危険な行動をあらかじめ押さえて指導していく

○休み時間
○放 課 後　学校の決まりを明確にし、指導する。

○給 食 時　食缶運搬中の事故を防ぐため、運搬の決まりを守らせ正しく持つように指導する。職員は準備から配膳時まで、目を離さないようにする。

○清 掃 時　ほうきなどの用具の正しい使い方を指導する。
ふざけないで決められた時間内で終わらせるようにする。

（5）転落事故防止について

場　所	注意事項
ベランダ	教師のいないときはでてはいけない 机・いすは出さない 物は置かない
廊下側の窓	開閉は教師がする 転落防止のストッパーが付いているか、確認する
屋上	鍵は担任が開け閉めをし、必ず担任等、指導者がつくようにする

（6）登下校時の安全確保について

○登下校時は必ず、防犯ブザーを携帯させる。

○年度初めと長期休業明けの３日間は、集団登校とし、新１年生に通学路を覚えさせるとともに、全児童に通学路を守ることの意味を指導する。

○地域のキッズパトロール隊、保護者の校外委員会と連携して登下校時には通学路に大人がなるべく立ち、子どもの安全を見守るようにする。

○キッズパトロール隊には、日々の学年毎の下校時刻を一覧表にし、毎月配布し協力を求める。

○毎朝登校時間の 8:00～8:15 には、職員（校長および児童支援専任）が校門前に立ち給食物資の搬入車等に対応し、登校の安全を確保する。

○下校時には、クラス毎に担任が昇降口前まで送り、並ばせることで、安全にまた複数の子どもでまとまって帰宅できるようにする。

○送る場所については、４月は校門の外の横断歩道まで。５月は門まで。６月から並ばせるところまで。

（7）安全点検

１　ねらい

児童が校内で安全･安心に、また事故に結びつかないように過ごせるよう、毎月1回校内の教室及び施設の安全を点検する。

２　点検日

毎月　16日　（16日が休日等の場合は、その前後の日にちを設定する）

３　手順

1）点検者が、分担された教室や施設を表の項目に従い安全かどうかを点検し、表に点検の結果を記入する。

2）提出された表を副校長が点検し、修理等が必要な場合は、その手配をする。

４　分担

場所	点検者	場所	点検者	場所	点検者
各教室	担任	図書室	池野	視聴覚室（含む準備室）	梶田
保健室	片尾	1階　学習室	宮本	放送室	梶田
保健相談室	片尾	理科室（含む準備室）	奥田	少人数教室	吉森
A棟階段	髙橋	家庭科室（含む準備室）	芝田	パソコンルーム	齋藤
C棟階段	奥田	体育館（含む　外階段）	中村	英語ルーム	古川
D棟階段	織茂	図工室（含む準備室）	中井	4階　各教室	吉森
D棟外階段	丹藤	うきうきルーム	芝田	音楽室（含む準備室）	丹藤
校庭及び遊具	中村	わくわくルーム	川上	プール	中村
				放課後キッズクラブ	キッズクラブ チーフパートナー

（9）エアコンの使用について

○使用条件

夏季…原則 **２６℃以上**　※２６℃以下は窓を開けて扇風機を使う

冬季…原則 **１８℃以下**

○設定温度

夏季…**２８℃**　（±１℃　※教室の実情に合わせて学級ごとにリモコン調整）

冬季…**１９℃**　（±１℃　　〃　　）

○使用方法

・原則、使用条件を満たしたときに起動する。起動後の調整や停止はリモコンで担任が行う。

・学級ごとに、下校前に停止する。

・学校最終退出者は、退出時に停止確認を行う（職員室のコントローラーで一括停止する）。

※清掃中は停止する（粉塵がフィルター内に入り込み、故障の原因になるため）。

※移動教室などで**２時間以上**教室内に児童が不在となる時は、リモコンで停止しておく。

（２時間程度であれば、起動したままのほうが節電になるのでそのままにしておく）。

☆リモコンの管理

担任が、児童の手に触れないところ（引き出しの中など目に見えないところ）で保管することとして、**児童には触れさせない**。

○換気について

・休み時間ごとに２～３分、清掃中はずっと、窓を開けて換気を行う。

※窓、出入り口の扉、廊下の窓、必ず全て開けて「空気の通り道」を作ってください。

※特に、冬季はこまめに換気を行うようお願いします。

○フィルターの掃除について

・７月（夏休み中）、12 月（冬休み中）、３月（春休み中）にフィルター清掃を行う。

フィルターは学年で協力して外し、技術員室に運び、清掃をお願いする。

フィルターの**取り外しや取り付けの作業は必ず２人以上で行うこと**（脚立からの落下事故防止）。

（9）交通安全教室実施計画

１　実施日　　令和３年７月１５日（木）

２　時　程　　２校時（　９：３０～１０：１５）　１年生：歩行指導　　行事１
中休み（１０：１５～１０：４０）　１・４・５年生：死角・巻き込み・衝突実験見学
３校時（１０：４０～１１：２５）　４・５年生：自転車指導　行事１
※　３校時は１０分程度延長する可能性有り

３　対　象　　１・４・５年生

４　場　所　　運動場（雨天時は１年生体育館、４・５年生視聴覚室）

５　ねらい　　交通事故から身を守ったり防いだりできるように、交通規則に従った正しい道路の歩き方や、正しい自転車の乗り方について知識を得ることにより、交通安全について理解を深める。

６　方　法　　模擬道路に信号を設置し、道路の歩行や自転車の乗り方の実施練習をする。

７　係分担

司会・進行	１、４、５学年担任
ライン引き	保健安全部、１・４・５学年担任、都合つく職員（前日の放課後、当日の朝８時頃より）
信号機準備	金沢警察署、金沢交通安全協会（１０～１２名）
準備	保健安全部 視聴覚室（・マイク・ビデオデッキ・プロジェクター、学校用大人用自転車１台） 運動場（ラインカー２台、竹ほうき２・３本） 雨天時は体育館にとび箱７～８段を２台、マイク２本
児童管理	１・４・５学年担任
実施練習指導	金沢警察署署員　　金沢交通安全協会　　保健安全部
実施練習指導補助	１・４・５学年担任・保護者ボランティア（１４～１６名）

８　内　容　　①校長先生のお話→「おまわりさんや交通指導員の方やボランティアさん」と紹介
②交通安全協会の方のお話
③実施練習　　｝司会は交通安全協会の方
④まとめ（金沢警察署交通総務の方のお話）→「金沢警察署のお巡りさん」と紹介

９　雨天時　　１年生体育館にて歩行指導　９：３０～１０：１５
中休みの死角・巻き込み・衝突実験は中止
４・５年生視聴覚室にてビデオ…自転車について　１０：４５～１０：２５
※　３校時は５分程度延長する可能性有り

１０　事前指導　①自転車について
・各クラス１０台程度を準備する。（一人一回は乗れるように）
・学校近くに住み、持ってくることができる児童が準備する。
・安全に気をつけ、当日の朝乗らずに押してくる。
・校庭の体育倉庫の前に並べて置く。
②設営と撤去作業中、児童は校庭に入らない。
当日は、校庭を午前中（中休みを含め）使用できない。雨天時は体育館を１・２校時使用できなくなる。

１１　その他　　①金沢警察署交通総務課、金沢交通安全協会の方のご指導のもとに実施する。
②保護者ボランティアは、各ポイントで補助指導員として児童指導に当たる。
１年ボランティア…９時、４・５年ボランティア…１０時、校庭に集合
③保護者の見学は自由。学校便り、学年便りで知らせる。
④衝突巻き込み実験見学の際は、以前交通事故にあった児童で配慮を要する場合は保健室で待機。
⑤８：４５頃に来校予定。体育館の場合は会場にテープ図を作成していただく予定。
⑥児童は当日、汚れてよい服装、赤白帽子で参加。学級便りなどで知らせる。

令和３年６月〇日

１・４・５年生保護者様

横浜市立朝比奈小学校
校長

交通安全教室のお知らせ

さわやかな季節となりました。保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。

５月２日は警察と金沢交通安全協会の協力を得て、１・４年生を対象に交通安全教室を開催いたします。この日は、交通規則に従った正しい歩行の仕方や自転車の乗り方・マナーについて学んでいきます。また、ダミーの人形を使った自動車による「衝突・巻き込み」の様子を見せて、交通事故の怖さを実感させたいと考えています。

今年も、多くの保護者の方々に参観していただき、児童と一緒に道路での正しい歩行の仕方、自転車の正しい乗り方について理解を深め、見直す機会にしていただければと考えました。また、ポイントに立ち、指導の補助をしてくださるボランティアも募集いたします。保護者ボランティアに参加していただける方は**４月１９日（水）まで**に下の部分を切り取って、担任まで提出してください。また、4 年生の自転車指導で自転車を貸していただける方も同様にお願い申し上げます。

１　日　　時　　令和３年７月１５日（木）　　９：３０～１０：１５…１年生（歩行指導）
中休み…「死角、衝突、巻き込み実験」の見学
１０：４０～１１：２５…４・５年生（自転車の乗り方）

２　対　　象　　１・４学年児童　　保護者の皆様　　（保護者ボランティアの方は、１年９：００、４年１０：００に実施場所にご来校ください。）

３　場　　所　　運動場
雨天の場合　　１年生…体育館で歩行練習
４・５年生…視聴覚室でビデオ視聴
※４・５年生については、雨天になった場合の保護者ボランティアは必要ありません。
（見学を希望される方は、そのまま残っていただいても構いません。）

４　方　　法　　模擬道路に信号機を設置し、正しい歩行の仕方、自転車の正しい乗り方の実地練習をします。

５　自転車の用意　　児童…各学級１０台程度⇒学校近くに住み、当日押してくることができる児童
（安全に気をつけて持ってくる。）

６　注 意 事 項　　以前交通事故に遭われたお子様は、「衝突、巻き込み」の様子を見たときにショックを受けることが懸念されます。心配なご家庭は、担任まで連絡をお願いします。

---------- 切り取り ----------

年　　組　　児童名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〇交通安全教室保護者ボランティアに参加します。（　１年生　・　４年生　・　５年生　）

〇4 年生自転車指導に自転車を貸します。（　　）　　※〇印をつけてください。

１２　学校防災・学校防犯計画

（1） 非常災害対策

Ａ　火災発生対策

１．通報連絡

①火災発生と同時に１１９番へ連絡する。電話不通の場合は近くの家より通報する。

②校内に知らせる。校内放送により状況を伝え、避難命令を出す。

③近所に連呼して応援を求める。

④市教委に電話で報告する。

⑤校長不在の場合は直ちに出張先などへ連絡する。

２．避難誘導

①学級担任は避難命令により、窓を閉め、児童をあわてず落ち着いて整列させ、所定の経路に従い指示された避難場所へ誘導する。

②児童は学用品を持たず、上履きのまま避難する。

③発火地点に近い学級は他に優先して避難する。

④身体が不自由な児童などは特別の配慮をする。

⑤避難場所に集合後人数確認し、各学年主任に報告する。学年主任は副校長に報告する。

⑥児童は担任の判断により、保護者が引き取りに来た場合は引き渡してもよい。

⑦避難場所はユーカリ園側投てき板前付近とする。

３．検索

①避難の際、便所内を見回り、残留児童のないことを確認する。

４．初期消火

①失火場所の消火に努め、状況によってシャッター、出入口、窓等を閉める。消防車到着後は搬出警戒に当たる。

②消火器の所在と操作を熟知しておく。

５．救護

①負傷者の応急処置をする。

②必要あれば、救急車を要請する。

６．出席簿について

①出席簿は職員室の指定の場所に置き、非常時には副校長が全学級分持ち出す。

②担任は、学級名簿をチャックのあるナイロン袋に入れた上でヘルメット内側に常備しておく。

③自習にする場合は自習予定表にその日の児童数や欠席者を記入し、非常時の場合に補欠者がすぐその学級の児童を把握できるようにしておく。

B．地震発生対策

１．指示伝達

①校内放送、もしくは伝令による。

２．避難誘導

①まず、児童を落ち着かせ、机の下にしゃがませて防御の姿勢をとらせる。屋外にいる場合は校庭の中央部に集合させる。

②火気使用中のときは、直ちに火を消し、出入口を開け放つ。

③避難命令が出たら、避難の準備を指示する。防災ヘルメットをかぶせ、窓を開けて２階の児童が全員避難したら３階の児童の避難と続く。震動が続いて起こるような場合には３階の児童はすぐに避難させないで状況を見定めてから行動を起こす。外に出たら、なるべく校舎から離れた場所を通って所定の場所へ避難する。

④身体が不自由な児童などは特別の配慮をする。

⑤避難場所に集合後人数確認し、各学年主任に報告する。学年主任は副校長に報告する。

⑥児童は担任の判断により、保護者が引き取りに来た場合は引き渡してもよい。

⑦避難場所はユーカリ縁側投てき板前付近とする。

３．その他

①児童に地震及び地震の災害について予備知識を与えておく。

②火気の始末をする。児童の自由行動を許さない。残留児童がいないようにする。

③検索・救護・出席簿については火災発生対策参照。

C．暴風雨の対策（暴風・大雨・洪水等の警報発令時）

１．指示伝達

①校内放送、もしくは伝令による。

２．避難誘導

①副校長はメール配信（未登録の家庭へは個別に電話）で各家庭へ連絡する。

②下校になる場合は、原則、保護者（代理人）による引き取りとする。

３．その他

①情勢には十分注意する。

②児童には登下校中に暴風雨に見舞われた場合は、学校か自宅の近い方へ避難するよう指導しておく。途中に適当な避難場所があれば、その場所(公園等)に避難する。

D．土砂災害警戒情報・土砂災害緊急情報伝達時の対策

①土砂災害「避難準備情報」を受信した際は速やかに状況確認を行うとともに、その後の情報入手を確実に行う。

②対策については「C．暴風雨の対策」に準じる

1）自衛消防組織（各係分担）

本　部　長	校　長
副本部長　　・連絡・報告の集約	副校長
指　示	副校長・安全主任
検　索　　・校舎内の見回り後連絡	技術員
渉 外 通 報	副校長
救　護	養護教諭
非常持出　　・学校関係戸棚 ・公文書類戸棚（書庫）	事務職員
消　火　班	少人数指導
児 童 管　理	［児童数の確認と報告］　　学年主任
	［校内見回り（各教室、廊下、トイレ等）］ （D棟）１・６年部　（A・C棟１・２階）　２・３年部 （A棟３・４階、C棟３階）４・５年部 （B棟）児童支援専任

2）火気取扱責任者一覧表

○ 防火管理者 ── 校　長

場所	管理者	場所	管理者
普通教室	各担任	家庭科室・家庭科準備室	家庭科主任
校長室・職員室・PTA 会議室 ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ・地域交流室・ 印刷室・防災備蓄庫	副校長	音楽室・音楽準備室	音楽主任
		図書室	図書主任
		体育館	体育主任
保健室・保健相談室	養護教諭	少人数教室	少人数指導担当者
技術員室・収納室	技術員	英語ルーム	外国語活動主任
事務室	事務職員	うきうきルーム	６年１組担任
給食室	調理員	わくわくルーム	２年１組担任
放送室・視聴覚室	情報主任	4 階教具室・学習室	少人数指導担当者
図工室・図工準備室	図工主任	パソコンルーム	情報主任
理科室･理科準備室	理科主任	学習室	特別支援担当者

3）避難訓練実施計画

１．意義

・火災、地震、風水害の災害に当たって、児童が安全に避難できるように、日常訓練をすることが必要である。

２．目標

・避難指示の放送を完全に聞くようにする。

・教師の指示に確実に従う。

・避難経路、避難方法を知らせる。

・「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」で、安全、敏速、静粛に避難できるようにする。

・順序よく集合し、場合によっては集団下校（学年ごと）ができるようにさせる。

４．校内避難場所

・校庭の鉄棒側に集合順に整列する。

５．避難の方法

①緊急放送のブザー（非常ベル）と同時に一切の作業を中止して、放送を聞く。

※ブザーによる指示 ── 「ウーウー」

※放送機器が使用不能の場合の指示　―　非常ブザーを使用。

※非常用バッテリーが断線して使えない場合の指示

―職員室在室の職員が各階にハンドマイク（No.２二階用・No.３三階用・No.４四階用）で伝令。

②【火災の場合】

放送終了直後、窓を閉め（施錠せず）廊下に整列し、廊下の窓、出入り口を閉鎖する。

ハンカチで口鼻をおおう。

【地震の場合】

放送終了直後、教室の窓や戸を開けて、机の下へもぐりじっとして、状況を見て廊下に整列する。

③防災ヘルメットをかぶり、靴を履き替えずにはや足で避難する。

担任(補欠者)はヘルメット(名簿入り)をかぶる。

④避難場所へ着いたら、担任（補欠者）は点呼し、副校長に報告する。副校長不在時は校長に報告する。

⑤点呼を終えたら、腰を下ろし次の指示を待つ。

⑥校長先生の話、安全部の話

⑦学級毎の振り返り

⑧解散

※８月・１月の訓練は避難の方法が異なる。（別紙参照）

６．年間計画

月　　日	想　　定	時　間	備　考
７月６日	交通安全教室	２校時（10:00）	１・４・５年生対象
４月１９日	火災	２・３校時	Ａコース
５月１０～１４日	地震	３校時（10:40）	Ｂコース
６月　１４日	児童引き取り訓練」	５校時(13:20)	保護者への引き渡し
７月　６日	防犯指導（誘拐防止）	３校時（11:10）	１年、個別支援学級
７月１９日	不審者対応避難訓練	２校時（9:45）	
８月３１日	大規模地震発生	２校時	
１２月５～９日	地震→火災	中休み(10:25)	休憩時間での訓練
１月１７日	地震→火災	中休み（10:25）	休憩時間での訓練　予告なし
２月３日	起震車体験	学級ごと	１・３・５年対象
３月２３日	地区班編制	３校時（10:30）	

① 第１回避難訓練実施計画

保健安全部

１　日　時　　令和４年４月１９日（火）　　２校時　10:00～10:15　　行事０．３

２　ねらい　　授業中の火災における避難が速やかにできるようになる。

新しい教室からの避難経路を覚えて、行動できるようになる。

３　想　定　　火災（出火場所は給食室)、避難経路（Ａコース）

４　避難の方法

１０：００　①　緊急放送のブザー（非常ベル）と同時に一切の作業を中止して、放送を聞く。

訓練火災、訓練火災。
給食室より出火。
担任の先生の指示に従って避難してください。

☆　養護教諭は、職員室から健康観察簿を持ち、避難する。

②　放送終了直後、窓を閉め（施錠せず）整列し、廊下の窓、出入り口を閉鎖する。

ハンカチで口鼻をおおう。

③　ヘルメット、ない場合や壊れている場合は防災頭巾をかぶり、靴を履き替えずに避難する。

担任（補欠者）は、☆児童名簿を持ち、ヘルメットをかぶる。

④避難場所へ着いたら、担任（補欠者）は人数を確認し、副校長に報告する。

副校長不在時は、校長に報告する。

○年△組、（出席数）□名、（欠席数）◇名です。

⑤人数確認を終えたら、腰を下ろし次の指示を待つ。

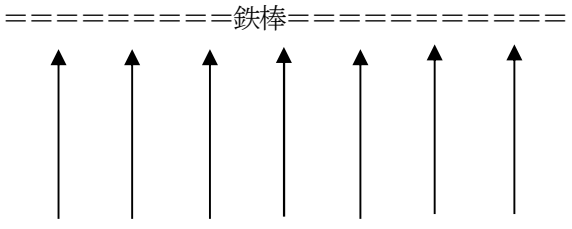
１０：０５　⑥　安全部の話、校長先生の話

１０：１０　⑦　学級ごとに今回の避難訓練の反省を行ってから、解散する。

６　留意点

- 今年度初めての避難訓練なので、避難経路などの事前指導をしておく。
- 隊形は鉄棒前側に、到着した順に整列する。
- **児童名簿を、ヘルメットの中に１部入れて、いつでも持ち出せるようにする。**

＜並び方＞



② 第２回避難訓練実施計画

保健安全部

１　日　時　　令和４年５月９日（月）～１３日（金）　　行事０．３

２　ねらい　　・状況に応じた地震における避難が速やかにできるようになる。
・地震及び火災発生時における新しい防災マニュアルの作成。

３　想　定　　地震（授業中に発生）
特別教室（校庭、音楽室、理科室、家庭科室、図書室、英語ルーム、わくわくルーム等）

４　留意点　　・各学級で避難訓練の時程を設定し、特別教室や授業の状況に応じた避難の仕方を児童に考えさせる。その後、実際に避難訓練を行う。
・担任（補欠者）は混乱を避け、安全に十分に配慮し、児童を掌握する。
・各学級で避難訓練を行うため、緊急放送は入らない。

５　事前指導例　・児童に避難や地震についての予備知識を与えておく。

③　児童引き取り訓練実施計画案

保健安全部

１　日　時　　令和４年６月１４日（金）　５校時　　行事１

（昼休みなし、掃除なし）

２　ねらい　・　非常事態時における迅速かつ的確な防災活動ができるようにする。

・　保護者や代理人が、速やかに引き取ることができる態勢をつくる。

・　児童が、話をよく聞き、落ち着いた行動がとれるようにする。

３　想　定　　暴風警報が発令され、下校に危険が伴うため、保護者による引き取りが最善であると学校長が判断した場合

４　時　程　　１３：０５　「引き取り訓練」の連絡をメール配信で行う。（副校長）

☆給食後、児童は帰りの準備をする。

１３：２０　引き取り下校になったことを放送で知らせる。（副校長）

☆児童は外履きを昇降口に取りに行き、その後、各教室で待機。

☆上履きは持ち帰り、次の日に持ってくる。

１３：３０　引き取り下校開始

☆引き渡しは教室とする。児童は、静かに座って迎えを待つ。

☆兄弟は、同じ昇降口から保護者と一緒に下校する。

１４：００　引き渡し終了

引き渡し完了のクラスは職員室に連絡する。

引き取りのない児童は、担任と一緒に体育館に移動する。

１４：０５　引き取りのない児童下校

（靴を履いたのち、てんとう虫広場に集合、担任、安全部職員と一緒に下校する）

１４：１０　反省会（職員室）

５　役割分担

本部（職員室）	校長
連絡・人数集計	副校長
救護	養護教諭
児童管理	各担任
引き取り人数報告	各担任

６　その他

※　１４：００の時点で引き取りのない児童は体育館で保護する。

※　メール未登録の家庭には、当日は電話連絡を行わないことを事前にプリントで伝えておく。

※　学童（六浦子どもホーム）には事前に担当者から連絡し、児童の迎えをお願いしておく。

※　実際の引き渡しを想定した訓練のため、児童調査票に登録してある保護者、代理人以外には、児童の引き渡しができないことも事前のプリントで伝えておく。

令和４年５月１３日

保護者様

横浜市立朝比奈小学校
校　長　　神田　敏之

児童引き取り下校訓練についてのお願い

日頃より本校の教育についてご理解・ご協力をいただき感謝申しあげます。

さて、今年度も緊急事態発生時を想定し、児童引き取り下校訓練を行います。万障お繰り合わせの上、ご協力をお願いいたします。

１　日　時　　令和４年６月１４日（火）　５校時

２　ねらい　　非常時の児童下校に備え、安全かつ迅速な対応ができるようにする

３　想　定　　暴風警報が発令され、下校に危険が伴うため、保護者による引き取りが最善であると学校長が判断した場合

４　時　程　　１３：００　・副校長より各家庭に引き取り訓練のメールが配信される。
※保護者、代理人はメールを受信されてから、学校へ引き取りに来てください。
・児童は帰り支度をして教室で迎えを待ちます。
１３：３０　・各教室にて引き取り開始。（時間前の引き取りはできません）
※保護者、代理人は担任に申し出て、確認を受けてから児童をお引き取りください。
１４：００　引き取り終了

５　その他　　・メール配信未登録のご家庭は引き取り開始時刻（１３：３０～１４：００）に合わせて、ご来校ください。（ご都合のつかない方は、代理人に予めお願いしておいてください）
・今回は訓練のためメール配信登録家庭のみ連絡いたします。
・実際の引き渡しを想定した訓練のため、**児童調査票に登録していただいた、保護者、代理人以外の方には、児童の引き渡しができません。従いまして、登録者以外の方には、事前の連絡をいただいても引き渡しをすることができません。**ご理解・ご協力をお願いいたします。
・実際の緊急事態発生時における児童引き取りの場合は、メール配信未登録のご家庭には担任より直接電話連絡をし、児童は保護者が来校するまで待機させます。（留め置きです）
・今回は訓練のため、引き取りのない児童は、１４：０５に下校させます。

④　総合防災訓練実施計画

1　ねらい　児童の在学中における地震発生に備え、迅速かつ的確な地震発災時の活動に対処するために、次の目的で訓練を行う。

（１）大地震発災時における児童の安全確保

（２）学校の組織体制づくり

2　実施日　　令和４年８月３１日（水）　２校時　　行事１

3　想　定　　（１）震度６以上の大地震発災を想定する。

（２）授業中での発災を想定する。

（３）学校の校舎、施設は大地震後も概ね安全であるものとする。

（４）児童は学校に留め置きとする。

（５）学年に負傷者（１名程度）を想定する。

（６）校内放送は使えないものとする。

（７）訓練時間は１時間程度の計画とする。

4　方　法　　・　上履きのまま、ヘルメットまたは防災頭巾を着用し、避難する。

・　避難場所に移動完了したら、各担任が人員を確認し、学年でまとめて副校長へ報告する。

・　施設、設備点検

5．展開（◎校長　○副校長　□担任）

時刻	訓練の流れ	指揮・指示の流れ	避難行動	用具	留意事項・その他
９：２５	予告 （校内放送）	□訓練を予告する。 ・震度６以上の大地震の発声を想定しての訓練であることを伝える。 □校内放送が使えなくなるので、担任の指示で行動することを児童に伝える。		副校長 全校児童名簿 児童 ヘルメット	□事前に児童のヘルメットの有無、使用可能な物か確認を行う。
	移動 （校内放送）	□移動を指示する。 ・月曜日課の１校時の教室へ移動することを指示する。（通常通り） □その場に合った身の処し方を具体的に指導する。			・技術員、調理員はガス台に着火する。
９：３０	地震発生 （約１分） （効果音） 第１次避難	○地震発生を発信する。 □児童に避難を指示する。 ・机の下に潜ること ・落ち着いて指示に従うこと	◇揺れに伴う危険を回避する。 教室・特別教室 ・机の下にもぐる。 ・机の脚を掴まえる。 ・沈静を待つ。 家庭科室・理科室 ・火器使用中であれば即消火。 ・身を低くする。 体育館 ・壁から離れる。 ・身を低くする。 運動場 ・校舎、固定施設、大木などから離れる。		□平素より、揺れを感じたら倒れそうな物や落ちそうな物から離れることを指導しておく。 □書架、テレビ等は金具で固定しておく。 □重量のある重い物を高いところに置かないようにする。

			・身を低くする。 技術員、調理員はガス栓を閉めて消火する。		
９：４０	沈静	□地震が収まったことを判断する。 （訓練の場合は、音が聞こえなくなったことを判断の基準とする） □学年人数と負傷者の有無を確認する。 □放送とインターホンが使用不能時には、各学年の担任１名が学年の負傷者の有無と負傷者の名前を本部（職員室）へ伝えに行く。もう一人は、学年の児童管理を行う。 □第２次避難の準備を指示する。	◇避難態勢を解除し、静かに次の指示を待つ。 教室 ・机の下から出る。 ・防災頭巾を被る。 ・席について、静かに待つ。 体育館・運動場 ・２列で整列する。	担任 ヘルメット	□平素より、緊急事態おいては私語を慎み、意識を担任に集中するように指導しておく。 負傷者設定 学年１名 １年（指）、 ２年（足の指） ３年（担架）、 ４年（頭） ５年（肩）、 ６年（脚）
９：４５	第１次本部設置 （職員室）	◎被害状況調査を指示する。 ○コース毎に人員を配当する。 ・実際の場合は、その時の本部要員に合わせて配当する。 ・負傷者名を記名する。	職員室にいる職員等が本部要員として集結する。 人員配当（副校長） 救護（養護） 担架（事務、技術員） ↑男性職員を充てる。 連絡係 中央階段、Ｂ棟階段 （少人数指導） Ｃ棟階段（技術員） Ｄ棟（音楽専科）	本部 校舎平面図 本部旗 携帯ラジオ 救護 救護用具 担架 毛布 サラシ	・可能な限り、１つの棟に複数の人員を配当するようにする。 ・火災受信機の保安電話の利用もある。
	第２次避難 負傷者救助 第２次本部設置 （運動場）	□連絡係の職員の指示に従い、児童を誘導する。 ◎本部、救護本部の設置を宣言する。 ・運動場の安全な場所に本部を置く。 （訓練では、プール前）	◇誘導に従って、運動場に避難をする。 おさない かけない しゃべらない もどらない 間をあけない 連絡係の職員は、状況に応じて負傷児童の避難を補助する。	副校長 本部旗 拡声器	・平素から、避難コースは想定しておく必要はあるが、状況に応じて担任自身で判断することも大切である。 ・必要に応じて、更に応援することも周知しておく。
	人員確認	□学級の児童数（現在数）を確認する。 ・学年主任は、学年の児童数を確認し、副校長へ伝える。 □児童のヘルメットは、かぶらせておく。 （防災担当者の指示があるまで） ○学校の児童数を確認する。	◇指示された場所で、これまでの避難訓練と同じ並び方で整列して点呼を受ける。	学年主任 点呼表 （児童名簿）	・在籍数－欠席数＝現在数 （全てが明らかであること） ・負傷者は、救護本部に連れていく。
９：５５	防災担当者の話 校長講話	◎ここまでの様子について講評するとともに、在校中の大地震発生時の対応に	※校長講話と同時に、校舎の見回り開始		・実際の場合には、動揺する児童の気持ちを

	安全確認	ついて講話をする。 ○校舎内の安全確認を分担、指示する （実際は、状況に応じて分担、指示を行う） 経営計画Ｐ. ・学年主任…児童管理 ・他の担任…学年の教室 ・担任以外の職員…特別教室、トイレ	安全確認のポイント ・火災の有無 ・壁、天井の崩壊 ・ガス漏れ		落ち着かせるような内容で講話をする。 ・体育館は、近隣住民の避難場所となるので、特に気をつけて観察する。
10:０５	教室収容	◎安全確認後、児童の教室誘導を指示する。 □児童を教室に誘導する。	◇誘導に従って教室へ移動する。		・養護教諭は、負傷者児童を保健室に誘導、保護する。
	第３次対策本部設置 （職員室） 人員確認	◎対策本部を職員室に設置する。 □学級の児童数を確認する。 ○校内を巡回し、児童の教室収容が確認できたことを本部に伝える。	◇着席して、静かに次の指示を待つ。	副校長 全児童名簿	・教室収容後、訓練終了まで照明やテレビ等の電源を使わない。
10:１５	終了 （校内放送）	○避難訓練の終了を伝える。			

⑤　起震車体験計画

1　日　時　　令和５年２月３日（金）　　（行事１）
※雨天時は中止、小雨は決行。微妙な場合は、当日朝に六浦出張所に電話で確認。

2　場　所　　てんとう虫広場

3　ねらい　　六浦消防署の協力による起震車体験を通して、地震の対処の仕方に関心を持つようにさせる。

4　対象学年　　１，３，５年

5　予定時程　　１０：００　起震車体験実施　　１年１組
１年２組
３年１組
３年２組
（中休みも実施）
５年１組
５年２組
１１：３０　終了予定（多少延長する可能性有り）

３０人学級の場合
１グループ（６人）２分×５組＝１０分
移動など含めて１５分

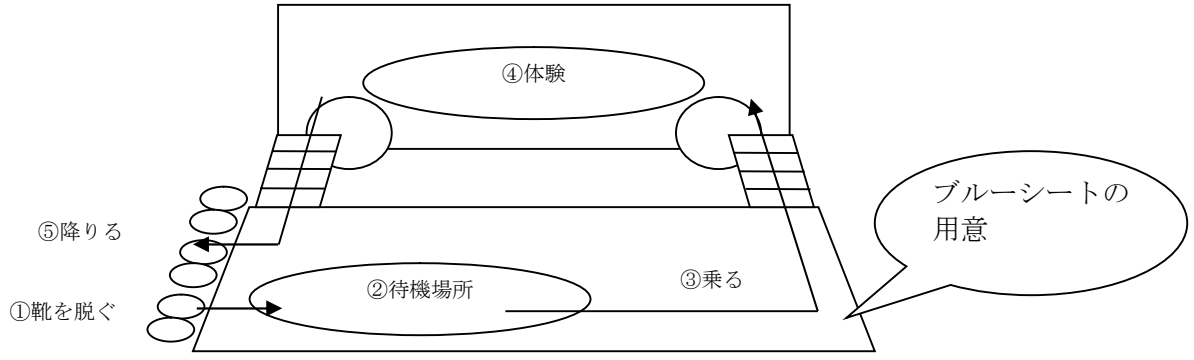
１５分×６クラス＝９０分
※できるだけ早めに次のクラスは準備をお願いします。

6　留意点　　・絶対にふざけさせない。（アトラクション感覚で体験させない）
・体験は６人位のグループを５組で実施する。（事前に決めておく）
・腰痛や頸椎に持病のある児童がいないか、事前に確認をする。（体験の可否判断）
・児童は必ず防災頭巾を着用する。

7　事前学習　　・各学級で地震についての学習を行い、起振車体験を受ける心構えをもつ。

8　事後学習　　・児童は体験したことをふり返り、地震の対処の仕方に関心をもつようにする。

9　体験の流れ　　①ブルーシートの横で靴を脱ぐ。
②待機場所で待つ。
③前のグループが終わったら、速やかに乗る。
④体験
⑤降りて、靴を履く。



１０　備　考　　・起震車が９時半頃に南門から校庭に入るので、その時間帯は校庭の使用をしない。
・六浦出張所から３名来校予定

起震車体験は、本当に必要なものか、新防災保健安全部で話し合ってください。令和元年度は、雨天のため中止でした。起震車も、出張所に３日がかりで運んでくるなど、署員も大変ですし、コスパが悪いです。無くてもよいのではないか、と思います。

⑥　第３回避難訓練実施計画案

１　日　時　　令和４年１２月５日（月）～９日（金）　中休み　10:25～10:40　　行事０．３

２　ねらい　・休憩時間の地震における避難が速やかにできるようになる。
　　・職員の児童安全保護の対応を速くする。

３　想　定　　地震（休憩時間中に地震発生）

４　時　程
　１０：２５　①　緊急放送のブザー（非常ベル）と同時に一切の作業を中止して、放送を聞く。

> 只今、震度５以上の地震が発生しました。
> 落ち着いて避難してください。

②　放送終了直後、教室の窓や戸を開けて、机の下へもぐりじっとして、状況を見て廊下に整列する。
③　ヘルメットまたは防災頭巾をかぶり、靴を履き替えずにはや足で避難する。担任（補欠者）はヘルメットの中の児童名簿を持ち、ヘルメットをかぶる。
④　避難場所へ着いたら、担任（補欠者）は点呼し、学年主任に報告する。それを受けて、学年主任は副校長に報告する。

> ○年１組、（出席数）□名、（欠席数）◇名
> ○年２組、（出席数）□名、（欠席数）◇名です。

⑤　点呼を終えたら、腰を下ろし次の指示を待つ。

　１０：３０　⑥　安全部の話、校長先生の話

　１０：３５　⑦　学級ごとに今回の避難訓練の反省を行ってから、解散。

５　留意点　　・混乱を避け安全に十分に配慮し、児童を掌握する。
　　・児童に地震についての予備知識を与えておく。

⑦　第４回避難訓練実施計画案

１　日　時　　令和５年１月１７日（月）　中休み　予告なし　10:25～10:40　　行事０．３

２　ねらい　・休憩時間の地震における避難が速やかにできるようになる。
　　・職員の児童安全保護の対応を速くする。

３　想　定　　地震（休憩時間中に地震発生）

４　時　程

１０：２５　①　緊急放送のブザー（非常ベル）と同時に一切の作業を中止して、放送を聞く。

> 只今、震度５以上の地震が発生しました。
> 落ち着いて避難してください。

②　放送終了直後、教室の窓や戸を開けて、机の下へもぐりじっとして、状況を見て廊下に整列する。

⑥　ヘルメットまたは防災頭巾をかぶり、靴を履き替えずにはや足で避難する。担任（補欠者）はヘルメットの中の児童名簿を持ち、ヘルメットをかぶる。

⑦　避難場所へ着いたら、担任（補欠者）は点呼し、学年主任に報告する。それを受けて、学年主任は副校長に報告する。

> ○年１組、（出席数）□名、（欠席数）◇名
> ○年２組、（出席数）□名、（欠席数）◇名です。

⑧　点呼を終えたら、腰を下ろし次の指示を待つ。

１０：３０　⑥　安全部の話、校長先生の話

１０：３５　⑦　学級ごとに今回の避難訓練の反省を行ってから、解散。

５　留意点　　・混乱を避け安全に十分に配慮し、児童を掌握する。
　　・児童に地震についての予備知識を与えておく。

⑧ 地区班編制実施計画案

1　日時　　令和５年３月２３日（木）　３校時　　行事１
給食なし、中休み１０：１５～１０：３０
３校時１０：３０～１１：１５

2　ねらい　・　上級生が下級生の世話をするなかで，協調性を養い相互の連帯感・責任感を高める。
・　同じ地区の子を把握し、集団登校の流れについて理解する。

3　時程

１０：２０　「欠席届」を養護教諭が責任をもって、欠席した児童の地区班名簿に入れる。

１０：３０　３校時開始
・　地区班の表を各地区担当者（教師）が持っていく。

１０：３５　放送
・　地区班編制についての話（防災担当）
・　放送にて移動開始を指示
（学区外児童は職員室へ集合
迷子のないように担任が配慮する。）

１０：４０　全児童、地区の教室へ移動完了

各教室の担任が司会を進める
1　新しい校外委員さんの紹介をする。
2　校外委員さんが地区名簿の確認(出席をとりながら)をする。
3　地区担当者（教師）は、副校長へ出席人数の報告をする。
（インターホンを使用する）
4　グループの班長・副班長を決定し、◎・○の印を記入する
（新６年が中心になるように）
5　校外委員さんと子どもたちが相談して、集団登校での並び方の確認(新１年生の位置も)をする。
6　集団登校について説明をする。
〔新年度の実施期間、雨天決行　集合場所〕
7　通学路について指導する。
（通常の登下校路も集団登校の通学路を使うこと）

１１：００　終了の放送
・「地区班編成終了の時刻です、教室に戻ってください。」という放送を聞いてから、児童は教室へ移動する。

4　その他　　終了後、名簿は地区班編制担当者へ返却する。

１）防犯訓練

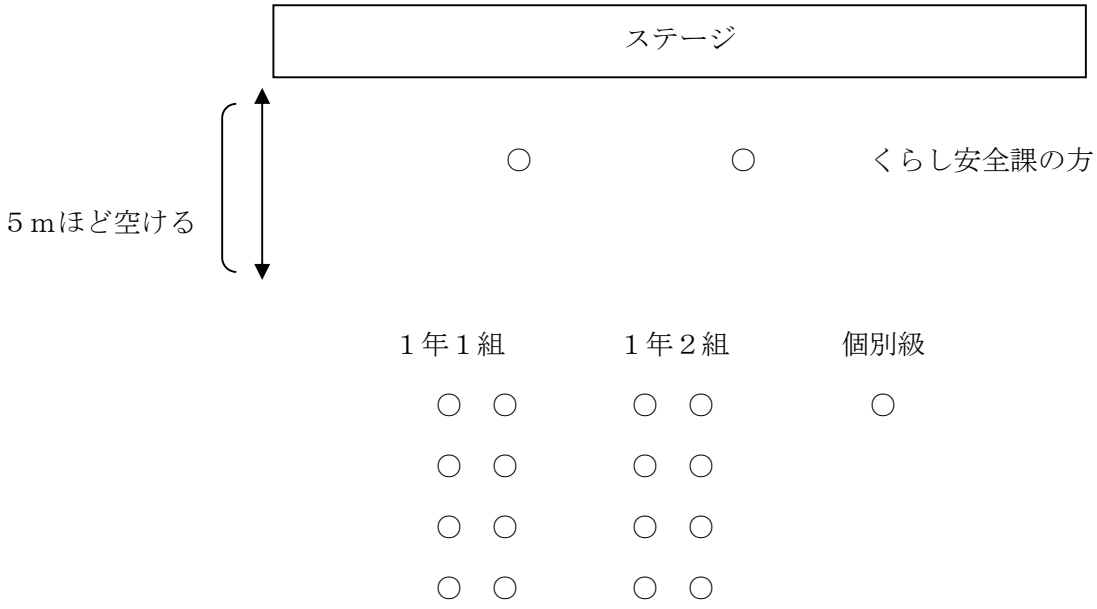
①　子ども防犯指導（誘拐防止）実施計画

１　日　時　　令和４年７月６日（水）　３校時　　行事１

２　ねらい　　誘拐防止の４つの約束から、声かけ事犯に対する対応例を知る

３　対　象　　１年　個別支援学級

４　場　所　　体育館



５　当日の流れ　①　くらし安全課の方々の紹介（防災担当者）

②　学校長の話

③　誘拐防止４つの約束（DVD の視聴とくらし安全課の方からのお話）（２５分）

④　ロールプレイ（１５分）

⑤　お礼の言葉

６　留意点　・　４名が前に出て簡単なロールプレイを行う。当日までに決定しておく。

・　１年生の代表児童が最後にお礼の言葉を言う。

７　その他　・　放送機器、ノートパソコン、プロジェクターを用意（当日の朝）。

・　当日は、くらし安全課の方々が車で来校されるので体育館横の駐車場を１台分空けておく。

② 不審者対応避難訓練

1　日　時　　令和４年７月１９日（火）　　（９：４５～１０：１５）　行事０．７

2　ねらい

（児童）：不審者が学校に侵入した時の避難の方法を知る。

（教師）：児童在校中に不審者が侵入した場合を想定して、児童の安全確保の仕方を知る。

3　想定　　・不審者が児童に危害を加える目的で校内に侵入。

・不審者の移動　体育館非常口より侵入→Ｂ棟階段→３－１教室前

4　確認事項

○不審者侵入時の校内合図を
「○○で緊急集会です」を２回繰り返す。
「○○」の部分に侵入場所を入れる。　例　３の１
○不審者侵入の放送を聞いたら教室などから出ない。

5　訓練の方法

時刻	内容		留意事項
	児童および児童管理者	不審者対応者	
9:35	○訓練の目的やねらいをつかませる。（担任） ※専科授業の場合は、事前指導をしておく。		・緊急時対応マニュアルの内容を、学年の発達段階に応じて指導する。 **（４の確認事項と訓練の流れ）**
9:45	不審者侵入	**・副校長は、職員室にいる職員の役割分担を行う。** ・職員室にいる職員は、さすまたと携帯をもって現場に行く。（複数）	・不審者が侵入したのを○○先生が発見。 **「どうなさいましたか」と声を掛ける。返事がない、または怪しいと判断したのち、インターホンで職員室に伝える。不審者と対応するときには、バインダーを持って身を守れるようにする。**
9:46	○校内緊急合図放送（副校長） （例）訓練　３の１で緊急集会です。（２回） ◎児童が教室にいる場合 （体育館・運動場も含む） ○クラスの人数確認 **○現場に行く担任のクラスの児童は、隣の教室に移動。** ○教室施錠(後ろドア⇒隣の児童移動⇒前ドア) ○教室の真ん中に集まる。 ◎児童が廊下にいる場合 ○一番遠くの階段を通って、運動場に避難するように指示。 ○運動場で人数確保 ※教室にいる教師は、助けを求めている児童がいれば、教室の前のドアより教室内に入れる。	・副校長は、警察に電話をする。 **・各学年1名は、身を守るためのバインダーを持って現場に行く。** **※侵入場所に近い学級の担任、及び、移動教室等で隣の担任がいない場合には現場に行かず、児童管理にあたる。（教室を移動させない。）** ・犯人を刺激しないように、取り囲むようにして動きを封じ込め、警察が来るまで時間を稼ぐようにする。 **・不審者が落ち着いてきたら、保健相談室に誘導する。** **「お話をうかがいますので、こちらへどうぞ。」**	・放送の内容を子どもたちに話し、落ち着いて行動をするようにする。 **＜現場にかけつける担任＞** **「隣のクラスに避難します。前のドアから入ったら○○先生の指示に従ってください。」** **もう一方の担任に引き継ぎ、現場に行く。** **＜児童管理をする担任＞** **「退避行動をとります。○○さん、後ろのドアを閉めて。」** **・隣のクラスの児童を前ドアから教室に入れ、前ドアの施錠をする。** **「教室の中心に集まり、静かにします。」** **・鍵のかからないところは、つっかえ棒を挟か、机や配膳台などでブロックする。（つっかえ棒→ほうきなど）** **※あらかじめ、鍵のかからない教室はどこか、各担任が確認しておく。（安全点検日などに。）**
9:50	○不審者確保 安全確認の放送 訓練　不審者は確保されました。児童のみなさん安心してください。担任の先生の指示に従って体育館へ移動して下さい。 ・児童数と負傷者を確認し、学年主任に報告する。学年主任は、副校長へ報告する。	・警察到着。	・運動場、体育館や特別教室にいる場合は、担任(担当)が体育館へ移動する。 ・座って静かに待機する。

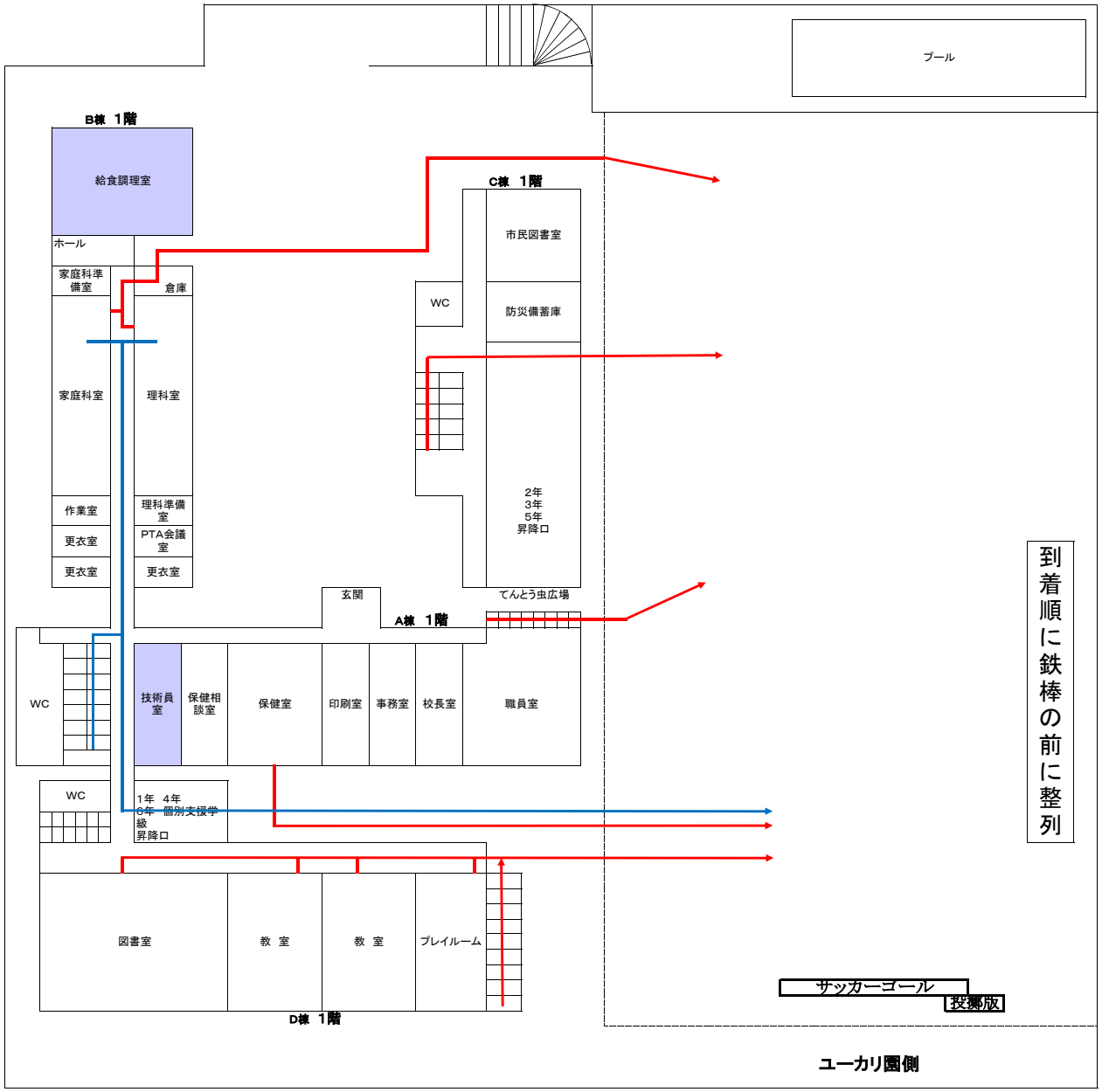
10:00	○安全部の話 ○校長先生の話 学級ごとに訓練の反省を行ってから 解散する。		

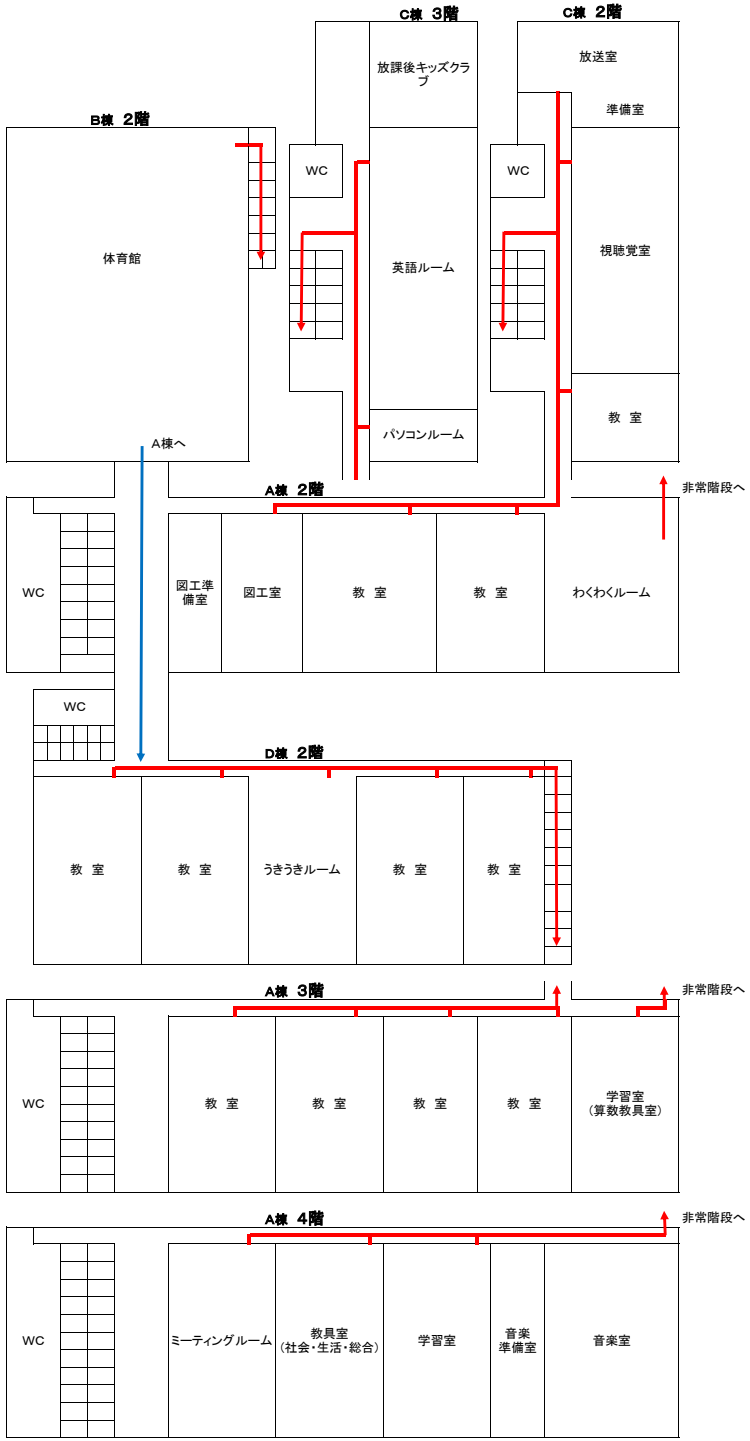
6　留意事項

※不審者との距離は、２m程度とっておく。

避難経路図【Aコース】
技術員室方面 出火 →
給食室・家庭科室・理科室 出火 →

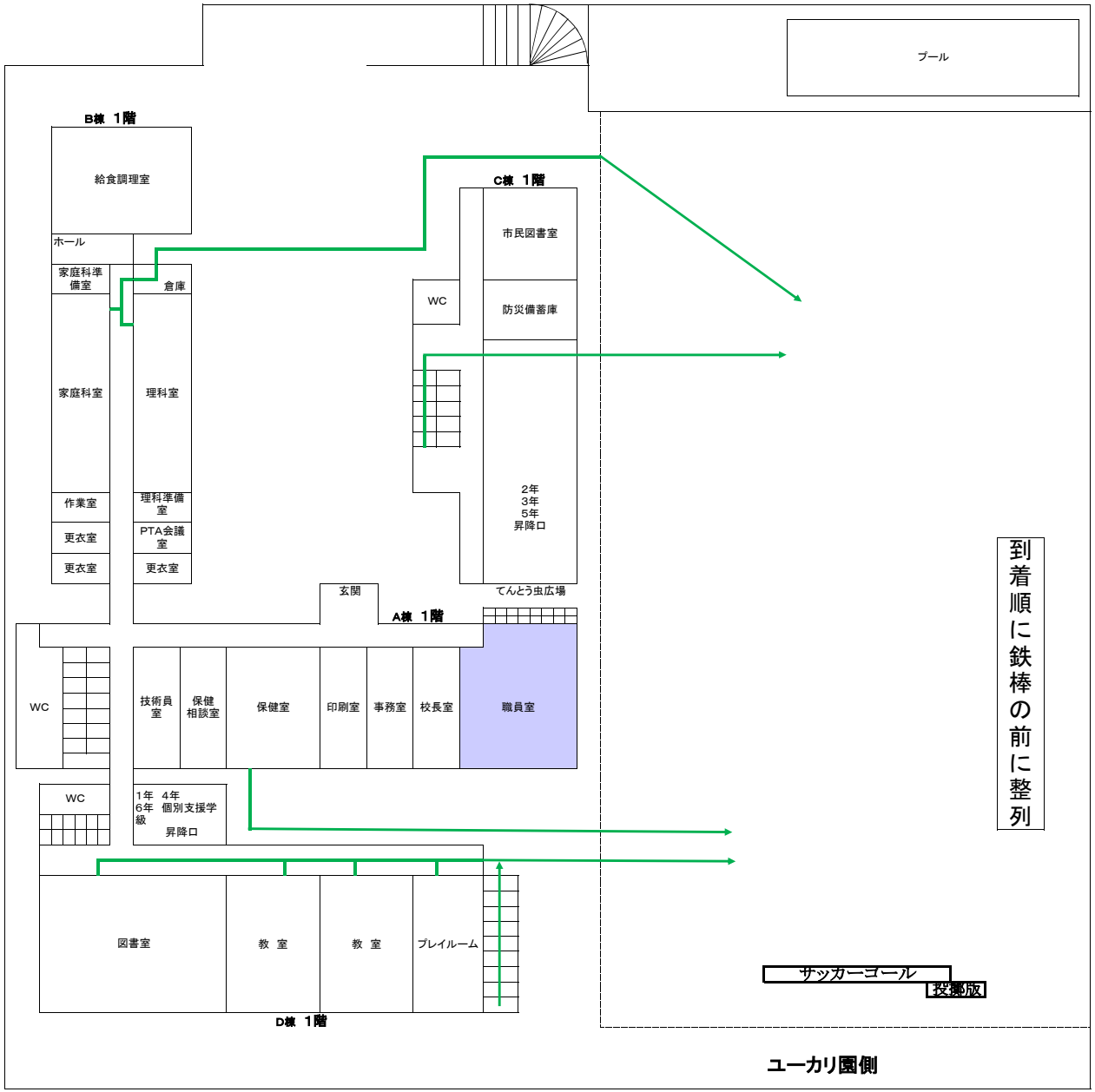
☆避難時は、原則1・2・3年生―左側通行
4・5・6年生―右側通行

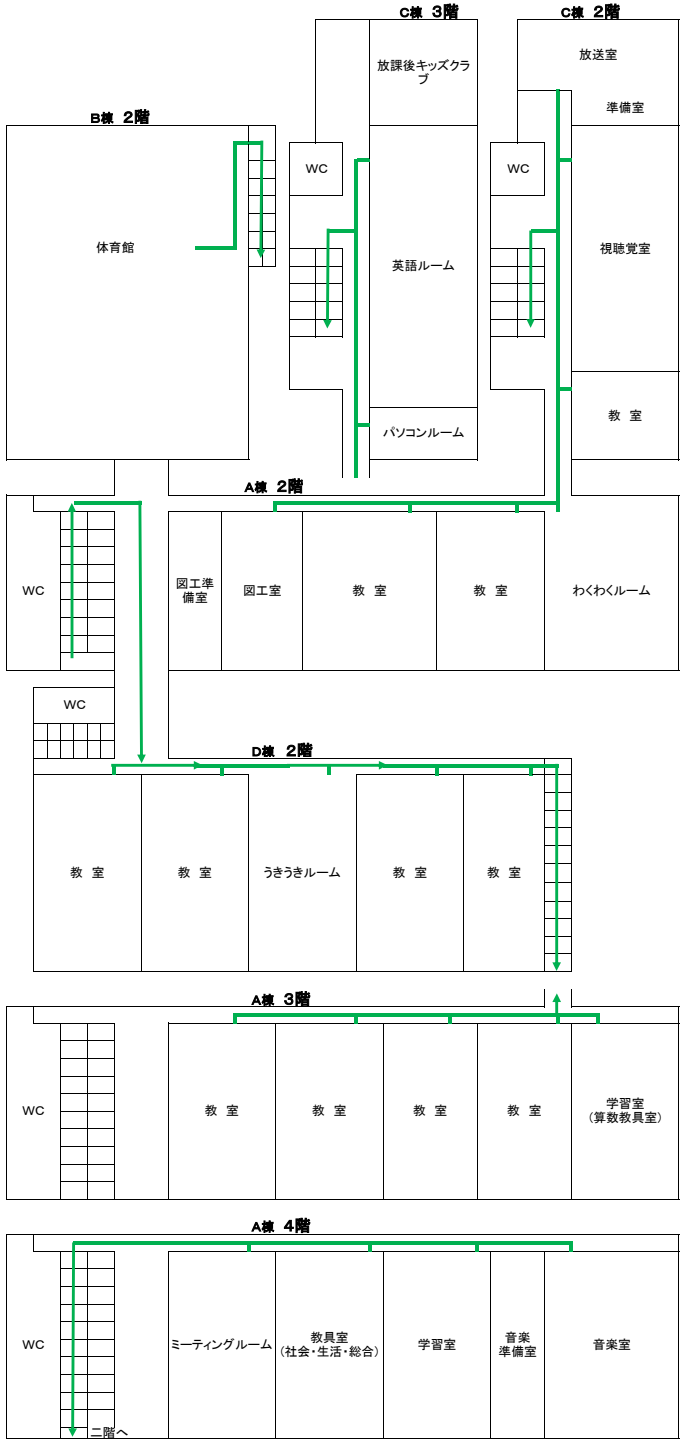




避難経路図
【Bコース】
職員室方面　出火

☆避難時は、原則1・2・3年生ー左側通行
4・5・6年生ー右側通行





保存版

横浜市立朝比奈小学校

2022（令和4年度　各種防災に関する児童の安全確保について

【1】暴風等

時間	警報・注意報発令状況		学校の対応	保護者の対応	連絡
登校前	午前六時の時点	暴風警報・暴風雪警報 大雪警報・特別警報	**休校**	**登校させない**	メール配信はしません（補足的にすることもあります）
		上記以外の 警報・注意報	原則として**平常通り**	登校上安全と判断した場合、 **登校させる**	
登校後	暴風警報・暴風雪警報 大雪警報・特別警報 朝比奈小学校に 土砂災害避難準備情報		**預かり・引き渡し**	**学校へ行き、 児童を引き取る**	どちらの対応になるかをメール配信します
			状況により定刻、または下校時刻を前後して**一斉下校**する		

【2】大規模地震

時間	警報・注意報発令状況	学校の対応	保護者の対応	連絡
登校前	大規模地震（震度5強以上）発生	**休校**	**登校させない**	可能な場合、補足的にメール配信に努めます 学校再開の連絡等は、校門に掲示もします
	南海トラフ地震に関する臨時情報が発表された場合	横浜市教育委員会より「全市臨時休校」の指示があれば**休校**	休校にならないとき、安全と判断した場合は**登校させる**	
登校後	大規模地震（震度5強以上）発生	**預かり・引き渡し**	**児童を引き取る**	
	南海トラフ地震に関する臨時情報が発表された場合			

【3】降灰等

時間	警報・注意報発令状況	学校の対応	保護者の対応	連絡
登校前	午前六時の時点で、「噴火」「降灰」に関する警報や予報が発表継続中の場合	**休校** （原則として、降灰が継続している間は休校）	**登校させない**	メール配信はしません（補足的にすることもあります）
登校後	「噴火」「降灰」に関する警報や予報が発表された場合	**預かり・引き渡し**	**学校へ行き、 児童を引き取る**	どちらの対応になるかをメール配信します
		状況により定刻、または下校時刻を前後して**一斉下校**する		

◎校外で行事を実施中の場合は、行事を中止し、児童を安全な場所へ避難・誘導の上、状況を判断し、速やかに対応いたします。

＜注意事項＞

◎ 停電などにより、メール配信ができない場合もあります。保護者の方はテレビ・ラジオ等で正確な情報を収集し、
このプリントに従って対応してください。学校への電話での問い合わせはご遠慮願います。

◎ メール配信未登録のご家庭には、個別に原則として一度まで電話連絡を行います。
留守番電話モード等でご確認ください。

◎ 気象警報は、「神奈川県全域」「神奈川県東部」「横浜・川崎」に対して発表された警報が該当します。

◎ インターネットでは、「横浜市役所ホームページ」→「防災情報」→「横浜市の気象情報」または
「横浜市の地震情報」からも情報を得ることができます。

◎ Jアラート（全国瞬時警報システム）発令や近隣での事件や事故の場合は、表に準じて対応をします。

◎ 休校でないときに、安全上登校を見合わせる場合には学校へその旨をお知らせください。

＜引き取り方法＞

（1）児童は学級単位で保護
（2）児童の待機（保護）場所　＜状況や人数により判断し変更します＞
①各教室　②運動場　②体育館
（3）保護者（代理人）が迎えに来る。
（4）保護者（代理人）は担任に申し出て、確認してから児童を引き取る。

※ 引き取り人（保護者／代理人）が来られない児童は、学校で保護（留め置き）します。

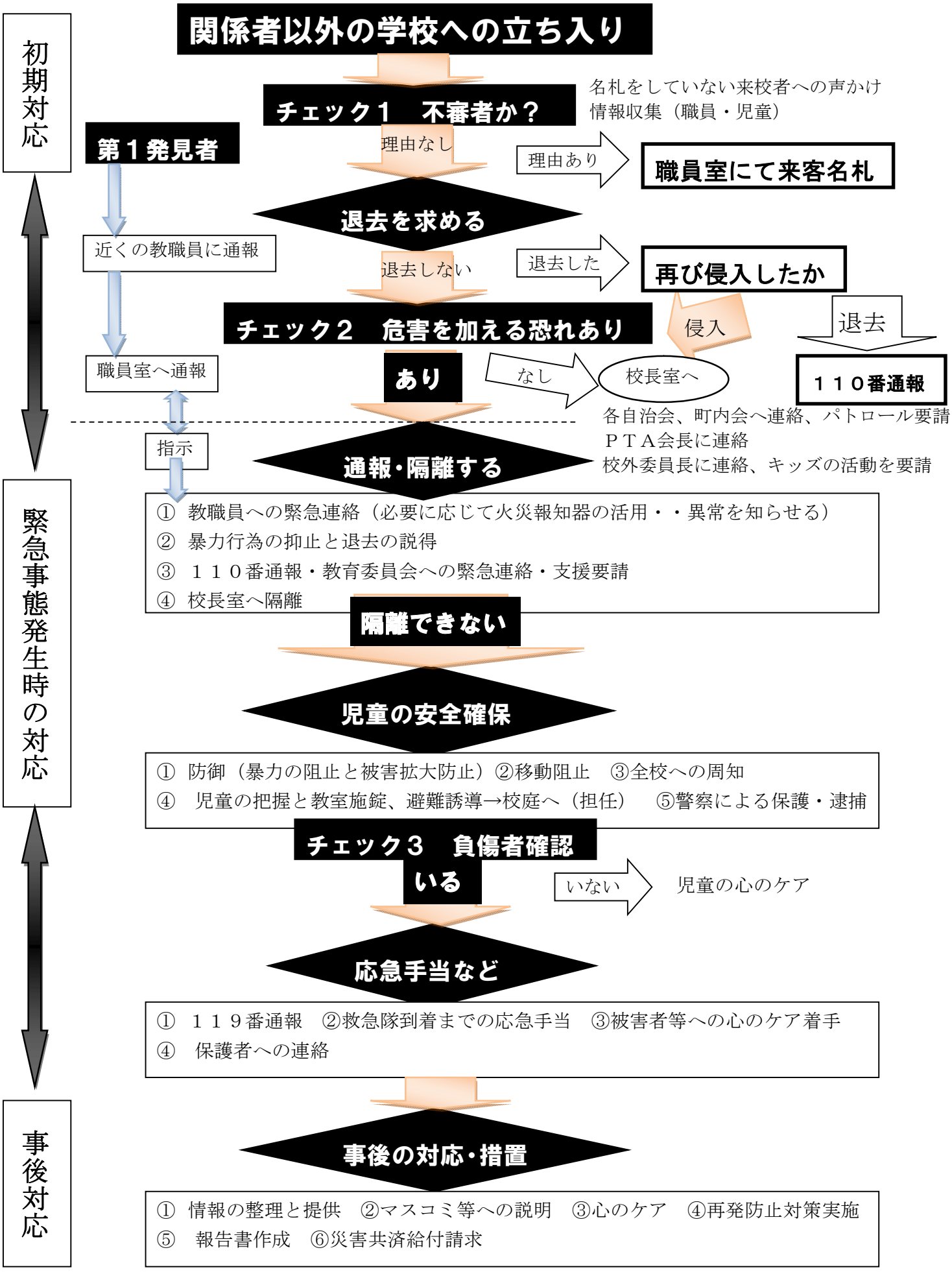
※ 児童の安全のため、引き取り人は児童調査票に記入されている保護者・代理人のみとします。
（追加・変更があった場合、速やかに担任に連絡をしてください。）

※ 自動車や自転車での来校はご遠慮ください。

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	二次災害	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・ 引き渡し	防災拠点機能 ＜学校に留まっている場合＞
大地震発生・大津波警報発表 課業中	校長・副校長	地震発生	◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手	地震が収まったら 1次避難場所での避難が危険な場合は、 統轄本部設置 ◎校長は、校長室（職員室）で指揮 ・緊急放送で全校避難を指示 ◎副校長は、すぐに校庭へ ・拡声器・本部旗・携帯ラジオ・防災計画・電池・懐中電灯携帯	◎人数と安否確認 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・二次避難の準備・計画 ・負傷者の確認と手当 ・児童生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携 ＜1次避難状況を学校教育事務所へ報告＞（1次報告：様式2　FAX等）	校舎倒壊・火災発生等	1次避難を省略した場合は、2次避難場所で1次避難で行うべきことを実施する。 ◎安全な場所への避難指示 ・被害状況確認と最新情報を入手 ※事前に避難場所と経路を決めておく 2次避難場所を記載 六浦西第3公園	◎人数と安否確認 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・負傷者の確認と手当て ・児童生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携	◎学校教育事務所へ連絡 （第1次報告に変更がある場合） ◎区災害対策本部へ連絡 ※デジタル防災無線、FAXの活用 ホームページ・ツイッター・電子メール等を活用した情報発信	◎統轄本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認 保護者へ連絡 市域のいずれかで震度5強以上を観測した場合は 留め置き	◎区災害対策本部との連携 ◎学校教育事務所との連携 ◎防災拠点運営の協力
	教職員		◎的確な指示 ・「頭部をまもれ」 ・「机の下にもぐれ」 ・「机の脚をもて」 ・「安心するような声かけ」	◎校庭へ避難誘導 ・児童調査票・出席簿の携帯 ・配慮を要する子どもへの対応 ・トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認 ・養護教諭は、救急用具、毛布、サラシを携帯。	災害対策本部設置 救出・救急医療班 活動開始 消火・安全点検班 活動開始 ◎施設被害状況の把握 ◎危険箇所の立入禁止措置		◎予め定めた場所へ避難誘導 ◎的確な情報を与え、落ち着くように指示	救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続	◎役割分担に従って行動 ・学校、地域の被害状況把握（安全な場合は通学路等も・・・） ・ライフライン、公共交通機関の状況 ・負傷者への対応 ・危険箇所の確認と立入禁止の表示 ・不安を訴えている子どもへの対応（養護教諭中心に）	◎引き渡しの手順 ・メール配信による連絡 連絡とれず、または、危険で保護者の引取が困難な場合 留め置き ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡	地域防災拠点マニュアルに沿って協力開始
	児童生徒		◎揺れがおさまるのを待つ ・机の下にもぐり、落下物から身を守る	◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護しがら上履きのまま移動 ◎「おかしも」の約束 おさない かけない しゃべらない もどらない	◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ		◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護しがら上履きのまま移動 ・教員の指示に従い、急いで集合場所へ移動	◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ	◎避難場所で静かに待つ ◎指示に従って、帰宅準備を行う	◎下校 ・保護者への引き渡し ・留め置き ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡	
	各学校の特記事項		◎体育館、運動場中央に集まる。 ◎技術員、調理員は、ガス栓をすぐに止める。	◎子どもを直接指導していない、教職員は、職員室に集合し、避難経路の安全を確認する。（トランシーバー、メガホンの携帯）	◎大きな余震があった場合、その都度行う。			◎大きな余震があった場合、その都度行う。	◎避難状況を把握するために、デジカメで記録をする。 ◎床の傾斜を調べるために、小さいボール、壁や柱の傾きを調べるために、たこ糸とおもりを持つとよい。	◎迎えに来た保護者より学区などの情報を得る。	◎収集した情報を学区地図上に書き込んだり、付箋を貼ったりして情報を一元化する。

（２）防犯対策

緊急時対応マニュアル（不審者侵入時）



緊急時対応マニュアル（不審者侵入防止）

（校内）

校舎内における児童の安全確保

学校施設の安全確認と定期的な点検

① 目の届きにくい所の安全確保
　　ホタル池周辺、プール裏
（樹木の剪定により敷地内外からの見通しをよくする。）
② 鍵の管理の徹底
③ 門扉の開閉（昇降口は、常時閉）
④ 文化スポーツクラブとは放課後キッズクラブとの意見交換

不審者に遭遇したことを想定した児童への事前指導

① 侵入者についての情報を近くにいる教職員に素早く伝える。
② 教職員の指示に従うこと
③ 教職員がいなければ、侵入者から遠ざかる方向に逃げること
（避難経路の確認－Ａ棟、Ｃ棟、Ｄ棟、外階段）
④ 仲間にもその方向を伝えること
⑤ 教室に助けを求める場合は、後ろのドアから入るようにする。

来校者への対応

① 正門のみ使用する。常時、上からの錠を落としておく。（その他の門は、常時閉めておく。）
② 来校者に名札の着用をお願いする。（回収を忘れずにする。）
③ 来校者へのあいさつや声かけを積極的にする。
④ 保護者が不審者を発見した場合の連絡を要請しておく。

学校内外の巡視体制

① 休み時間に、できるだけ校舎内外に散らばることで巡視機能を兼ねる。
② 朝、放課後における安全確保を図る。
③ 地域、警察等の学校周辺の巡回をお願いする。
④ 地域や保護者の協力を得る。
⑤ スクールゾーン対策協議会においても防犯対策の検討をお願いする。

（校外）

登下校時の児童の安全確保

不審者に遭遇したことを想定した児童への事前指導

① 不審者に遭遇したら、自分が危険であることを大声を出して、できるだけ早く近くにいる大人に知らせる。
② 近くに誰もいなかったら、不審者から遠ざかる方向に逃げる。
③ 安全な場所まで逃げたらまず警察に通報する。その後、近くにいる大人や学校に連絡をする。
④ できれば不審者の特徴や、自動車・バイクに乗っている場合は、ナンバー等を記憶や記録をしておく。

登下校時の児童の安全確保

① こども１１０番を増やす。　②保護者や地域との交流促進　③関係機関との連携強化

朝比奈小学校　人権教育全体構想図

市民憲章等
○高齢者や子どもをいたわり、共に助け合うよい町づくり

市における人権教育の重点目標
○豊かな人間性の育成○男女共同参画社会の実現 ○人権問題の解決

学校の教育目標
○自他を大切にする生徒（児童） ○思いやりのある生徒（児童） ○すすんで学ぶ生徒（児童）

人権教育の目標
【基本目標】 ○人権に関する知的理解の深化 ○人権感覚の育成 【重点目標】 ○安心して学び合える学習環境の整備 ○ともに学び合う関係づくり ○対話の力の育成 ○自他の人権を尊重する態度の育成

学校経営の目標
○いきいきとした学校生活の実現を図る ○学ぶ意欲を高める ○健全な規範意識を育む ○人権尊重の精神を培う ○地域とともにあゆむ

学級経営の目標
○なかよく助け合える学級 ○違いを認め合える学級 ○ともに学び合える学級

各学年の重点目標		
低学年	中学年	高学年
○誰とでも仲良くする	○相手の立場に立つ	○自他の人権を尊重する

各教科等における目標			
国語	○教材を通して人間としての生き方についての考えを深める。	外国語	○表現力やコミュニケーション能力を育てる。
社会	○人権問題を正しく理解する。	特別の教科道徳	○差別や偏見に気付かせ、人間尊重の精神を育てる。
算数	○論理的思考や合理的な考え方を養う。	情報	○人権に配慮して情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。
理科	○科学的な見方や考え方、自然や生命を愛する心情を養う。	特別活動	○学級活動、児童会活動、クラブ活動学校行事において望ましい集団活動や人間活動について体験を通して学び、自他を尊重し社会に貢献する姿勢を養う。
生活	○身近な人々とのかかわりに関心をもつ。		
音楽	○合奏や合唱を通して豊かな感性を育てる。	総合的な学習	○教科横断的な内容の学習や体験的な活動を通して、課題を解決するための実践的行動力や豊かな人間性を養う。
図画工作	○表現活動や鑑賞活動を通して豊かな感性を育てる。		
家庭科	○よりよい家庭生活の在り方に気付き実践する力を育てる。		
体育	○運動を通して集団のルールを守ることや協調性・連帯性を育てる。		

個別的な人権課題への取組、
○男女が互いに尊重され協力する活動。 ○高齢者や障害のある人との交流。

教科外活動	家庭･地域･関係機関等との連携／校種間の連携

児童指導	教育相談	進路指導	家庭･地域･関係機関等との連携	校種間の連携
○児童理解の深化 ○人権尊重の視点に立った個別指導の充実 ○健全な規範意識の育成	○問題傾向の早期発見 ○個別的なカウンセリングの充実	○キャリア教育の充実 ○自己学習力の育成 ○職場体験活動の実施	○学校における人権 教育の理解と啓発 ○PTA等の活動との連携 ○地域の人権に関する取り組みとの連携	○校種間連絡会議の定期的開催 ○交流学習の充実

教職員研修
○人権問題を学び人権意識･人権感覚の高揚に努める。 ○人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりについての実践を交流する。 ○人権尊重の視点に立った学級経営、生徒指導の在り方についての事例研究を行う 。 ○授業研究を通して、参加体験型学習の取り入れなど指導方法等の工夫改善を行う。

横浜市立朝比奈小学校　いじめ防止基本方針

令和３年３月３１日改定

「いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの子どもにも起こり得る」という前提のもと、学校としての組織的な対応を行う。保護者・地域・他機関との連携を図りつつ、学校全体でいじめ防止及び早期発見に取り組む。児童がいじめを受けていると思われたときは、適切かつ迅速に対処する。

個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

１　いじめ防止に向けた学校の考え方

いじめの定義

法、第２条にあるように、「いじめ」とは「児童生徒に対して当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童等と、一定の人間関係のある他の児童等が行う心理的又は物理的影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの」をいう

いじめ防止等に向けての基本理念

全ての子どもは、かけがえのない存在であり、社会の宝である。子どもが健やかに成長していくことは、いつの時代も社会全体の願いであり、豊かな未来の実現に向けて最も大切なことである。

子どもは、人と人との関わり合いの中で、自己の特性や可能性を認識し、また、他者の長所等を発見する。互いを認め合い、誰もが安心して生活できる場であれば、子どもは温かい人間関係の中で自己実現を目指して伸び伸びと生活できる。しかし、ひとたび子どもの生活の場に、他者を排除するような雰囲気が形成されれば、その場は子どもの居場所としての機能を失い、いじめを発生させる要因ともなりかねない。子どもにとって、いじめはその健やかな成長への阻害要因となるだけでなく、将来に向けた希望を失わせるなど、深刻な影響を与えるものとの認識に立つ必要がある。

２　学校いじめ防止対策委員会

（１）委員会の開催時期と構成員

・定例会　毎月実施

構成員

校長、副校長、児童支援専任、教務主任、低中高ブロック代表、個別支援級担任

・対策チーム（臨時会）　いじめの疑いがあった段階で開催する

構成員　校長、副校長、教務主任、児童支援専任、養護教諭、学年主任、当該担任

必要に応じて心理や福祉等の専門家の参加を求める

・委員会の長は校長とする

校長は、いじめの疑いがあるという段階で、学校いじめ防止対策委員会を開催し、学校としての組織的な対応方針を決定するとともに会議録を作成・保管し、進捗の管理を行う。

（２）委員会の活動内容と運営

「学校いじめ防止対策委員会」は、学校が組織的かつ実効的にいじめの問題に取り組むために以下の活動を行う。

○　未然防止

・いじめの未然防止のためのいじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくり

・学校いじめ防止対策委員会及びその活動の児童及び保護者への周知

○　早期発見・事案対処

・いじめの相談・通報の窓口の設置

・いじめの早期発見、事案対処のため、いじめの疑いに関する情報や児童の問題行動などに係る情報の収集と記録、共有

・いじめ（「疑い」を含む）を察知した場合の情報の迅速な共有、関係児童に対するアンケート調査、聴き取り調査等により事実関係の把握といじめであるか否かの判断

・いじめを受けた児童に対する支援、いじめを行った児童に対する指導の体制、対応方針の決定と保護者との連携

○　取り組みの検証

・学校いじめ防止基本方針に基づく年間計画の作成・実行・検証・修正

・学校いじめ防止基本方針における年間計画に基づいたいじめの防止等に係る校内研修の企画と計画的な実施

・学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して適切に機能しているかについての点検と学校いじめ防止基本方針の見直し

３　いじめの未然防止、早期発見・事案対処

（１）未然防止のために

①　規律を守る

○　規律を守ることができるクラス作りをする。

・必要な学習用具をそろえ、学習に臨む。

・時刻を守り開始時刻には授業の準備と着席ができている。

・当番や係活動等を、責任をもって行う。

・他者を傷つける言動をしない。

○　「社会で許されないことは学校でも許されない」「自分がやられて嫌なことは人にはしない」を指導の大前提とし、家庭と協力してルールを守る児童を育成する。

○　インターネットやＳＮＳ等の使い方に関する情報モラル教育を行う。

② わかる授業の工夫

・授業力向上のための年間を通した校内研修

・複数の教師による指導の導入

③ 自己有用感を育てる

○ 全ての児童が参加、活躍できる授業、行事を考えて、自尊感情・自己有用感を育てる。

・あおぞら活動

・児童朝会

・音楽朝会

・運動会

・群読発表会　他

○ 児童が自ら人とかかわることの喜びや大切さに気づき、互いにかかわり合いながら絆づくりを進め「人の役にたっている」「人から認められている」といった自己有用感を獲得させる。

・係活動や当番活動の充実

・全児童によるあいさつ当番の実施

・児童会活動の活性化

・継続的な道徳指導

・横浜こども会議への取組　他

④ 人権感覚を磨くための教職員研修を行う。

（２）早期発見のために

いじめは見えにくい。見えにくいが故に、組織的・系統的な対応が必要である。以下の原則に従っていじめの早期発見に努めるものとする。

ア 教師の観察による発見

① 教職員は、担任している・いないに関わらず、日常生活において次のことに注意する。

A 机を離す子どもはいないか。

B 特定の子どもをひやかす、からかうなどの言動がないか。

C 仲間はずれにする子どもはいないか。

D 暴力を振るう子どもがいないか。

E ○○キン等の言葉を言う子どもがいないか。

F 物が盗まれたり壊されたりする子どもがいないか。

② ①が認められた場合は、次のように対応する。

○ 発見した教師は、即座に担任教師に連絡をする。

○ 担任は学年主任と相談し、原則その日のうちに児童支援専任、校長に連絡する。

③ 校長の指導のもと、該当する子どもに指導をする。

④ 学年で必要があると判断した場合は、保護者に連絡をする。

⑤ 担任は、その日のうちに、指導内容を児童支援専任、校長に報告する。

⑥ 経過観察をし、３日後、１週間後、１か月後、３か月後に学年で相談する機会を

設け、毎月の学校いじめ防止対策委員会で報告をする。

イ　毎月の児童アンケートの実施による発見

A　生活アンケート

①　６月、１０月、２月に「生活アンケート」を実施する。

②　記述式にすると書いている児童が目立つため、○をつけるだけのアンケートとする。児童支援専任は担任の調書に基づき校長に報告をする。

③　早期対応が必要と判断された場合には、いじめ対策委員会を開く。

B　Ｙ－Ｐアセスメント

①　５月、１１月の年２回「Ｙ－Ｐアセスメント」実施する。

②　児童が自分自身について回答するアンケート

③　アンケート結果をもとに、複数の職員で話し合い、学級や児童に関する多面的で総合的な見方を深め、学級指導と児童支援にいかしていく。

C　横浜市いじめ解決のための生活アンケート

①　１２月の人権週間に合わせて「横浜市いじめ解決のための生活アンケート」を実施する。

②　「いじめられていると思われる児童」「人間関係の問題で悩んでいると思われる児童」など、困っている児童がいないかを全校的視野に立ってきめ細かに把握するために実施する。

③　記名式だと答えにくい児童がいることに配慮し、無記名式で実施する。

④　アンケート結果をもとに、早期対応が必要と判断された場合には、いじめ対策委員会を開く。

D　中休みアンケート

①　４、７、９、１月３週目の１週間、原則３時間目の開始時に、中休みに「誰と」「どこで」「何をして」過ごしたかを調査する。

②　調査はアンケート形式で行う。

③　３週目の金曜日に担任は書式に沿って報告を書き、児童支援専任に報告する。

ウ　保健室の利用状況からの発見

①　週に３回以上怪我の治療に保健室を利用した児童がいる場合、原因が「いじめではないか」という視点で、学年担任と養護教諭で話し合う。

②　頭痛、腹痛などを理由に週に３回以上保健室を利用した児童がいる場合、原因が「いじめではないか」という視点で、学年担任と養護教諭で話し合う。

エ　欠席数からの発見

①　毎月末の出欠統計で連続３日以上欠席の場合（入院等の場合は除く）、原因が「いじめではないか」という視点で、学年担任と養護教諭で話し合う。

②　４月からの欠席合計が10日目、20日目、30日目の際に、原因が「いじめではないか」という視点で、学年担任と養護教諭で話し合う。

オ　教育相談の実施

担任、管理職、児童支援専任教諭、養護教諭、学校カウンセラーなど誰にでも安心して相談できる機会と場の提供をする。

カ　保護者・地域との連携

いじめ防止・いじめは許さないという視点から児童を見守り、保護者や地域と情報共有し、連携していく。

上記の ア～カ それぞれの発見のための手立てを用いても、なお、発見できないかもしれないいじめがあるという認識をもって指導にあたる。

（３）いじめへの対応

ア　学校いじめ防止対策委員会への報告と対策チームの設置

教師の目やアンケート等で発見した場合、あるいは児童や保護者からの訴えがあった場合、児童支援専任と校長に報告し直ちに「対策チーム」を編成する。

・対策チームで、事実把握と指導の方針を検討する。
・対策チームの役割分担（情報収集、記録、保護者対応）を明確にする。
・二次的なトラブルを防止するための対策を徹底する。
①いじめをうけた児童の意向を生かした正確な実態把握といじめた児童への聞き取り及び指導
②いじめをうけた児童からの丁寧な聞き取りと心のケア
③いじめをうけた児童の保護者への説明及び意向の確認
④いじめをうけた児童の保護者の意向を生かしたいじめた児童の保護者への説明及び指導の依頼

イ　問題には、全教職員が一致して当事者として対応し、解決を確認するまで、追求する。校長の指示のもと解決の確認をする。

ウ　いじめ解消の要件として、少なくとも二つの要件が満たされていることを確認する。いじめ解消は、学校いじめ防止対策委員会で判断する。

・いじめの行為が少なくとも３か月（目安）以上止んでいること
・いじめを受けた児童が、心身の苦痛を感じていないこと

エ　委員長は話し合われた内容を全体に報告する。

オ　改善が見られないときは、別途具体的方針をたてる。

カ　「重大事態」の発生時には直ちに教育委員会に報告をする。

キ　必要に応じて警察署等関係機関、専門機関と連携する。

ク　いじめが起きた集団への働きかけをする。自分の問題としてとらえ、いじめ根絶に向けた態度の育成をする。

４　いじめ指導後の追指導

（１）　いじめは１回２回の指導では無くならない可能性があることを認識して指導にあたる。

（２）　１週間後、１か月後、３か月後と継続して、いじめられていた児童と保護者に、最近の様子を聞く。

５　重大事態への対応

【重大事態の定義】

いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項においては、いじめの重大事態の定義は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」（同項第 1 号）、「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」（同項第 2 号）とされている。

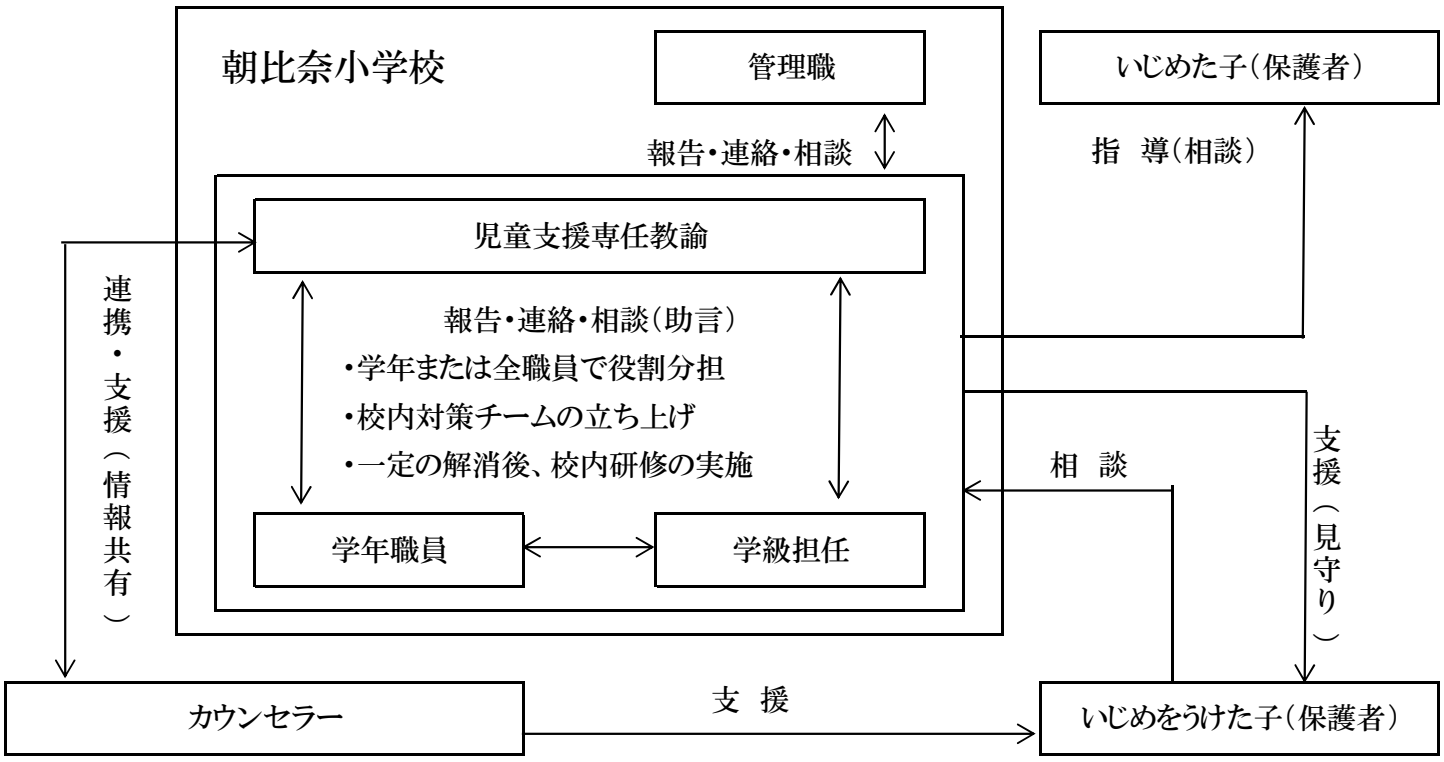
（１）教育委員会に報告する。
（２）いじめ対策委員会を中核とし、再発防止を視点においた調査を行う。
（３）いじめをうけた児童や保護者に調査によって明らかになった事実関係を報告する。

６　その他

必要があると認められる際には、学校基本方針を改定し、改めて公表する。

平成 26 年 3 月 31 日策定
平成 27 年 3 月改定
平成 30 年 2 月改定
令和 3 年 3 月改定

対応フロー図


朝比奈小学校
管理職
いじめた子（保護者）
報告・連絡・相談
指　導（相談）
児童支援専任教諭
連携・支援（情報共有）
報告・連絡・相談（助言）
・学年または全職員で役割分担
・校内対策チームの立ち上げ
・一定の解消後、校内研修の実施
相　談
支援（見守り）
学年職員
学級担任
カウンセラー
支　援
いじめをうけた子（保護者）

いじめ防止に向けた年間計画

	4月	5月	6月	7月	８・９月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
未然防止の取り組み	全教育活動を通した道徳教育の充実（子どもたちが達成感や満足感が得られるような活動） 授業力の向上（ひと・もの・こと　とのかかわりを繰り返すような体験活動の充実） 児童会活動の充実（子ども自身による仲間づくり、学校づくりの取り組み、集会活動） 人権週間の取り組み ＜情報引継ぎ・職員研修＞ 年間計画の作成 横浜こども会議の取組 大道中ブロック・金沢区 大道中ブロック授業研究会 年間計画の見直し 児童理解研修 特別支援教育研修 自閉症教育理解研修 人権研修 児童理解研修 前年度担任からの情報引継ぎ いじめ防止研修 次年度以降への情報引継ぎ準備										
早期発見・早期対応の取り組み	交換授業、チームティーチングやアシスタントティーチャーによる支援の充実 「学校いじめ防止対策委員会」による組織的判断・対応 毎月の児童アンケートの実施 中休みアンケート	YPアセスメント	生活アンケート	中休みアンケート	中休みアンケート	生活アンケート	YPアセスメント	横浜市アンケート	中休みアンケート	生活アンケート	
	情報共有・職員研修 保健室の利用状況や欠席状況の把握（養護教諭との情報交換と共有） 学年ごとの研究会、職員打ち合わせでの情報共有										
対処・処置	学校いじめ防止対策委員会　対策チームの設置 保護者との連携　　学校カウンセラー・関係機関との連携										
保護者・地域との連携		授業参観	オープンスクール	懇談会			オープンスクール	授業参観・懇談会	授業参観	オープンスクール	
	個人面談				個人面談						個人面談
	地域訪問	学校プラン説明会								学校プラン報告会	
	学校運営協議会		学校運営協議会	地区懇談会		学校運営協議会	学校運営協議会			学校運営協議会	

特別の教科道徳全体計画　構想図

横浜市立朝比奈小学校

日本国憲法　　教育基本法
学校教育法　　学校教育法施行規則
学習指導要領　　横浜教育ビジョン
横浜版学習指導要領

横浜版学習指導要領　重点的課題

(ア)　豊かな心の育成
(イ)　健康でたくましい体の育成
(ウ)　国語力及び学習の基盤的能力の育成
(エ)　コミュニケーション能力の育成
(オ)　情報化社会を生き抜く能力の育成
(カ)　社会の変化に対応する能力の育成

学校教育目標

「**あいがいっぱい朝比奈小　～ふれあい、学びあい、助けあい～**」

○　自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。（知）
○　自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。（徳）
○　心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。（体）
○　朝比奈の人や自然とかかわり、お互いを大切にする子を育てます。（公）
○　様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。（開）

大道中学校との連携
あさひな幼稚園との連携
地域との連携・協力

子どもの実態
保護者の願い
教職員の願い
地域の願い

道徳教育の目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

特別の教科道徳の重点目標

自分の考えや行動をみつめなおす習慣を育て思いやりの心をもって生活を向上させようとする子

○　すすんでとりくみ、粘り強くやり通す子
○　思いやりの心をもって行動する子
○　美しいものに感動し生命を大切にする子
○　みんなのためになることを行う子

低･中･高学年別目標

視点	低学年	中学年	高学年
1	自分でやらなければいけない勉強や仕事を最後までやろうとする。	自分でできるめあてを立て、粘り強くやり遂げようとする。	個性を生かし、より高い目標に向かって希望と勇気をもって努力して　いこうとする。
2	わがままをしないで、みんなと仲よくしようとする。	人の気持ちを考えて親切にし、友だちと信頼し合っていこうとする。	・人に対して思いやりや親切な心をもって接し、互いに学び合っている。
3	生きる喜びを知り、身近な命を大切にしようとする。	健康のよさに気づき、命を大切にしようとする。	・自他の生命を尊重し、力強く生き抜いていこうとする。
4	約束やきまりを守り、みんなのために進んで働こうとする。	きまりを守り、働くことに喜びを知って、進んで仕事をしようとする。	きまりを守り､自分の役割を自覚して責任を果たすとともに、みんな　で協力し、みんなのために働いていこうとする。

各教科における道徳教育

各教科の特質を生かしながら道徳教育との関連をふまえ、道徳性を養う。

国語	・物語教材を味わい、豊かな心情を育てたり、言葉を大切にして丁寧な言葉遣いや美しい表現に努める　態度を育てたりする。 ・コミュニケーションの能力を伸ばし、互いに学び合おうとする。
社会	・人々が助け合って生活していることを知り、地域社会に対する愛情と誇りをもっていこうとする態度　を育てる。 ・日本の国土や文化を大切にしたり、外国の人々や文化を大切にしたり、世界の人々と親善を図ったりする態度を育てる。
算数	・筋道を立てて考える能力や工夫して生活しようとする態度を育てる。
理科	・自然を愛する心情や、生命を尊重　しようとする態度を育てる。 ・問題解決的な能力や工夫して生活しようとする態度を育てる。
生活	基本的な生活習慣を身に付け、自立への基礎を養う。
音楽	･音楽を愛好する心情や音楽に対する感性､美しいものを尊重する態度を育てる。 ・合唱や合奏をして、協力や助け合う態度を育てる。
図工	・造形活動をして、美しいものを素直に感じ取ることのできる心情を育てる。 ・制作への取組を通して、工夫して生活していこうとする態度を育てる。
家庭	家庭の一員として、よりよい生活を工夫しようとする態度を育てる。
体育	・健康で安全な生活をしようとする態度を育てる。 ・自ら運動する意欲をもち、目標に向かって、努力する態度を育てる。 ・仲間と仲良く運動し、助け合いや協力､ルールを守る態度を育てる

特別の教科　道徳

道徳教育の要として、全教育活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充､深化､統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め､道徳的実践力を育成する。

児童一人ひとりが、一定の道徳的価値の含まれるねらいとのかかわりにおいて自己を見つめ､道徳的価値を発達段階に即して内面的に自覚し､主体的に道徳的実践力を身につけていく時間。

特別活動における道徳教育

心身の調和のとれた発達と個性の 伸長を図り、集団の一員としての 自覚を深め、協力してよりよい生 活を築こうとする自主的実践的な 態度を育てる。

横浜の時間における道徳教育

・自ら課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を育てる。
・問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えること ができるようにする。

外国語活動における道徳教育

・外国語を通して、異なる文化に親しみをもつとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

その他の教育活動における道徳教育

・体験活動を通して人格の形成をしていくようにする。

学習環境の充実・整備

向学心、認め合い等の人間関係づくり、情操、愛校心等を育てるために、校舎・校庭や教室の整備を行う。

学年･学級の道徳教育の充実

教師と子ども、子ども同士の人間関係を豊かにした温かみのある道徳的な雰囲気づくりをもった学級経営を行う。

家庭･地域との連携

・基本的なしつけや家事等での豊かな体験など家庭における道徳教育の大切さを伝える。地域社会との共通理解を図り、効果的な連携をはたらきかける。

1　年間指導計画一覧表

指導月	週	内容項目	主題名「題名」	ねらい	主な関連活動
4	3	C よりいい学校生活、集団生活の充実	楽しい学校 「ようこそ、一年生」	学校の人々に親しみを持ち、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	入学式。各学校行事
	4	A 節度、節制	時間のきまり 「じゅぎょうが　はじまりますよ」	時間を守ることのよさに気づき，きちんとした生活をしようとする態度を育てる	朝礼、登下校
5	2	B 礼儀	いつも明るく 「あいさつ」	基本的な挨拶の仕方を具体的に理解し、身近な人々といつも明るく接しようとする態度を育てる。	あいさつ運動
	3	B 感謝	お世話になっている人たち 「がっこうにはね」	日頃自分たちの学校生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し，自分ができることをしようとする心情を育てる。	学校探検
	4	A 節度、節制	自立した生活 「きをつけて」	危ない場所や遊びを理解し危険から身を守るとともに，物や金銭を大切にする，節度や節制のある態度を育てる。	交通安全運動
6	1	B 親切、思いやり	親切な心で 「はしの　うえの　おおかみ」	身近な人たちに温かい心で接し，親切にしようとする心情を育てる。	
	2	D 生命の尊さ	命の温かさ 「ハムスターの　あかちゃん」	身近な生き物の誕生や成長の様子を優しく見つめ，命あるものを大切にしようとする態度を育てる。	飼育栽培活動
	3	C 公正、公平、社会主義	みんな同じように 「みんな　いっしょ」	自分の好き嫌いにとらわれず，みんなに同じように接しようとする心情を育てる。	
	4	A 希望と勇気、努力と強い意志	頑張る心 「うかんだ　うかんだ」	自分の目標に向かって，一生懸命努力しようとする実践意欲を高める。	夏休み、水泳会、体育
7	1	D 自然愛護	植物を育てる 「ぼくの　あさがお」	身近な自然に親しみ，優しい心で動植物の世話をしようとする心情を育てる。	飼育栽培活動
	2	D 感動、畏敬の念	すがすがしい心 「にじがでた」	美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる	読書週間
	3	A 正直、誠実	うそやごまかしをしないで　情報モラル 「いたずらがき」		
9	1	B 感謝	感謝の気持ちを伝える 「みんな　だれかに」	日頃，自分たちの生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し，自分ができることをしようとする心情を育てる。	食育
	2	C 勤労、公共の精神	自分の仕事 「ぼくの　しごと」	家族の役に立つ喜びを感じ，家族やみんなのために進んで働こうとする態度を育てる。	当番活動、生活科
	3	D 生命の尊さ	生きていることのすばらしさ 「どきどき　どっきんぐ」	生きていることを喜び，生命を大切にしようとする心情を育てる。	生活科
	4	C 国際理解、国際親善	ほかの国の友達 「ぼくと　シャオミン」	他国の人々に親しみを持ち，自分たちと異なる文化のよさに気づいて積極的に関わっていこうとする心情を育てる。	

10	1	A 善悪の判断、自律、自由と責任	勇気を出して 「ダメ」	よいと思ったことは，恐れないで，勇気を持って行おうとする意欲や態度を育てる。	
	2	B 友情、信頼	友達っていいな 「こころはっぱ」	友達と進んで関わり，仲よくしようとする心情を育てる。	
	3	A 節度、節制	わがままなおこない 「かぼちゃの　つる」	周囲の人と自分のことを考え，わがままをしないで生活しようとする態度を育てる。	
	4	A 希望と勇気、努力と強い意志	最後まで粘り強く 「こぐまの　らっぱ」	自分がやらなくてはならないことは，最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。	学習発表会、音楽会
11	1	C 規律の尊重	決まりの大切さ 「よりみち」	学校や家庭での決まりや規則の大切さを知り，決まりや規則を守ろうとする心情を育てる。	交通安全運動
	2	C 家族愛、家庭生活の充実	家族の人の願い 「かやねずみの　おかあさん」	家族の優しい心遣いや努力に感謝し，敬愛の念を持とうとする心情を育てる。	
	3	A 正直、誠実	いつも正直に 「どんぐり」	うそをついたりごまかしたりしないで，明るい心で生活しようとする態度を育てる。	
	4	C 私たちの国や町	私たちの国や町 「みつけて　みよう」	我が国や自分の暮らす町に親しみ，愛着をもって生活しようとする心情を育てる。	生活科
12	1	B 親切、思いやり	優しい気持ち 「はなばあちゃんが　わらった」	友達やお年寄りなどに優しい気持ちを持ち，相手を大切に思う心情を育てる。	
	2	B 礼儀	挨拶の心 「おうだんほどうで」	気持ちをこめた挨拶の大切さを知り，自分から進んで人に明るく接しようとする心情を育てる	あいさつ運動
1	1	C 規則の尊重	決まりを守って使う 「みんなのボール」	みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる	係活動
	2	A 個性の伸長	自分のよさ 「ええところ」	自分の特徴に気づき，長所を大切にしようとする心情を育てる。	
	3	A 善悪の判断、自律、自由と責任	よいこと、悪いことを区別して 「それって、おかしいよ」	よいことと悪いことを区別し，よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。	
2	1	B 友情、信頼	友達を思う心 「二わの　ことり」	友達と仲よくし，思いやりを持って助け合っていこうとする心情を育てる。	
	2	B 親切、思いやり	思いやりの心 「ぼくの　はな　さいたけど」	身近な人たちに温かい心で接し，相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。	
	3	D 生命の尊さ	たった一つの命 「いのちが　あってよかった」	かけがえのない生命を大切にしようとする態度を育てる	安全指導
	4	A 正直、誠実	正直で素直な心 「あのね」	うそをついたりごまかしたりしないで，素直にのびのびと生活しようとする心情を育てる。	
3	1	D 自然愛護	生き物に優しい気持ちで 「ぼくの　しろくま」	身近な自然に親しみ，動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	生活科
	2	C よりよい学校生活、集団生活の充実	楽しい学級 「もう　すぐ　二年生」	友達といっしょに自分たちの学級を大切にする心情を育てる	入学式

１　２学年　年間指導計画一覧表

指導月	週	内容項目	主題名「教材名」	ねらい	主な関連活動
4	2	A－（3） 節度，節制	自分できちんと 「じぶんで　オッケー」	自分でできることは自分でやり，危険から身を守るとともに，物や金銭を大切にし，気持ちのよい生活をしようとする態度を育てる。	１年生を迎える会・生活科
	3	B－（6） 親切，思いやり	温かい優しさ 「くまくんの　たからもの」	幼い人や友達に温かい心で接し，思いやりの心を持って親切にしようとする心情を育てる。	学級活動
	4	C－（14） よりよい学校生活，集団生活の充実	学校の自慢したいところ 「ひかり小学校の　じまんはね」	学校の人々を敬愛し，学級や学校の生活を楽しくしようとする心情を育てる。	生活科・学校探検
5	2	C－（11） 公正，公平，社会正義	公平な態度で 「大すきな　フルーツポンチ」	自分の好き嫌いにとらわれないで，人に接する態度を育てる。	学級活動
	3	B－（8） 礼儀	自分も周りも明るく 「いそいで　いても」	気もちのよい挨拶，言葉遣いなどを心がけ，人と明るく接しようとする態度を育てる。	学級活動
	4	A－（4） 個性の伸長	みんなのよいところ 「ありがとう　りょうたさん」	自分の特徴に気づいて，よいところを大切にしようとする心情を育てる。	係活動
6	1	A－（1） 善悪の判断，自律，自由と責任	正しい行い 「わすれられない　えがお」	正しいと思ったことは，進んで行おうとする心情を育てる。	生活科
	2	D－（18） 自然愛護	優しい心を持って育てる 「げんきに　そだて，ミニトマト」	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心を持って接しようとする態度を育てる。	生活科・栽培活動
	3	C－（13） 家族愛，家庭生活の充実	家族の一員として 「だって　おにいちゃんだもん」	家族に対して感謝の念や親愛の念を持ち，家族の一員として役に立つことを進んで実践しようとする心情を育てる。	生活科
	4	B－（9） 友情，信頼	友達のために 「ともだちやもんな，ぼくら」	身近にいる友達と仲よく過ごし，助け合っていこうとする心情を育てる。	国語・家庭との連携
7	1	D－（17） 生命の尊さ	かけがえのない命 「たんじょう日」	多くの人に支えられ、守られている自分の命を大切にしようとする心情を育てる。	生活・係活動
	2	A－（5） 希望と勇気，努力と強い意志	やりぬく心 「さかあがり　できたよ」	自分で決めたことは，最後までやり遂げようとする態度を育てる。	家庭との連携・夏休み
9	1	D－（18） 自然愛護	自然や生き物を愛する心 「まいごになった　赤ちゃんくじら」	自然や生き物を愛し、優しい心で接しようとする態度を育てる。	生活・知見・夏休み
	2	A－（3） 節度，節制	健康を守る 「かむかむ　メニュー」	健康に気をつけることの大切さを知り，よりよい生活をしようとする心情を育てる。	学級活動・給食指導
	3	C－（16） 国際理解，国際親善	世界のいろいろな国の人たちと 「ひろいせかいの　たくさんの人たちと」	他の国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。	学級活動・外国語活動
	4	B－（9） 友情・信頼	助け合う友達 「森の　ともだち」	友達と互いに仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。	学級活動

10	1	C－（10） 規則の尊重	みんなのものを大切に 「きいろい　ベンチ」	みんなが使うものを大切にし、約束や決まりを守ろうとする態度を育てる。	学級活動・清掃指導
	2	A－（1） 善悪の判断，自律，自由と責任	勇気を持って 「おれた　ものさし」	正しい行動を愛し、それを行おうとする判断力を育てる。	学級活動
	3	B－（6） 親切・思いやり	人に親切にする 「かっぱ　わくわく」	困っている相手に，進んで優しく親切にしようとする心情と態度を育てる。	学級活動
11	1	B－（8） 礼儀	気持ちのよい挨拶 「『あいさつ』っていいな」	誰に対しても進んで，気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てる。	あいさつ運動
	2	C－（15） 伝統と文化の尊重，国や強度を愛する態度	私たちの町，私たちの国 「ながい　ながい　つうがくろ」	郷土や我が国の伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。	生活科・まちたんけん
	3	D－（17） 生命の尊さ	生きる喜び 「ぼく」	生きることを喜び，生命を大切にしようとする心情を育てる。	生活科・飼育活動
	4	A－（2） 正直，誠実	うそと正直 「さるへいと　立てふだ」	うそをついたり，ごまかしたりしないで，明るい心で生活をしようとする心情を育てる。	
12	1	B－（7） 礼儀	「ありがとう」の気もち 「じぶんが　しんごうきに」	お世話になっている人の苦労を理解し，感謝する心情を育てる。	交通安全
	2	D－（19） 感動，畏敬の念	清らかな心 「七つの　ほし」	美しいものや気高いものに目を向け，清らかな心を持とうとする心情を育てる。	
	3	C－（14） よりよい学校生活，集団生活の充実	クラスの仕事 「三くみ　大すき」	クラスでの生活を自分たちの力で楽しくしようとする態度を育てる。	係活動
1	2	D－（17） 生命の尊さ	生きることのすばらしさ 「ゆきひょうの　ライナ」	生きることのすばらしさを知り，生命あるものを大切にしようとする態度を育てる。	健康・安全指導
	3	B－（6） 親切，思いやり	友達への親切 「学きゅうえんの　さつまいも」	身近な人々に温かい心で接し，進んで親切にしようとする心情と態度を育てる。	生活科・栽培活動
	4	A－（5） 希望と勇気，努力と強い意志	粘り強く頑張る 「ぼくは　『のび太』でした～藤子・F・不二雄」	何事にも粘り強く努力して，一生懸命にやりぬこうとする実践意欲を高める。	
2	1	A－（2） 正直，誠実	正直な行い 「金の　おの」	うそをついたり，ごまかしをしたりしないで，明るい心で生活しようとする心情を育てる。	
	2	C－（12） 勤労，公共の精神	役に立てる喜び 「いま，ぼくにできる　こと」	働くことのよさを知り，みんなのために役立とうとする態度を育てる。	係活動
	3	C－（10） 規則の尊重	きまりを守る 「かくした　ボール」	みんなが使うものや場所にあるきまりの大切さを知り、これを守ろうとする態度を育てる。	
	4	D－（19） 感動，畏敬の念	美しさに感動する心 「ガラスの中の　お月さま」	美しいものや清らかなものに感動し，それを大切にしようとする心情を育てる。	
3	1	A－（3） 節度，節制	自分のわがままを見直す 「わがままな　大男」	自分を見つめ，わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。	
	2	C－（13） 家族愛，家庭生活の充実	温かい家族 「まる子の　かぞくへの　しつもん」	家族を敬愛し，進んで家族のために役立とうとする心情を育てる。	生活科

１　３学年　年間指導計画一覧表

指導月	週	内容項目	主題名「教材名」	ねらい	主な関連活動
4	2	B 親切、思いやり	優しい人っていいな 「やさしい人大さくせん」	困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする態度を育てる。	１年生を迎える会
	3	B 礼儀	真心をこめて 「あいさつをすると」	挨拶を中心とした礼儀の大切さに気付き、真心をもって接しようとする態度を育てる。	あいさつ運動
	4	D 生命の尊さ	つながる命 「ヌチヌグスージ」 （いのちのまつり）	生命は過去から繋がっていることを知り、声明を大切にする心情を育てる。	授業参観
5	2	D 自然愛護	動植物に寄せる思い 「ツバメの赤ちゃん」	自然の大切さに気付き、進んで動植物を大切にしていこうとする態度を育てる。	理科
	3	A 節度、節制	計画的に行動する 「ゆうすけの朝」	規則正しい生活をしようとする心情を育てる。	運動会
	4	C よりよい学校生活、集団生活の充実	みんなのクラス 「しょうたの手紙」	みんなで協力し合って、明るく楽しい学級をつくろうとする態度を育てる。	学級活動
6	1	B 友情、信頼	励まし合う友達 「いいち、にいっ、いいち、にいちっ」	友達と互いに理解し、助け合っていこうとする態度を育てる。	
	2	C 規則の尊重	決まりは何のために 「きまりじゃないか」	約束や決まりを守ることの意義を理解し、決まりを守ろうとする心情を育てる。	プール開き
	3	C 公正、公平、社会正義	誰に対しても公平に 「みさきさんのえがお」	わけ隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする態度を育てる。	交流オリエンテーリング 学校保健委員会
	4	A 善悪の判断、自立、自由と責任	正しいことは自信を持って 「二つの声」	正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする心情育てる。	
7	1	C 勤労、公共の精神	自ら進んで働くことの大切さ 「ごみステーション」	働くことの大切さを知り、自ら進んでみんなのために働く態度を育てる。	当番活動
	2	A 正義、誠実	正直に伝えるよさ 「一本のアイス」	過ちを犯したときには素直に反省し、正直に伝えようとする気持ちを育てる。	個人面談 夏休み
9	1	C 国際理解、国際親善	ほかの国のことを知ろう 「三つの国」	他国の人々や文化に親しみ、関心を持とうとする態度を育てる。	国際理解教育

	2	B 親切、思いやり	温かい心を大切に 「一さつのおくりもの」	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。	学年水泳大会
	3	D 自然愛護	自然を大切に 「ホタルの引っこし」	自然の大切さに気付き、進んで動植物を大切にしようとする態度を育てる。	地域環境学習、理解
	4	A 正直、誠実	真心からの行い 「ぬれた本～リンカーン」	正直に真心を持って行動し、明るく生活しようとする心情を育てる。	図書館利用
10	1	B 友情、信頼	本当の友達 「なかよしだから」	友だちのことをよく考えて、友達を大切にしようとする態度を育てる。	
	2	A 節度、節制	自分の生活を見直そう 「こうすけならだいじょうぶ」	自分でできることは、自分でやろうとする態度を育てる。	授業参観 前期終了
	3	C 家族愛、家庭生活の充実	明るい家庭 「耳の聞こえないお母さんへ」	父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする心情を育てる。	区音楽会 創立記念式
		A 希望と勇気	目標に向かって 「一りん車にのれた」	自分でやろうと決めたことは、辛抱強くやり抜こうとする心情を育てる。	
11	1	C 生命の尊さ	いのちを大切に 「いただいたいのち」	生命の尊さを知り、命あるものを大切にする気持ちを育てる。	体育
	2	C 勤労、公共の精神	進んでみんなのために働こう！ 「教えて！なんでもそうだん室」	働くことについて様々な考えを出し合い、話合いを通して働くことの大切さを理解し、みんなのために進んで働こうとする態度を育てる。	公開授業週間
	3	A 善悪の判断 自立、自由と責任	自信を持って正しいことを 「SL 公園で」	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。	
	4	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	日本の文化 「ぼくのおべんとう」	我が国の伝統や文化の良さに気付き、国を愛し、大切にしようとする心情を育てる。	
12	1	C 規則の尊重	みんなの使う物 「黄色いかさ」	みんなが使う物を大切にし、人に迷惑を掛けない態度を育てる。	学習発表会
	2	D 感動、畏敬の念	仲間を思う気高い心 「百羽のツル」	仲間を思う心の気高さ、美しさに感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。	個人面談 冬休み
1	2	B 親切、思いやり	温かな心 「六べえじいとちよ」	相手のことを考え、進んで親切にしようとする心情を育てる。	書き初め大会
	3	A 個性の伸長	自分らしさ 「じゃがいものうた」	自分の良さを知り、伸ばしていこうとする心情を育てる。	クラブ見学
	4	C 家族愛、家庭生活の充実	温かい家族 「ぼくのおばあちゃん」	家族を敬い、家族みんなで協力して合って楽しい家庭を作ろうとする態度を育てる。	国語

2	1	B 相互理解、寛容	相手を理解する心 「たまちゃん大すき」	お互いに理解し合って、自分と異なる意見も大切にしようとする態度を育てる。	
	2	D 感動、畏敬の念	美しく優しい心 「しあわせな王子」	美しく優しい心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。	学習状況調査 授業参観
	3	D 生命の尊さ	大切な命を生かして 「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」	生きている今を大切にして、前向きに一生懸命いきようとする心情を育てる。	社会科
	4	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	わたしたちのふるさと 「ふるさといいとこさがし」	地域のよさを発見し、国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。	社会 総合的な学習の時間
3	1	A 希望と勇気 努力と強い意志	目標に向かって 「あんぱんの日」～木村安兵衛・英三郎	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い心を持ち、粘り強くやりとげようとする心情を育てる。	思い出給食
	2	B 感謝	感謝の気持ちを持って 「大通りのサクラなみ木」	日頃の自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する心情を育てる。	卒業生を送る会 卒業式

月		内容項目	主題名「教材名」	ねらい	関連行事・教
4月	2	A－(02)正直、誠実	自分に正直に「われた花びん」	本当のことを言おうとしたぼくの気持ちの変化を通して，うそをついたり，ごまかしをしたりしないで正直に行動し，明るい心で生活しようとする心情を育てる。	１年生を迎える会
	3	B-(07)親切、思いやり	親切な心「ぼくのちかい」	自分から声をかけるまでの「ぼく」の思いを捉えることを通して，相手の気持ちを思いやって進んで親切にしようとする心情を育てる。	学級活動
	4	C-(12)規則の尊重	大切に使う「黄色いボール」	人任せにして片付けずにいて，週目標が気になり気分がすっきりしない「ぼく」の気持ちを考えることを通して，約束やきまりを守り，みんなで使う物を大切にしようとする態度を養う。	学級活動
5月	2	A-(03)節度、節制	安全に気を付けて「アスレチック公園」	自転車で行くところではなかったと反省した「ぼく」の気持ちの変化を考えることを通して，安全に気を付け，よく考えて行動し，節度ある生活をしようとする心情を育てる。	学級活動
	3	C-(16)よりよい学校生活、集団生活の充実	学校のよさ「学校じまん集会」	ビンゴゲームの中で感じた「ぼく」の気持ちを考えることを通して，協力し合ってよりよい学校をつくろうとする心情を育てる。	学級活動・児童会活動
	4	D-(21)感動、畏敬の念	言葉にならない美しさ「十才のプレゼント」	言葉に言い表せないできごとに出会ったあやの気持ちの変化を通して，美しいものや気高いものに感動する心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
6月	1	A-(01)善悪の判断、自律、自由と責任	せきにんを果たす「ふりだした雨」	学校に，一人でも戻ろうと考えたきよし君の行動を通して，正しいと判断したことは，自信をもって行おうとする態度を養う。	学級活動・東戸塚の時間
	2	B-(10)友情、信頼	友じょうを深める「ともだちやもんな、ぼくら」	ヒデトシを助けるために戻った「ぼく」とマナブの気持ちを考えることを通して，友達と互いに理解し，信頼し，友情を深めていこうとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	3	C-(18)国際理解、国際親善	他国のしゅうかんを知る「歯がぬけたら」	国によって違う習慣に気付いた「わたし」の気持ちについて考えることを通して，他国の文化に関心や理解をもち，親しもうとする心情を育てる。	国際理解教室
	4	D-(20)自然愛護	自然のかがやき「森の水はうたうよ」	森に住む生き物たちと，森に降る雨との関係を通して，自然のすばらしさや不思議さを感じ取り，自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	宿泊学習に向けて +F11F11:F25
7月	1	A-(03)節度、節制	物を大切に「この水着で」	今まで着ていた水着のよさに気付く友子の気持ちの変化を考えることを通して，物の価値を知り，よく考えて行動し節度のある生活をする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	2	B-(07)親切、思いやり	だれに対しても「ええことするのは、ええもんや！」	ボランティアとはどのようなことか，三人の行動を考えることを通して，相手のことを考えて，進んで親切にする態度を養う。	交流活動
9月	1	A-(05)希望と勇気、努力と強い意志	目標に向かって「できるようになりたい」	練習を重ねてもう一度「台上前転」ができたよしえの気持ちを考えることを通して，自分で決めた目標に向かって努力し，粘り強くやりぬこうとする心情を育てる。	児童会活動
	2	B-(10)友情、信頼	本当の友達「絵葉書と切手」	友達の過ちを伝えようか迷うひろ子の気持ちを通して，互いに信頼し，助け合い，友情を深めていこうとする態度を養う。	学級活動
	3	C-(15)家族愛、家庭生活の充実	家族のために「ベッドの上の花ふぶき」	お花見に行けなかったおばあちゃんが楽しめるように，花ふぶきを散らすふみ子の気持ちを考えることを通して，父母，祖父母を敬愛し，家族の一員として，進んで役立とうとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	4	D-(21)感動、畏敬の念	心の美しさ「ひさの星」	ひさの献身的な行動について考えることを通して，心の美しさを感じ取ろうとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
10月	1	A-(03)節度、節制	自分でよく考えて「少しだけなら」	誘惑に負けそうになったあつしの気持ちを考えることを通して，安全に気を付けて，よく考えて行動し，節度ある生活をしようとする態度を養う。	学級活動・東戸塚の時間

月		内容項目	主題名「教材名」	ねらい	関連行事・教
	2	B-(09)礼儀	さりげない心づかい「生きた礼ぎ」	相手を気遣う女王様の行為を通して，時と場に応じた礼儀について考え，相手を思う心にふさわしい形で表現しようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	3	C-(12)規則の尊重	きまりを守る「ごみ出しの手伝いをして」	近所のおばあさんの行為から自分が出したごみについて振り返り，変化したけんたの気持ちを考えることを通して，社会のきまりを守り，進んで規律正しい生活をしようとする態度を養う。	学級活動・東戸塚の時間
	4	D-(19)生命の尊さ	かぎりある命「電池が切れるまで」	命ある限り精一杯生きようとする由貴奈ちゃんの姿を通して，生命を大切にしようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
11月	1	A-(02)正直、誠実	真っすぐ向き合う「ナシの実」	自分自身に正直であることを選ぶまでのアンリの心の葛藤を考えることを通して，正直にすることは，自分自身を明るくすることに気付き，正直に明るく生きようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	2	B-(10)友情、信頼	大切な友達「ないた赤おに」	心が通じ合う赤おにと青おにの姿を通して，互いに信頼し，友達と理解し合おうとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	3	C-(13)公正、公平、社会正義	差別をしない「ひとりぼっちの登君」	正しいと思ったことに対して周囲が受け入れずに迷ってしまう「ぼく」の気持ちを考えることを通して，誰に対しても差別をしないで，公平に接する態度を養う。	学級活動・東戸塚の時間
	4	D-(19)生命の尊さ	命の時間「いのちのおはなし」	日野原先生の命についての授業を受ける子供たちの気持ちの変化を通して，生命の尊さを知り，生命を大切にしようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
12月	1	A-(05)希望と勇気、努力と強い意志	希望をもって「ゆめに向かって、ジャンプ！」	パラリンピック選手・佐藤真海さんの生き方を知ることを通して，自分でやろうと決めた目標に向かって，強い意志をもち，粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	2	B-(11)相互理解、寛容	みとめ合う心「話し合いでのできごと」	ひろしとなつきの話し合いの様子を考えることを通して，自分の考えを相手に伝えるだけでなく，相手の考えも聞いて理解し，相手の気持ちも考えようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	3	C-(17)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	ふるさとを思う「荘川桜」	村人の桜に対する思いを感じ取ることを通して，生まれ育った郷土のよさを知り，郷土を愛する心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
1月	2	A-(04)個性の伸長	長所をのばす「本当に好きなことは」	漫画家ちばてつやさんの子供の頃の夢を知ることを通して，自分の得意なことや好きなことに気付き，自分らしさを発揮しつつ，よいところを伸ばし，生活しようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	3	B-(07)親切、思いやり	相手の立場を考えて「心を結ぶ一本のロープ」	視覚障害のランナーと，五人の伴走者のそれぞれの思いを考えることを通して，相手の立場に立って思いやりをもって接しようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	4	C-(14)勤労、公共の精神	みんなのために「姉妹で運ぶ物資と笑顔」	松田姉妹の「人のために何かしたい」と思う根底にあるものは何かを考えることを通して，喜びをもって進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。	児童会活動
2月	1	A-(01)善悪の判断、自律、自由と責任	自分の考えをはっきりと「近道」	たかしに注意した「ぼく」の行動を考えることを通して，よいことと悪いことを自分で判断し，行動しようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	2	C-(12)規則の尊重	みんなが気持ちよく「雨のバスていりゅう所で」	バス停留所でのよし子の行動に対して，いつもとは全然ちがう対応をするお母さんを見て，自分のしたことを振り返るよし子の気持ちを考えることを通して，世の中の約束事やきまりの大切さを知り，進んで守ろうとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	3	D-(19)生命の尊さ	受けつがれる命「いのちのまつり」	生命は，遠い祖先から受けついだものであるということに気付き，自分の命，人の命を大切にする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間
	4	B-(08)感謝	かんしゃの気持ちを「だがし屋のおばあちゃん」	感謝と励ましの会を開く子供たちの気持ちや，涙を流すおばあちゃんの心情を考えることを通して，自分たちを支えてくれている人々や高齢者に，尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	学級活動・東戸塚の時間

4年生年間指導計画

月		内容項目	主題名「教材名」	ねらい	関連行事・教
3月	1	C-(15)家族愛、家庭生活の充実	家族のありがたさ「みそしると自転車」	当たり前に過ごしていた日常に，祖父母が来てさらに生活が充実したことで，家族・祖父母のありがたさに気付いた「わたし」の気持ちを考えることを通して，家族を敬い，家族の一員として家庭を明るくしていこうとする態度を養う。	学級活動・東戸塚の時間

５学年　年間指導計画一覧

指導月・週		内容項目	主題名	ねらい	主な関連活動
4	2	B　感謝	1.「ありがとう上手」に	自分たちの生活が，多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき，感謝する心情を育てる。	勤労感謝の日あいさつ週間
	3	A　希望と勇気　努力と強い意志	2. いつも全力で～首位打者イチロー	より高い目標を立て，努力して物事をやりぬこうとする心情を育てる。	特別活動　体育
	4	A　正直誠実	3．見えた答案	正直な心で，明るく誠実に行動しようとする態度を育てる。	
5	2	A　善意の判断、自立、自由と責任	4、遠足の子どもたち	自由を大切にし，自律的で責任のある行動をしようとする態度を育てる。	遠足、社会科見学、移動教室など
	3	C　規則の尊重	5、駅前広場はだれのもの	社会の一員としての自覚を持って，進んできまりや約束を守って行動しようとする態度を育てる。	地域子ども会
	4	C　勤労・公共の精神	6、お父さんは救命救急士	働くことの大切さを知り，公共のために役立とうとする心情を育てる。	社会科、体育（保健）
6	1	D　感動，畏敬の念)	7、ひさの星	美しいものや気高いものに感動する心情を育てる	
	2	C　公正，公平，社会正義)	8. 転校生がやってきた	誰に対しても偏見を持つことなく，公正・公平にし，正義の実現に努めようとする態度を育てる。	
	3	B　親切，思いやり	9. ノンステップバスでのできごと	相手の立場や気持ちを考えて，誰に対しても親切にしようとする心情を育てる。	総合的な学習の時間
	4	D　自然愛護	10. 一ふみ十年	自然の偉大さを知り，自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	理科
7	1	D　生命の尊さ	11 おばあちゃんが残したもの	つながりの中にある生命を感じ，かけがえのない生命を尊重し，大切にしようとする心情を育てる。	
	2	C　よりよい学校生活，集団生活の充実	12. かれてしまったヒマワリ	集団の中での自分の役割を自覚し，主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。	児童会活動,理科

9	1	A　真理の探究	13. ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ	真理を大切にし，物事を探究しようとする心情を育てる	自由研究、理科
	2	C　規則の尊重	14. これって「けんり」？ これって「ぎむ」？	権利と義務の関係について理解し，集団生活を送るうえで自他の権利を尊重し合い，自分の義務を進んで果たそうとする意欲を育てる	学級会活動,児童会活動
	3	D　よりよく生きる喜び	15. そういうものにわたしはなりたい	人間の強さや気高さに触れ，人間としてよりよく生きていこうとする心情を育てる。	国語
	4	C　家族愛，家庭生活の充実	16. 卵焼き	家族の幸せを考えて，進んで役立とうとする心情を育てる。	保護者会、家庭科
10	1	C　国際理解，国際親	17. 「折り紙大使」	日本人としての自覚を持って，国際親善に努めようとする心情を育てる	総合的な学習
	2	B　礼儀	18. オーストラリアで学んだこと	相手の立場や気持ちを考えて，礼儀正しく心の込もった接し方をしようとする態度を育てる	あいさつ運動 一声運動
	3	B　相互理解，寛容	19. 名医，順庵	自分と異なる意見や立場を尊重し，広い心で人と接しようとする態度を育てる。	
		A　希望と勇気，努力と強い意	20. ベートーベン	困難があってもくじけず，希望を持って，自分の夢や目標を実現しようとする意欲を育てる	音楽
11	1	C　勤労，公共の精神	21. わたしのボランティア体験	社会に奉仕する喜びを知り，その意義を理解し，公共のために役立とうとする態度を育てる。	総合的な学習の時間
	2	A　節度，節制	22. 流行おくれ	自分の生活を見直し，ものを大切にすることのよさに気づいて，節度のある生活をしようとする心情を育てる	社会科見学、移動教室等
	3	B　友情，信頼	23. 心のレシーブ	友達と互いに理解し合い，よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を	学級活動、体育
	4	D　生命の尊さ	24. コースチャぼうやを救え	生命がかけがえのないものであることを理解し，生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。	交通安全

12	1	C　伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	25. 正月料理	日本の伝統と文化のよさに気づき，日本と日本人の心を愛する心情を育てる	社会科、正月料理
	2	B　親切，思いやり	26. くずれ落ちただんボール箱	思いやりの心を持ち，相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。	ボランティア活動
1	2	A　個性の伸長	27. 感動したこと，それがぼくの作品	自分の特徴を知り，短所を改め長所を伸ばそうとする態度を育てる。	図画工作
	3	C　伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度)	28. 親から子へ，そして孫へと	郷土に伝わる伝統と文化を愛し，受け継いでいこうとする態度を育てる。	地域の祭り,国語，社会科,音楽
	4	A　節度，節制	29. 大きなじこをよぶ「ヒヤリ・ハット」	自分の生活を見直し，危険から身を守り，自分だけでなく周囲の人々の安全にも気をつけようとする判断力を育てる	体育（保健）
2	1	D　生命の尊さ	30. クマのあたりまえ	生きていることのすばらしさや喜びを感じ，かけがえのない生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。	体育（保健）
	2	C　国際理解，国際親善	31. 同じ空の下で	他国の人々や異文化について理解し，国際親善に努めようとする心情を育てる。	ユニセフ募金，外国語活動
	3	B　友情，信頼	32. 友の命	友達と互いに信頼し合い，高め合いながらよりよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる	
	4	D　感動，畏敬の念	33. 一本松は語った	人間の力を超えたものに対する畏敬の念を持とうとする心情を育てる	理科、社会科、安全指導
3	1	D　自然愛護	34. イルカの海を守ろう	自然のすばらしさを知り，自然環境を大切にしようとする態度を育てる	海の日 理科
	2	C　よりよい学校生活，集団生活の充実	35. バトンをつなげ	学校に愛情を持ち，学校の一員としての自覚を持って，みんなで協力し合ってよりよい学校をつくっていこうとする心情を育てる。	６年生を送る会

1　6学年　年間指導計画一覧表

指導月	週	内容項目	主題名「教材名」	ねらい	主な関連活動
4	2	B 礼儀	礼儀は心のあらわれ 「心を形に」	礼儀は心の様子をあらわすことを知り，心の込もった礼儀を大切にして，時と場に応じ礼儀にかなった生活をしようとする心情を育てる。	あいさつ運動
	3	A 個性の伸長	自分らしさを伸ばす 「あこがれのパティシエ」	自分の個性や長所を知り，それを積極的に伸ばして将来に生かしていこうとする意欲を育てる。	総合的な学習の時間
	4	C 勤労，公共の精神	奉仕する心 「うちら「ネコの手」ボランティア」	働くことや社会に奉仕することの意義を知り，進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。	ユニセフ募金・ボランティア活動・社会科
5	2	C 家族愛，家庭生活の充実	家族の一員として 「おばあちゃんのさがしもの」	家族に敬意と思いやりを持って接しながら，家族の幸せを求めて進んで役に立とうとする心情を育てる。	家庭科
	3	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	郷土を愛する 「白神山地」	郷土の文化や伝統を育てた先人の努力を知り，郷土のよさを大切にして，郷土を愛する心情を育てる。	理科、社会科
	4	D 自然愛護	地球を救う 「愛華さんからのメッセージ」	自然環境を大切にし，持続可能な社会の実現に努めようとする態度を育てる。	リサイクル運動・地域清掃
6	1	B 親切、思いやり	相手の立場に立って 「みんないっしょだよ」	誰に対しても思いやりの心を持ち，親切にしようとする態度を育てる。	ユニセフ募金・ボランティア活動・社会科
	2	C 国際理解，国際親善	平和と国際親善のために 「白旗の少女」	世界の人々と共存していることを理解し，国際親善に積極的に努めようとする心情を育てる。	~~英語・社会科~~
	3	B 感謝	感謝の心を持つ 「土石流の中で救われた命」	私たちの生活が，互いの助け合いや協力によって成り立っていることを理解し，感謝する心情を育てる。	勤労感謝の日
	4	B 友情、信頼	友達と理解し合う 「ばかじゃん！」	互いに信頼し，学び合って，真の友情を築いていこうとする態度を育てる。	学級活動
7	1	C 規則の尊重	権利と義務 「ピアノの音が……」	権利と義務の関連を考え，相手の権利を尊重するとともに自分の権利を正しく主張し，また，自分に課せられた義務を果たそうとする態度を育てる。	代表委員会・学級活動
	2	D 生命の尊さ	生命の尊重 「命の重さはみな同じ」	人間や動物の生きることの尊さを知ることから，自他の生命を尊重し，力強く生きぬこうとする態度を育てる。	理科
9	1	C 国際理解，国際親善	世界の人々のために 「エンザロ村のかまど」	日本人としての自覚や誇りを持ち，進んで他国の人々とつながり，国際親善に努めようとする態度を育てる。	社会科
	2	A 善悪の判断，自律，自由と責任	自由と責任について考える 「修学旅行の夜」	自由の大切さを理解し，自他の自由を尊重するとともに，責任ある行動について自律的に判断する力を育てる。	移動教室・修学旅行
	3	C 規則の尊重	法やきまり，権利と義務 「星野君の二るい打」	規則やきまりの意義を理解し，規則やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。	体育

	4	A 希望と勇気，努力と強い意志	自分が目指すところまで 「心をつなぐ音色」	目標を立て，希望や夢に向かって，諦めずに努力しようとする心情を育てる。	音楽
10	1	A 節度，節制	自分の生活を見直して 「お母さん，お願いね」	自立を意識して自分の生活を見直し，節度を守り，節制を心がける態度を育てる。	家庭科
	2	B 友情，信頼	異性の理解と協力 「言葉のおくりもの」	異性について理解し，互いに信頼し合って友情を深め，よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。	運動会・学芸会
	3	D 生命の尊さ	命の大切さ 「お母さんへの手紙」	生命のかけがえのなさを自覚するとともに，人間の誕生の喜びや死の重さについて知り，よりよく生きようとする心情を育てる。	国語
11	1	A 正直，誠実	明るく生きる 「手品師」	どのような状況にあっても，常に誠実に行動し，明るい生活をしようとする心情を育てる。	
	2	C 公正，公平，社会正義	社会正義の心 「田中正造」	自分の損得にとらわれることなく，誰に対しても公正，公平な態度で，社会正義の実現に努めようとする心情を育てる。	社会科
	3	C よりよい学校生活，集団生活の充実	よりよい校風 「せんぱいの心を受けついで」	最上級生としての役割を自覚し，学校に愛着を持ち，進んでりっぱな学校をつくろうとする態度を育てる。	開港記念日
	4	D よりよく生きる喜び	困難を乗り越える人間の強さや気高さ 「義足の聖火ランナー」	人間には弱さと，それを乗り越えようとする強さや気高さがあることを理解し，人間として生きる喜びを感じ，よりよく生きようとする心情を育てる。	国際理解教育・英語
12	1	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	日本人として 「新しい日本に」	過去の日本人の努力を知り，日本人として大切にしたいことを考え，日本人としての自覚を持って国を愛そうとする態度を育てる。	総合的な学習の時間
	2	D 感動，畏敬の念	私たちを包み込む大いなるもの 「夜空」	人間の力を超えた大いなるものに気づき，感動する心を育てる。	理科・天体観測
	3	B 相互理解，寛容	過ちを許す 「銀のしょく台」	謙虚な気持ちで相手の立場を考え，広い心で相手を許そうとする心情を育てる。	
1	2	D 自然愛護	自然への関心 「タマゾン川」	自然環境に関わる問題について理解し，自ら自然環境を大切にしていこうとする態度を育てる。	環境教育・理科・社会科
	3	B 親切，思いやり	親切の大切さ 「心に通じた「どうぞ」のひとこと」	相手の立場に立って思いやりの心を持ち，親切にしようとする心情を育てる。	一声運動
	4	A 節度，節制	率直な反省 「「すんまへん」でいい」	自分の生活を振り返り，改善すべき点などについて進んで見直しながら，望ましい生活習慣を積極的に築こうとする態度を育てる。	
2	1	D 生命の尊さ	人命を守るために 「東京大空襲の中で」	生命のかけがえのなさを自覚し，自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。	歴史学習
	2	A 希望と勇気，努力と強い意志	努力の尊さ 「夢」	より高い目標に向かって，くじけないで努力しようとする態度を育てる。	

	3	D 感動，畏敬の念	崇高なものへの感動 「青の洞門」	崇高なものに感動する心や，人間の力を超えた出来事に対する畏敬の念を持つ心情を育てる。	読書活動
	4	C よりよい学校生活，集団生活の充実	人々のために尽くす 「小さな連絡船「ひまわり」」	身近な集団の中で自分の役割を自覚し，主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。	社会科・ボランティア活動
3	1	C 勤労，公共の精神	世のためになる仕事 「桜守の話」	働くことの意義を理解し，社会のために役立とうとする態度を育てる。	社会科・理科・総合的な学習の時間
	2	A 真理の探究	新しいものを生み出す 「まんがに命を」	進んで新しいものを求め，工夫してよりよい生活をつくり上げようとする意欲を育てる。	図画工作
		A 節度，節制	程よい生活（情報モラル） 「あなたはどう考える？」	自分でよく考えて，度を過ごすことなく，節度ある生活をしようとする態度を育てる。	

（１１）学校図書館教育　　全体計画

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・横浜版学習
　指導要領
・学校図書館法

・子どもや地域の実態
・地域の願い
・保護者の願い
・教職員の願い
・大道中学校の学校教育目標
・あさひな幼稚園の運営方針

学校教育目標

あいがいっぱい朝比奈小
～ふれあい、学びあい、助けあい～

【知】	【徳】	【体】	【公】	【開】
自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。	自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。	心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。	朝比奈の人や自然とかかわり、お互いを大切にする子を育てます。	様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。

学校図書館教育目標

主体的、意欲的な学習活動を支え、豊かな感性や情操・思いやりの心をはぐくむ。

学校図書館教育目標・学校図書館目標を実現するための具体的な目標

【知】	【徳】	【体】	【公】	【開】
「分かる授業」「楽しい授業」づくりを目指し、意欲的に粘り強く問題解決する態度を育てます。	規範に意識や礼儀を大切にし、広い視野と豊かな体験のもと、自分と同じ様に、相手の人格を尊重する心や態度を育てます。	自他の生命と体を大切にするとともに、望ましい生活習慣を身に付け、健康づくりに取り組む態度を育てます。	「市民図書室」「読み聞かせの会」とのかかわり合いを通して、ともに支え合い、地域や横浜、更には日本に貢献しようとする態度を育てます。	地域・日本・世界の伝統や文化に関心をもって尊重しながら、国際社会の発展のために発信しようとする態度を育てます。

学校図書館の機能
教育課程への寄与・健全な教養の育成

学習・情報センターの機能

○自発的・自主的な学習に取り組むことのできる場
○適切な資料・情報を得て、学習の充実が図られる場
○図書や新聞、インターネットなど、多様なメディアから情報を得ることができる場
○自分が考えたことや調べたことを様々な媒体を通して発信できる場
○学習したことを交流する中で、さらに知りたいことを深める学習を確保する場
○学習の成果物を蓄積できる場

読書センターの機能

○本に親しむきっかけとなる場
○自由に好きな本を選んで読む場
○様々な本を知ることができる場
○知りたいことを調べるために必要な本を読む場
○好きなことへの興味・関心を高める場
○静かに本を読みふけることを確保してくれる場
○本に関する様々な情報を得られる場
○読書交流を通して、読書の楽しみを深められる場

「学校図書館の機能の充実」を目指す計画

学校図書館教育全体計画

○学校教育目標と学校図書館教育目標の関連性を明確にした計画
＜横浜版学習指導要領に基づく学校図書館教育＞

学校図書館教育指導計画

教育課程の展開に寄与する学校図書館を活用した学習活動の計画

低学年＜楽しむ読書＞	中学年＜広げる読書＞	高学年＜深める読書＞
・興味を持ったことを調べる力を育てる。 ・本との出会いを通して、読書意欲を高め、感じたことを表現する力を育てる。	・目的に応じて資料を選び効果的に活用する力を育てる。 ・感じたこと・考えたことを伝え合い、表現する活動を通して読書を広げる。	・資料を活用して主体的に課題解決する力を育てる。 ・内容や用紙をとらえ、考えたことを交流し合い、読書を通して自分の考えを深める。

司書教諭・学校図書館担当者年間活動計画

○学校図書館教育を計画的・継続的に展開し、司書教諭・学校図書館担当者が年間を見通して活動するための計画。

（１１）学校図書館教育

１　目的と内容

教育課程の展開を支える学習・情報センターであること

・図書　　・新聞　　・パンフレット等　　・パソコン

豊かな感性や情操、思いやりの心を育む読書センターであること

①図書資料の充実を図る

図書の選定（各学年、教科、委員会、児童等の希望及び図書部による）

配架の工夫（分類、新着図書の紹介、お勧めする本の紹介等）

②朝の読書タイム　　（毎週月曜日８：２０～８：３５）

・教室で全員が読書をする。

・朝読もクラス順に図書室を使うことができる。（犬が置いてあるクラス）

・読書カードは、クラスの実態に応じて工夫する。

②読書週間の活動

○４月２３日（子ども読書の日）

○１０月２４日（月）～１０月２８日（金）（読書週間）

・図書委員会の児童の話し合いにより計画実行する。

（読書パズル、読み聞かせ、読書感想画コンクールほか）

２　特別活動との関連

学級活動（２）「（オ）学校図書館の利用」における年間題材	
１年	楽しい読書
２年	図書館の利用の仕方
３年	図鑑の利用
４年	国語辞典、漢和辞典などの利用
５年	情報・資料の収集、分類、選択
６年	情報・資料の加工、操作、表現

３　本の貸し出しについて

① バーコードの手続きをする人…図書委員会の児童及び各学級の担任

② 貸し出し冊数と期間…2冊、1週間　　夏休み・・・４冊　　冬休み・・・4冊

・未返却者は、クラスごとに一覧にして知らせる。

・月・金曜日は市民図書室の方が図書室に常駐。

4 図書館の利用について

＜図書館使用割り当て＞

曜 時間	月	火	水	木	金
1校時					
2校時	4の1			1の1	個別級
3校時	6の2	1の1	3の2	5の2	
4校時	個別級	5の1			
5校時	6の1	2の1		2の2	3の1

＊割り当ては決めておくが、図書館への出入りは自由とする。

＊割り当て以外に、学級及びＰＴＡなどで使用したいときは、職員室の「特別教室等使用」のホワイトボードに記入する。

５　その他

１）ボランティアによる支援

・木曜朝の読み聞かせ（全学級）…読み聞かせの会ボランティア

・読み聞かせの会の方が、順にクラスを訪問して読み聞かせを行う。（予定表を参考にする）

・８：２０までに聞けるように机や椅子を移動する。

・はじめと終わりに、挨拶やお礼の言葉をかけるようにする

・「おはなし会」（全学年）…市民図書室の方

・段ボール劇団（個別級・希望学年）…市民図書室の方

２）本の宅配

・希望表をもとに、市民図書室の方が黄色いかごに 20 冊程度本を用意する。

・月の初めに図書委員がかごを図書室から教室に運ぶ。

・毎月最終日に、かごの中の本のリストで冊数を確認して図書室に返す。

・希望する本が変更になった場合は、かごの中のリストに、その旨書いておく。

学校図書館活動年間指導計画（１年生）

月	内容	
	読書指導	情報活用能力の育成
４月	「おはなし たのしいな」（国語） 読A① ＊子ども読書の日 読A②	学校探検をしよう（生活） 情Ⅱ１（１）
５月	読書タイムの本に親しもう（朝の時間） 読A① 読み聞かせを楽しもう（朝の時間） 読A② 「はなのみち」（国語） 読D①エ 「としょかんへ いこう」（国語） 読A①	図書館へ行こう（学活） 情Ｉ３（１）（２）
６月	読み聞かせを楽しもう（朝の時間） 読A② 「あいうえおで あそぼう」（国語） 読B④ア 「おおきなかぶ」（国語） 読D①エ	「くちばし」（国語） 情Ⅱ３（３）
７月	「おむすび ころりん」（国語） 読D①ア 「としょかんと なかよし」（国語） 読B① ダンボール劇団を楽しもう（国語） 読A② 夏休みに本を読もう（朝の会） 読B① ＊読書感想文 読D①イ	「さかせたいな わたしの はな」（生活） 情Ｉ３（４）
９月	「うみの かくれんぼ」（国語） 読B④ウ 「やくそく」（国語） 読B④イ 「かずと かんじ」（国語） 読B④ア	「いきものと なかよし」（生活） 情Ｉ３（４） 「あきから そだてる はな」（生活） 情Ｉ３（３）
１０月	「じどう車ずかんを つくろう」（国語） 読D①イ 「くじらぐも」（国語） 読B③ ＊群読発表会 読B③ ＊読書感想画を描こう（図工） 読D①ウ	「しらせたいな、見せたいな」（国語） 情Ⅱ４（１）
１１月	「じどう車くらべ」（国語） 読B④イ 「むかしばなしを よもう」（国語） 読A② ＊はまっ子読書の日 読A②	「じどう車ずかんを つくろう」（国語） 情Ⅱ３（２）
１２月	市民図書室のお話会を楽しもう（国語） 読A②	「ものの 名まえ」（国語） 情Ｉ３（４）
１月	「たぬきの糸車」（国語） 読B② 「ことばを 見つけよう」（国語） 読B④ア	
２月	「どうぶつの 赤ちゃん」（国語） 読B④イ 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 読C①	「どうぶつの 赤ちゃん」（国語） 情Ⅱ３（２） 「これは、なんでしょう」（国語） 情Ⅱ１（２）
３月	「にて いる かん字」（国語） 読B④ア	「いい こと いっぱい、一年生」（国語） 情Ⅱ５（２） 「もう すぐ みんな ２年生」（生活） 情Ⅲ３（１）

学校図書館活動年間指導計画（２年生）

月	内容	
	読書指導	情報活用能力の育成
４月	おはなしを読み、やくにわかれて音読しよう 「ふきのとう」（国語）読B③、D① **＊子ども読書の日（その他）読A①**	「図書館たんけん」 「春がいっぱい」情E① 「きょうの　できごと」（国語）情ＣＤＥＧ 「ともだちを　さがそう」情E①②
５月	「いなばの白うさぎ」（国語）読A②、B① じゅんじょに気を付けて読もう 「たんぽぽのちえ」（国語）読B④イ	ていねいにかんさつしてきろくしよう 「かんさつ名人になろう」（国語）情ＣＥ
６月	お話を読んで、しょうかいしよう 「スイミー」（国語）読A①読B④エ	「生きもの大好き」（生活）情E④ 「やさいをそだてよう」（生活）情E④ 情報あつめるときに　つかおう 「メモをとるときにつかおう」 「こんなもの、見つけたよ」（国語）情E④Ｆ②
７月	お気に入りの本をしょうかいしよう 「ミリーのすてきなぼうし」（国語）読A①③ **＊読書感想文（その他）B④エ**	「夏のまちにとびだそう」（生活）情E① 「やさいをそだてよう」（生活）情E④ 「こんなもの、見つけたよ」（国語）情E④Ｆ② 「あったらいいなこんなもの」（国語）情ＣＥ
９月	「雨のうた」（国語）読D①	「あきのまちにとびだそう」（生活）情E① 読んで考えたことを話そう 「どうぶつ園のじゅうい」（国語）情D①②
１０月	そうぞうしたことを、音読げきであらわそう 「お手紙」（国語）読D①④ **＊群読発表会（その他）読D④** **＊読書感想画を描こう（その他）読D③**	「ふゆやさいをそだてよう」（生活）情E①
１１月	「馬のおもちゃの作り方 　おもちゃの作り方をせつめいしよう」 （国語）読B④イ **＊はまっ子読書の日（その他）読A①**	
１２月	自分をくらべてかんそうを書こう 「わたしはおねえさん」（国語）（国語）読A①③	まとまりに分けて、お話を書こう お話のさくしゃになろう（国語）情G①②
１月	だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう「おにごっこ」（国語）読D①	「ふゆのまちにとびだそう」（生活）情E① ことばについて考えよう 「ようすをあらわすことば」（国語）情A①② 見たこと、かんじたこと
２月	読んで、感じたことをつたえ合おう 「スーホの白い馬」（国語）読D④	こんなにおおきくなったよ（生活）情G①②
３月		

学校図書館活動年間指導計画（３年生）

月	内容	
	読書指導	情報活用能力の育成
４月	場面のようすを思いうかべ、音読しよう 「きつつきの商売」（国語）読B④エ 読書タイム（通年）読A① **＊子ども読書の日**	国語辞典の使い方（国語）情Ｉ１（２） 図書室の利用の仕方（国語）情Ｉ３（１）
５月	まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 「こまを楽しむ」（国語）読B④イ	まちたんけん（社会）情Ⅱ１（４） 昆虫を育てよう（理科）情Ⅱ４（２）
６月	登場人物の変化に気を付けて読み、感想を書こう 「まいごのかぎ」読B④ア	大事なことを考えて、あんないの手紙を書こう 「気持ちをこめて『来てください』」（国語） 情Ⅱ１（３）
７月	読んで、かんじたことを発表しよう 「もうすぐ雨に」（国語）読Bエ 本はともだち（国語）読A② **＊読書感想文**	組み立てを考えて、報告する文を書こう 「仕事のくふう、見つけたよ」情Ⅱ４（１） あさひなたんけんたい（総合）情Ⅱ１（２）
９月	詩を楽しもう 「わたしと小鳥とすずと」（国語）読D①ア	生活の中で読もう 「ポスターを読もう」（国語）情Ⅱ４（３）
１０月	物語のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう「ちいちゃんのかげおくり」（国語）読B④イ **＊群読発表会　D①ア**	
１１月	せつめいのくふうについて話し合おう 「すがたをかえる大豆」（国語）読B④ウ 「ことわざ・故事成語」（国語）読A② **＊はまっ子読書の日**	「科学読み物での調べ方」（国語）情Ｉ１（２）
１２月	おもしろいと思うところを、しょうかいしよう 「三年とうげ」（国語）読A②・読B④ウ	
１月	詩の楽しみ方を見つけよう 「詩の工夫を楽しもう」（国語）読A② 読んで感想をもち、伝え合おう 「ありの行列」（国語）読B④ウ	昔のくらし（社会）情Ｉ１（２）
２月	「つたわる言葉で表そう」（国語）読B④ア	紹介して、感想を伝え合おう 「これがわたしのお気に入り」情Ⅱ４（２）
３月	心にのこったことを、自分の言葉で表そう 「モチモチの木」（国語）読B④エ	つたえたいことを、理由をあげて話そう 「わたしたちの学校じまん」情Ⅱ５（２）

学校図書館活動年間指導計画（４年生）

月	内容	
	読書指導	情報活用能力の育成
４月	詩を楽しもう「春のうた」（国語）読B④イ、読B③ 読んで考えたことを話し合おう「白いぼうし」（国語）読B④イ、読D② **＊子ども読書の日**	「図書館の達人になろう」（国語）情Ｉ３（１） 「漢字辞典の使い方」（国語）情Ｉ１（２）
５月	説明のしかたについて考えよう「アップとルーズで伝える」（国語）読B④イ、読B④ウ	「ごむはどこへ」（社会）情Ⅱ１～７
６月	物語を読んで紹介しよう「一つの花」（国語）読A③、読B④イ、読B④エ、読C① 声に出して楽しもう「短歌・俳句に親しもう（一）」（国語）読A②、読B③	「新聞を作ろう」（国語）Ⅱ２（６）、Ⅱ４（２）
７月	「事実にもとづいて書かれた本を読もう」「ランドセルは海をこえて」（国語）読B②、読B④ウ、読D①イ **＊読書感想文**	
９月	詩を楽しもう「忘れ物、ぼくは川」（国語）読B③	「パンフレットを読もう」（国語）情Ｉ３（３）
１０月	読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」（国語）読Bイ、読Bエ、読D④ **＊群読発表会** **＊読書感想画を描こう**（図工）読D①ウ	
１１月	「世界にほこる和紙」「伝統工芸のよさを伝えよう」（国語）読B③、読D①イ 声に出して楽しもう「短歌・俳句に親しもう（二）」（国語）読A②、読B③ **＊はまっ子読書の日**	「百科事典での調べ方」（国語）情Ｉ１（２）
１２月	物語を読んで、感想文を書こう「プラタナスの木」（国語）読Bエ、読D④	
１月	詩の楽しみ方を見つけよう「自分だけの詩集を作ろう」（国語）読A②、読B①、読D①イ 科学読み物をしょうかいしよう「ウナギのなぞを追って」（国語）読A②、読B①	「水はどこから」（社会）情Ⅱ１～７
２月	「調べて話そう、生活調査隊」（国語）読D1①イ	「もしものときにそなえよう」（国語）情Ⅱ１～３、情Ⅱ４（１）
３月	読んで感じたことを伝え合おう「初雪のふる日」（国語）読B④イ、読B④エ、読D②	

学校図書館活動年間指導計画（５年生）

月	内容	
	読書指導	情報活用能力の育成
４月	＊子ども読書の日	「図書館をつかいこなそう」（国語）情Ⅰ１
５月		「自然条件と人々のくらし」（社会）情Ⅱ２ 「育てよう朝比奈米」（総合）情Ⅱ１～７
６月	「日常を十七音で」読B	「みんなが過ごしやすい街へ」（国語）情Ⅱ２
７月	＊読書感想文 「カレーライス」（国語）読B、読D	
９月		「新聞を読もう」読B
１０月	＊群読発表会 ＊読書感想画	「グラフや表を用いて書こう」（国語）情Ⅱ２、３、４ 「雲と天気の変化」（理科）情Ⅱ１、２、４
１１月	＊はまっ子読書の日	
１２月	「アンパンマンの勇気」（国語）読C	「未来とつながる情報」（社会）情Ⅱ１、２、４ 「あなたはどう考える」（国語）情Ⅱ２
１月	「生活の中で詩を楽しもう」（国語）読A	「想像力のスイッチを入れよう」（国語）情Ⅱ２、４
２月	「この本、おすすめします」（国語）読D	「国土の自然とともに生きる」（社会）情Ⅱ１、２、４
３月	「大造じいさんとガン」（国語）読B　読C	

学校図書館活動年間指導計画（６年生）

月	内容	
	読書指導	情報活用能力の育成
４月	視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう 「帰り道（国語）読B②④ **＊子ども読書の日**	私たちの暮らしと政治（社会）　情ＤＥＦ
５月	文章を読んで、自分の考えをもとう 「時計の時間と心の時間」（国語）読B②③④ 国際平和スピーチコンテスト・平和について考える 「平和のとりでを築く」（国語）読B②C①②D②	暮らしの中の言葉（国語）情D①② 暮らしの中に生きる憲法（社会）　情ＤＥＦ
６月	伝統文化を楽しもう 「たのしみは」「私たちにできること」（国語）読A②D②	まちのよさを伝えるパンフレットを作ろう 「ようこそ　わたしたちの町へ」（国語）情ＤＥＦ
７月	**＊読書感想文** 読書の世界を深めよう 「わたしと本」「森へ」（国語）読A②B①	からだのつくりとはたらき（理科）　情D①② 鎌倉について調べよう（総合）情ＤＥＦ
９月	作品の世界を深く味わおう「やまなし」（国語）読B④ **＊群読発表会**	鎌倉武士の時代と室町文化（社会）　情ＤＥＦ日光について調べよう（総合） 調べたことを（個人）新聞にまとめる　情ＤＥＦ
１０月	**＊読書感想画**お話の絵を描こう（図工）B④エ 「みんなで楽しく過ごすために」	天下統一を目指した武将たち（社会）　情ＤＥＦ
１１月	ものの見方を広げよう 「鳥獣戯画を読む」読A②B④アD④ 伝えられてきたもの　狂言「柿山伏」（国語）読A②B④ **＊はまっ子読書の日**	260 年続いた江戸幕府（社会）　情ＤＥＦ
１２月	市民図書室のお話会を楽しもう（国語）読A②B④エ	開国が日本にもたらしたもの（社会）　情ＤＥ
１月	筆者の考えを読み取り、社会の生き方について話し合おう「メディアと人間社会」（「大切な人とつながるために」国語）読B④イウエ	戦争の時代から平和の時代へ（社会）　情ＤＥ
２月	物語を読んで、考えを深めよう 「海の命」（国語）読C①B④	ともに生きる地球 「世界と結びつく日本」（社会）　情ＤＥＦ
３月	卒業するあなたたちへ 「生きる」「今、あなたに考えてほしいこと」（国語）読D①	生物と地球のかんきょう（理科）　情ＤＥＦ

（7）食育の全体計画　　横浜市立朝比奈小学校　　令和４年度

朝比奈小の特色

●農業体験活動の充実（各学年による農業体験活動・農事ごよみにそった農業体験活動・地場野菜を取り入れた食育・堆肥作り、）
●学校保健委員会で健康を考え、より健康な生活に向けての活動に取り組み、児童・保護者の健康な生活に対する意識が高まる。（病気欠席児童が少ない）
●地域（市内も含む）の農家より、給食用の野菜を購入し調理・配食している。
●読み聞かせ・市民図書・農業体験活動指導者・英語活動サポーター・体育指導員等の地域・保護者ボランティア人材の充実と積極的な支援協力体制。
●学校運営協議会（地域との連携）の機能の充実　（地域共催「朝比奈ラジオ体操」の継続実施）（中休みスポーツデー）

学　校　教　育　目　標

あいがいっぱい　朝比奈小～ふれあい・学びあい・助けあい～

○自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。（知）
○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。（徳）
○心と体を鍛え、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。（体）
○朝比奈の人や自然とかかわり、お互いを大切にする心を育てます。（公）
○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。（開）

食　教　育　の　目　標

①食の重要性　②心身の健康　③食物を選択する能力
④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

文部科学省
「学習指導要領」基本方針
・知・徳・体の調和がとれ，生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間の育成
・公共の精神を尊び，国家
・社会の形成に主体的に参画する国民の育成
・我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成

教育委員会運営方針
「横浜教育ビジョン」
知・徳・体・公・開

各学年の発達段階に応じた食教育の目標

幼稚園保育園との連携	低学年	中学年	高学年	中学校との連携
	○食べ物に興味関心をもつ。 ○好き嫌いせずに食べようとする。 ○いろいろな食べ物の名前が分かる。	○楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことが分かる。 ○健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。 ○衛生的に給食の準備や食事、後片付けができる。	○楽しく食事をすることが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながることが分かる。 ○食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせて食べることの大切さを理解し、一食分の食事が考えられる。 ○食品の衛生に気をつけて、簡単な調理をすることができる。	

			Ⅰ期〈やってみよう〉	Ⅱ期〈かかわろう〉	Ⅲ期〈たかめあおう〉	Ⅳ期〈みとめあおう〉
特別活動	給食時間	食に関する指導	・　給食の食べ方 ・　春の食べ物 ・　かむことの大切さ ・　日本型食生活Ⅰ	・　主食の食べ方 ・　夏の食べ物 ・　日本型食生活Ⅱ（魚の食べ方）	・　食べ物の好き嫌い ・　秋の食べ物 ・　冬の食べ物	・　食に感謝する心 ・　寒さに負けない食事 ・　お祝いの食事 ・　バランスのとれた食事
		給食指導 (低)	・給食を知ろう ・じょうずに食べよう ・正しく手を洗おう	・良い配り方 ・正しく箸を使おう	・食べ物の名前を知ろう ・好き嫌いなく食べよう ・力を合わせて片付けよう	・感謝して食べよう ・たのしい食卓を作ろう ・楽しい会食にしよう
		(中)	・きまりを覚えよう ・良い姿勢で食べよう ・よくかんで食べよう	・安全で衛生的な運搬・配膳をしよう。 ・食事のマナーに気をつけよう	・食べ物の働きについて知ろう ・給食の量について知ろう ・協力して後片づけをしよう	・感謝して食べよう ・食事環境を整備しよう ・楽しい会食にしよう
		(高)	・楽しい給食時間にしよう ・正しい姿勢で食べよう ・かむことと健康の関係知ろう	・安全で衛生的な運搬・配膳をしよう ・食事のマナーに気をつけよう	・食べ物と健康について知ろう ・自分が食べる量に関心をもとう ・後片付けを工夫しよう	・感謝して食べよう ・食事環境を整備しよう ・楽しい会食にしよう
		献立の配慮	旬の食品、市内産こまつな・キャベツの使用	旬の食品、地場産トマトの使用	旬の食品、市内産こまつな・キャベツ・だいこん・さつまいも使用	旬の食品、だいこん（学級園で収穫）の使用
		行事食の作成	端午の節句、八十八夜、開港献立、歯の衛生週間、食育月間	七夕、敬老の日	十五夜、目の愛護デー、地産地消月間、冬至、大晦日	七草、鏡開き、給食週間、節分、ひな祭り、卒業祝い
	学級活動		・給食の約束（手洗い・食べ方・後片付け） ・歯の健康 ・よくかむって本当にいいの？（４年）	・夏の健康な生活 ・運動と健康 ・やさいのパワーをしろう（１年）	・大切な目 ・冬の健康な生活 ・元気もりもり大作戦！（３年生） ・残さず食べよう大作戦（４年生） ・わたしたちの成長（４年生）	・かぜの予防 ・心と体の成長をふりかえろう
	学校行事		・健康診断　・遠足 ・運動会　・修学旅行	・体験学習 ・夏休み	・冬休み	・給食週間
	児童会活動		・あおぞら交歓給食（なかよくなろう） ・学校保健委員会			
	クラブ		・料理クラブ			

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	個別支援学級	
教科との関連	国語			・すがたをかえる大豆				領域・教科を合わせた指導	・食事の約束を決めよう（日常生活指導・給食指導・自立活動・ごみの始末・　箸の使い方等） ・みんなで育ててつくって食べよう
	社会			・まちたんけん（地域の畑）	・三浦市のまちづくり ・ごみはどこへ	・食料生産を支える人々	・大昔の暮らしをのぞこう		
	理科			・植物を育てよう					
	生活	・えだまめをそだてよう ・大根をそだてよう	・やさいいっぱいになあれ						
	家庭					・家庭の生活を見つめてみよう ・日本の伝統的な食事（ごはんとみそ汁を作っておいしく食べよう。）	・毎日の食事を見直そう ・１食分の食事について考えよう		
	体育			・チャレンジ！元気な体づくり	・育ちゆく心と体		・病気の予防		
総合的な学習の時間						（自然資源） ・育てよう朝比奈米・育てたお米をおいしく食べよう		教科指導	・理科・生活科（野菜の観察・さつまいもの観察・収穫など）

家庭・地域との連携	学年・学級だより、保健だより、給食試食会、家庭教育学級、栄養個別指導、地域「朝比奈ラジオ体操」継続実施、 指導者（地域の農家）を招いて 農業体験活動（季節の野菜）、中休みスポーツデーの継続実施（地域体育指導員による指導）
個別相談指導の方針及び取り組み方	・定期健康診断、保健調査票の結果、日常の食生活の様子等から必要に応じて個別相談指導を行う。 ・日常児童の様子を十分把握し、配慮が必要な児童については医療機関、保護者との連携を図る。 ・保護者の申し出により、学校長、学級担任、栄養職員、養護教諭、調理員で食物アレルギー除去食等の対応を検討する。

○第１学年　年間指導計画

				４月	５月	６月 食育月間	７月	８月	９月	１０月	１１月 地産地消月間	１２月	１月	２月	３月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	給食を知ろう	じょうずに食べよう	正しく手を洗おう	良い配り方		正しく箸を使おう	食べ物の名前を知ろう	好き嫌いなく食べよう	力を合わせて片付けよう	感謝して食べよう	たのしい食卓を作ろう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事			身体計測 地域訪問 個人面談	運動会				身体計測　遠足 個人面談				身体計測 給食週間		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食 （お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	国語														
	生活科			ぐんぐんそだて ・えだまめをそだてよう （たねまき）――――――――しゅうかく）					ぐんぐんそだて ・大こんをそだてよう （たねまき）――――――――――――――（しゅうかく）						
	体育 （保健領域）														
総合的な学習															

＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

家庭・地域との連携													
個別相談指導	アレルギー対応調整会議			栄養相談							栄養相談		

○第２学年　年間指導計画

				４月	５月	６月 食育月間	７月	８月	９月	１０月	１１月 地産地消月間	１２月	１月	２月	３月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	給食を知ろう	じょうずに食べよう	正しく手を洗おう	良い配り方		正しく箸を使おう	食べ物の名前を知ろう	好き嫌いなく食べよう	力を合わせて片付けよう	感謝して食べよう	たのしい食卓を作ろう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事			身体計測 地域訪問 個人面談	運動会				身体計測　遠足 個人面談				身体計測 給食週間		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食 （お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	国語														
	生活科			すきなやさいを そだてよう（たねまき）		夏やさいを しゅうかくしよう			冬やさいを　さつまいもをしゅうかくしよう そだてよう（たねまき）				冬やさいを しゅうかくしよう		
	体育 （保健領域）														
総合的な学習															

＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

家庭・地域との連携													
個別相談指導	アレルギー対応調整会議			栄養相談							栄養相談		

○第３学年　年間指導計画

				４月	５月	６月 食育月間	７月	８月	９月	１０月	１１月 地産地消月間	１２月	１月	２月	３月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	きまりを覚えよう	良い姿勢で 食べよう	よくかんでたべよう	安全で衛生的な運搬・配膳		食事のマナーに気をつけよう	食べ物の働きについて知ろう	給食の量について知ろう	協力して後片付けをしよう	感謝して食べよう	環境を整えよう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事			発育測定 地域訪問 個人面談	運動会				発育測定　遠足 個人面談				身体計測 給食週間		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食（お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	国語										すがたをかえる大豆⑥ 食べ物はかせになろう⑥				
	社会					まちたんけん（地域の畑）④⑤					わたしたちのまちではたらく人たち（野菜を育てる仕事をする人）④⑤				
	理科			植物を育てよう④											
	体育 （保健領域）					健康な生活①②									
総合的な学習				野菜名人になろう④											

＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

家庭・地域との連携												
個別相談指導	アレルギー対応調整会議			栄養相談						栄養相談		

○第４学年　年間指導計画

				４月	５月	６月 食育月間	７月	８月	９月	１０月	１１月 地産地消月間	１２月	１月	２月	３月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	きまりを覚えよう	良い姿勢で 食べよう	よくかんでたべよう	安全で衛生的な運搬・配膳		食事のマナーに気をつけよう	食べ物の働きについて知ろう	給食の量について知ろう	協力して後片付けをしよう	感謝して食べよう	食事環境を整備しよう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事			発育測定 地域訪問 個人面談	運動会				発育測定 個人面談			宿泊体験学習	身体計測 給食週間		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食 （お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	国語				「かむことの力」②										
	社会					三浦市のまちづくり⑤					ごみはどこへ ⑤				
	理科														
	体育 （保健領域）										育ちゆく心と体②				
総合的な学習						三浦市の畑 ④⑤									

＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

家庭・地域との連携													
個別相談指導	アレルギー対応調整会議			栄養相談							栄養相談		

○第５学年　年間指導計画

				４月	５月	６月 食育月間	７月	８月	９月	１０月	１１月 地産地消月間	１２月	１月	２月	３月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	楽しい給食 時間にしよ	正しい姿勢 で食べよう	かむことと健康 の関係を知ろう	安全で衛生的 な運搬・配膳をしよう		食事のマナー に気をつけよう	食べ物と健康 について知ろう	自分が食べる量 に関心をもとう	後片付けを工夫しよう	感謝して食べよう	食事環境を整備しよう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事														
				発育測定 地域訪問 個人面談	運動会		宿泊体験学習		発育測定 個人面談				身体計測 給食週間		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食（お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	国語					「ことわざの学習」 腹八分目とバランスのよい食生活について考える。①②③									
	社会				「稲作の学習」 主食である米 ⑤⑥	「漁業の学習」 三崎漁港のマグロ ④⑤	「食の安全性」 身近な食品の安全性 ②③⑤								
	理科				「「植物の発芽」 インゲンマメを観察したり、調理したりする。⑤										
	家庭					「 自分たちの生活を見直そう 」 サラダ作り①					・家庭の生活を見つめてみよう①② ・「日本の伝統的な食事」ごはんとみそ汁⑥				
	体育 （保健領域）												「病気の予防」 病気の予防につながる食生活①②		
総合的な学習				「朝比奈米を育てよう」 新潟からいただいた米の苗を水田、MYバケツで育てる。					「朝比奈米の収穫とおにぎりパーティー」 ④⑤⑥						
家庭・地域との連携															
個別相談指導				アレルギー対応調整会議			栄養相談						栄養相談		

＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

○第６学年　年間指導計画

				４月	５月	６月 食育月間	７月	８月	９月	１０月	１１月 地産地消月間	１２月	１月	２月	３月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	楽しい給食時間にしよ	正しい姿勢で食べよう	かむことと健康の関係を知ろう	安全で衛生的な運搬・配膳をしよう		食事のマナーに気をつけよう	食べ物と健康について知ろう	自分が食べる量に関心をもとう	後片付けを工夫しよう	感謝して食べよう	食事環境を整備しよう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事			発育測定 地域訪問 個人面談	運動会				発育測定 個人面談		修学旅行		身体計測 給食週間		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食 （お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	国語														
	社会			大昔の暮らしをのぞこう ⑤⑥											
	家庭				一食分の食事について考えよう①②③						毎日の食事を見直そう①②③④				
	理科														
	体育 （保健領域）								病気の予防①②③						
総合的な学習															

＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

家庭・地域との連携											
個別相談指導	アレルギー対応調整会議			栄養相談						栄養相談		

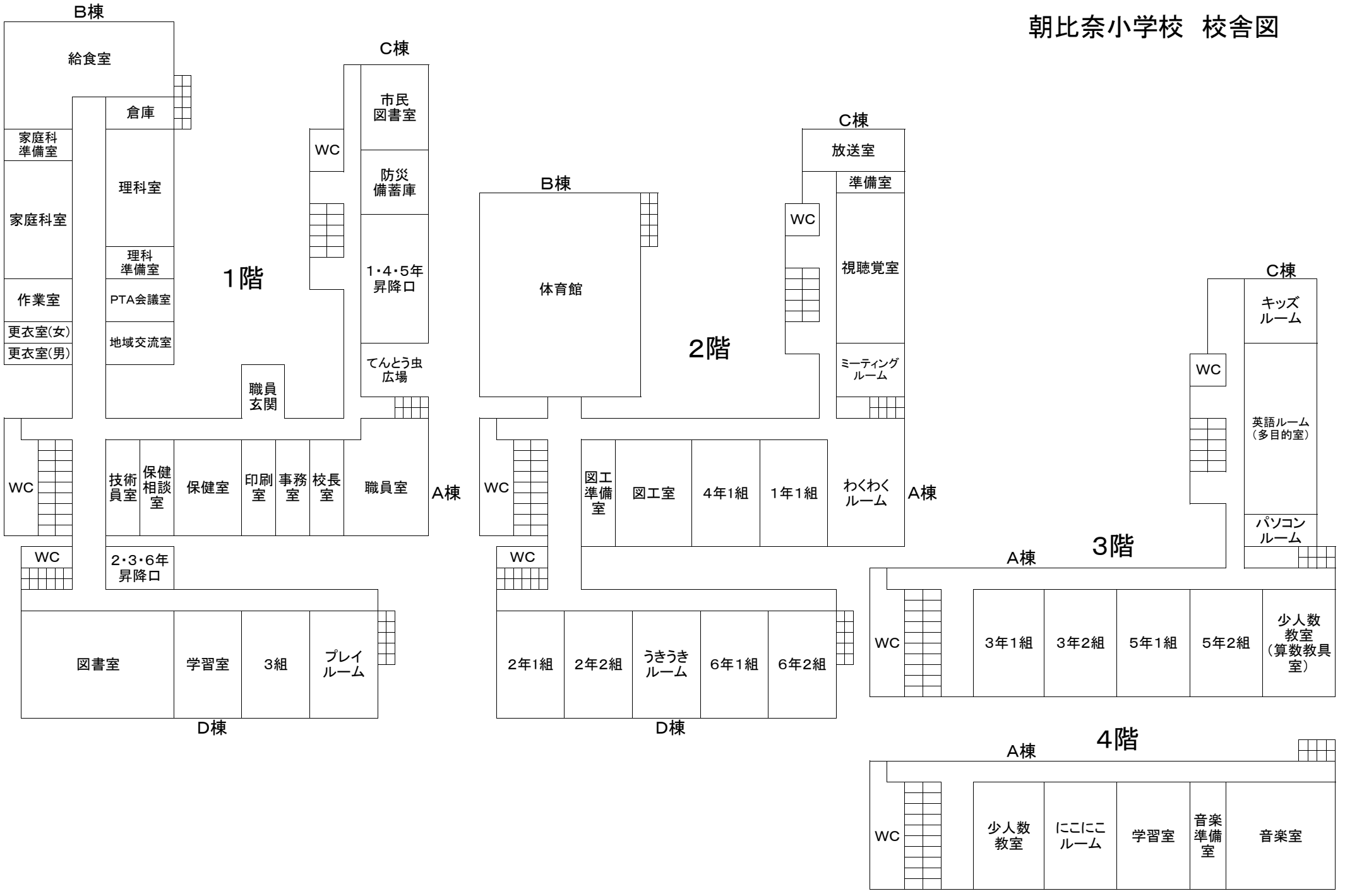
○個別支援学級　年間指導計画

				4月	5月	6月 食育月間	7月	8月	9月	10月	11月 地産地消月間	12月	1月	2月	3月
特別活動	給食時間	食に関する指導		給食の食べ方	春の食べ物	かむことの大切さ 日本型食生活	夏の食べ物		主食の食べ方	秋の食べ物	食べ物の好き嫌い はま菜ちゃん	冬の食べ物	食に感謝する心	寒さに負けない食事	バランスのとれた食事
			給食指導	給食を知ろう	じょうずに食べよう	正しく手を洗おう	良い配り方		正しく箸を使おう	食べ物の名前を知ろう	好き嫌いなく食べよう	力を合わせて片付けよう	感謝して食べよう	たのしい食卓を作ろう	楽しい会食にしよう
		献立作成の配慮	旬の食品	鰆・鰺・みつば・ほうれんそう・あさり・甘夏みかん・晩柑	鰺・あさり・鰹・さやえんどう・メロン・たけのこ・キャベツ	鰯・鯖・めかじき・なす・さやいんげん・アスパラガス・メロン	めかじき・鰯・鰺・枝豆・とうもろこし・とうがん・トマト・ズッキーニ・すいか		秋刀魚・オクラ・なす・きゅうり・トマト・ピーマン・梨・ぶどう	ししゃも・鮭・きのこ・さといも・ブロッコリー・ねぎ・ごぼう・栗	鮭・鮪・さつまいも・水菜・きのこ・白菜・だいこん・柿	さといも・かぶ・にんじん・だいこん・ごぼう・みかん・りんご	鰯・わかさぎ・れんこん・白菜・春菊・だいこん・ゆず・みかん・りんご	ブロッコリー・かぶ・こまつな・キウイ・伊予柑	鰆・菜花・ブロッコリー・ねぎ・かぶ・こまつな・ほうれんそう・はっさく
			地場産物				トマト（福本さんの野菜）			こまつな・キャベツ・だいこん（はま菜ちゃん）			大根（学級園の野菜）		
			食文化の伝承 食にまつわる行事		端午の節句 八十八夜	開港献立 歯の衛生週間	七夕		敬老の日（日本型食生活）	十五夜 目の愛護デー		冬至 大晦日	七草　鏡開き 給食週間	節分	卒業祝い 雛祭
	学級活動 学校行事			発育測定 地域訪問 個人面談	運動会				発育測定 個人面談		区合同宿泊体験学習		給食週間 発育測定		個人面談
	児童会活動			一年生を迎える会									給食集会 ユニセフ募金	長縄大会 あおぞら交歓給食 （お別れ会）	卒業生を送る会
教科との関連	理科 生活科			そだてよう すきなやさいを育てよう　観察・世話					冬やさいを育てよう　観察・世話					収穫	
領域教科を合わせた指導				・食事の約束を決めよう 日常生活指導 給食指導 自立活動 ごみの始末 箸の使い方等											

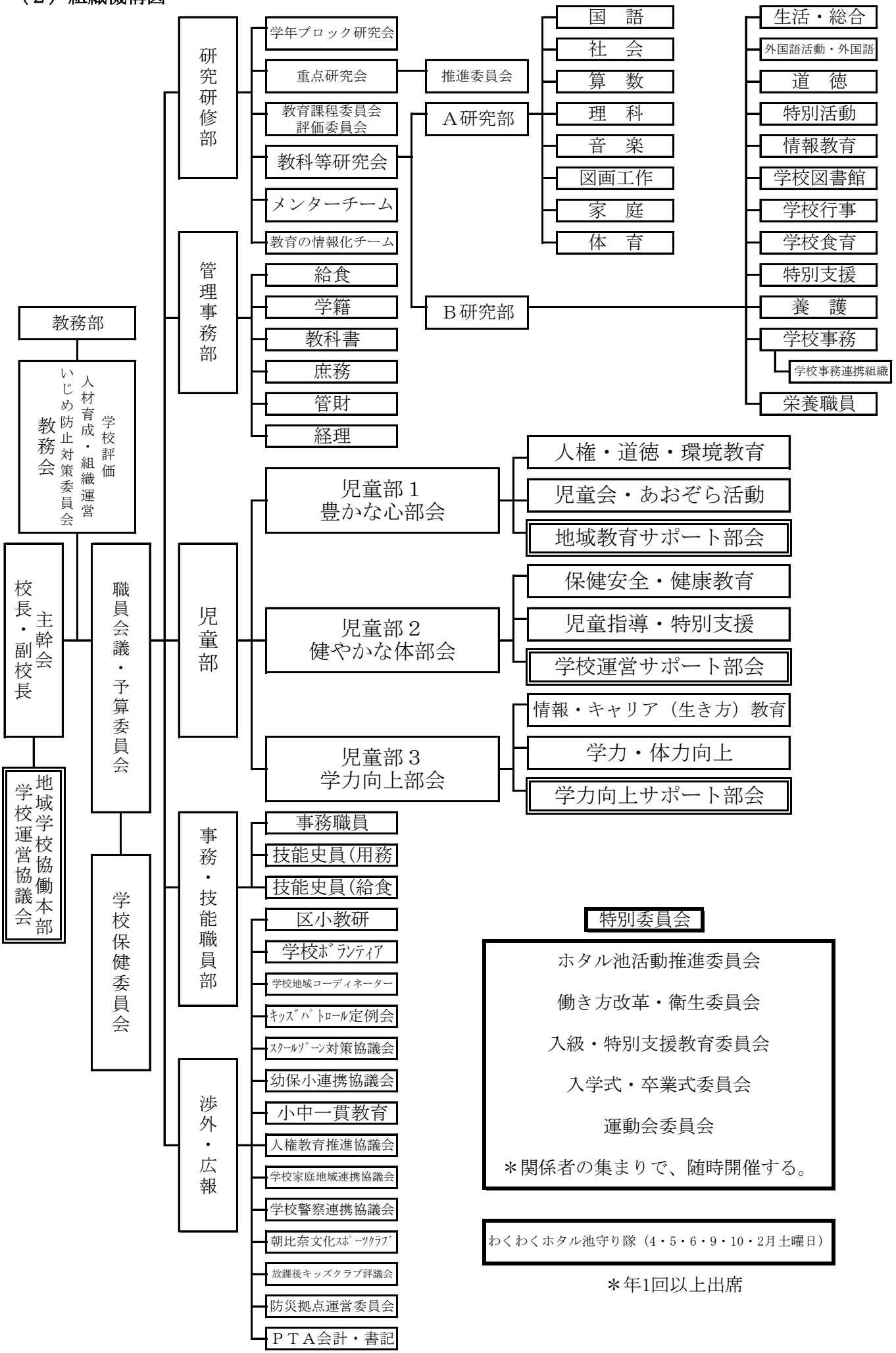
＊数字は、食教育の目標を示す。　①食事の重要性　②心身の健康　③食品を選択する能力　④感謝の心　⑤社会性　⑥食文化

家庭・地域との連携													
個別相談指導	アレルギー対応調整会議			栄養相談							栄養相談		

朝比奈小学校　校舎図


1階
B棟
給食室
倉庫
家庭科準備室
家庭科室
理科室
理科準備室
作業室
PTA会議室
更衣室(女)
更衣室(男)
地域交流室
職員玄関
C棟
市民図書室
WC
防災備蓄庫
1・4・5年昇降口
てんとう虫広場
WC
技術員室
保健相談室
保健室
印刷室
事務室
校長室
職員室
A棟
WC
2・3・6年昇降口
図書室
学習室
3組
プレイルーム
D棟
2階
B棟
体育館
C棟
放送室
準備室
WC
視聴覚室
ミーティングルーム
WC
図工準備室
図工室
4年1組
1年1組
わくわくルーム
A棟
WC
2年1組
2年2組
うきうきルーム
6年1組
6年2組
D棟
3階
C棟
キッズルーム
WC
英語ルーム（多目的室）
パソコンルーム
A棟
WC
3年1組
3年2組
5年1組
5年2組
少人数教室（算数教具室）
4階
A棟
WC
少人数教室
にこにこルーム
学習室
音楽準備室
音楽室

（2）組織機構図


研究研修部
学年ブロック研究会
重点研究会
推進委員会
教育課程委員会
評価委員会
教科等研究会
メンターチーム
教育の情報化チーム
A研究部
B研究部
国　語
社　会
算　数
理　科
音　楽
図画工作
家　庭
体　育
生活・総合
外国語活動・外国語
道　徳
特別活動
情報教育
学校図書館
学校行事
学校食育
特別支援
養　護
学校事務
学校事務連携組織
栄養職員
管理事務部
給食
学籍
教科書
庶務
管財
経理
教務部
学校評価
人材育成・組織運営
いじめ防止対策委員会
教務会
主幹会
校長・副校長
職員会議・予算委員会
学校保健委員会
地域学校協働本部
学校運営協議会
児童部
児童部１
豊かな心部会
人権・道徳・環境教育
児童会・あおぞら活動
地域教育サポート部会
児童部２
健やかな体部会
保健安全・健康教育
児童指導・特別支援
学校運営サポート部会
児童部３
学力向上部会
情報・キャリア（生き方）教育
学力・体力向上
学力向上サポート部会
事務・技能職員部
事務職員
技能史員(用務
技能史員(給食
涉外・広報
区小教研
学校ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ
学校地域コーディネーター
ｷｯｽﾞﾊﾟﾄﾛｰﾙ定例会
ｽｸｰﾙｿﾞｰﾝ対策協議会
幼保小連携協議会
小中一貫教育
人権教育推進協議会
学校家庭地域連携協議会
学校警察連携協議会
朝比奈文化ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ
放課後キッズクラブ評議会
防災拠点運営委員会
ＰＴＡ会計・書記
特別委員会
ホタル池活動推進委員会
働き方改革・衛生委員会
入級・特別支援教育委員会
入学式・卒業式委員会
運動会委員会
＊関係者の集まりで、随時開催する。
わくわくホタル池守り隊（4・5・6・9・10・2月土曜日）
＊年1回以上出席

（３）分担及び構成員　　2022/4/5

校長：神田敏之　　副校長：長谷川亜紀子　主幹教諭：奥田俊輔　丹藤亜寿華

【研究研修部】　　（教務主任）

＜学年研究部＞学級担任等（○印　主任）

	１年	２年	３年	４年	５年	６年	個別支援学級	
１組	髙橋　弓佳	川上　真穂	○宮本 有子	奥田 俊輔	吉森 悠佑	織茂 眞彩	３組（知的）	○岡村 陽子
２組		○山本麻沙伎	梶田 浩司		○丹藤 亜寿華	○中村　雅	４組（情緒）	八重嶋　吏雅
ブロック所属	岡村 陽子 古川 純子 片尾 一美		小林　祐介　太田　侑奈 大野　静香		八重嶋　吏雅			
７年	＊児童支援専任：古川 純子 ＊少人数他：太田　侑奈　（坂本　万利子） ＊専科：小林　祐介　（育休：中井　百合香） ＊専科：井上 典子 ＊初任研：郷内　加奈子 ＊養護教諭：片尾 一美　（育休：松本 愛実） ＊事務職員：大野　静香 ＊技能史員(給食)：木村 政彦、新宅 那央 佐藤 知子（応援調理員） ＊技能史員(用務)：石原 俊平、森　久美 ＊派遣栄養職員：田口　諒（文庫小） ＊学校図書館司書：鵜川 聖子				＊理科支援員：佐藤　幸正 ＊ICT支援員：永田 千香子 ＊職員室業務アシスタント：川井 直子、永井 理恵 ＊スクールカウンセラー：登那木　順 ＊ＳＳＷ：武藤 奈穂 ＊ＡＥＴ：バーナデッド　バナガソ　トゥボド ＊ＩＵＩ：ユ　ミニョン（韓国） ＊内科校医：青木　康之 ＊眼科校医：及川　哲平 ＊歯科校医：小岩　謙誠 ＊耳鼻科校医：所　芳男 ＊学校薬剤師：三科　省五			

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック	☆ブロック代表	
教務部	☆髙橋　古川	☆宮本 ○梶田　◎奥田	☆中村　丹藤	◎主任	○副主任
いじめ防止対策委員会	◎古川　☆山本　片尾	☆宮本　○奥田	☆中村　丹藤　八重嶋	◎主任	○副主任

＜A研究部＞ 左側が区研、右側が校内。校内の○印と、区研に出す○印は異なってもよい

校内Ａ研	低学年ブロック		中学年ブロック		高学年ブロック			
国語	○山本			奥田　太田	織茂			
社会				宮本	○八重嶋			
算数	岡村		梶田 太田		○吉森			
理科			○奥田	小林(高担当)				
音楽	○川上			梶田		井上		
図工	古川		○小林　宮本			中村　吉森		
家庭					○丹藤	織茂		
体育	髙橋　片尾			梶田	○中村			

＜B研究部＞

校内Ｂ研	低学年ブロック		中学年ブロック		高学年ブロック			
道徳	○髙橋			小林	丹藤			
生活・総合		川上　岡村		宮本	○吉森			
特別活動	○古川		太田	奥田		織茂		
情報視聴覚		山本	○梶田	大野		吉森　中村		
学校図書館					○織茂			
学校行事			○奥田					
学校食育		片尾	○宮本		中村			
養護	○片尾	髙橋						
学校事務			○大野					
特別支援	○岡村				八重嶋			
外国語活動	○川上　山本		小林			丹藤		
栄養職員					○田口			

＜教育課程委員会・評価委員会＞　教育課程記録・評価規準・あゆみ

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
	髙橋　山本	梶田　宮本	○丹藤　吉森　八重嶋		

＜重点研推進委員会＞＜リーダー・イン・ミー　ライトハウスチーム＞

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
	川上　古川　岡村	奥田　小林　太田	○中村　織茂		

＜メンターチーム（10年未満）＞

	○織茂　川上　岡村　吉森　小林　太田　山本　八重嶋　（松本　中井）　教務部：髙橋　中村

＜教育の情報化チーム＞

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
	山本　古川　岡村	○梶田　奥田	中村　吉森		

【管理事務部】

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
給　食 学　籍 教科書	髙橋(学籍) 川上 片尾	宮本(給食) 太田 大野	織茂(教科書)		
庶　務 管　財 経　理		小林(管財) 大野(経理)	丹藤 八重嶋(庶務)		

日常の業務を管理事務部のメンバーで分担する。ものを動かすなど人手が必要なものは、職員作業で全員で行う。図書（図書館）は、Ｂ研の図書館が担当。食育の内容はＢ研の食育が担当。情報視聴覚の調査統計は、Ｂ研の情報が担当。出席簿点検は、担当者が方法を指示し、ブロック内で点検する

【児童部】（　）の人が中心になって計画を進めるが、相談や役割分担はその中のみんなで行う

＜児童部１：豊かな心部会＞　◎奥田　○髙橋

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
人権教育 道徳教育 環境教育 児童会活動 あおぞら活動	髙橋（道徳教育） 山本（人権教育）	奥田（児童会活動） 太田	織茂（あおぞら） 吉森（環境教育）		
豊かな心の育成プラン　ESD/SDG　横浜の時間 地域教育サポート＜健全育成（清掃美化　あいさつ　社会規範　環境教育ホタル池）＞渡部、前田、長瀬、樋口					

＜児童部２：健やかな体部会＞　◎古川　○中村　○宮本

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
保健・安全 健康教育 児童指導 特別支援教室	古川（特別支援教室） 片尾（保健）	宮本（安全）	中村（健康教育） 八重嶋（児童指導）		
健やかな体の育成プラン　特別支援教室　学校保健委員会　体力・運動能力調査 学校運営サポート＜読書活動（お話会）　地域ボランティア（キッズパトロール　昔遊び）　交通安全教育＞石川、山崎、佐藤					

＜児童部３：学力向上部会＞　◎丹藤　○梶田

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
情報教育 自分づくり教育 幼保小中連携 学力向上	川上（幼保小中連携） 岡村（自分づくり教育）	梶田（情報教育） 小林（情報視聴覚備品） 大野	丹藤（学力向上）		
学力向上アクションプラン　授業改善　自主学習　学力・学習状況調査　ホームページ　校務システム　情報視聴覚物品管理 学力向上サポート＜幼保小中連携　キャリア教育　学校ボランティア＞岡田、勝、青木、清水、久松					

【渉外・広報】

金沢区小学校教育研究会	奥田	人権教育推進協議会	山本	学校警察連携協議会	古川
幼・保・小連絡協議会	川上　髙橋	学校地域コーディネーター	副校長	学校家庭地域連携協議会	古川
小中一貫教育	奥田	学校ボランティア	古川	防災拠点運営委員会	副校長　梶田
ＰＴＡ書記	奥田	キッズパトロール定例会	副校長	放課後キッズクラブ	副校長
ＰＴＡ会計	副校長	スクールゾーン対策協議会	副校長	文化・スポーツクラブ	副校長

＊道徳推進教師：丹藤
＊司書教諭：織茂
＊ホタル池活動窓口：川上
＊食品衛生責任者：木村
＊セクハラ窓口：副校長・養護教諭・児童支援専任

＊特別支援コーディネーター:古川･丹藤･宮本･梶田
＊災害時緊急参集:奥田･梶田･髙橋
＊校内初任者指導:岡村　＊初任研コーディネーター:古川
＊教育実習生指導教官:織茂　＊教育実習生コーディネーター:中村

【特別委員会】

	低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック		
ホタル池活動推進委員会	髙橋（4月）（10月） ◎川上（5月）（6月） 山本（5月）（9月） 古川（4月）（2月） ○岡村（2月） 片尾（5月）（10月）	宮本（4月）（2月） 梶田（4月）（9月） 奥田 小林（4月）（9月） ○太田（4月） 大野	○丹藤（10月） 吉森（5月）（10月） 中村（10月）（2月） ○織茂（9月） 八重嶋（9月）（2月）	◎窓口 ○月毎のリーダー	（6月）は全員
働き方改革・衛生委員会	○片尾 古川 髙橋	奥田	丹藤	校長 副校長 教員代表	養護教諭 主幹教諭
入級委員会 特別支援教育委員会	○古川 岡村 片尾	奥田 宮本 梶田	丹藤 八重嶋	校長 副校長 学級担任 コーディネーター	養護教諭 主幹教諭 個別級担任
※この委員会で児童の入級や特別支援教室入室の判断をする ※特別支援教室運営については、児童部2健やかな体部会で検討					
入学式委員会	髙橋　古川 川上 岡村　片尾	○梶田 奥田	丹藤 中村 八重嶋	校長 副校長 行事・音楽 特活	養護教諭 主幹教諭 個別級担任
※入学式委員会の中で就学時検診計画、就学時検診配布物、入学説明会計画、入学説明会配布物、入学式計画、入学式配布物の担当を決める。 ※新1年生名簿氏名のダブルチェックを行う。特に入学説明会に後に入った児童を。					
卒業式委員会	古川 川上 片尾	○梶田 奥田	丹藤　吉森 中村　織茂	校長 副校長 行事・音楽 特活	養護教諭 主幹教諭 個別級担任
運動会委員会	髙橋　古川 川上 岡村　片尾	梶田 奥田	丹藤 ○中村 八重嶋	校長 副校長 体育部 特活	養護教諭 主幹教諭 個別級担任

令和4年度（2022年） 年間行事予定 横浜市立朝比奈小学校

令和4年4月20日

日	曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月	日	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月	日
1	金	職員打ち合わせ 校内AB研、児童引き継ぎ 管理事務部会	日		水	開港記念集会	金	委員会活動④	月		木	読み聞かせ、給食開始 3組上郷宿泊体験学習① 専任会	1	土		火	重点研授業研究会⑦	木	読み聞かせ 委員会活動⑧ 専任会	日	学校閉庁日（～1/5）	水	県中央研究大会 次年度計画会議⑥	水	市研	1
2	土		月	1・2年、3組聴力検査 第2回学校運営協議会	木	開港記念日	土		火		金	3組上郷宿泊体験学習②	2	日		水	市研	金	指導案検討⑩	月		木	読み聞かせ 委員会活動⑩（評価） 専任会	木	読み聞かせ（最終） 委員会活動⑪ 専任会	2
3	日		火	憲法記念日	金	委員会活動③	日		水		土	社明大会	3	月	職員会議	木	文化の日	土	体育実技発表会	火		金	職員会議 第7回学校運営協議会	金	重点研推進委員会 市校長会	3
4	月	職員打ち合わせ 職員会議① 学年の引継ぎ	水	みどりの日	土		月	職員会議	木		日		4	火	あおぞら交流② 委員会活動⑥ 指導案検討⑥	金	委員会活動⑦ 専任会?	日		水		土		土		4
5	火	職員会議② 重点研推進委員会（LHC） 校長会	木	こどもの日	日		火	朝会	金		月	5・6年発育測定 成績処理日③	5	水	4.5年上郷宿泊体験学習① 市研	土	オープンスクール② あおぞらタイム③ 第6回学校運営協議会	月	職員会議	木		日		日		5
6	水	新6年登校日 入学式準備 重点研全体会	金	第1回避難訓練 委員会活動② 職員会議／予算委員会	月	職員会議	水	市研 区人権教育推進協議会	土		火	プール納め集会 3・4年発育測定 成績処理日④、校長会	6	木	4.5年上郷宿泊体験学習② 読み聞かせ（4，5年除） 専任会	日	社教ウォークラリー	火	児童朝会（広報） お話会（高）	金	出勤日 職員会議 次年度計画会議①	月	成績処理日①	月	職員会議	6
7	木	着任式・始業式・入学式 児童調査票・保健調査票提出日 地域訪問①	土		火		木	読み聞かせ 代表・あおぞら実行② 専任会	日		水	1・2年、3組発育測定 市研	7	金	前期終業式	月	オープンスクール代休	水	短縮4時間授業 市一斉授業研	土		火	成績処理日②	火	校長会	7
8	金	集団登校日（～12日） 地域訪問②	日		水	市一次研究大会	金	校長会	月		木	読み聞かせ 委員会活動⑤	8	土		火	指導案検討⑧	木	読み聞かせ クラブ活動⑦（3年見学） 校長会	日		水	市研	水	あおぞらタイム⑦ 重点研全体会	8
9	土		月	職員研修（スタート、ラジオ体操）	木	読み聞かせ ホタルを見るタベ事前準備 専任会	土		火		金	重点研授業研究会④	9	日		水	区A研	金	重点研授業研究会⑨	月	成人の日	木	読み聞かせ 成績処理日③ 校長会	木	個人面談①	9
10	日		火	授業参観 学校プラン説明会 PTA総会	金	重点研授業研究会① ホタルを見るタベ事前準備	日		水		土	わくわくホタル池まもりたい活動	10	月	スポーツの日	木	読み聞かせ クラブ活動⑥ 関プロ教頭大会①	土		火	授業開始日、集団登校 大掃除 次年度計画会議②	金	成績処理日④	金	個人面談②	10
11	月	5・6年発育測定 アレルギー研修会、児童理解研修 地域訪問③	水	市研	土	ホタルを見るタベ	月		木	山の日	日		11	火	後期始業式 集団登校	金	校長会 関プロ教頭大会②	日		水	給食開始 市研	土	建国記念の日	土		11
12	火	3・4年発育測定 懇談会（全学年） 校長会	木	読み聞かせ開始 クラブ活動② 専任会	日		火	あおぞら交流① 児童朝会（運動）	金		月	校務分掌部会	12	水	区A研	土		月	代表・あおぞら実行⑤ 校務分掌部会	木	読み聞かせ 委員会活動⑨ 専任会	日		日		12
13	水	歯科検診 給食開始 区A研	金	尿検査2次容器配布 個別の支援計画入力日 校長会	月	指導案検討② 校長会	水	区A研	土		火	小中一貫合同研究会 朝会	13	木	読み聞かせ 歯科巡回指導① クラブ活動⑤、校長会	日		火	人権週間（～20）、人権朝会 人権授業参観・懇談会	金	重点研授業研究会⑪	月		月	個人面談③	13
14	木	1・2年、3組発育測定 委員会活動①	土	わくわくホタル池まもりたい活動	火	児童朝会（保健） 児童引き取り下校訓練	木	読み聞かせ 重点研授業研究会③	日		水	区A研	14	金	歯科巡回指導②	月	校務分掌部会 専任会?	水	区A研	土		火	あおぞら交流⑤ クラブ活動⑨	火	個人面談④	14
15	金	1年生を迎える会 5，6年視力検査 安全点検、地域訪問④	日		水	市研	金	音楽朝会（5年） 懇談会	月		木	読み聞かせ（4年除） 4年ごみ処理場見学	15	土	わくわくホタル池まもりたい活動	火		木	読み聞かせ 5年いじめ防止教室①	日		水	区A研	水	個人面談⑤	15
16	土	わくわくホタル池まもりたい活動	月	尿検査2次提出 校務分掌部会 安全点検	木	読み聞かせ 耳鼻科検診(1,4希望者) 代表・あおぞら実行①	土		火		金	代表・あおぞら実行③ いじめ防止対策委員会／教務会	16	日		水	区一斉授業研究会（B研）	金	5年いじめ防止教室②	月	重点研全体会	木	読み聞かせ 代表・あおぞら実行⑦ （3年見学）	木	給食終了	16
17	日		火	ラジオ体操朝会（外） LHC指導案検討①	金	職員作業（プール準備）	日		水	区A研	土		17	月	校務分掌部会	木	読み聞かせ（6年除） 6年修学旅行①（鎌倉）	土		火		金	オープンスクール③ 第8回学校運営協議会	金	6年生を送る会練習 卒業式準備 大掃除、学級編制	17
18	月	3，4年視力検査 代表委員会① いじめ防対委／教務会	水	区A研	土		月	海の日	木	教育課程（総則）	日		18	火	重点研授業研究会⑥	金	6年修学旅行②（江ノ島）	日		水	区一斉授業研究会 図工研会場校	土	わくわくホタル池守りたい活動	土		18
19	火	クラブ活動① 6年全国学力・学習状況調査 人権教育推進協議会総会	木	読み聞かせ 心臓検診（心電図）10:50～ 運動会実行委員会①	日		火		金		月	敬老の日	19	水	区B研	土		月	いじめ防止対策委員会／教務会	木	読み聞かせ 代表・あおぞら実行⑥	日		日		19
20	水	1，2年、3組視力検査 区B研	金	運動会全体練習① 衛生委員会①	月	校務分掌部会	水	朝会 夏休み前最終登校日 区B研	土		火	朝会 5，6年視力検査 重点研授業研究会⑤	20	木	読み聞かせ 代表・あおぞら実行④ ダンボール劇団（低）	日		火	あおぞら交流③ 指導案検討⑪	金	クラブ活動⑧ 次年度計画会議③ 校長会	月	校務分掌部会	月	卒業式予行練習	20
21	木	内科検診9:30～ 個人面談①　専任会	土		火	プール開き集会	木	夏季休業開始（～8/26） 学籍・あゆみ研修	日		水	3・4年視力検査 区B研	21	金	音楽朝会（3・4年） 指導案検討⑦　ダンボール劇団（中） 第5回学校運営協議会	月		水	音楽朝会（6年） 区B研	土		火		火	春分の日	21
22	金	尿検査容器配布 5年聴力検査 個人面談②	日		水	区A研 区スピーチコンテスト13:30～	金	重点研推進委員会	月		木	読み聞かせ 1・2年、3組視力検査 クラブ活動④	22	土		火	重点研授業研究会⑧	木	読み聞かせ 重点研授業研究会⑩	日		水	区B研	水	6年生を送る会 卒業証書授与式 第9回学校運営協議会、衛生委員会	22
23	土		月	運動会実行委員会② いじめ防対委／教務会	木	読み聞かせ 眼科検診 クラブ活動③	土		火		金	秋分の日	23	日		水	勤労感謝の日 子ども文化祭	金	給食終了 不祥事防止研修② 重点研推進委員会（LHC）	月	次年度計画会議④	木	天皇誕生日	木	地区班編成 重点研推進委員会 いじめ防止対策委員会／教務会	23
24	日		火	運動会全体練習②	金	オープンスクール① 第4回学校運営協議会	日		水	出勤日 区B研	土		24	月	いじめ防止対策委員会／教務会	木	就学時検診 短縮4時間授業 読み聞かせ	土		火	あおぞらタイム⑤ 児童朝会（給食）校務分掌部会 人権教育推進協議会総会	金		金	修了式 離任式 茶話会	24
25	月	尿検査1次提出 個人面談③	水	区B研	土		月		木	出勤日 指導案検討④⑤ いじめ防止対策委員会／教務会	日		25	火	児童朝会（図書） ダンボール劇団（高）	金	指導案検討⑨	日		水	区B研	土		土		25
26	火	市学力・学習状況調査① 個人面談④	木	クラスタイム 運動会全体練習③	日		火	重点研全体会	金	出勤日 職員会議	月	個人面談①	26	水	児童生徒交流日	土		月	冬季休業開始（～1/6）	木	読み聞かせ 授業参観・懇談会	日		日	学年末休業開始	26
27	水	市学力・学習状況調査② 市研	金	運動会前日準備 運動会実行委員会③	月	あおぞらタイム① いじめ防対委／教務会	水	不祥事防止研修①	土		火	創立記念集会 個人面談②	27	木	読み聞かせ 3・4年区音楽会（PM）	日		火		金	長縄集会 次年度計画会議⑤	月	いじめ防止対策委員会／教務会	月		27
28	木	3年聴力検査 個人面談⑤	土	第〇運動会 給食あり 第3回学校運営協議会	火	指導案検討③	木		日		水	あおぞらタイム② 個人面談③	28	金		月		水	学校閉庁日（～1/5）	土		火	あおぞらタイム⑥	火		28
29	金	昭和の日	日		水	区B研	金		月	授業開始、朝会 大掃除	木	創立記念日 読み聞かせ 個人面談④	29	土		火	あおぞらタイム④	木		日				水		29
30	土		月	運動会振替休日	木	読み聞かせ 重点研授業研究会②	土		火	除草活動 横浜こども会議(14:00～) 成績処理日①	金	個人面談⑤	30	日		水	音楽朝会（1・2年）	金		月	長縄集会予備日 いじめ防止対策委員会／教務会			木		30
31			火	運動会第①予備日			日		水	総合防災訓練 成績処理日②			31	月	職員会議（11月分）			土		火				金	出勤日（AM）新年度準備	31
授業		16		19		21		13		3		20			20		20		17		16		19		17	
給食		12		19		21		13		0		20			20		20		17		15		19		12	

1～5年授業日数	201
6年授業日数	199
給食日数	188

合計
1～5年201日
6年　199日
給食　188日

４月 行事予定 （授業日数16日）

令和４年４月１日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	〈出勤日〉春季休業（～6日）、LIM管理職研修 職員打ち合わせ、児童引き継ぎ、学年研究会、指導要録差し替え		校内ＡＢ研、管理事務部会、児童部						
2	土									
3	日									
4	月	〈出勤日〉打ち合わせ 学年研究会、児童引き継ぎ、学年引継ぎ		４月職員会議①						
5	火	〈出勤日〉打ち合わせ 管理事務部会、児童部、重点研推進委員会児童指導委員		４月職員会議② 校長会						
6	水	〈出勤日〉打ち合わせ 新６年生登校日（新年度・入学式準備）		重点研全体会 職員研修						
7	木	着任式・始業式（行0.7）、入学式（１年行2） 保健調査票・児童調査票提出日		打ち合わせ 地域訪問①	3.0 2.0	1.0 0.7	1.0 0.7	1.0 0.7	1.0 0.7	1.0 0.7
8	金	クラスタイム		地域訪問②	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
9	土									
10	日									
11	月	クラスタイム ５・６年発育測定（行0.7）		アレルギー研修会、児童理解研修 校務分掌部会	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0 0.7	4.0 0.7
12	火	クラスタイム、懇談会（全学年） ３・４年発育測定（行0.7）		地域訪問③	4.0	4.0	4.0 0.7	4.0 0.7	4.0	4.0
13	水	クラスタイム、給食開始 個・1・2年発育測定（行0.7）		区Ａ研	4.0 0.7	5.0 0.7	5.0	5.0	6.0	6.0
14	木	クラスタイム	委員会活動①	学年研究会 専任会	4.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
15	金	６年視力検査（行0.7）	１年生を迎える会（児0.7）	地域訪問④、Sさん面談16:00 ※安全点検日	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0 0.7
16	土	**わくわくホタル池まもりたい活動**								
17	日									
18	月	読書タイム ５年視力検査（行0.7）	代表委員会	いじめ防止対策委員会 **教務会**	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0 0.7	5.0
19	火	クラスタイム，４年視力検査（行0.7） 全国学力学習状況調査（６年）	クラブ活動	主幹会/打ち合わせ	4.0	5.0	5.0	6.3 0.7	6.3	6.3
20	水	あさひなパワーアップ１ ３年視力検査（行0.7）		区Ｂ研	4.0	5.0	5.3 0.7	5.3	5.3	5.3
21	木	クラスタイム、個人面談① 内科検診（行１）			4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0
22	金	あさひなパワーアップ２、個人面談② ２年視力検査（行0.7）			4.0	4.0 0.7	4.3	4.3	4.3	4.3
23	土									
24	日									
25	月	読書タイム、個人面談③ １年・３組視力検査（行0.7）			4.0 0.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
26	火	朝会、市学力・学習状況調査（２～６年） 個人面談④			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
27	水	あさひなパワーアップ３ 市学力・学習状況調査（２～６年）		市研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
28	木	クラスタイム、個人面談⑤ ３・５年聴力検査（行0.7）		※月末統計	4.0	4.0	4.0 0.7	4.0	4.0 0.7	4.0
29	金	昭和の日								
30	土									
				４月総時数	64.0	68.0	69.0	70.3	72.3	72.3
				４月行事数	4.3	3.0	3.7	3.0	3.7	3.0
				累計総時数	64.0	68.0	69.0	70.3	72.3	72.3
				累計行事数	4.3	3.0	3.7	3.0	3.7	3.0

0.7→2/3
1.3→4/3
と、入力する

５月行事予定（授業日数１９日）　　令和４年４月１日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	１年	２年	３年	４年	５年	６年
1	日									
2	月	読書タイム １・２年３組聴力検査（行0.7）		学校運営協議会	5.0 0.7	5.0 0.7	6.0	6.0	6.0	6.0
3	火	憲法記念日								
4	水	みどりの日								
5	木	こどもの日								
6	金	あさひなパワーアップ４ 第1回避難訓練（火災/行0.3w	委員会活動②	打ち合わせ 予算委員会	4.0 0.3	5.0 0.3	5.3 0.3	5.3 0.3	6.3 0.3	6.3 0.3
7	土									
8	日									
9	月	読書タイム		職員研修（スタート、ラジオ体操）	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
10	火	朝会、授業参観 学校プラン説明会、PTA総会		職員会議	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
11	水	あさひなパワーアップ５		市研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
12	木	読み聞かせ開始	クラブ活動②	学年研究会 専任会	5.0	5.0	5.0	6.3	6.3	6.3
13	金	あさひなパワーアップ６		個別の支援計画入力日 校長会	4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
14	土			学年研究会						
15	日									
16	月	読書タイム		校務分掌部会、LHC指導案検討 ※安全点検日	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
17	火	ラジオ体操朝会（外）		主幹会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
18	水	あさひなパワーアップ７		区Ａ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
19	木	読み聞かせ 心臓検診（１年・２年未者）（行１）	運動会実行委員会①	学年研究会	5.0 1.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
20	金	あさひなパワーアップ８ 運動会全体練習①		衛生委員会①	4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
21	土									
22	日									
23	月	読書タイム	運動会実行委員会②	いじめ防止対策委員会 教務会	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
24	火	クラスタイム 運動会全体練習②		主幹会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
25	水	あさひなパワーアップ９ 運動会全体練習③		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
26	木	クラスタイム 運動会全体練習予備日		学年研究会	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
27	金	クラスタイム 運動会前日準備	運動会実行委員会③	職員作業（運動会準備） 打ち合わせ	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
28	土	第〇回運動会（行４） 給食あり		職員作業（運動会片付け） 打ち合わせ	5.0 4.0	5.0 4.0	5.0 4.0	5.0 4.0	5.0 4.0	5.0 4.0
29	日									
30	月	運動会振替休日								
31	火	運動会第１予備日		個別の支援計画締切日 ※月末統計	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
				５月総時数	91.0	94.0	102.0	106.3	110.3	110.3
				５月行事数	6.0	5.0	4.3	4.3	4.3	4.3
				累計総時数	155.0	162.0	171.0	176.7	182.7	182.7
				累計行事数	10.3	8.0	8.0	7.3	8.0	7.3

6月 行事予定 （授業日数 21日）　　令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	水	開港記念集会		打ち合わせ　救命救急法 学年研究会	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
2	木	**開港記念日**								
3	金	あさひなパワーアップ１０	委員会活動③	OJT（指導案検討）	4.0	5.0	5.3	5.3	6.3	6.3
4	土									
5	日									
6	月	読書タイム 通級指導室来校PM			5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
7	火	朝会		職員会議	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
8	水	あさひなパワーアップ１１		市一次研究大会 学年研究会　クリーンタイム	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
9	木	読み聞かせ 学校カウンセラー（一日）		職員作業（ホタル池準備） 専任会	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
10	金	あさひなパワーアップ１２ 重点研授業研究会①		職員作業（ホタル池準備）	4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
11	土	**ホタルを見る夕べ**								
12	日									
13	月	読書タイム		指導案検討② 校長会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
14	火	児童朝会（保健） 児童引き取り下校訓練（行１）		主幹会 打ち合わせ	5.0 1.0	5.0 1.0	5.0 1.0	5.0 1.0	5.0 1.0	5.0 1.0
15	水	あさひなパワーアップ１３		市研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
16	木	読み聞かせ 耳鼻科検診(1,4希望者)/（行0.7）	代表委員会・あおぞら実行委員会	学年研究会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
17	金	あさひなパワーアップ１４		職員作業（プール準備）	4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
18	土									
19	日									
20	月	読書タイム　SSW来校11:30 学校カウンセラー（一日）		校務分掌部会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
21	火	プール開き集会		主幹会　OJT授業研究会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
22	水	あさひなパワーアップ１５		区Ａ研 国際平和スピーチコンテスト	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
23	木	読み聞かせ 眼科検診（行0.3）	クラブ活動③	学年研究会	5.0	5.0	5.0	6.3	6.3	6.3
24	金	あさひなパワーアップ１６ オープンスクール（AM）			4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
25	土									
26	日									
27	月	読書タイム	あおぞらタイム①	指導案検討③	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
28	火	クラスタイム		いじめ防止対策委員会 教務会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
29	水	あさひなパワーアップ１７		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
30	木	読み聞かせ 重点研授業研究会②		研究協議会 ※月末統計	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
				6月総時数	101.0	105.0	114.0	119.3	120.3	120.3
				6月行事数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				累計総時数	256.0	267.0	285.0	296.0	303.0	303.0
				累計行事数	11.3	9.0	9.0	8.3	9.0	8.3

７月 行事予定 （授業日数 １３日）

令和４年４月１日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	１年	２年	３年	４年	５年	６年
1	金	あさひなパワーアップ１８	委員会活動④		4.0	5.0	5.3	5.3	6.3	6.3
2	土									
3	日									
4	月	読書タイム		職員会議	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
5	火	児童朝会（運動）		主幹会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
6	水	あさひなパワーアップ１９ 子ども防犯指導教室(1年生)		市研 区人権教育推進協議会	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
7	木	読み聞かせ	代表・あおぞら実行②	学年研究会 専任会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
8	金	あさひなパワーアップ２０		校長会	4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
9	土									
10	日									
11	月	読書タイム		校務分掌部会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
12	火	あおぞら交流①		主幹会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
13	水	あさひなパワーアップ２１ 不審者対応訓練（行0.7）		区Ａ研	5.0 0.7	5.0 0.7	5.3 0.7	5.3 0.7	5.3 0.7	5.3 0.7
14	木	読み聞かせ 指導主事訪問（２・３校時） 重点研授業研究会③		学年研究会	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
15	金	音楽朝会（５年） 懇談会		※安全点検日	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
16	土									
17	日									
18	月	**海の日**								
19	火	読書タイム		主幹会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
20	水	朝会		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
21	木	学籍・あゆみ研修	**夏季休業（～8/26）**							
22	金	重点研推進委員会（LHC）								
23	土									
24	日									
25	月	**重点研全体会**								
26	火									
27	水	**不祥事防止研修①**								
28	木									
29	金			遠足下見 ※月末統計						
30	土									
31	日									
				７月総時数	62.0	65.0	71.7	73.7	74.7	74.7
				７月行事数	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
				累計総時数	318.0	332.0	356.7	369.7	377.7	377.7
				累計行事数	12.0	9.7	9.7	9.0	9.7	9.0

8月 行事予定 （授業日数 3日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月									
2	火									
3	水	学校閉庁日（～１６日）								
4	木									
5	金									
6	土									
7	日									
8	月									
9	火									
10	水									
11	木	山の日								
12	金									
13	土									
14	日									
15	月									
16	火									
17	水			区Ａ研						
18	木			教育課程（総則）						
19	金									
20	土									
21	日									
22	月									
23	火									
24	水	出勤日		打ち合わせ 区Ｂ研						
25	木	出勤日		いじめ防止対策委員会/教務会 指導案検討④⑤						
26	金	出勤日		職員会議						
27	土									
28	日									
29	月	授業開始、朝会、キャリア教育授業（６年） 大掃除（行１）		打ち合わせ 事務処理日	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0
30	火	クラスタイム 除草活動（行１）	横浜こども会議	成績処理日①	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0
31	水	あさひなパワーアップ２３ 総合防災訓練（行１）		成績処理日②	4.0 1.0	4.0 1.0	4.3 1.0	4.3 1.0	4.3 1.0	4.3 1.0
				８月総時数	12.0	12.0	12.3	12.3	12.3	12.3
				８月行事数	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
				累計総時数	330.0	344.0	369.0	382.0	390.0	390.0
				累計行事数	15.0	12.7	12.7	12.0	12.7	12.0

9月 行事予定 （授業日数 20日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	給食開始、読み聞かせ（３組除） ３組上郷宿泊体験学習①		学年研究会 専任会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
2	金	あさひなパワーアップ２４ ３組上郷宿泊体験学習②			4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
3	土									
4	日									
5	月	読書タイム ５・６年発育測定（行0.7）		成績処理日③	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0 0.7	5.0 0.7
6	火	プール納め集会 ３・４年発育測定（行0.7）		打ち合わせ 成績処理日④、校長会	5.0	5.0	5.0 0.7	5.0 0.7	5.0	5.0
7	水	あさひなパワーアップ２５ １・２年、個別発育測定（行0.7）		市研	5.0 0.7	5.0 0.7	5.0	5.0	5.0	5.0
8	木	読み聞かせ	委員会活動⑤	学年研究会	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
9	金	あさひなパワーアップ２６ 重点研授業研究会④		研究協議会	4.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
10	土	**わくわくホタル池まもりたい活動**								
11	日									
12	月	読書タイム		いじめ防止対策委員会/教務会 打ち合わせ	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
13	火	朝会 **小中一貫合同研究会**		小中一貫合同研究会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
14	水	あさひなパワーアップ２７		区Ａ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
15	木	読み聞かせ（４年除） ４年ごみ処理場見学		学年研究会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
16	金	あさひなパワーアップ２８	代表・あおぞら実行③		4.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
17	土									
18	日									
19	月	**敬老の日**								
20	火	朝会、重点研授業研究会⑤ ５，６年視力検査（行0.7）		研究協議会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0 0.7	5.0 0.7
21	水	あさひなパワーアップ２９ ３・４年視力検査（行0.7）		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3 0.7	5.3 0.7	5.3	5.3
22	木	読み聞かせ １・２年、３組視力検査（行0.7）	クラブ活動④	学年研究会	5.0 0.7	5.0 0.7	5.0	6.3	6.3	6.3
23	金	**秋分の日**								
24	土									
25	日									
26	月	読書タイム 個人面談①			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
27	火	創立記念集会 個人面談②			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
28	水	あさひなパワーアップ３０ 個人面談③	あおぞらタイム②		4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3
29	木	創立記念日、読み聞かせ 個人面談④			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
30	金	あさひなパワーアップ３１ 個人面談⑤			4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3
				9月総時数	92.0	95.0	100.3	103.7	104.7	104.7
				9月行事数	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
				累計総時数	422.0	439.0	469.3	485.7	494.7	494.7
				累計行事数	16.3	14.0	14.0	13.3	14.0	13.3

10月 行事予定 （授業日数　20日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土									
2	日									
3	月	読書タイム		職員会議	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
4	火	あおぞら交流	委員会活動⑥	指導案検討⑥	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
5	水	あさひなパワーアップ３２ 4,5年上郷宿泊体験学習①（行4）		市研	5.0	5.0	5.3	5.3 4.0	5.3 4.0	5.3
6	木	読み聞かせ 4,5年上郷宿泊体験学習②（行３）		学年研究会	5.0	5.0	5.0	6.0 3.0	6.0 3.0	6.0
7	金	前期終業式（行0.7）		主幹会/打ち合わせ	4.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3
8	土									
9	日									
10	月	スポーツの日								
11	火	集団登校、後期始業式（行0.7） ２年火曜６校時開始		個別の支援計画入力日	5.0 0.7	6.0 0.7	6.0 0.7	6.0 0.7	6.0 0.7	6.0 0.7
12	水	あさひなパワーアップ３３		区Ａ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
13	木	読み聞かせ 歯科巡回指導（行１）	クラブ活動⑤	学年研究会	5.0 1.0	5.0	5.0 1.0	6.3	6.3 1.0	6.3
14	金	あさひなパワーアップ３４、１年金曜５校時開始 歯科巡回指導（行１）		0JT	5.0	5.0 1.0	5.3	5.3 1.0	5.3	5.3 1.0
15	土	わくわくホタル池まもりたい活動								
16	日									
17	月	読書タイム		校務分掌部会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
18	火	朝会 重点研授業研究会⑥		研究協議会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
19	水	あさひなパワーアップ３５		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
20	木	読み聞かせ ダンボール劇団（低）	代表・あおぞら実行③	学年研究会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
21	金	音楽朝会（３・４年） ダンボール劇団（中）		指導案検討⑦ 学校運営協議会	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
22	土									
23	日									
24	月	読書タイム		いじめ防止対策委員会/教務会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
25	火	児童朝会（図書） ダンボール劇団（高）		主幹会/打ち合わせ	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
26	水	あさひなパワーアップ３７ ６年児童生徒交流日			5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
27	木	読み聞かせ ３・４年区音楽会（PM)/（行２）		学年研究会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
28	金	あさひなパワーアップ３８			5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
29	土									
30	日									
31	月	読書タイム		職員会議（１１月分）	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
				10月総時数	99.0	102.0	109.0	113.3	114.3	114.3
				10月行事数	2.0	2.0	2.0	9.0	9.0	2.0
				累計総時数	521.0	541.0	578.3	599.0	609.0	609.0
				累計行事数	18.3	16.0	16.0	22.3	23.0	15.3

11月 行事予定 （授業日数 20日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火	朝会 重点研授業研究会⑦		研究協議会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
2	水	あさひなパワーアップ３９		市研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
3	木	文化の日 六浦西地区ウォークラリー大会								
4	金	あさひなパワーアップ４０	委員会活動⑦	学年研究会	5.0	5.0	5.3	5.3	6.3	6.3
5	土	クラスタイム 土曜授業参観（オープンスクール）	あおぞらタイム		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
6	日									
7	月	土曜授業参観代休								
8	火	朝会		主幹会/打ち合わせ 指導案検討⑧	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
9	水	あさひなパワーアップ４１		区Ａ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
10	木	読み聞かせ	クラブ活動⑥	学年研究会 専任会	5.0	5.0	5.0	6.3	6.3	6.3
11	金	あさひなパワーアップ４２		校長会	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
12	土									
13	日									
14	月	読書タイム		校務分掌部会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
15	火	朝会		主幹会/打ち合わせ	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
16	水	あさひなパワーアップ４３ 区一斉授業研究会（Ｂ研）/短縮４時間授業			5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
17	木	読み聞かせ（６年除） ６年修学旅行①（行４）		学年研究会	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0 4.0
18	金	あさひなパワーアップ４４ ６年修学旅行②（行３）		就学時検診打ち合わせ①	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0 3.0
19	土									
20	日									
21	月	読書タイム		就学時検診打ち合わせ②	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
22	火	朝会 重点研授業研究会⑧		研究協議会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
23	水	**勤労感謝の日** **子ども文化祭**								
24	木	就学時検診（短縮４時間授業） 読み聞かせ		打ち合わせ	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
25	金	あさひなパワーアップ４５		いじめ防止対策委員会/教務会 指導案検討⑨	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
26	土									
27	日									
28	月	読書タイム		0JT	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
29	火	朝会	あおぞらタイム④	主幹会/打ち合わせ	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
30	水	音楽朝会（１・２年）			5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
				11月総時数	99.0	102.0	107.0	112.3	113.3	113.3
				11月行事数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
				累計総時数	620.0	643.0	685.3	711.3	722.3	722.3
				累計行事数	18.3	16.0	16.0	22.3	23.0	22.3

12月 行事予定 （授業日数　17日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	読み聞かせ	委員会活動⑧	学年研究会 専任会	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
2	金	あさひなパワーアップ４７		指導案検討⑩	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
3	土									
4	日									
5	月	読書タイム		職員会議	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
6	火	児童朝会（広報）　お話会（高） 第３回避難訓練（行0.3）		主幹会/打ち合わせ	5.0 0.3	6.0 0.3	6.0 0.3	6.0 0.3	6.0 0.3	6.0 0.3
7	水	あさひなパワーアップ４８ 市一斉授業研究会（短縮４時間授業）		市研	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
8	木	読み聞かせ お話会（低）	クラブ活動⑦（３年見学）	学年研究会 校長会	5.0	5.0	5.0	6.3	6.3	6.3
9	金	あさひなパワーアップ４９ 重点研授業研究会⑨		研究協議会	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
10	土									
11	日									
12	月	読書タイム	代表・あおぞら実行⑤	主幹会/打ち合わせ	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
13	火	人権朝会、人権週間（～18日） 人権授業参観・懇談会			5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
14	水	あさひなパワーアップ５０		区Ａ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
15	木	読書タイム ５年いじめ防止教室①		学年研究会	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
16	金	あさひなパワーアップ５１ ５年いじめ防止教室②		校務分掌部会 OJT（指導案検討）	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
17	土									
18	日									
19	月	読書タイム		いじめ防止対策委員会/教務会 指導案検討⑪	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
20	火	あおぞら交流③		主幹会/打ち合わせ	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
21	水	音楽朝会（６年）		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
22	木	読み聞かせ 重点研授業研究会⑩		研究協議会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
23	金	朝会 給食終了		不祥事防止研修② 重点研推進委員会（LHC）	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
24	土									
25	日									
26	月	冬季休業日（～１／６）								
27	火									
28	水	学校閉庁日（～１/５）								
29	木									
30	金									
31	土									
				12月総時数	84.0	86.0	89.7	95.0	96.0	96.0
				12月行事数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
				累計総時数	704.0	729.0	775.0	806.3	818.3	818.3
				累計行事数	18.7	16.3	16.3	22.7	23.3	22.7

１月 行事予定 （授業日数16日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日	学校閉庁日（～１/５）								
2	月									
3	火									
4	水									
5	木	↓								
6	金	出勤日		打ち合わせ、LHCC研修 職員会議、次年度計画会議①						
7	土									
8	日									
9	月	成人の日								
10	火	授業開始、朝会、集団登校 大掃除（行１）		次年度計画会議②	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0
11	水	あさひなパワーアップ５３、給食開始 ５・６年、発育測定（行0.7）		市研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3 0.7	5.3 0.7
12	木	クラスタイム ３・４年発育測定（行0.7）	委員会活動⑨	学年研究会 専任会	5.0	5.0	5.0 0.7	5.0 0.7	6.0	6.0
13	金	あさひなパワーアップ５４、重点研授業研究会⑪ １・２年、３組発育測定（行0.7）		研究協議会	5.0 0.7	5.0 0.7	5.3	5.3	5.3	5.3
14	土									
15	日									
16	月	読書タイム		※安全点検日 重点研全体会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
17	火	朝会		主幹会、打ち合わせ 一斉研前日準備	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
18	水	あさひなパワーアップ５５ 区一斉授業研究会（図工会場/短縮４時間）		区Ａ研（一斉研）	4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3
19	木	読み聞かせ 第4回避難訓練（予告なし）	代表・あおぞら実行⑥ （行0.3）	学年研究会	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3	5.0 0.3
20	金	あさひなパワーアップ５６	クラブ活動⑧ （３年見学）	次年度計画会議③ 校長会	5.0	5.0	6.7	6.7	6.7	6.7
21	土									
22	日									
23	月	読書タイム		次年度計画会議④	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
24	火	児童朝会（給食）	あおぞらタイム⑤（児１）	校務分掌部会 人権教育推進協議会総会	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
25	水	あさひなパワーアップ５７		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
26	木	読み聞かせ 授業参観・懇談会		学年研究会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
27	金	長縄集会		次年度計画会議⑤	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
28	土									
29	日									
30	月	長縄集会予備日		いじめ防止対策委員会/教務会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
31	火	クラスタイム		主幹会/打ち合わせ　　0JT ※月末統計	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
				１月総時数	78.0	81.0	87.0	88.0	89.0	89.0
				１月行事数	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
				累計総時数	782.0	810.0	862.0	894.3	907.3	907.3
				累計行事数	20.7	18.3	18.3	24.7	25.3	24.7

2月 行事予定 （授業日数 19日）

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	水	あさひなパワーアップ５８		県中央研究大会 次年度計画会議⑥	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
2	木	読み聞かせ	委員会活動⑩（評価）	学年研究会	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
3	金	あさひなパワーアップ５９		学校運営協議会	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
4	土									
5	日									
6	月	読書タイム		成績処理日①	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
7	火	朝会		打ち合わせ 成績処理日②	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
8	水	あさひなパワーアップ６０		市研（第2次研究大会）	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
9	木	読み聞かせ		成績処理日③ 校長会	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
10	金	あさひなパワーアップ６１		成績処理日④	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
11	土	**建国記念の日**								
12	日									
13	月	読書タイム		職員会議	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
14	火	あおぞら交流	クラブ活動⑨	主幹会/打ち合わせ	5.0	5.0	5.0	6.3	6.3	6.3
15	水	あさひなパワーアップ６２		区Ａ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
16	木	読み聞かせ	代表委員会・あおぞら実行⑦ ３年見学	学年研究会	5.0	5.0	6.0	5.0	5.0	5.0
17	金	オープンスクール③ あさひなパワーアップ６３			5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
18	土	**わくわくホタル池まもりたい活動**								
19	日									
20	月	読書タイム		校務分掌部会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
21	火	朝会		主幹会/打ち合わせ	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
22	水	あさひなパワーアップ６４		区Ｂ研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
23	木	**天皇誕生日**								
24	金	あさひなパワーアップ６５		学年研究会 0JT	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
25	土									
26	日									
27	月	読書タイム		いじめ防止対策委員会/教務会	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
28	火	クラスタイム	あおぞらタイム⑥（１～５年）	主幹会/打ち合わせ	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
				2月総時数	95.0	97.0	103.7	107.0	108.0	108.0
				2月行事数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				累計総時数	877.0	907.0	965.7	1001.3	1015.3	1015.3
				累計行事数	20.7	18.3	18.3	24.7	25.3	24.7

３月 行事予定 （授業日数 １～5年17日・6年15日

令和4年4月1日

日	曜	行事	児童会等	諸会議	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	水	あさひなパワーアップ６６		市研	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
2	木	読み聞かせ（最終）	委員会活動⑪	学年研究会 専任会	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
3	金	あさひなパワーアップ６７		重点研推進委員会	5.0	5.0	5.3	6.3	6.3	6.3
4	土									
5	日									
6	月	読書タイム		職員会議	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
7	火	朝会		打ち合わせ 校長会	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
8	水	あさひなパワーアップ６８	あおぞらタイム⑦	重点研全体会	5.0	5.0	5.3	5.3	5.3	5.3
9	木	クラスタイム 個人面談①			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
10	金	あさひなパワーアップ６９ 個人面談②			4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3
11	土									
12	日									
13	月	読書タイム 個人面談③			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
14	火	朝会 個人面談④			4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
15	水	あさひなパワーアップ７０ 個人面談⑤			4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3
16	木	クラスタイム、給食終了		学年研究会	5.0 1.0	5.0 1.0	5.0 1.0	6.3 1.0	6.3 1.0	6.3 1.0
17	金	６年生を送る会練習 ４，５年卒業式準備（行１）、大掃除（行１）		卒業式会場準備 学級編成	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 1.0	4.0 2.0	4.0 2.0	4.0 1.0
18	土									
19	日									
20	月	読書タイム 卒業式予行（行２）		卒業式前日準備	4.0	4.0	4.0	4.0 2.0	4.0 2.0	4.0 2.0
21	火	春分の日								
22	水	卒業証書授与式（６年　行２）	６年生を送る会（児0.7）	打ち合わせ 衛生委員会	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	4.0 2.0
23	木	クラスタイム 地区班編成（行0.7）		重点研推進委員会 いじめ防止対策委員会/教務会	4.0 0.7	4.0 0.7	4.0 0.7	4.0 0.7	4.0 0.7	
24	金	修了式（行1） 離任式（行１）		茶話会、打ち合わせ 要録出席簿点検	4.0 2.0	4.0 2.0	4.0 2.0	4.0 2.0	4.0 2.0	
25	土									
26	日	学年末休業								
27	月									
28	火									
29	水									
30	木									
31	金	出勤日（新年度準備） 校務システム切り替え日								
				３月総時数	71.7	72.7	75.3	77.7	78.7	74.0
				３月行事数	4.7	4.7	4.7	7.7	7.7	6.0
				累計総時数	948.7	979.7	1041.0	1079.0	1094.0	1089.3
				累計行事数	25.3	23.0	23.0	32.3	33.0	30.7

１３　学校沿革

昭和 50 年	４．　１	横浜市立朝比奈小学校開校。初代校長　六鹿清治郎氏就任。 児童数　４９０名　１３学級　教職員　２２名。 大道小学校の木造９教室（７３１㎡）を借用。
	４．　３	開校式（開校宣言）１０時より　大道小学校講堂にて。 鉄筋校舎完成。２４教室。給食室、体育館。 金沢区朝比奈町６７３－８　　敷地面積１４，８３８㎡。
	９．　１	この日から、新校舎にて授業を行う。
	９．２９	本日を開校記念日とする。
昭和 51 年	９．　２	プール完成。
昭和 55 年	４．　１	二期鉄筋校舎完成。８教室と図書室１。
昭和 59 年	２．１０	学校開放更衣室、掲揚塔、石油容器保管庫完成。
	１０．　６	創立１０周年記念式典挙行（記念誌発行）
昭和 60 年	２．１０	焼窯庫完成。
昭和 61 年	１．３０	横浜市教育委員会教育課程協力校として､図画工作科研究発表会開催。
昭和 62 年	２．２８	防球ネット完成。
昭和 63 年	２．２９	視聴覚室、放送室、会議室、職員室、校長室、印刷室、保健室、耐火書庫完成。
平成元年	２．２８	校庭整備、校門改修。
平成２年	３．３１	鉄筋体育倉庫新築。
平成６年		横浜市教育委員会教育課程協力校として学校安全の研究をする。
平成 11 年		人権教育実践推進校として公開授業。
平成 12 年		横浜市教育委員会教育課程協力校として学びの環境の研究をする。
平成 13 年	８．１８	わくわくホタル池に橋がかかる。
	１１．２０	門扉（南門）取り替え工事。
平成 16 年	９	門扉（正門）取り替え工事。
	１１．１３	３０周年記念式典、祝賀会。
	１２．　５	ＬＡＮ整備（ネットデイ）事業。
平成 17 年	２	緊急時校内連絡システム取り付け。
平成 18 年	２	正門電子錠取り付け工事。
	７	４・５・６年教室に扇風機とりつけ。 朝比奈小学校キッズパトロール隊発足。
平成 19 年	４	横浜市教育長より「パイオニアスクールよこはま（ＰＳＹ）」の指定を受ける。 横浜市英語教育準備校として、英語活動の研究を始める。 保護者連絡網に替わるものとして、メール配信を始める。
	９	「地域交流室」できる。
平成 20 年	１．２５	平成 19 年度ＰＳＹ学校公開。
	４	「まち」とともに歩む読書活動推進指定校。
	５．１０	学校運営協議会発足。
	７	防災備蓄庫　Ｃ棟１階へ移設。
	９	全国ホームページ優秀校に選出される。 通学区域特認校となる。
	１１．　１	金沢区制 60 周年事業お祝いパレード参加。
	１２．　５	平成 20 年度ＰＳＹ学校公開。（読書活動、環境、英語）
平成 21 年	２	図書室のバーコード化完了。
	１２．　４	平成 21 年度ＰＳＹ学校公開。（学校図書館、英語）
平成 22 年	３．	太陽光パネル設置、地上デジタルテレビ設置。
	４	読書活動活性化拠点校指定。 個別級エアコン設置、プレイルーム床張替え。
平成 23 年	４	学校運営協議会　設置校に再指定。
	６	プール壁面床修理・塗装 。

平成 24 年	3	ホタル池活動、「かながわ地球環境賞」受賞
	4	実物投影機を活用した授業づくりの研究校に指定。
平成 25 年	6 ～ 9	普通教室空調設備設置工事及びＣ棟耐震工事。
	１２	職員室ＮＥＴ・ＬＡＮ再整備。
	3	創立４０周年実行委員会発足。
平成 26 年	4	学校運営協議会　設置校に再指定。
	5	創立４０周年記念航空写真撮影。
	7	「環境にやさしい美しいまち金沢　本部長賞」受賞。
	１１	創立４０周年記念式。
平成 27 年	7	土砂災害時の避難所指定。
	7 ～ 8	窓サッシガラス改修（強化ガラス）、落下防止工事。
	1	火災受信機、防炎・防火設備交換工事。
	１～３	はまっ子のキッズ化に伴うＣ棟教室 2，3 階教室改修工事。
平成 28 年	１２	運動場バスケットゴール修繕工事。
平成 29 年	4	大道中学校ブロック小中一貫教育幹事校に認定。
	1	運動場サッカーゴール新設。
平成 31 年	3	特別教室エアコン新設。
令和 4 年	2	不審者侵入防止用フェンス設置。
令和 4 年	3	市民図書室エアコン新設。